

「食肉に関する意識調査」 報告書

令和元年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針	2
1.3 調査対象期間	2
1.4 調査手法	2
1.5 調査手順	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問	5
2. 考察.....	8
2.1 国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識に関する考察.....	8
1)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の販売スペースの変化（Q14・Q15）の エリア・性・年代別分析.....	10
2) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉 及び 食品の購入回数の変化（Q9・Q10）の エリア・性・年代別分析.....	15
3)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（Q12）のエリア・性・年代別分析.....	24
4)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（Q13）と特徴分析	27
5)国産和牛／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 及び 順序プロビット回帰分析（Q20・Q21）	35
6)ポートフォリオ分析による国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識分析	42
2.2 食肉の消費変化（増減）に関する考察.....	47
1)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメンテーション.....	48
2)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメントの特徴分析（クロス集計分析）	50
3)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメント特徴分析（決定木）	64
2.3 家畜疫病（CSF* ₁ 、ASF* ₂ 、鳥インフルエンザ）による食肉への不安に 関する考察	66
1)食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーション	67
2)食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーションの特徴分析（クロス集計分析）	70
3)食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）セグメント別の家畜疫病への関心度（Q27）	73
4)食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）セグメント別の家畜疫病への認知・理解（Q28～Q30）	75
※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、 豚コレラの国際的な呼称です。	
※2 ASF：African Swine Fever（直訳すればアフリカの豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、 アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。	

2.4 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」に関する考察	78
1) 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知 (Q45) のエリア・性・年代別分析.....	79
2) 「植物由来の代替肉」の喫食経験 (Q46) のエリア・性・年代別分析.....	81
3) 「植物由来の代替肉」についての考え (Q47) のエリア・性・年代別分析.....	82
4) 「植物由来の代替肉」の認知 (Q45) ・喫食経験 (Q46) ・考え (Q47) の 食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53) 別分析.....	84
5) 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」についての考え (Q48) のエリア・性・年代別分析.....	88
6) 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についての考え (Q49) のエリア・性・年代別分析.....	90
3. 食肉の購買実態に関する調査	92
1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)	92
2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)	97
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)	102
4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)	104
5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)	109
6) 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (Q9)	114
7) 各種牛肉の購入意向 (Q11)	117
8) 各種牛肉のイメージ (Q16)	118
9) 各種牛肉を家庭内で食べる場面 (Q17)	123
10) 各種牛肉を家庭内で食べる料理 (Q18)	126
11) 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源 (Q19)	129
12) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q20)	134
13) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q21)	135
14) 産地別牛肉の購入意向 (Q22)	136
15) 産地別豚肉の購入意向 (Q23)	137
16) 産地別鶏肉の購入意向 (Q24)	138
4. 食肉の安全性に関する意識調査	139
4.1 食品の安全性に関する意識	139
1) 食品の安全性の不安感 (Q25)	139
2) 食肉 (牛肉・豚肉・鶏肉) の安全性について感じている不安 (Q26)	144
3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q27)	146
4.2 家畜疫病 (CSF*¹、ASF*²、鳥インフルエンザ) に関する知識	151
1) 鳥インフルエンザについて知っている知識 (Q28)	151
2) CSF* ¹ について知っている知識 (Q29)	153
3) ASF* ² について知っている知識 (Q30)	155
※1. CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、 豚コレラの国際的な呼称です。	
※2. ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、 アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。	
4.3 食肉の放射能汚染に関する意識	156
1) 産地別の食肉の放射能汚染への不安 (Q31)	156

4.4 食肉の安全性に対する社会的な意識	158
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q32)	158
2)食品の安全性に係る問題発生時に食肉の情報を得るために用いる情報源と普段用いる情報源、信頼 できる情報源 (Q33・Q34・Q35)	159
3)各機関の取り組みに対する信頼性 (Q36)	164
4)食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待 (Q37)	167
5. ジビエに関する意識調査	169
1)「ジビエ」の定義の認知度 (Q41)	169
2)「ジビエ」の喫食頻度 (Q42)	172
3)「ジビエ」について知っている事柄と魅力に感じる事柄 (Q43)	174
4)「ジビエ」の認証マークの認知度 (Q44)	180
6. 食肉の第三者認証に関する意識調査	183
1)「J G A P畜産物使用ロゴマーク」の認証と 「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度 (Q39)	183
2)「J G A P畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向 (Q40)	186
7. 集計表	189

調査の目的と分析の基本方針

1. 調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

令和元年 10 月下旬に実施

※なお、令和元年 10 月 1 日より消費税率（国・地方）は、8%から 10%となった。

併せて外食と酒類を除く飲食料品、定期購読新聞の税率を 8%に据え置く「軽減税率制度」、
「幼児教育や保育を無償化する改正子ども・子育て支援法」が施行された。

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集

実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20 歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	306	386	305	280	114	52	357

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	321	622	426	310	96	25

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	37	475	193	207	812	76

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	147	179	361	213	45	109	411	229	72	34

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況

合計	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	お年寄り(65歳以上、ご自身を含める)
1,800	45	209	167	142	683

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.8.7 世帯内に食物アレルギー保有者、食中毒経験者のいる回答者

合計	食物アレルギー保有者	食中毒経験者
1,800	173	149

図表 9 回答者属性（食物アレルギー保有者、食中毒経験者）

1.8.8 食肉の喫食によるカロリーに対する意識

合計	食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている	食肉を喫食する際にカロリーを意識していない	食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気を付けている
1,800	691	828	281

図表 10 回答者属性（食肉の喫食によるカロリーに対する意識）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 24 年～平成 30 年度調査の調査対象は以下のとおりである。今年度調査では、平成 26 年度・平成 27 年度・平成 28 年度・平成 29 年度・平成 30 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 27 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 28 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 29 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 30 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名

図表 11 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成24年～平成30年度調査からの継続設問は以下に示すとおりである。

*令和元年度からの新規設問は以下に示すとおりである。

令和元年度設問	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
Q4 食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q1	Q1	Q1	Q3	Q4	Q4	Q4
Q5 食肉に対する種類別イメージ	Q2	Q2	Q2	Q4	Q5	Q5	Q5
Q6 食肉の種類別購入頻度	Q3	Q3	Q3	Q5	Q6	Q6	Q6
Q7 食肉の種類別の主な購入先	Q4	Q4	Q4	Q6	Q7	Q7	Q7
Q8 食肉購入時に重視する項目	Q5	Q5	Q5	Q7	Q8	Q8	Q8
Q9 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化	Q6	Q6	Q6	Q8	Q9	Q9	Q9
Q10* 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化	—	—	—	—	—	—	—
Q11 各種牛肉の購入意向	—	—	—	Q10	Q10	Q10	Q10
Q12* 各種牛肉の購入頻度	—	—	—	—	—	—	—
Q13* 各種牛肉の普段の購入価格	—	—	—	—	—	—	—
Q14* 各種牛肉の販売スペースの変化	—	—	—	—	—	—	—
Q15* 牛肉の販売スペースの変化等への意見	—	—	—	—	—	—	—
Q16 各種牛肉のイメージ	—	—	—	Q11	Q11	Q11	Q11
Q17 各種牛肉を家庭内で食べる場面	—	—	—	—	Q12-1	Q12-1	Q12-1
Q18 各種牛肉を家庭内で食べる料理	—	—	—	—	Q12-2	Q12-2	Q12-2
Q19 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源	—	—	—	—	Q13	Q13	Q13
Q20 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	—	—	—	Q16	Q14	Q14	Q14
Q21 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	—	—	—	Q17	Q15	Q15	Q15
Q22 産地別牛肉の購入意向	Q7	Q7	Q7	Q18	Q16	Q16	Q16
Q23 産地別豚肉の購入意向	Q8	Q8	Q8	Q19	Q17	Q17	Q17
Q24 産地別鶏肉の購入意向	Q9	Q9	Q9	Q20	Q18	Q18	Q18
Q25 食品の安全性の不安感	Q10	Q10	Q10	Q21	Q19	Q19	Q22
Q26 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について感じている不安	—	—	—	—	Q20~ Q22	Q20~ Q22	Q23~ Q25
Q27 食肉の安全性に関する項目別関心度	Q14	Q14	Q14	Q25	Q23	Q23	Q26
Q28 鳥インフルエンザについて知っている知識	—	Q15	Q15	Q26	Q24	Q24	Q27
Q29 CSF* ¹ について知っている知識	—	—	—	—	—	—	Q28
Q30* ASF* ² について知っている知識	—	—	—	—	—	—	—

令和元年度設問	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
Q31 産地別の食肉の放射能汚染への不安	—	Q24	Q28	Q31	Q30	Q28	Q31
Q32 社会全体における食肉の安全性の認識	Q21	Q22	Q40	Q42	Q43	Q34	Q33
Q33 食品の安全性に係る問題発生時に用いる情報源	—	—	Q41	Q43	Q44	Q35	Q34
Q34 食品の安全性に関して普段用いる情報源	—	—	Q42	Q44	Q45	Q36	Q35
Q35 食品の安全性に関して信頼できる情報源	Q22	Q23	Q43	Q45	Q46	Q37	Q36
Q36 各機関の取り組みに対する信頼性	Q23	Q27	Q44	Q46	Q47	Q38	Q37
Q37 食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待	Q24	Q28	Q45	Q47	Q48	Q39	Q38
Q38 食肉の安全性を高めるために必要な取組	—	—	—	—	Q49	Q40	Q39
Q39 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度	—	—	—	—	—	Q42	Q40
Q40 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向	—	—	—	—	—	Q43	Q41
Q41 「ジビエ」の定義の認知度	—	—	—	—	—	Q45	Q50
Q42 「ジビエ」の喫食頻度	—	—	—	—	—	Q46	Q51
Q43 「ジビエ」について知っている事柄と魅力に感じる事柄	—	—	—	—	—	Q49	Q54
Q44 「ジビエ」の認証マークの認知度	—	—	—	—	—	Q50	Q55
Q45* 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知	—	—	—	—	—	—	—
Q46* 「植物由来の代替肉」の喫食経験	—	—	—	—	—	—	—
Q47* 「植物由来の代替肉」についての考え	—	—	—	—	—	—	—
Q48* 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」についての考え	—	—	—	—	—	—	—
Q49* 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についての考え	—	—	—	—	—	—	—

※1. CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2. ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

図表 12 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

2. 考察

2.1 国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識に関する考察

- 国産牛肉の販売スペースは「変わらない」が約6割、「増えた」「減った」とともに5~6%程度。輸入牛肉の販売スペースは「変わらない」が約半数だが、「増えた」が1割を超え、輸入牛肉の販売スペースの方が、消費者の増加意識が高い。
- 購入回数は、食肉全体では、「増加者（増えた+やや増えた）」は13.4%、「減少者（減った+やや減った）」は11.4%、「無変化者（変わらない）」は69.5%。牛肉では、「増加者」が最も多いのは輸入牛肉で10.4%、国産和牛が8.4%、和牛以外の国産牛肉が7.1%。一方、「減少者」は国産和牛が17.3%で最も多く、和牛以外の国産牛肉が16.2%、輸入牛肉が15.0%。豚肉・鶏肉は、国産の方が「増加者」が1割以上と多く、輸入の方が「減少者」が1割以上と多い。
- 各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、国産和牛26.2% > 和牛以外の国産牛肉21.0% > オーストラリア産牛肉15.0% > アメリカ産牛肉14.8%の順に多い。
- 各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）は、国産和牛 平均560.9円、和牛以外の国産牛肉 平均400.9円、オーストラリア産牛肉 平均282.1円、アメリカ産牛肉 平均281.4円の順に高い。
- 国産和牛、和牛以外の国産牛肉のいずれも、因子3『安全・安心感』がプラスになると最も価格許容度が高くなる。

ここでいう国産牛肉とは「国産和牛」、及び「和牛以外の国産牛肉」のことである。この2.1では、国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識を把握することを目的とした。

小売店における牛肉の販売スペースの変化の状況、それに伴う牛肉の消費の変化や消費者意識の変化の状況を把握する。

国産牛肉・輸入牛肉の価格意識については、普段の購入価格を具体的に把握するとともに、国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度を順序プロビット回帰分析により把握する。

また、国産牛肉・輸入牛肉のイメージ（価格・品質等）と、国産牛肉・輸入牛肉の購入意向への影響度から、ポートフォリオ分析により国産牛肉の強み・弱みを把握する。

そこで、ここでは以下の6つの分析を行った。

- 1)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の販売スペースの変化 (Q14・Q15)
のエリア・年代別分析
- 2)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉 及び 食品の購入回数の変化
(Q9・Q10) のエリア・年代別分析
- 3)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度 (Q12) の
エリア・年代別分析
- 4)国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格 (Q13) の
エリア・年代別分析
- 5)国産和牛／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 及び
順序プロビット回帰分析 (Q20・Q21)
- 6)ポートフォリオ分析による国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識分析

1) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の販売スペースの変化（Q14・Q15） のエリア・性・年代別分析

国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識について分析をするため、普段買い物をしているスーパー・生協・食肉専門店などにおける昨年同期と比べた各種牛肉の販売スペース（売り場面積）の変化（Q14）を聞いた。

国産和牛は、「変わらない」が58.9%、「わからない」が28.3%と多く、「増えた計」が6.0%、「減った計」が6.7%である。

和牛以外の国産牛肉も、「変わらない」が58.3%、「わからない」が30.0%と多く、「増えた計」が6.2%、「減った計」が5.4%である。

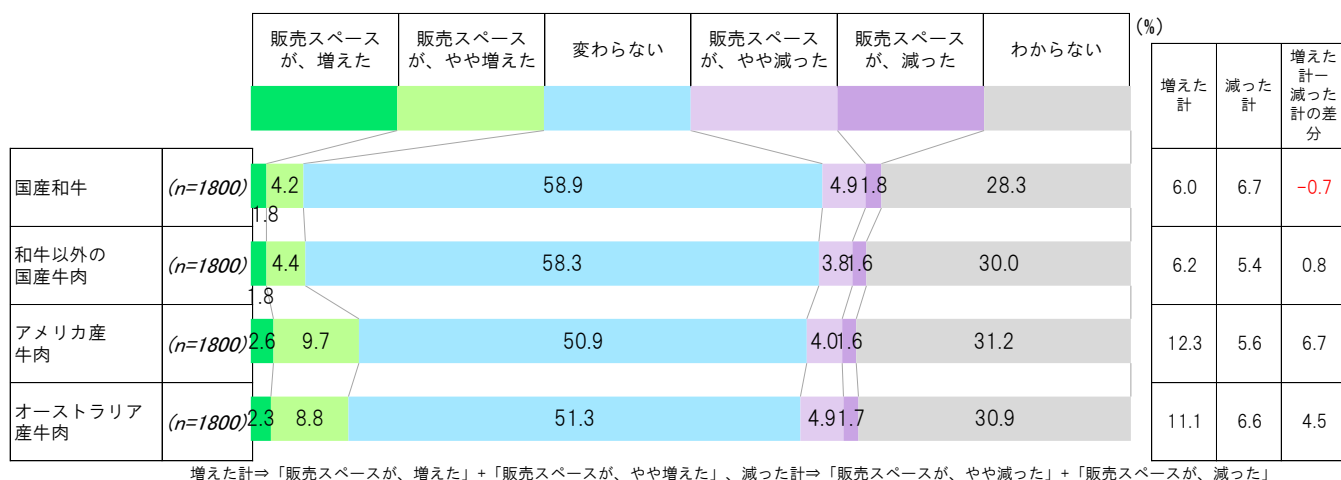
一方、アメリカ産牛肉は、「変わらない」が50.9%、「わからない」が31.2%と多いが、「増えた計」が12.3%と1割を超え、「減った計」が5.6%である。

オーストラリア産牛肉も、「変わらない」が51.3%、「わからない」が30.9%と多いが、「増えた計」が11.1%と1割を超え、「減った計」が6.6%である。

「増えた計」と「減った計」の差分で見ると、国産和牛は-0.7%、和牛以外の国産牛肉は0.8%で増減比率がほぼ同率だが、アメリカ産牛肉は6.7%、オーストラリア産牛肉は4.5%とプラスになり、輸入牛肉は増加比率の方が多くなっている。

販売スペースに対する消費者意識は、国産牛肉の販売スペースは「変わらない」が約6割を占め、「増えた」「減った」ともに5~6%程度だが、輸入牛肉の販売スペースは「変わらない」が約半数を占めるものの、「増えた」が1割を超え、輸入牛肉の販売スペースの方が、消費者の増加意識が高い。

また、国産牛肉、輸入牛肉ともに、牛肉の販売スペースの増減を意識していない層（「わからない」）が3割程度いる。

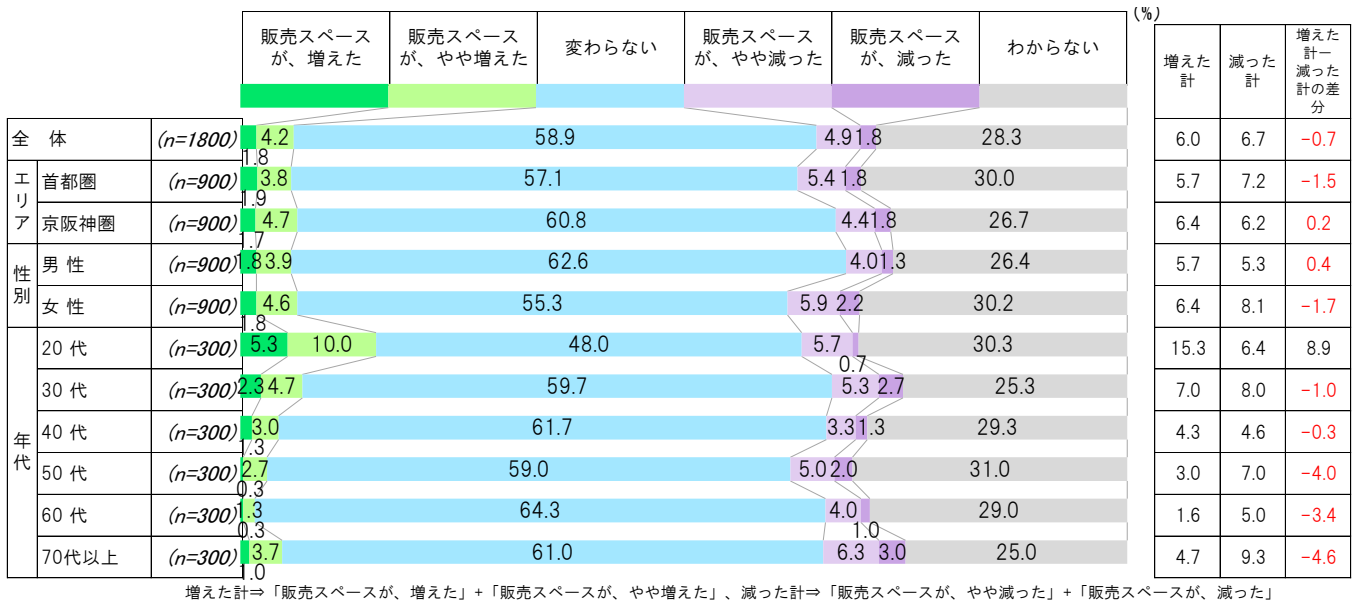


図表 13 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の販売スペースの変化（全体）

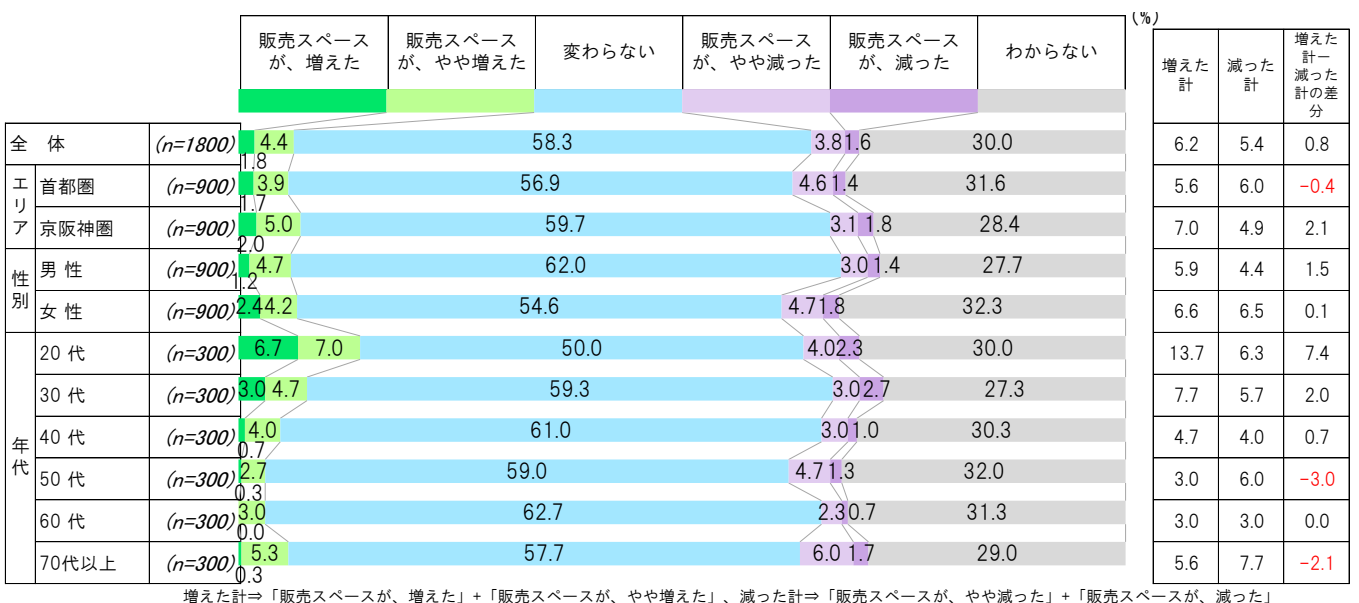
国産牛肉の販売スペースの変化を「増えた計」の比率でエリア別に見ると、国産和牛は、首都圏が5.7%、京阪神圏が6.4%、和牛以外の国産牛肉は、首都圏が5.6%、京阪神圏が7.0%と大きな違いは見られない。

「増えた計」の比率を性別に見ると、国産和牛は、男性が5.7%、女性が6.4%、和牛以外の国産牛肉は、男性が5.9%、女性が6.6%と大きな違いは見られない。

「増えた計」の比率を年代別に見ると、国産和牛は、20代で15.3%と最も多く、和牛以外の国産牛肉も20代で13.7%と多く、いずれも20代で国産牛肉の販売スペースが増えたという意識が強い。



図表 14 国産和牛の販売スペースの変化

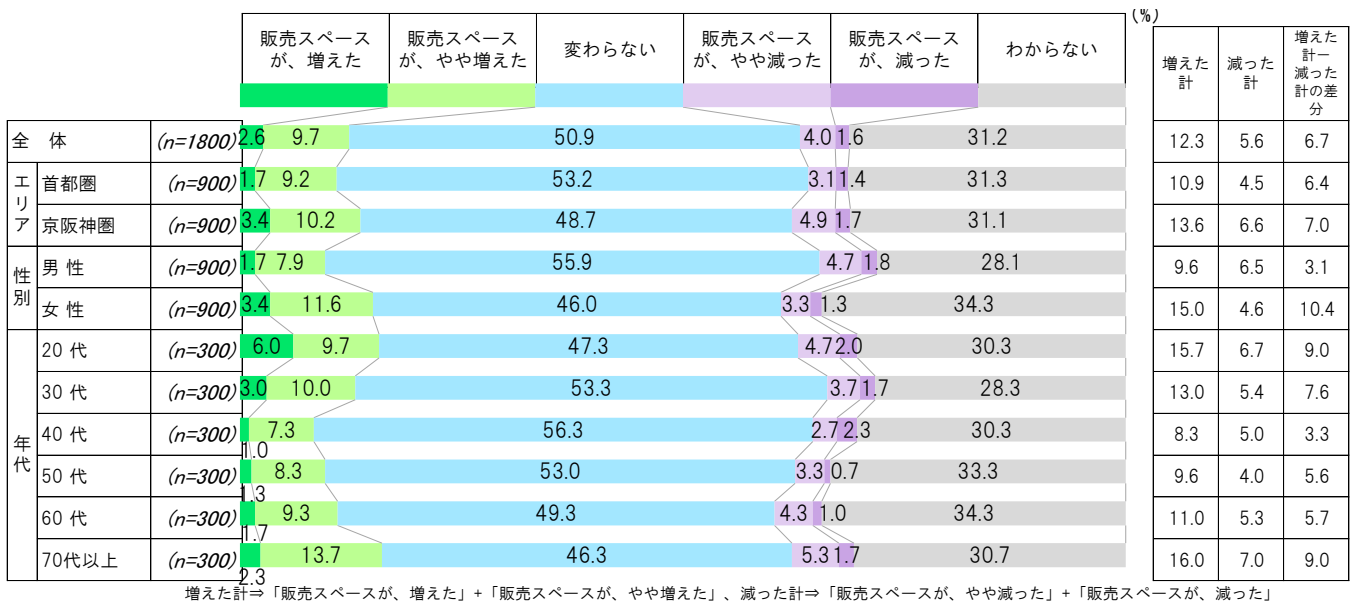


図表 15 和牛以外の国産牛肉の販売スペースの変化

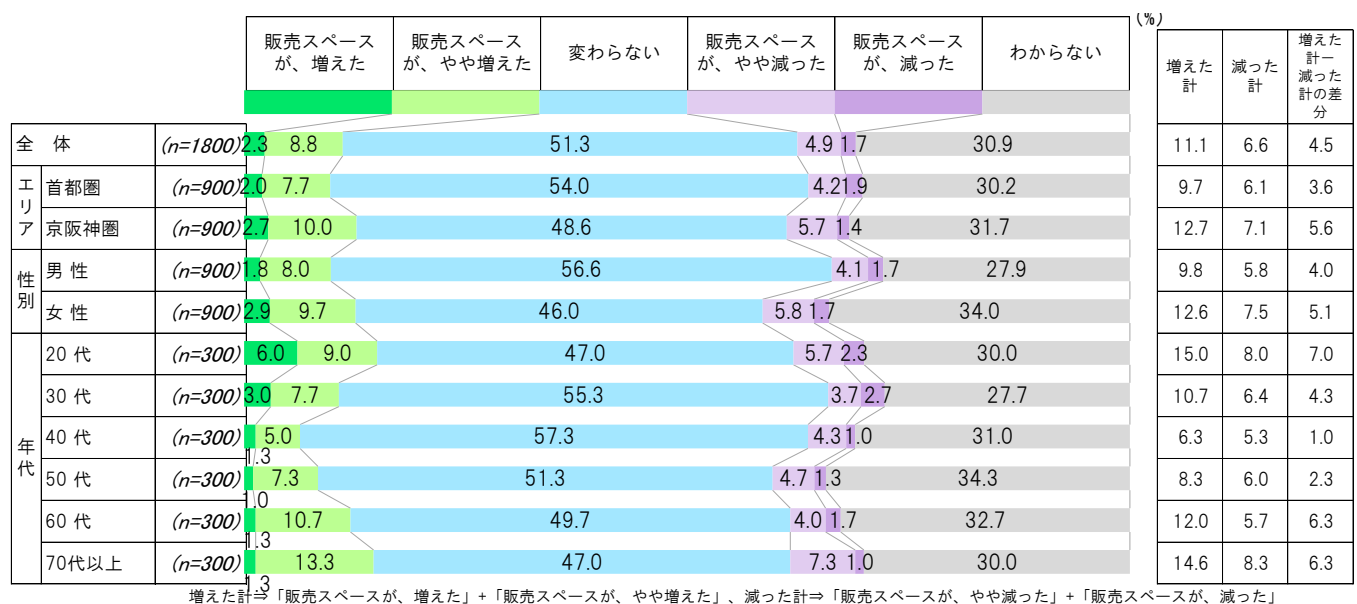
輸入牛肉の販売スペースの変化を「増えた計」の比率でエリア別に見ると、アメリカ産牛肉は、首都圏が10.9%、京阪神圏が13.6%、オーストラリア産牛肉は、首都圏が9.7%、京阪神圏が12.7%と、いずれも京阪神圏の方がやや多い。

「増えた計」の比率を性別に見ると、アメリカ産牛肉は、男性が9.6%、女性が15.0%、オーストラリア産牛肉は、男性が9.8%、女性が12.6%と、いずれも女性の方が多い。

「増えた計」の比率を年代別に見ると、アメリカ産牛肉は、70代以上で16.0%、20代で15.7%と多く、オーストラリア産牛肉も20代で15.0%、70代以上で14.6%と多くなっている。



図表 16 アメリカ産牛肉の販売スペースの変化



図表 17 オーストラリア産牛肉の販売スペースの変化

また、Q14で、昨年同期と比べて牛肉の販売スペース（売り場面積）が増減したと回答した人に、牛肉の販売スペース（売り場面積）感じている変化やその変化についての感想・意見（Q15）を具体的に記入してもらい、キーワードをもとに意見を集計した。

その結果、「輸入・アメリカ産・オーストラリア産等」というキーワードを含む感想・意見が多く、次いで、「スペース・売り場・面積・コーナー・陳列」「安価・特売・セール・割引・ワゴン」「国産・国内産・和牛」というキーワードを含む感想・意見が多くあげられた。

「安い輸入牛肉やアメリカ産牛肉が売り場のメインのスペースに置いてあり、販売スペースが増え、TPPや関税の影響で値段が下がって買いやすくなった」という消費者意識が見られた。

「国産牛肉の販売スペースが減って残念、国産牛肉が買いにくくなった」という意見がある一方、「輸入牛肉もやわらかくておいしくなった、国産でなくても輸入牛肉を購入してみたらおいしかったので輸入牛肉でもよい」というような意識も見られた。

小売店において、輸入牛肉の販売スペースが増加して、それに伴い国産牛肉の販売スペースが減少することは、国産牛肉の消費の機会喪失につながり、「国産牛肉よりも安価な輸入牛肉でも十分おいしい、次からは輸入牛肉を購入しよう」というブランドスイッチを促す消費者意識が懸念される。

キーワード	件数	主な回答内容
輸入・アメリカ産・オーストラリア産等	92	<ul style="list-style-type: none"> ・安い輸入牛肉がメインのように置いてあるところが多い。 ・安価なアメリカ産牛が所狭しと店頭に並ぶようになりました。トランプ政権との貿易の影響なのでしょうね。 ・国産の牛肉の価格が下がってきたように思えます。外国産でもとくにアメリカ産の牛肉の売れ行きがたいへん伸びているように感じます。オーストラリア産の牛肉は、肉がたいへんやわらかくておいしい気持ちがあります。今では、国産の牛肉も外国産の牛肉も味の点では変わらないと思っています。やや国産の牛肉の価格が外国産に比較してやや高い気がします。 ・オージービーフが減って、米産牛肉の売り場スペースが増えてきているように感じる。国産品については変化はないのではないかな。
スペース・売り場・面積・コーナー・陳列	50	<ul style="list-style-type: none"> ・売り場面積は変わらないが、セールなどで広がったり狭かったり。 ・アメリカ産牛肉のスペースが増えてオーストラリア産牛肉のスペースが減った。 ・外国産のリーズナブルなお肉が目立つところに置いてあるようになった気がする。 ・国産のコーナーのスペースが以前より少なくなり、その分輸入の牛肉の棚が増えたので。
安価・特売・セール・割引・ワゴン	50	<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉の売り場に価格が手頃な輸入牛のコーナーが以前よりもかなり増えていると感じます。 ・牛肉の特売日が増えた気がします。 ・売り場からも節約志向の拡大、不況の拡大が顕著。

キーワード	件数	主な回答内容
国産・国内産・和牛	42	<ul style="list-style-type: none"> ・国産牛肉のスペースが減って、若干価格が高くなった。外国牛肉はスペースが増えたみたいだが、価格はあまり変わっていないと思う。 ・国産牛肉の種類が減って選べる状態ではなくなったので、買う頻度も減って、豚や鶏の料理ばかりになったのが残念だ。 ・国産牛肉のスペースが広がった。安全性のためであろうか。
TPP・関税・貿易問題	15	<ul style="list-style-type: none"> ・TPP の影響でカナダ、オーストラリア産の安い価格の牛肉を見る事が増えた。 ・円高、肉の輸入関税が下がった。 ・アメリカ産牛肉の売り場面積が増えた感じがするが、政治的な面が含まれているんだろうなと感じる。
品質がよい（おいしい・柔らかい・サシ・新鮮・厚みがある）	11	<ul style="list-style-type: none"> ・肉が新鮮になって安くて柔らかくて美味しい。 ・今の時代、国産の肉を食べられないのが普通になってしまっているし、国内産でなくても美味しい肉があることに気づいた。
品質が悪い（まずい・かたい・臭い・冷凍・脂身が多い・心配）	9	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ産は安いけど切り方臭い等きつくて美味しいと思えないのに、アメリカ産のスペースが増えている。 ・やはり日本産の牛肉と日本向けにした外国産との肉質にははっきりとした違いがある。外国産は安いものの肉質はかたいというのが定着してきて、消費が伸び悩んでいるのではないかと思う。
量・グラム	7	<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉のランク別、容量パック別の細かい展示売り場が増えてきたようだ。 ・子供も社会人で独立しているし一人なので量より国産を買いたい。 ・国産和牛は量が少ない。
安全・安心・信頼	5	<ul style="list-style-type: none"> ・国産のものが少なくなっている。自国生産自国消費。そしてもっと安全な、牛肉がたくさん売られてほしい。 ・国産が広い方がやや安心感があります。 ・安くて新鮮で安全な食材であれば問題は無い。
部位（スライス・カット・ブロック・ミンチ・モモ・ロース・赤身等）	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ミンチが外国産と混ぜられているのが気になる。 ・見た目にきれいでサシが目立つ牛肉が増えたが、ロースやヒレは少なく赤身の多いモモ肉が多くなった。 ・冷凍でブロック売りが増えてきた。
料理（カレー・シチュー・すき焼き・ステーキ）	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ産、オーストラリア産の牛肉が比較的目につくところで売っているように感じます。特にアメリカ産はステーキ肉押しのように感じます。
表示・表記	4	<ul style="list-style-type: none"> ・肉の産地や種類の表記が分かりにくい。 ・産地が記載されていなかったり、国産とだけの表示が増えていて困っている。きちんとどこで産地で育ち、どんな餌を食べ、どこの工場で作られたか記載してほしい。
増税・税金	3	<ul style="list-style-type: none"> ・増税の影響もあり単価の安い牛肉の販売スペースが大きくなった気がします。 ・消費税と TPP の影響でアメリカ産が増えてきた。
高額・値上がり	3	<ul style="list-style-type: none"> ・和牛については、おいしいのでうれしいですが何しろ高額です。外国産については、昔より信頼性も増えて味も思ったほどまずくはない。シチューやカレーなどまたにんにくをきかせてソテーだけでもなんとかいただける。贅沢はできません。 ・オーストラリア産の牛肉がリーズナブルで美味しかったが、少し値上がりし、売り場の商品アピールもおとなしくなり、売り場面積も少なくなったように思う。気に入っていたので少々残念です。
加工	2	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入牛肉の面積が増えたと思う。特に加工牛肉はほとんどが外国産で価格も安い。

図表 18 牛肉の販売スペースに感じている変化や変化についての感想・意見

2) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉 及び 食品の購入回数の変化 (Q9・Q10) のエリア・性・年代別分析

各食肉購入者に、昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化(Q9)から、国産食肉と輸入食肉に対する消費者意識・購入実態を見た。

食肉全体では、「増加者(増えた+やや増えた)」は13.4%、「減少者(減った+やや減った)」は11.4%、「無変化者(変わらない)」は69.5%である。

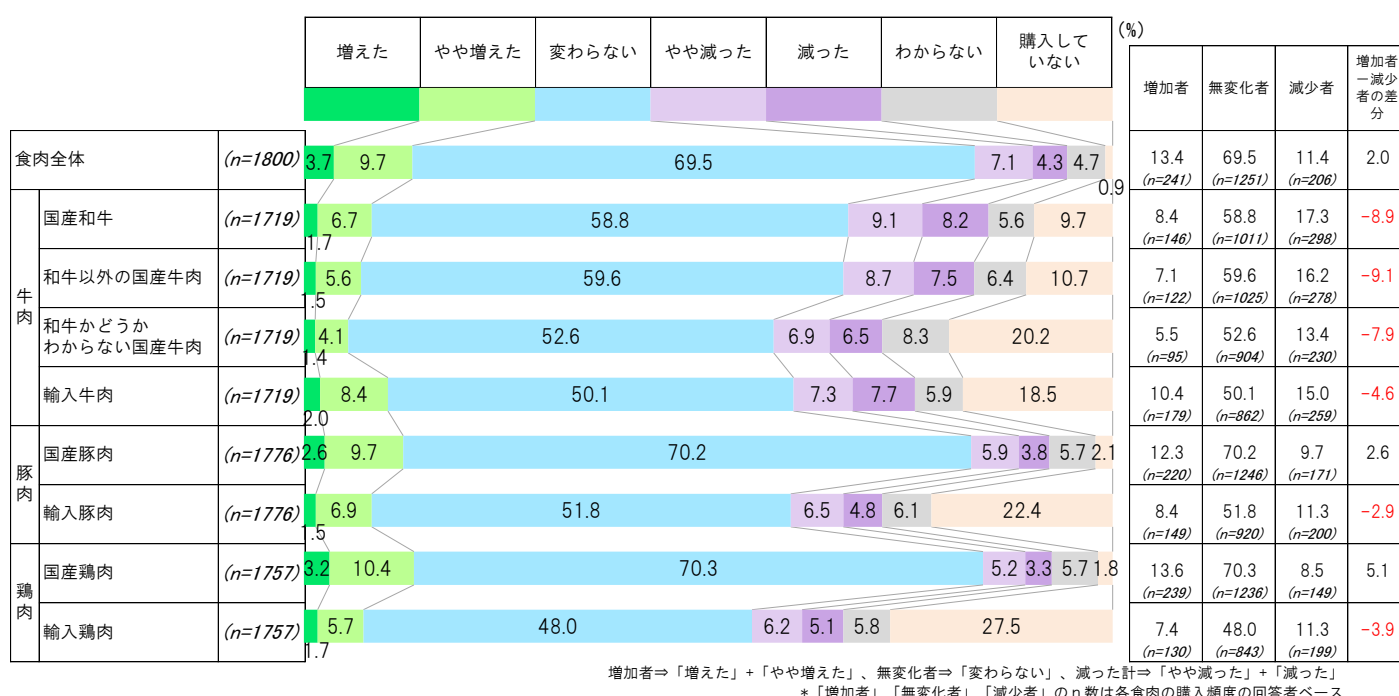
牛肉では、「増加者」が最も多いのは輸入牛肉で10.4%、国産和牛が8.4%、和牛以外の国産牛肉が7.1%である。一方、「減少者」は国産和牛が17.3%で最も多く、和牛以外の国産牛肉が16.2%、輸入牛肉が15.0%である。

豚肉では、「増加者」が国産豚肉で12.3%だが、輸入豚肉では8.4%であり、「減少者」は輸入豚肉では11.3%、国産豚肉で9.7%である。

鶏肉では、「増加者」が国産鶏肉で13.6%だが、輸入鶏肉では7.4%であり、「減少者」は輸入鶏肉では11.3%、国産鶏肉で8.5%である。

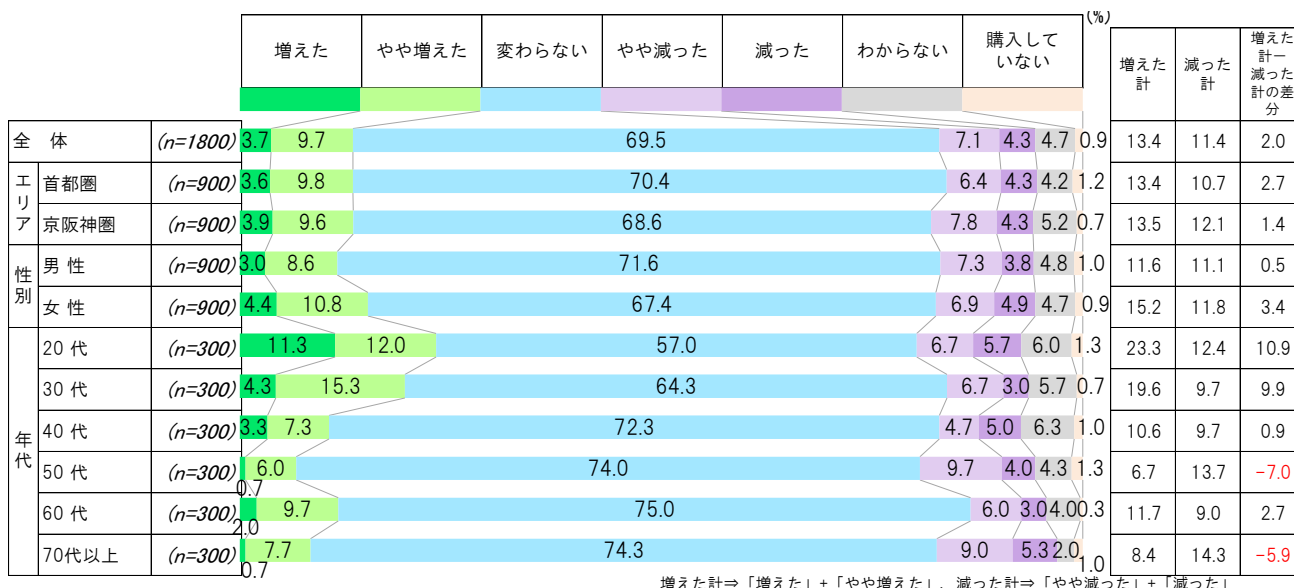
食肉全体では、「増加者」「減少者」は1割強で、「無変化者」が7割を占める。牛肉においては、輸入牛肉の方が「増加者」が1割とやや多く、国産和牛で「減少者」が最も多い。一方、豚肉・鶏肉は、国産の方が「増加者」が1割以上と多く、輸入の方が「減少者」が1割以上と多い。

「増加者」と「減少者」の差分で見ると、食肉全体が2.0%、国産豚肉が2.6%、国産鶏肉が5.1%とプラスになっているが、牛肉はいずれもマイナス、輸入豚肉、輸入鶏肉もマイナスとなっており減少率の方が多くなっている。



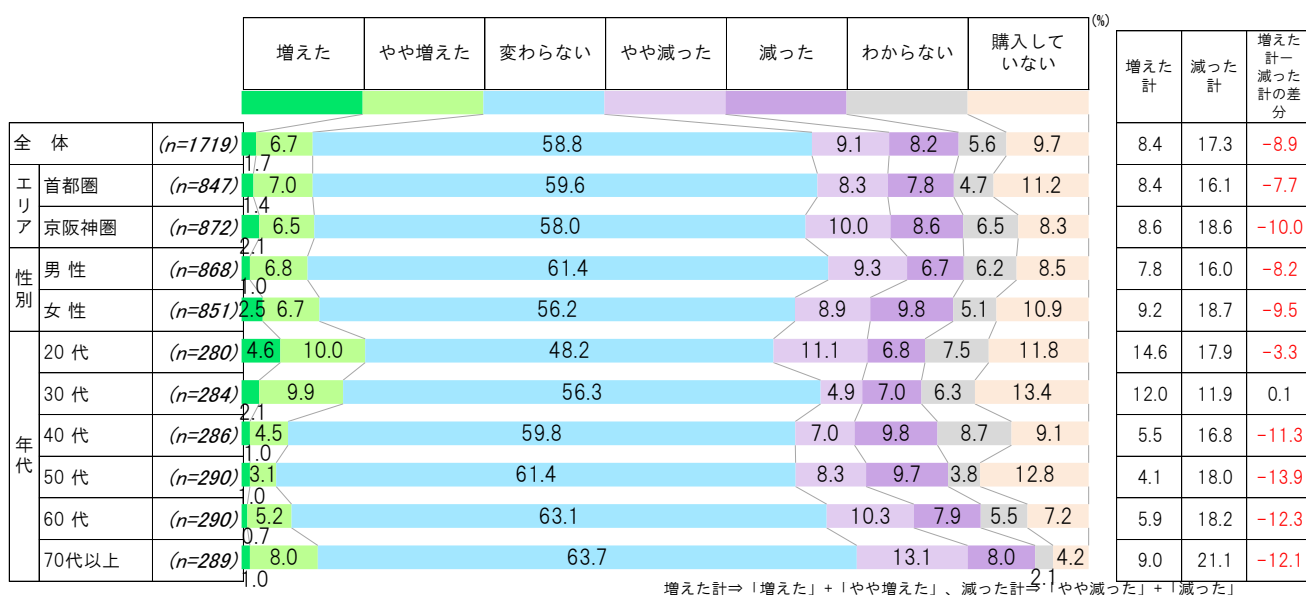
図表 19 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化(全体)

食肉全体の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別では大きな違いは見られないが、性別に見ると、男性 11.6%より女性 15.2%の方が、増加者が多い。年代別に見ると、20代が 23.3%、30代が 19.6%と若い世代の方が、増加者が多い。一方「減った計」で見ると、70代以上が 14.3%、50代が 13.7%と多く、20代も 12.4%と多い。



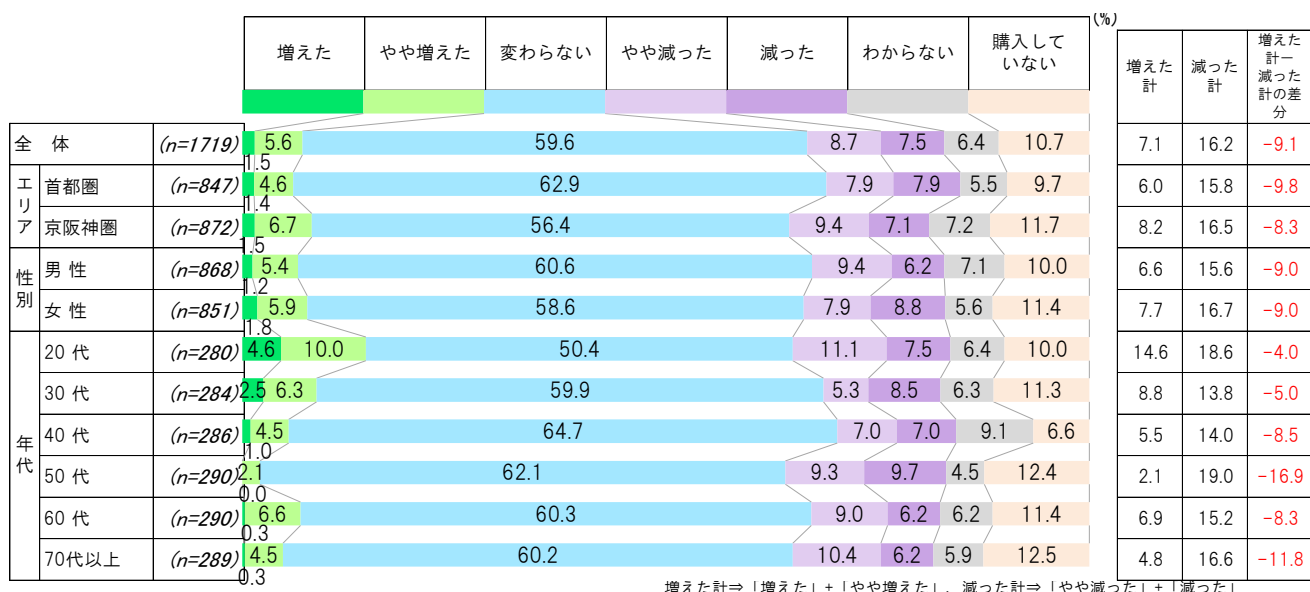
図表 20 昨年同期と比べた最近1か月の食肉全体の購入回数の変化

国産和牛の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が 14.6%、30代が 12.0%と若い世代の方が増加者は多い。「減った計」は70代以上で 21.1%と多い。



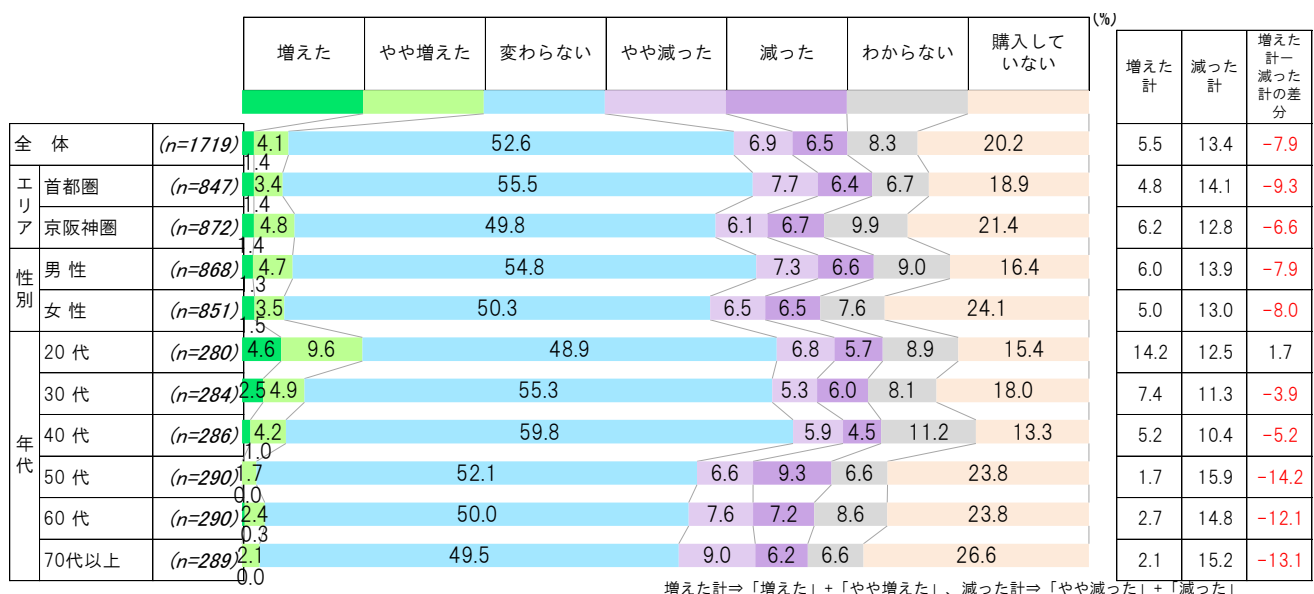
図表 21 昨年同期と比べた最近1か月の国産和牛の購入回数の変化

和牛以外の国産牛肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が14.6%と多い。「減った計」で見ると、50代が19.0%、20代が18.6%と多い。



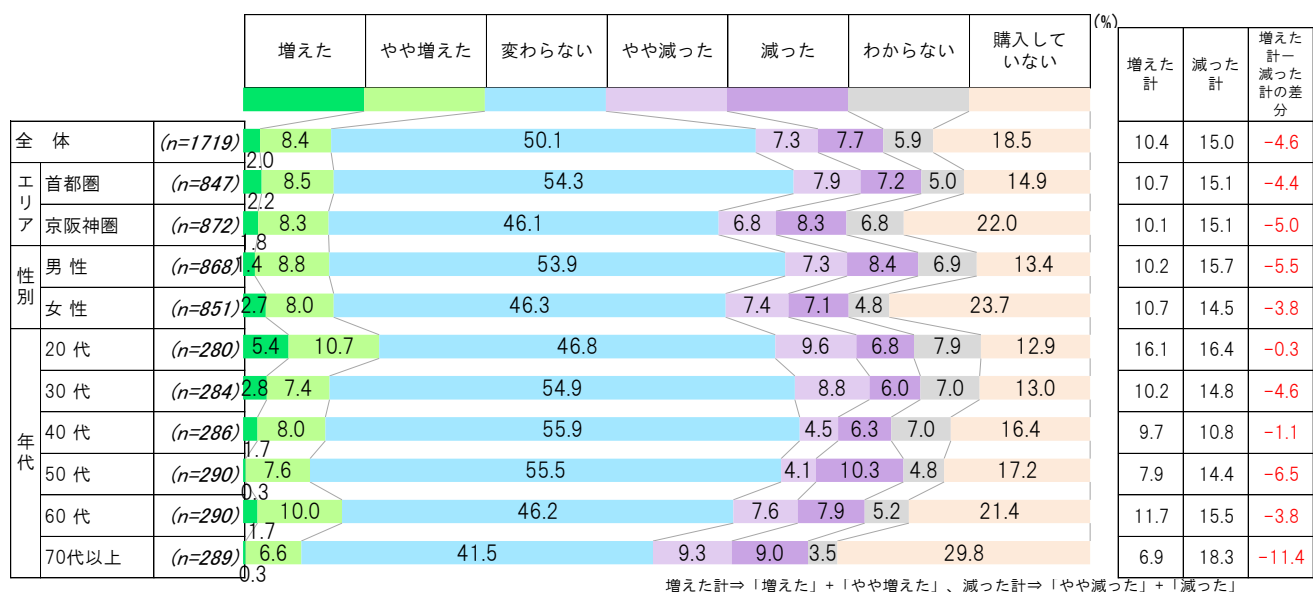
図表 22 昨年同期と比べた最近1か月の和牛以外の国産牛肉の購入回数の変化

和牛かどうかわからない国産牛肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が14.2%と多い。「減った計」で見ると、50代が15.9%、60代が14.8%、70代以上が15.2%と多くなっている。



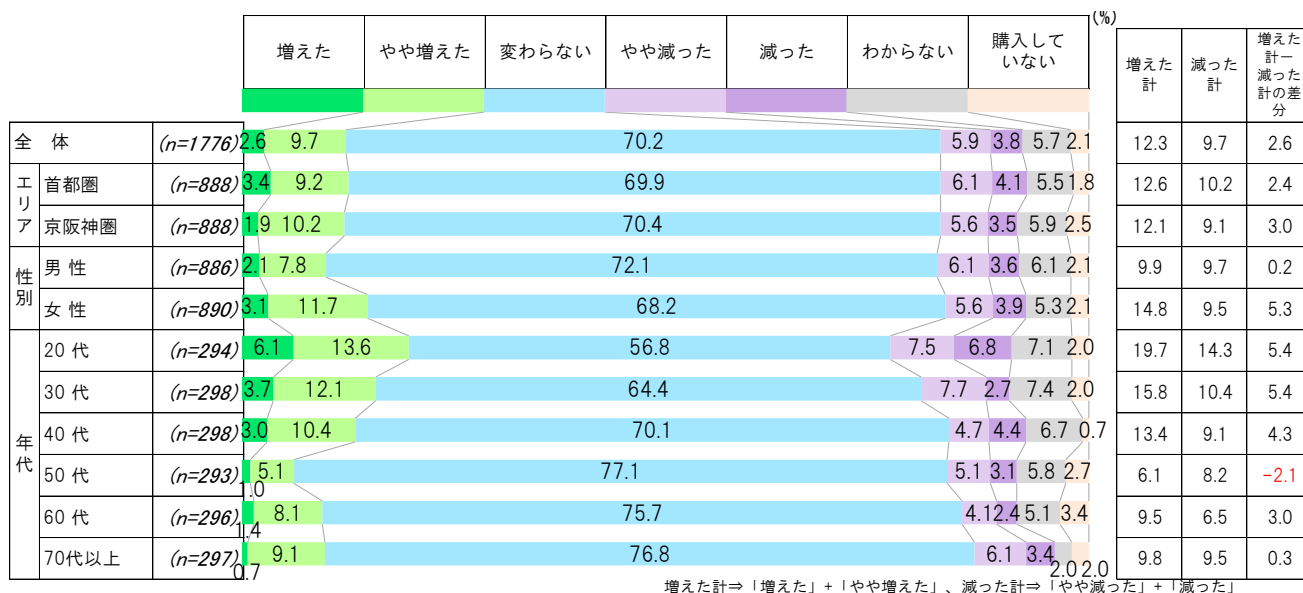
図表 23 昨年同期と比べた最近1か月の和牛かどうかわからない国産牛肉の購入回数の変化

輸入牛肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が16.1%と多い。「減った計」で見ると、70代以上が18.3%、60代が15.5%と年代が高い方が多い。



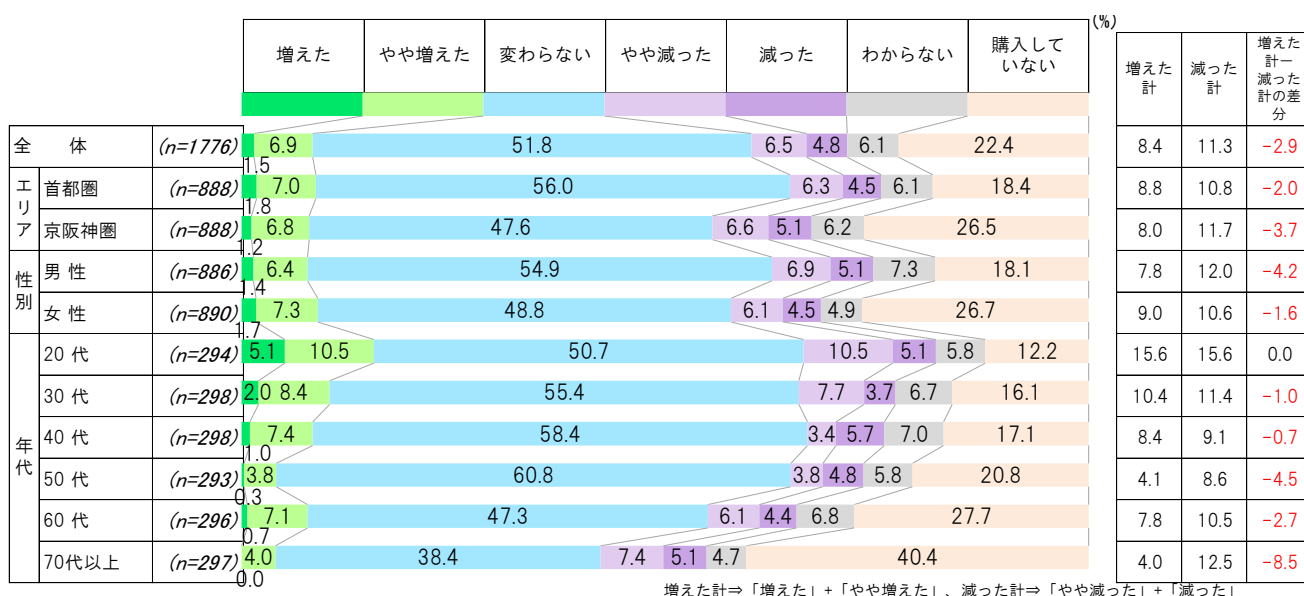
図表 24 昨年同期と比べた最近1か月の輸入牛肉の購入回数の変化

国産豚肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別では大きな違いは見られないが、性別に見ると、男性 9.9%より女性 14.8%の方が、増加者が多い。年代別に見ると、20代が 19.7%、30代が 15.8%と若い世代の方が増加者が多い。一方「減った計」で見ると、20代が 14.3%と最も多く、20代は増加者と減少者ともに他の年代より多くなっている。



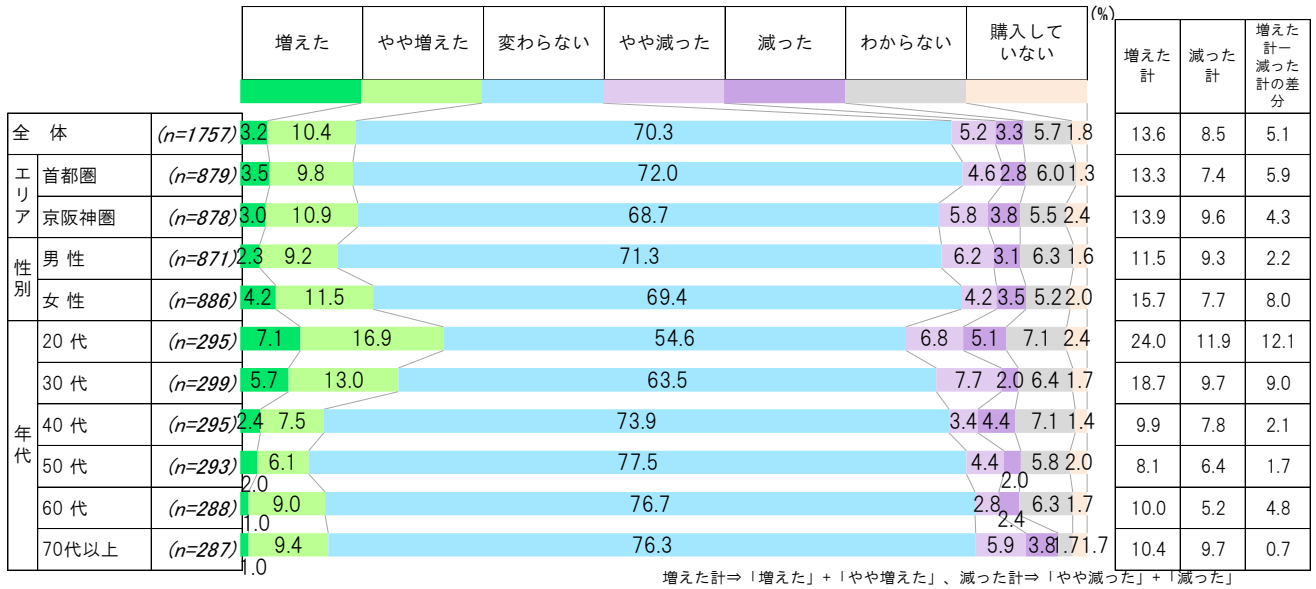
図表 25 昨年同期と比べた最近1か月の国産豚肉の購入回数の変化

輸入豚肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が 15.6%、30代が 10.4%と若い世代の方が増加者が多い。一方「減った計」で見ると、20代が 15.6%と最も多く、20代は増加者と減少者ともに他の年代より多くなっている。



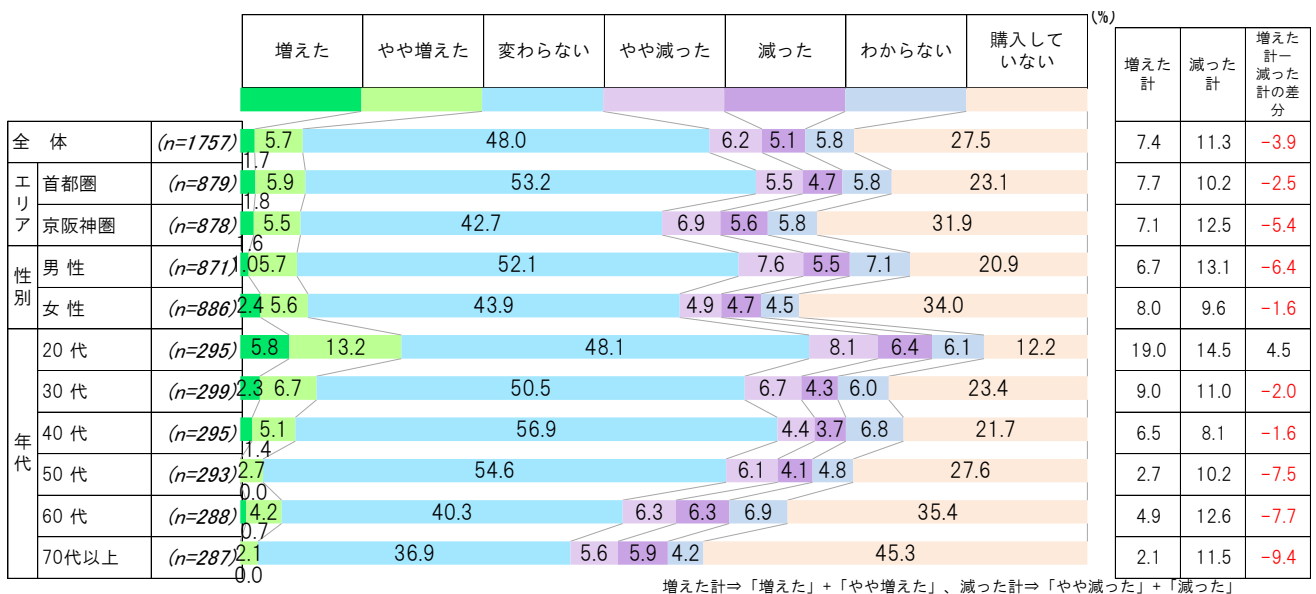
図表 26 昨年同期と比べた最近1か月の輸入豚肉の購入回数の変化

国産鶏肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別では大きな違いは見られないが、性別に見ると、男性 11.5%より女性 15.7%の方が、増加者が多い。年代別に見ると、20代が 24.0%、30代が 18.7%と若い世代の方が増加者が多い。一方「減った計」で見ると、20代が 11.9%と最も多く、30代と70代以上が 9.7%と多い。



図表 27 昨年同期と比べた最近1か月の国産鶏肉の購入回数の変化

輸入鶏肉の購入回数の変化を「増えた計」の比率で見ると、エリア別・性別では大きな違いは見られないが、年代別に見ると、20代が 19.0%と多い。一方「減った計」で見ると、20代が 14.5%と最も多く、60代が 12.6%と多い。



図表 28 昨年同期と比べた最近1か月の輸入鶏肉の購入回数の変化

また、昨年同期と比べた最近1カ月間の購入回数が「増えた食品」（Q10／複数回答）は、「野菜」23.2%、「パン」21.0%、「卵」18.9%、「牛乳」17.2%、「果物」17.0%に多い。増えたものは「いずれもない」が44.4%である。

逆に、最近1カ月間の購入回数が「減った食品」（Q10／複数回答）は、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」24.4%、「ファストフード」23.8%、「弁当・惣菜類」18.2%、「菓子類」18.0%、「米」16.4%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が43.4%である。

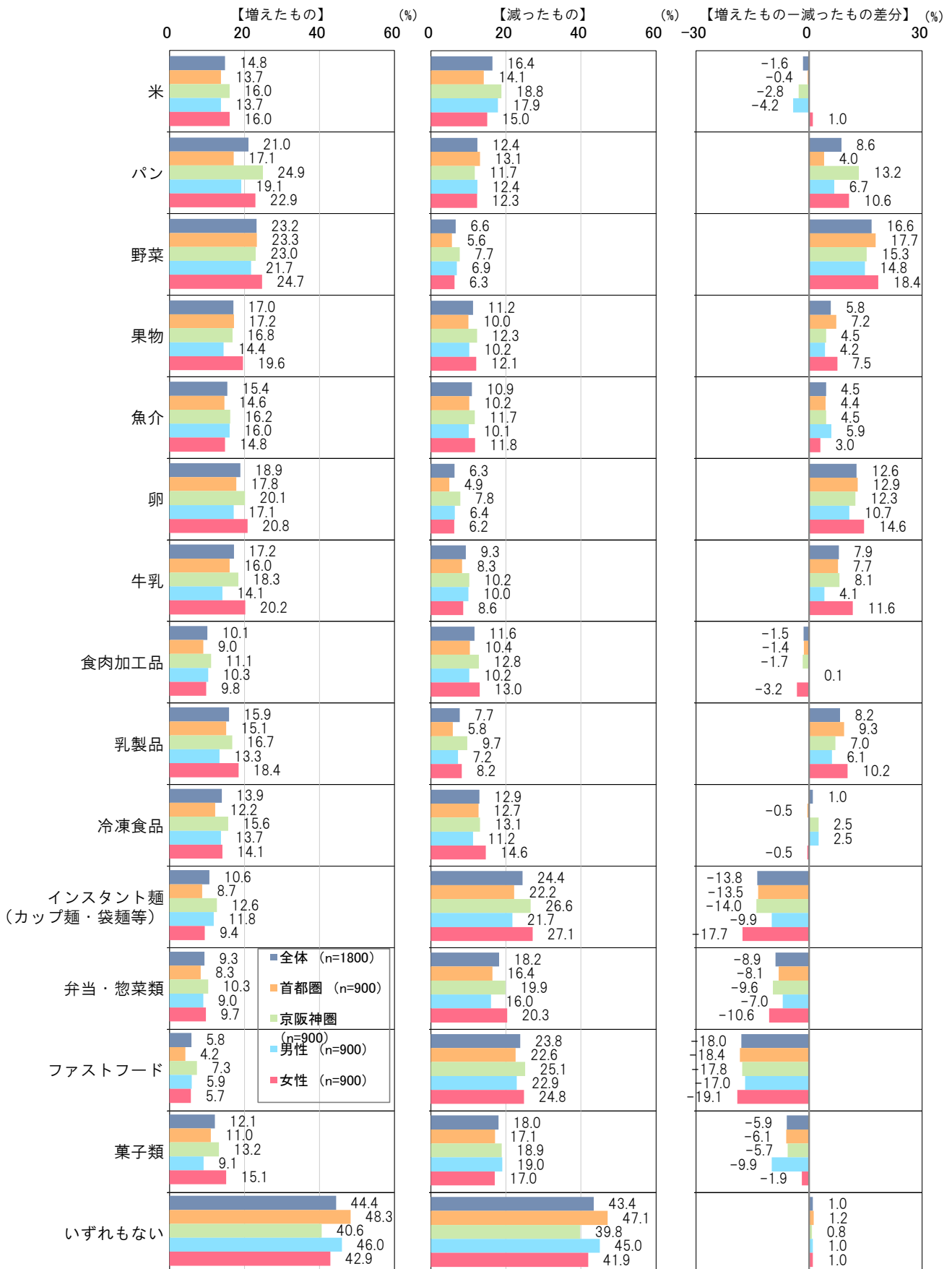
「増えた計」と「減った計」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は、「野菜」16.6%、「卵」12.6%、「パン」8.6%、「乳製品」8.2%、「牛乳」7.9%、「果物」5.8%である。

エリア別に見ると、「増えた食品」では、「パン」は首都圏が17.1%、京阪神圏が24.9%と京阪神圏の方が多い。「減った食品」では、「米」は首都圏が14.1%、京阪神圏が18.8%と京阪神圏の方が多い。

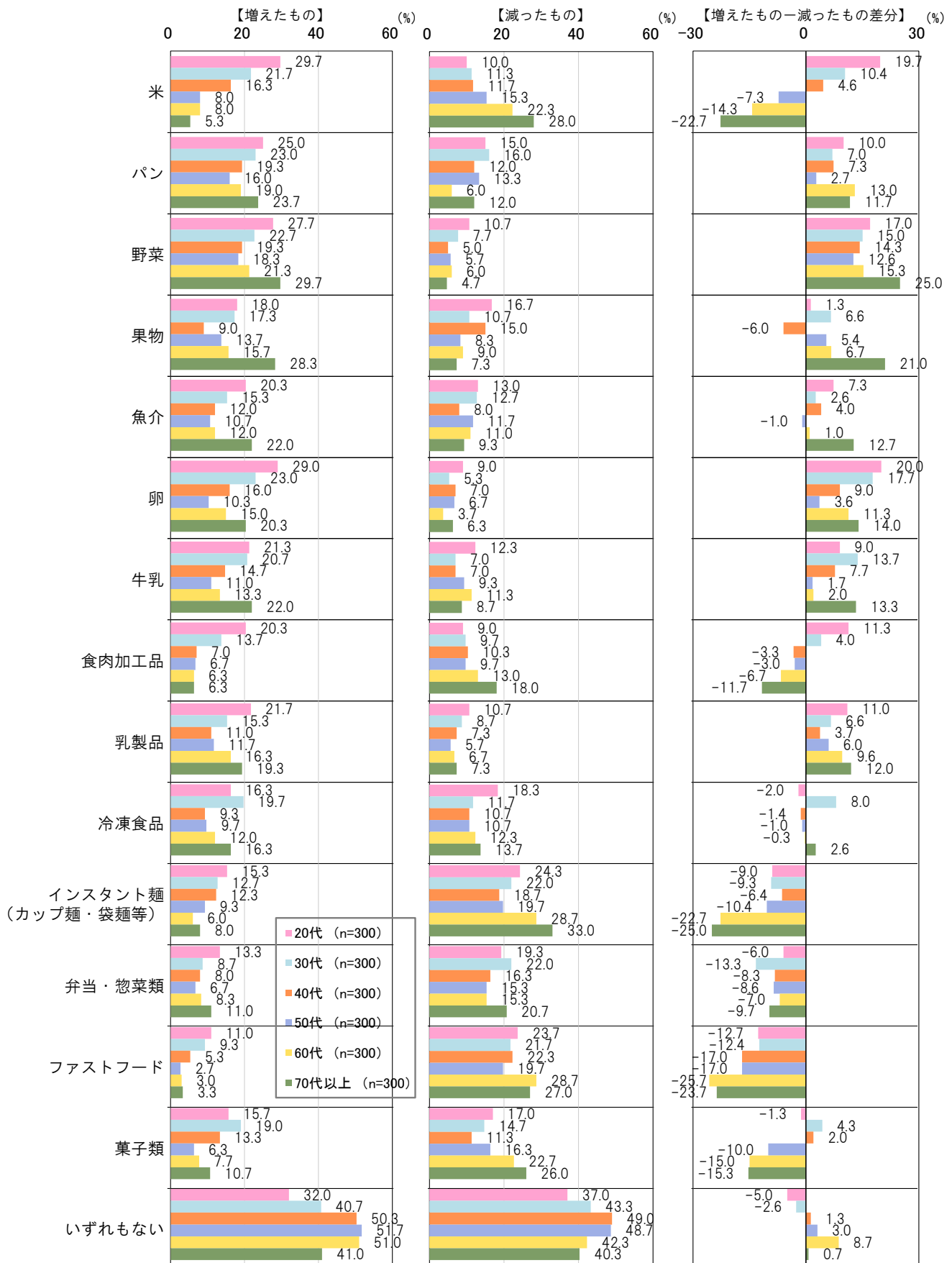
男女別に見ると、「増えた食品」では、「果物」（男性14.4%＜女性19.6%）、「牛乳」（男性14.1%＜女性20.2%）、「乳製品」（男性13.3%＜女性18.4%）、「菓子類」（男性9.1%＜女性15.1%）が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」は男性が21.7%、女性が27.1%と女性の方が多い。

年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」「パン」「卵」「食肉加工品」「乳製品」「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」「弁当・惣菜類」「ファストフード」は20代で最も多く、「野菜」「果物」「魚介」は70代以上で最も多くなっている。

一方、「減った食品」では、「果物」「冷凍食品」は20代でも最も多く、「米」「食肉加工品」「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」「菓子類」は70代以上で最も多くなっている。



図表 29 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 30 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）

3) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（Q12）のエリア・性・年代別分析

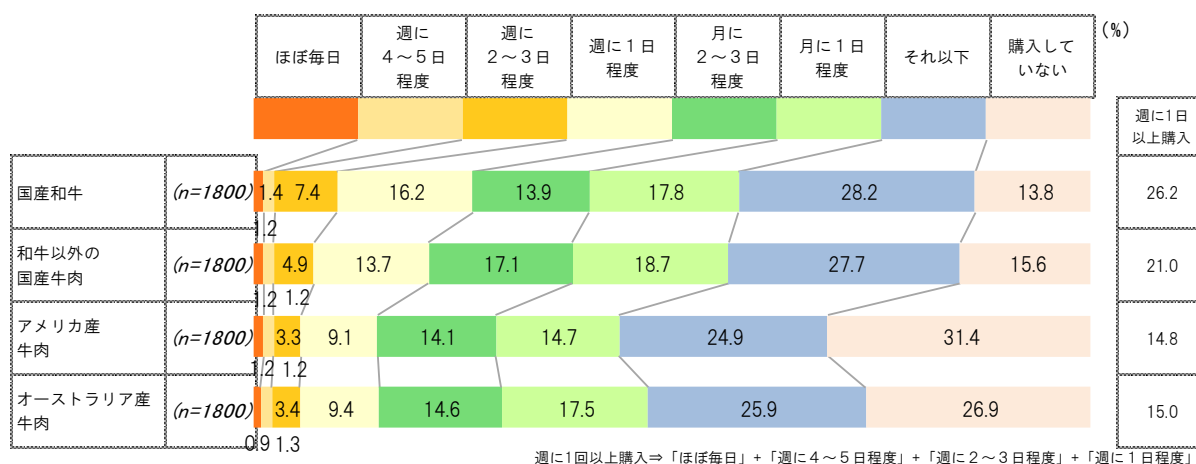
各種牛肉の購入頻度（Q12）は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が1.2%、「週に4~5日程度」が1.4%、「週に2~3日」が7.4%、「週に1日程度」が16.2%であり、「週に1日以上購入計」が26.2%となっており、「購入していない」が13.8%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.2%、「週に4~5日程度」が1.2%、「週に2~3日」が4.9%、「週に1日程度」が13.7%であり、「週に1日以上購入計」が21.0%となっており、「購入していない」が15.6%である。

アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.2%、「週に4~5日程度」が1.2%、「週に2~3日」が3.3%、「週に1日程度」が9.1%であり、「週に1日以上購入計」が14.8%となっており、「購入していない」が31.4%である。

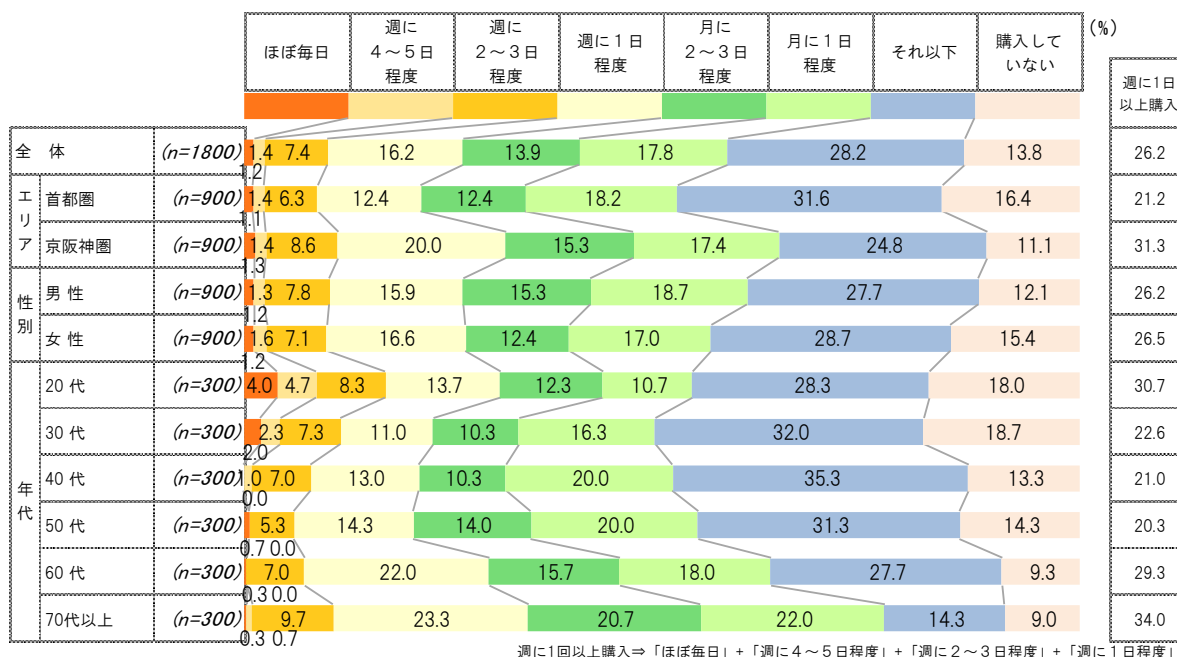
オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が0.9%、「週に4~5日程度」が1.3%、「週に2~3日」が3.4%、「週に1日程度」が9.4%であり、「週に1日以上購入計」が15.0%となっており、「購入していない」が26.9%である。

各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、国産和牛26.2%＞和牛以外の国産牛肉21.0%＞オーストラリア産牛肉15.0%＞アメリカ産牛肉14.8%の順に多くなっている。



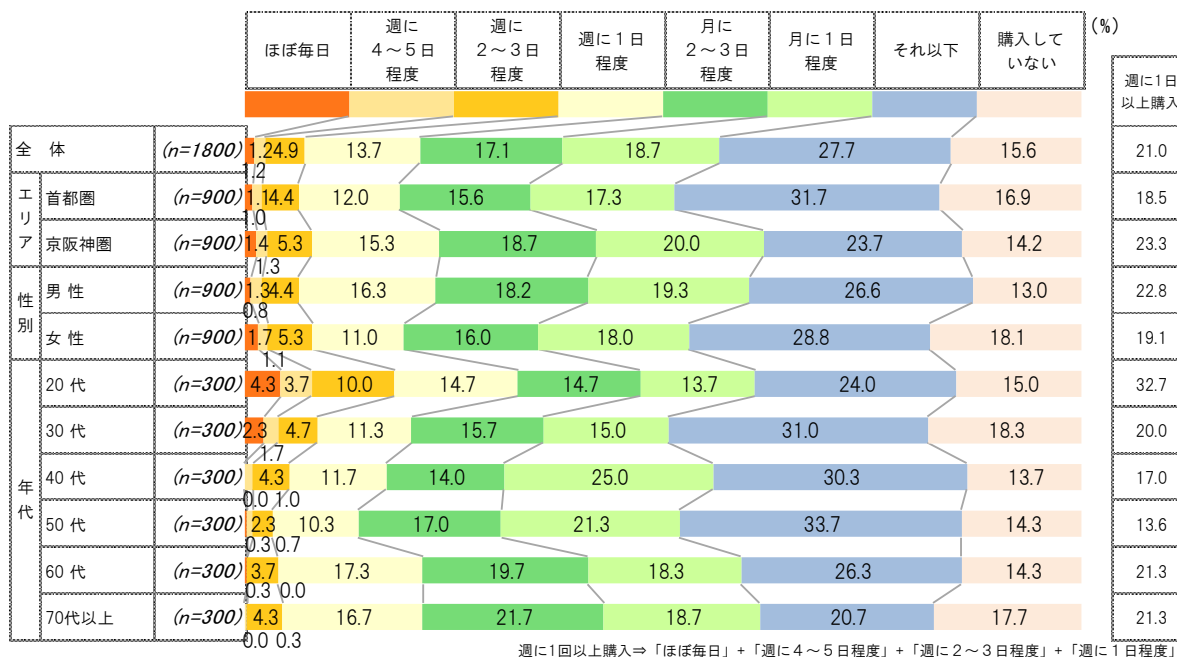
図表 31 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（全体）

国産和牛の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、エリア別では首都圏が21.2%、京阪神圏が31.3%と京阪神圏の方がやや多い。性別に見ると、大きな違いは見られない。年代別に見ると、70代以上が34.0%と最も多く、20代が30.7%、60代が29.3%と「週に1日以上」購入者が多くなっている。



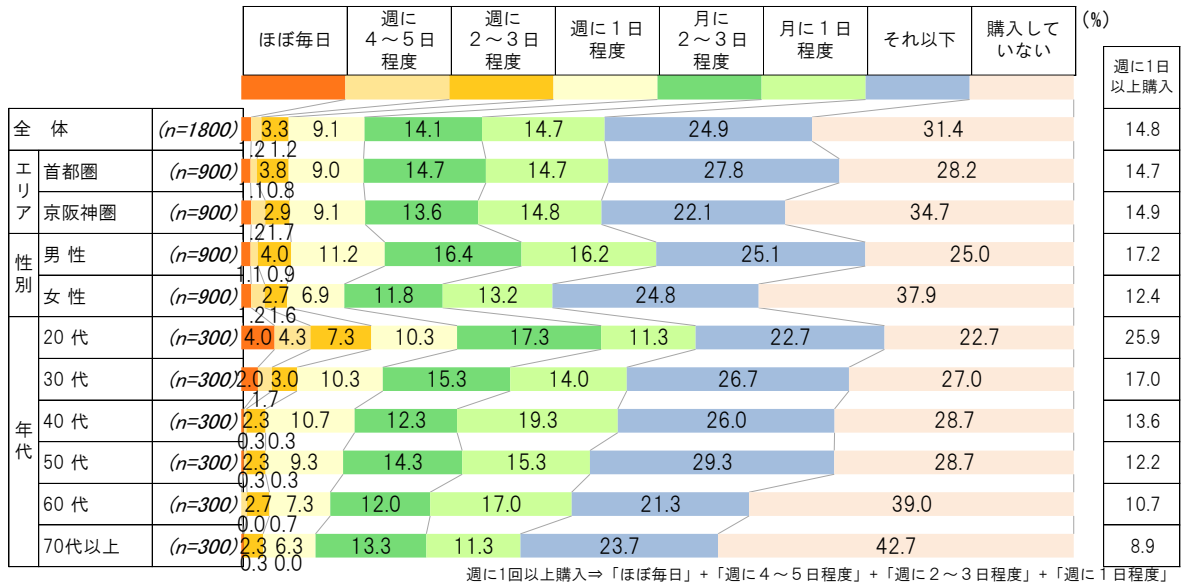
図表 32 国産和牛の購入頻度

和牛以外の国産牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、エリア別では首都圏が18.5%、京阪神圏が23.3%と京阪神圏の方がやや多く、性別に見ると、男性22.8%の方が女性19.1%よりやや多い。年代別に見ると、20代が32.7%と「週に1日以上」購入者が多くなっている。



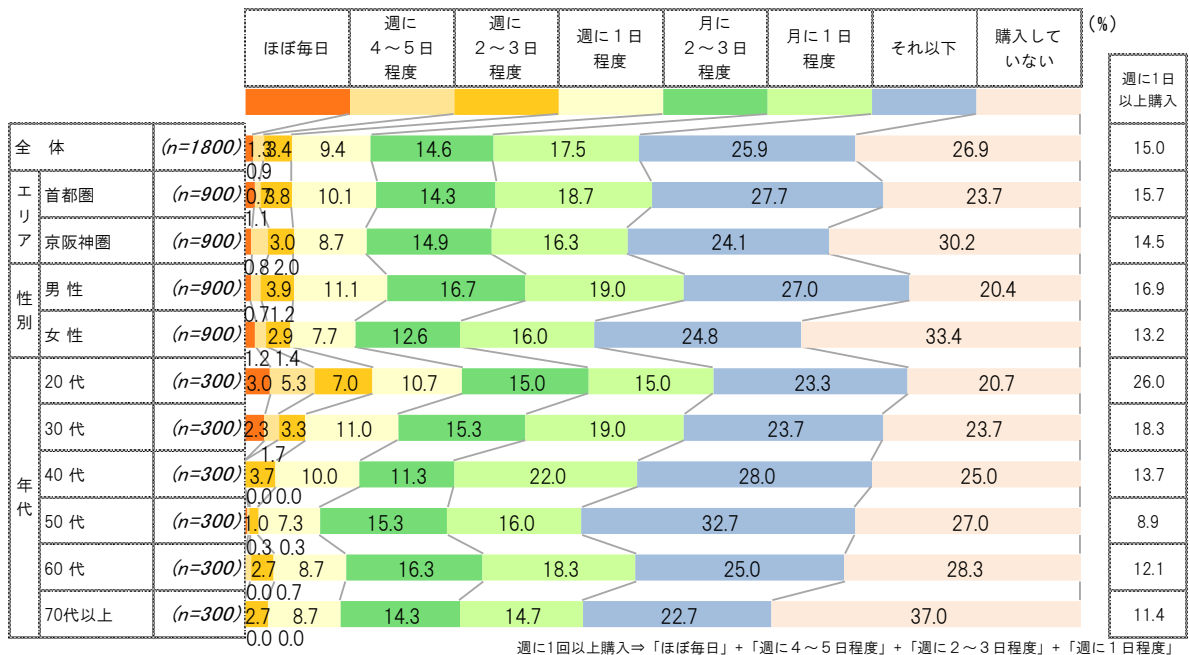
図表 33 和牛以外の国産牛肉の購入頻度

アメリカ産牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、エリア別では大きな違いがみられない。性別に見ると、男性17.2%の方が女性12.4%より多い。年代別に見ると、20代が25.9%と「週に1日以上」購入者が多くなっている。



図表 34 アメリカ産牛肉の購入頻度

オーストラリア産牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、エリア別では大きな違いがみられない。性別に見ると、男性16.9%の方が女性13.2%よりやや多い。年代別に見ると、20代が26.0%と「週に1日以上」購入者が多くなっている。



図表 35 オーストラリア産牛肉の購入頻度

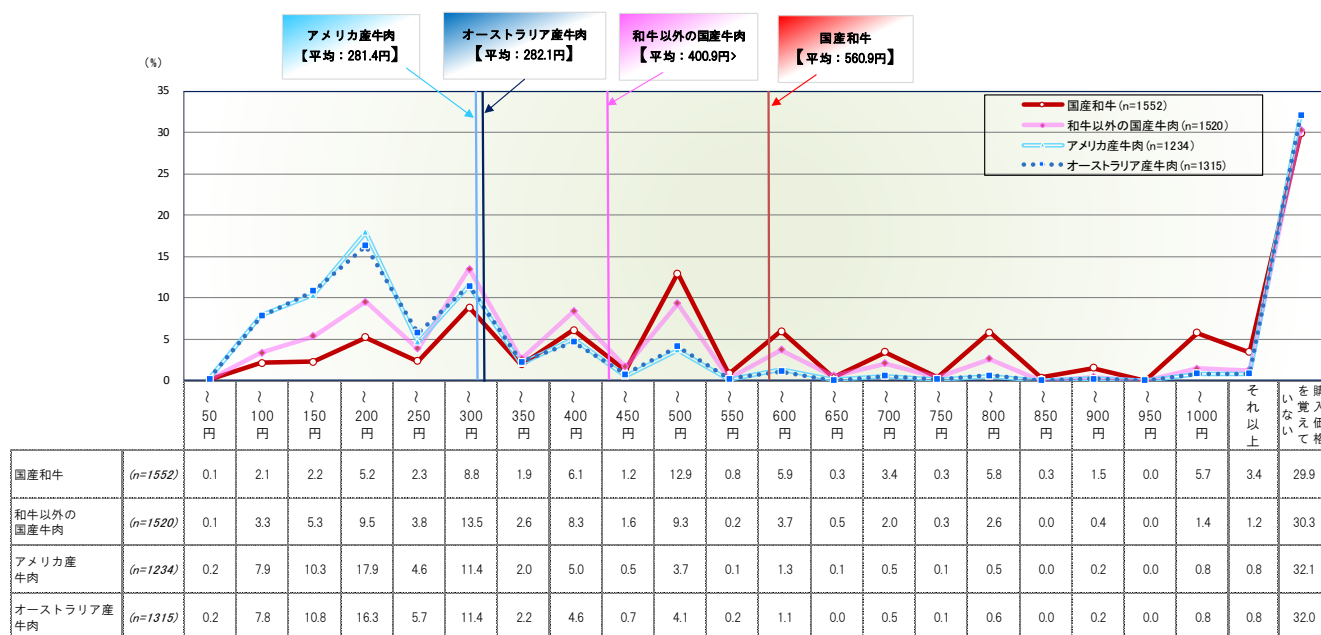
4) 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（Q13）と特徴分析

各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）（Q13）は、国産和牛平均 560.9 円、和牛以外の国産牛肉 平均 400.9 円、オーストラリア産牛肉平均 282.1 円、アメリカ産牛肉 平均 281.4 円の順に高い。

50 円幅の価格レンジで見ると、国産和牛の普段の購入価格は、「451～500 円」が 12.9%と最も多く、次いで「251～300 円」が 8.8%、「351～400 円」が 6.1%、「551～600 円」が 5.9%、「751～800 円」が 5.8%、「951～1,000 円」が 5.7%と多い。和牛以外の国産牛肉では、「251～300 円」が 13.5%と最も多く、次いで「151～200 円」が 9.5%、「451～500 円」が 9.3%、「351～400 円」が 8.3%と多い。

一方、オーストラリア産牛肉は、「151～200 円」が 16.3%と最も多く、次いで「251～300 円」が 11.4%、「101～150 円」が 10.8%と多い。アメリカ産牛肉も、「151～200 円」が 17.9%と最も多く、次いで「251～300 円」が 11.4%、「101～150 円」が 10.3%と多い。

いずれの牛肉も、「購入価格を覚えていない」が 3 割前後いる。



図表 36 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格
（100 g あたりの税込価格）（全体）

※比率（%）は、各種牛肉の購入者ベース（「購入価格を覚えていない」回答者を含む）で算出した。
各種牛肉の「普段の購入価格」の平均（円）は、各々「購入価格を覚えていない」と回答した人を除いた普段の購入価格の回答者ベースで算出した。

各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の統計値、及び、回答値の回答件数のTop10を以下にまとめた。

【国産和牛】

国産和牛の購入者(n)	1,552
「普段の購入価格」の回答者(n)	1,088
平均値(円)	560.9円
最頻値(円)	500.0円
中央値(円)	300.0円
最小値(円)	50.0円
最大値(円)	3,000.0円
標準偏差	409.2
「普段の購入価格」回答件数 Top10	n (%)
500円	(n=181) 11.7
300円	(n=111) 7.2
800円	(n=83) 5.3
1,000円	(n=83) 5.3
600円	(n=71) 4.6
400円	(n=67) 4.3
200円	(n=60) 3.9
700円	(n=43) 2.8
250円	(n=32) 2.1
350円	(n=28) 1.8

【和牛以外の国産牛肉】

和牛以外の国産牛肉の購入者(n)	1,520
「普段の購入価格」の回答者(n)	1,059
平均値(円)	400.9円
最頻値(円)	300.0円
中央値(円)	250.0円
最小値(円)	50.0円
最大値(円)	3,000.0円
標準偏差	310.8
「普段の購入価格」回答件数 Top10	n (%)
300円	(n=156) 10.3
500円	(n=132) 8.7
400円	(n=100) 6.6
200円	(n=97) 6.4
250円	(n=52) 3.4
150円	(n=43) 2.8
600円	(n=40) 2.6
800円	(n=34) 2.2
350円	(n=33) 2.2
100円	(n=32) 2.1

【アメリカ産牛肉】

アメリカ産牛肉の購入者(n)	1,234
「普段の購入価格」の回答者(n)	953
平均値(円)	191.1円
最頻値(円)	200.0円
中央値(円)	150.0円
最小値(円)	50.0円
最大値(円)	2,005.0円
標準偏差	235.3
「普段の購入価格」回答件数 Top10	n (%)
200円	(n=138) 11.2
300円	(n=117) 9.5
150円	(n=70) 5.7
100円	(n=62) 5.0
400円	(n=51) 4.1
250円	(n=49) 4.0
500円	(n=45) 3.6
198円	(n=31) 2.5
350円	(n=23) 1.9
180円	(n=22) 1.8

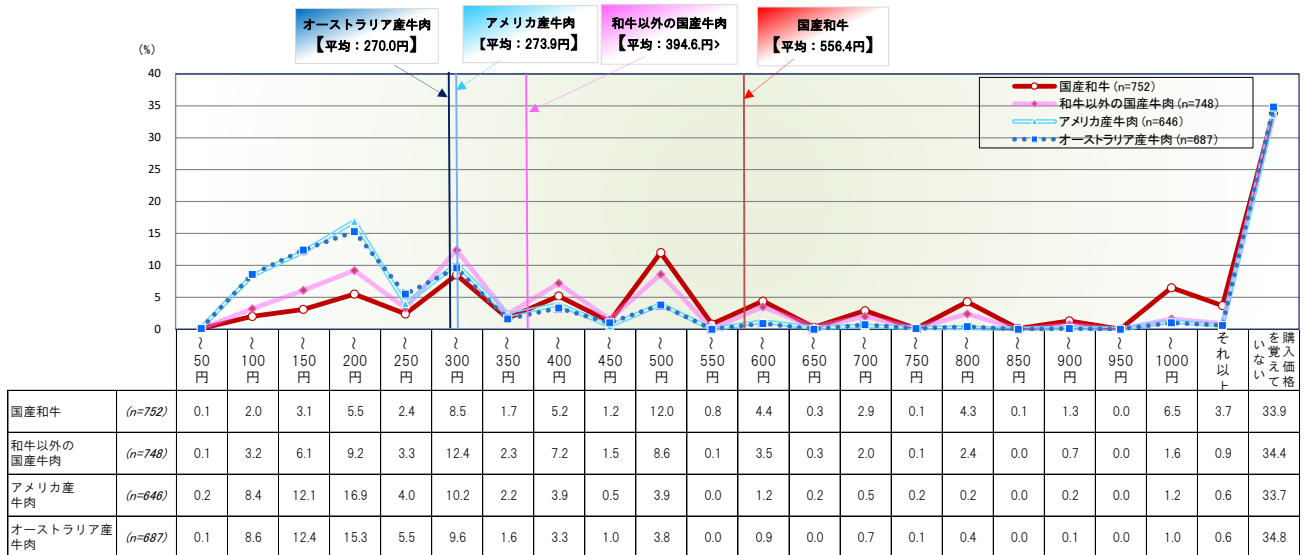
【オーストラリア産牛肉】

オーストラリア産牛肉の購入者(n)	1,315
「普段の購入価格」の回答者(n)	894
平均値(円)	282.1円
最頻値(円)	200.0円
中央値(円)	150.0円
最小値(円)	50.0円
最大値(円)	2,005.0円
標準偏差	234.9
「普段の購入価格」回答件数 Top10	n (%)
200円	(n=137) 10.4
300円	(n=121) 9.2
150円	(n=65) 4.9
250円	(n=63) 4.8
100円	(n=61) 4.6
500円	(n=50) 3.8
400円	(n=47) 3.6
198円	(n=29) 2.2
180円	(n=27) 2.1
120円	(n=25) 1.9

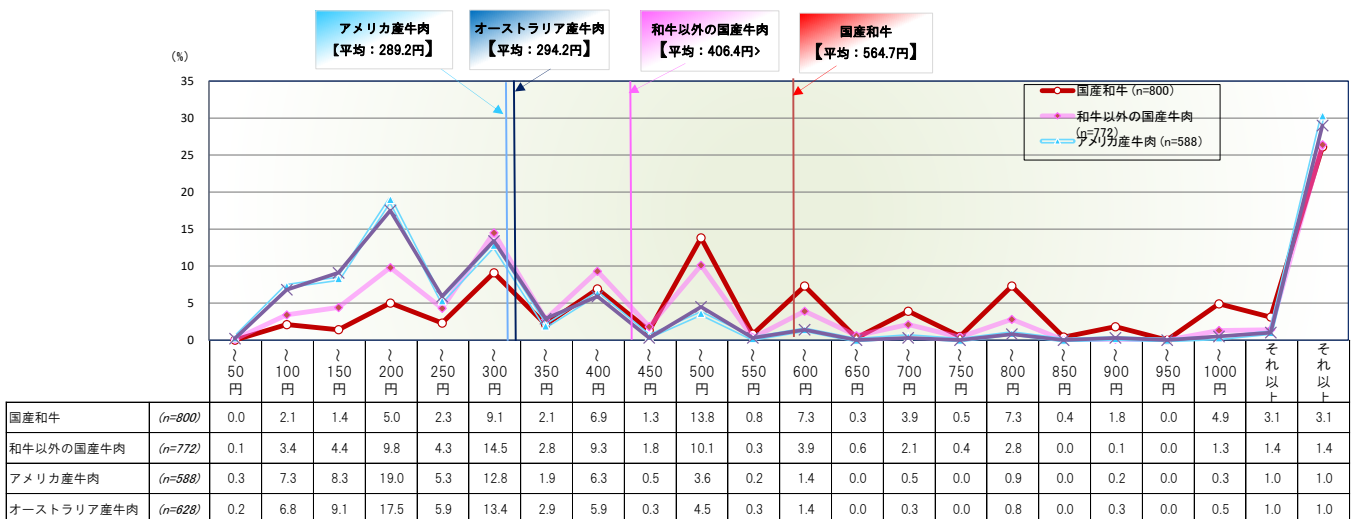
図表 37 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の統計値・回答値の回答件数Top10まとめ（全体）

※比率（%）は、各種牛肉の購入者ベース（「購入価格を覚えていない」回答者を含む）で算出した。
各種牛肉の「普段の購入価格」の平均（円）は、各々「購入価格を覚えていない」と回答した人を除いた普段の購入価格の回答者ベースで算出した。

エリア別に各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）を見ると、首都圏では、国産和牛 平均 556.4 円、和牛以外の国産牛肉 平均 394.6 円、アメリカ産牛肉 平均 273.9 円、オーストラリア産牛肉 平均 270.0 円の順に高い。京阪神圏では、国産和牛 平均 564.7 円、和牛以外の国産牛肉 平均 406.4 円、オーストラリア産牛肉 平均 294.2 円、アメリカ産牛肉 平均 289.2 円の順に高い。エリア別に見ても、各種牛肉の普段の購入価格に大きな違いは見られない。



図表 38 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）（エリア別/首都圏）



図表 39 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）（エリア別/京阪神圏）

※比率（%）は、各種牛肉の購入者ベース（「購入価格を覚えていない」回答者を含む）で算出した。各種牛肉の「普段の購入価格」の平均（円）は、各々「購入価格を覚えていない」と回答した人を除いた普段の購入価格の回答者ベースで算出した。

全体・エリア別・性別・年代別に、各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の平均値をまとめた。

性別では、各種牛肉の普段の購入価格の平均値に大きな違いは見られない。

年代別では、20代は和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉については他の年代に比して平均購入価格が高くなっており、他の年代よりも牛肉の価格を高め認識している。国産和牛は、20代と70代以上で平均購入価格が600円以上と高くなっている。

全体の購入平均価格より

+30円以上	+50円以上
-30円以下	-50円以下

	国産和牛		和牛以外の国産牛肉		アメリカ産牛肉		オーストラリア産牛肉		
	n	(円)	n	(円)	n	(円)	n	(円)	
全 体	(n=1552)	560.9	(n=1520)	400.9	(n=1234)	281.4	(n=1315)	282.1	
エ リ ア	首都圏	(n=752)	556.4	(n=748)	394.6	(n=646)	273.9	(n=687)	270.0
	京阪神圏	(n=800)	564.7	(n=772)	406.4	(n=588)	289.2	(n=628)	294.2
性 別	男 性	(n=791)	578.4	(n=783)	407.1	(n=675)	292.4	(n=716)	288.9
	女 性	(n=761)	544.8	(n=737)	395.1	(n=559)	269.3	(n=599)	274.8
年 代	20代	(n=246)	634.4	(n=255)	478.7	(n=232)	382.4	(n=238)	397.8
	30代	(n=244)	464.3	(n=245)	342.7	(n=219)	251.5	(n=229)	247.1
	40代	(n=260)	463.2	(n=259)	330.0	(n=214)	230.9	(n=225)	224.3
	50代	(n=257)	548.0	(n=257)	399.4	(n=214)	252.0	(n=219)	251.2
	60代	(n=272)	590.7	(n=257)	414.5	(n=183)	260.1	(n=215)	269.9
	70代以上	(n=273)	634.5	(n=247)	421.4	(n=172)	297.7	(n=189)	287.8

図表 40 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の
普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の平均値まとめ

※各種牛肉の「普段の購入価格」の平均（円）は、各々「購入価格を覚えていない」と回答した人を除いた普段の購入価格の回答者ベースで算出した。

世帯年収（Q55）・当該牛肉を家庭内で食べる場面（Q17）・当該牛肉を家庭内で食べる料理（Q18）に、各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の平均値をまとめた。

世帯年収では、1000万円以上で、国産和牛、和牛以外の国産牛肉の平均購入価格が全体より高い。

家庭内で食べる場面では、「家族のリクエスト」「お盆」「クリスマス」「お正月」など『ハレの日』で食べる場面がある消費者層で平均購入価格が高い。

家庭内で食べる料理では、国産和牛では、「シチュー」「炒め物」「ステーキ」「鍋・しゃぶしゃぶ」を食べる消費者層で平均購入価格が全体より高くなっている。和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は、料理別では購入価格の平均値に大きな違いは見られない

全体の購入平均価格より +30円以上 -30円以下 +50円以上 -50円以下

	国産和牛		和牛以外の国産牛肉		アメリカ産牛肉		オーストラリア産牛肉		
	n	(円)	n	(円)	n	(円)	n	(円)	
全 体	(n=1552)	560.9	(n=1520)	400.9	(n=1234)	281.4	(n=1315)	282.1	
世帯年収	300万円未満	(n=240)	565.2	(n=235)	401.7	(n=200)	278.7	(n=210)	276.3
	300～500万円未満	(n=325)	549.0	(n=332)	382.9	(n=267)	265.4	(n=286)	270.2
	500～700万円未満	(n=276)	540.9	(n=267)	408.0	(n=223)	270.8	(n=239)	284.3
	700～1000万円未満	(n=253)	585.7	(n=244)	416.6	(n=214)	310.8	(n=220)	309.7
	1000万円以上	(n=158)	621.5	(n=155)	450.1	(n=110)	297.6	(n=124)	270.7
	答えたくない／わからない	(n=300)	528.8	(n=287)	369.2	(n=220)	275.0	(n=236)	278.8
	家庭内で食べる場面	日常の食材	(n=600)	554.1	(n=830)	398.6	(n=758)	259.3	(n=815)
休日		(n=409)	610.9	(n=308)	425.6	(n=164)	320.1	(n=172)	289.5
家族のリクエスト		(n=352)	626.8	(n=214)	485.2	(n=109)	369.6	(n=105)	383.3
友人との食事		(n=227)	610.7	(n=182)	451.3	(n=91)	384.6	(n=85)	366.1
自分へのご褒美		(n=439)	597.6	(n=169)	485.9	(n=69)	401.9	(n=72)	372.4
誕生日・記念日		(n=466)	600.2	(n=187)	424.7	(n=51)	346.8	(n=53)	416.0
お盆		(n=171)	624.7	(n=96)	501.7	(n=40)	420.0	(n=44)	411.7
クリスマス		(n=205)	647.0	(n=110)	502.5	(n=70)	426.0	(n=82)	382.3
お正月		(n=337)	634.4	(n=135)	502.6	(n=40)	520.0	(n=36)	449.3
バーベキューをする時		(n=175)	563.8	(n=252)	450.7	(n=321)	306.8	(n=329)	292.0
家庭内で食べる料理	焼き肉	(n=863)	558.2	(n=744)	406.2	(n=520)	275.4	(n=537)	275.3
	すき焼き	(n=965)	587.4	(n=610)	406.3	(n=219)	269.9	(n=218)	266.6
	ステーキ	(n=686)	603.1	(n=417)	425.4	(n=468)	281.3	(n=490)	281.5
	肉じゃが	(n=255)	544.1	(n=578)	421.9	(n=346)	275.2	(n=373)	272.7
	カレー	(n=232)	557.6	(n=525)	430.1	(n=452)	260.4	(n=467)	266.4
	シチュー	(n=154)	656.4	(n=383)	418.4	(n=321)	289.1	(n=332)	276.8
	丼物	(n=173)	587.8	(n=383)	428.9	(n=268)	275.2	(n=279)	272.0
	炒め物	(n=204)	630.5	(n=458)	424.6	(n=371)	267.5	(n=400)	260.8
鍋・しゃぶしゃぶ	(n=491)	601.5	(n=393)	402.8	(n=140)	272.7	(n=146)	285.3	

家庭内で食べる場面・料理のTop5

図表 41 世帯年収・家庭内で食べる場面・料理別の国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）の平均値まとめ

※各種牛肉の「普段の購入価格」の平均（円）は、各々「購入価格を覚えていない」と回答した人を除いた普段の購入価格の回答者ベースで算出した。

各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）（Q13）別に、世帯年収（Q55）を見た。

国産和牛の普段の購入価格が「501円以上」では、平均世帯年収が681.4万円と高い。「201～300円」「301～400円」「401～500円」のいずれも、平均世帯年収が600万円以上と全体の平均世帯年収より高い。

和牛以外の国産牛肉では、「201～300円」で世帯年収が655.4万円と高いが、「501円以上」では平均世帯年収が719.6万円と非常に高い。アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉では、「301～400円」で世帯年収が650万円以上と高い。アメリカ産牛肉では「501円以上」で平均世帯年収が712.0万円と非常に高い。

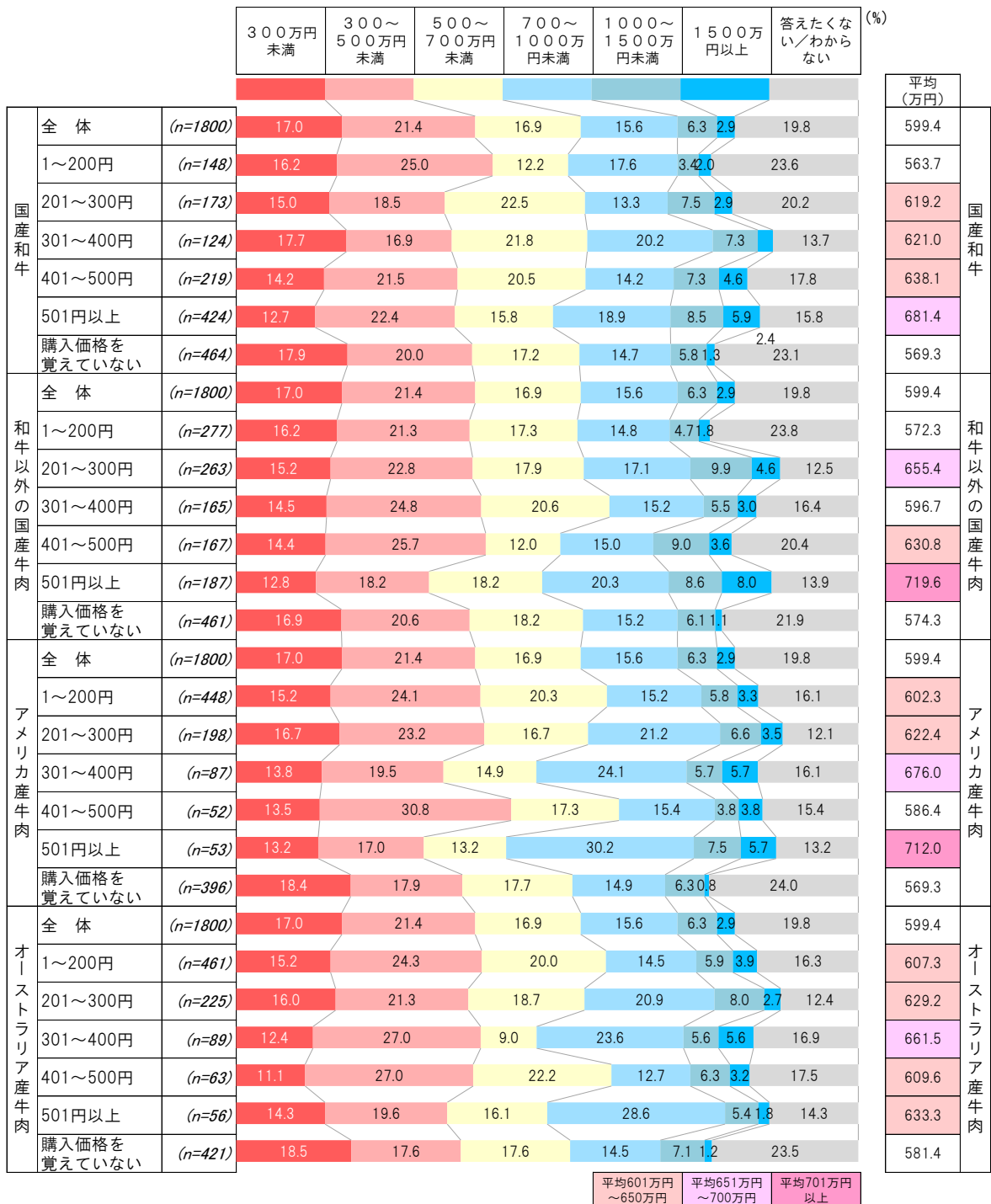


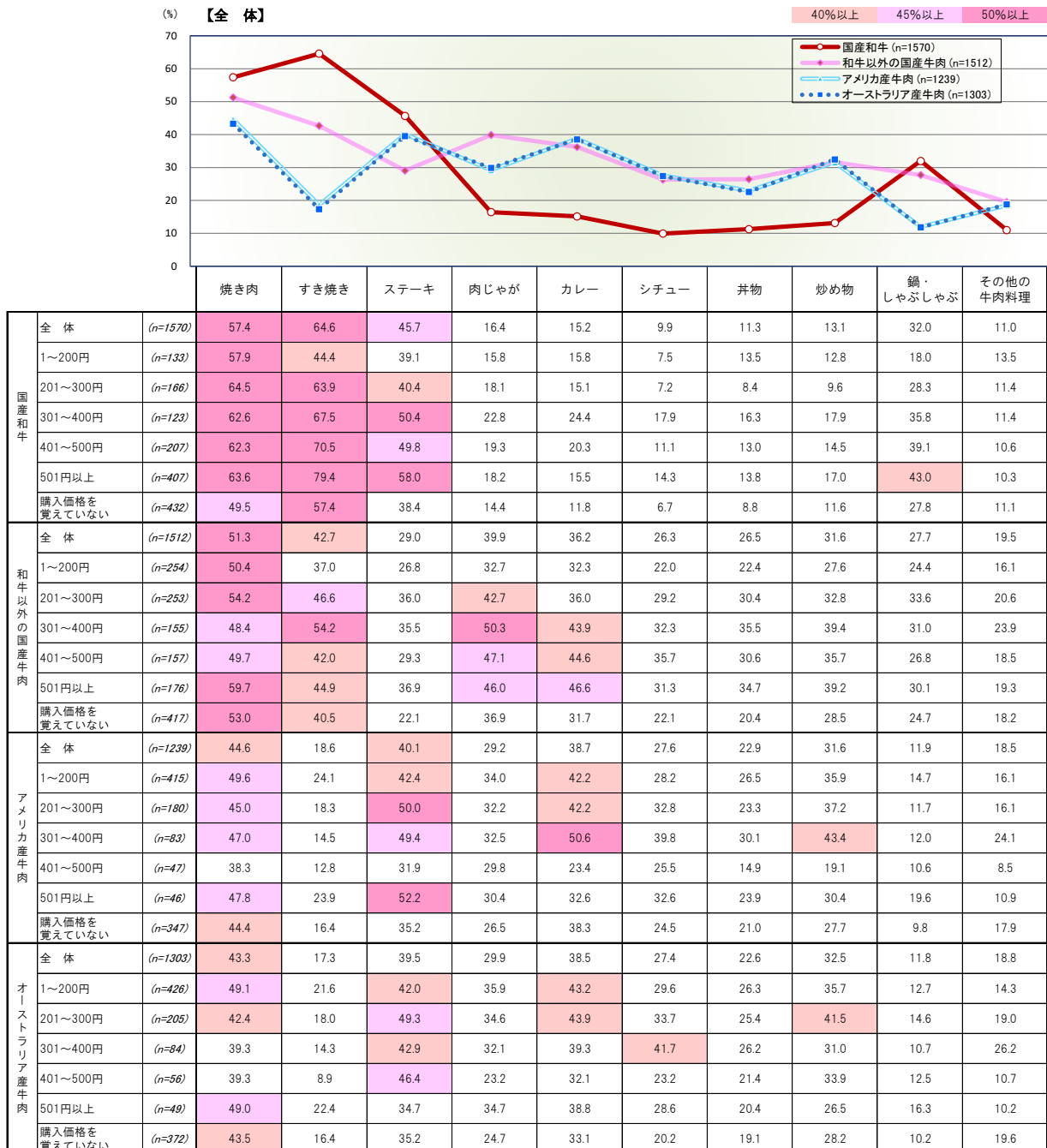
表 42 各種牛肉の普段（100gあたりの税込価格）の購入価格別の世帯年収

各種牛肉の普段の購入価格（100gあたりの税込価格）（Q13）別に、当該牛肉を家庭内で食べる主な料理（Q18）別を見た。（グラフは当該牛肉の全体である。）

国産和牛の普段の購入価格が「501円以上」では、「すき焼き」「焼き肉」「ステーキ」が50%以上と多く、「鍋・しゃぶしゃぶ」も43%と多い。

和牛以外の国産牛肉では、「301～400円」で「すき焼き」「肉じゃが」が50%以上と多い。

アメリカ産牛肉では、「301～400円」で、「カレー」が50.6%と多く、「焼き肉」「ステーキ」が45%以上、「炒め物」が43.4%と多くなっており、料理の用途が多岐に渡っている。オーストラリア産牛肉では、「201～300円」で、「ステーキ」が49.3%と多く、「カレー」「焼き肉」「炒め物」が40%以上と多くなっている。



図表 44 各種牛肉の普段（100gあたりの税込価格）の購入価格別の家庭内で食べる主な料理

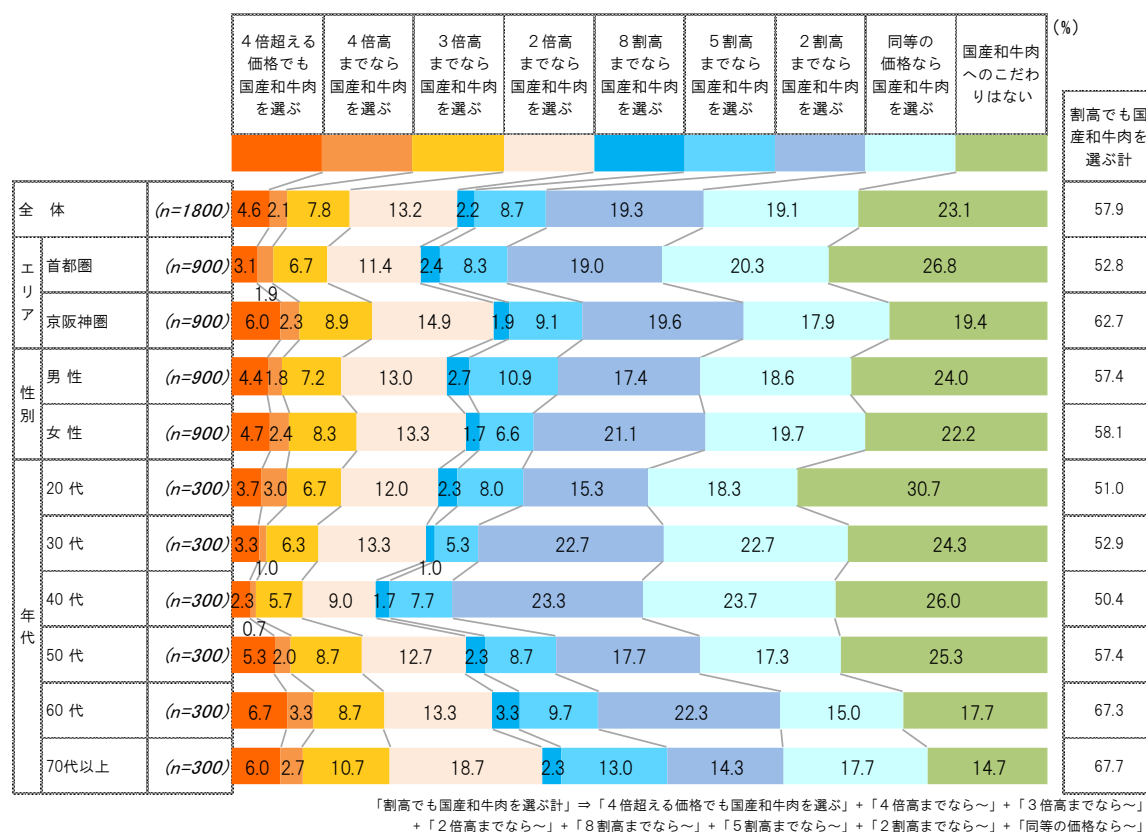
5) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 及び 順序プロビット回帰分析 (Q20・Q21)

国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q20) は、全体の 57.9%が「割高でも国産和牛肉を選ぶ」と回答した。

「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の比率をエリア別に見ると、首都圏は 52.8%だが、京阪神圏の方が 62.7%と多い。

性別に見ると、男性が 57.4%、女性が 58.1%と大きな違いは見られない。

年代別見ると、70代以上が 67.7%、60代が 67.3%と「割高でも国産和牛肉を選ぶ」と回答しており、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



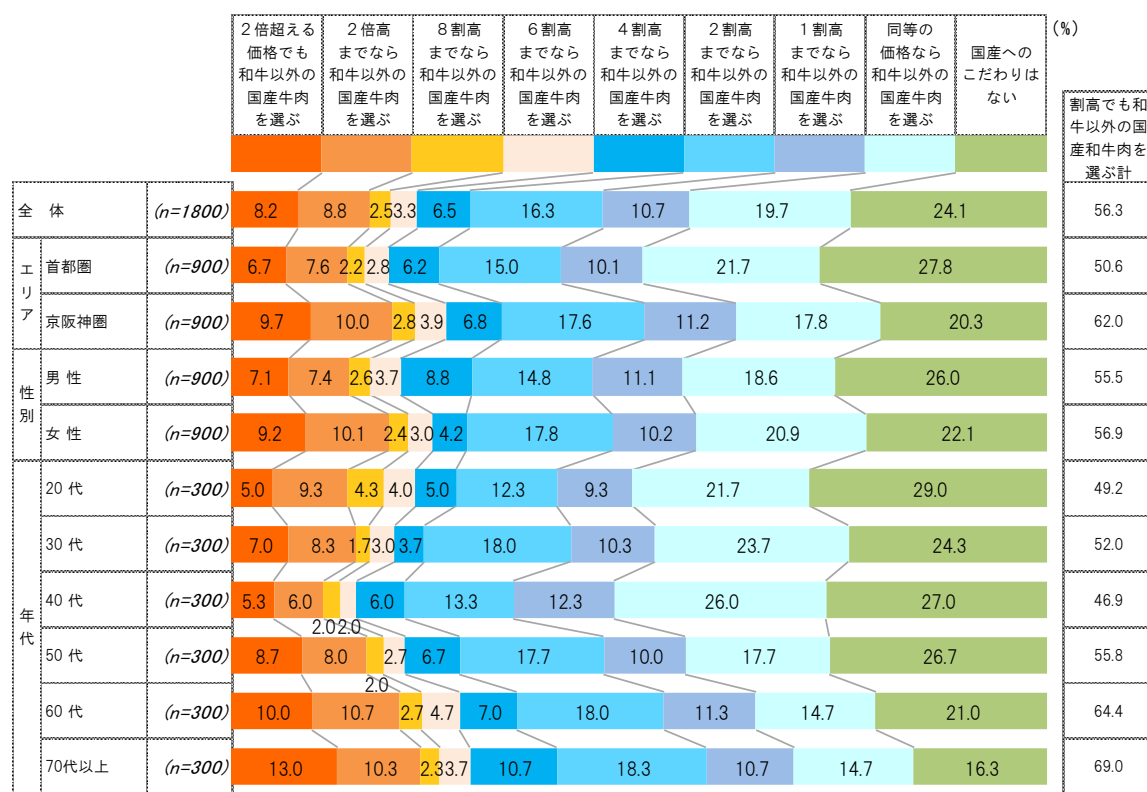
図表 45 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

また、和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q21）は、全体の56.3%が「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」と回答した。

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の比率をエリア別に見ると、首都圏は50.6%だが、京阪神圏の方が62.0%と多い。

性別に見ると、男性が55.5%、女性が56.9%と大きな違いは見られない。

年代別見ると、70代以上が69.0%、60代が64.4%と「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」と回答しており、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



「割高でも国産牛肉を選ぶ計」⇒「4倍を超える価格でも国産牛肉を選ぶ」+「4倍高までなら〜」+「3倍高までなら〜」+「2倍高までなら〜」+「8割高までなら〜」+「5割高までなら〜」+「2割高までなら〜」+「同等の価格なら〜」

図表 46 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

さらに、国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q20）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q21）を目的変数とし、国産牛肉に対するイメージ（Q16）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住エリア（Q1）・世帯年収（Q55））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。

<順序プロビット回帰分析に用いた目的変数・説明変数>

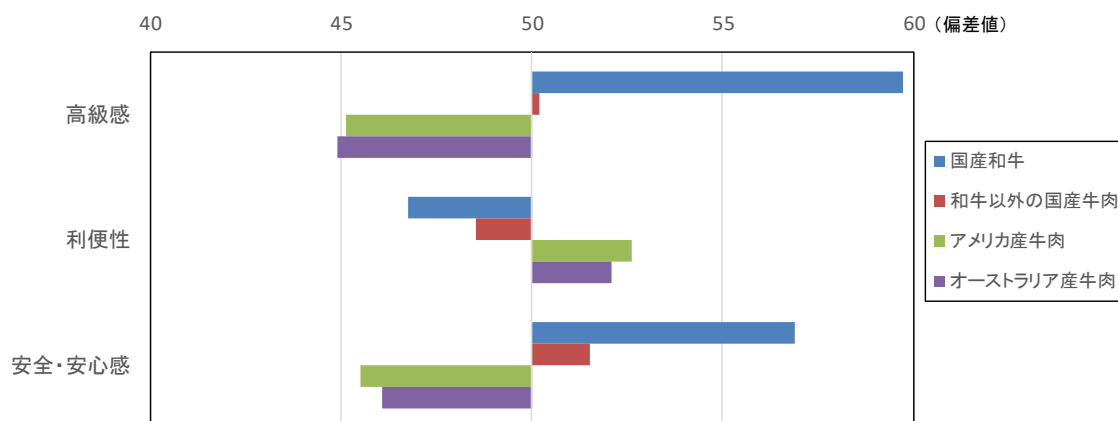
国産牛肉に対する価格許容度に関する設問回答 (Q20,Q21) を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数には、牛肉に対するイメージ項目と、性別や年齢などの消費者属性を利用する。まず国産牛肉に対する各イメージ項目 (当該イメージなし:0、当該イメージあり:1) (Q16) は、39項目と多項目になり、順序プロビット回帰分析を行う前に、因子分析を行い、少数の変数 (因子) に集約する。分析の手順として、国産牛肉と輸入牛肉も共通したイメージ構造を把握するために、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のイメージ項目を併合して分析を行った。イメージ項目は二値の離散変数であり、連続量を仮定する通常の因子分析ではなく、カテゴリカル因子分析 (多次元項目反応理論モデル) を利用した。因子数は、ガットマン基準 (テトラコリック相関係数行列の固有値が1以上の数) により3個とした。推定法には最尤法、因子の回転法にはオブリミン法、因子得点の推定法には事後期待値を用いて標準化を行った。その各項目で絶対値の最も高い因子負荷量をもとに項目を分類した結果を図表47に示す。

第1因子は「少量で満足」、「高級品」などの項目の因子負荷量が高く、『高級感』因子と解釈した。第2因子は「若者向き」、「男性向き」、「子ども向き」、「特売」、「入手しやすい」、「価格が手頃」などの項目の因子負荷量が高く、『利便性』因子と解釈した。第3因子は「安全」、「安心」、「衛生的」、「飼育環境がよい」、「新鮮」などの項目の因子負荷量が高く、『安全・安心感』因子と解釈した。消費者の原産国別の相対的な知覚差異を把握するために、推定した因子得点の平均を偏差値化 (平均50、標準偏差10) して、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉別でみると、図表48のようになる。

因子1 高級感	因子2 利便性	因子3 安全・安心感
少量で満足(.73)	若者向き(.90)	安全(.96)
高級品(.71)	男性向き(.80)	安心(.94)
贅沢感がある(.67)	子ども向き(.77)	衛生的(.87)
霜降り(.66)	特売(.75)	飼育環境がよい(.79)
大人向き(.56)	入手しやすい(.73)	新鮮(.78)
柔らかい(.55)	価格が手頃(.72)	産地や生産者がわかる(.68)
あぶらが美味しい(.50)	肉々しい(.67)	高品質(.66)
年配向き(.49)	洋食に合う(.66)	信頼がおける(.60)
香りがよい(.46)	中華に合う(.63)	筋肉や骨をつくる(.55)
	女性向き(.59)	健康によい(.54)
	赤身が多い(.59)	おいしい(.49)
	スタミナ源(.52)	和食に合う(.49)
	美容によい(.52)	栄養価が高い(.48)
	あぶら身が多い(.48)	旨味がある(.45)
	赤身が美味しい(.44)	
	食べやすい・食べ疲れしない(.37)	

図表 47 因子分析の結果 (括弧内は因子負荷量を示す)



図表 48 偏差値化した原産国別の因子得点の平均

国産和牛は、第1因子の『高級感』と第3因子の『安全・安心感』が高く、反対にアメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は低い。和牛以外の国産牛肉はそれらの中間にあることがわかる。第2因子の『利便性』は原産国間で大きな差はない。アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉が、国産和牛と和牛以外の国産牛肉より高いものの大きな差ではない。そしてこの分析で得られた因子得点を順序プロビット回帰分析の説明変数に利用する。目的変数は、輸入牛肉との比較であるので、イメージの因子得点も輸入牛肉の差とることとする。ここでは、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉の因子平均を輸入牛肉の得点として、国産和牛と和牛以外の国産牛肉の因子得点から引いて、説明変数に利用する。その限界効果は、因子得点の差が1標準偏差分（偏差値の場合は10に相当）増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

消費者属性の説明変数として、性別、地域、年齢、世帯年収を利用する。性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては10歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 答えたくない／わからない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリーを二値変数化（当該カテゴリーを非選択:0、当該カテゴリーを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリー1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリー「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリーの限界効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリーの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

■国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度の順序プロビット回帰分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を図表49に示す。因子得点に着目すると、3つ因子すべてがプラスになると価格許容度が高くなる傾向が確認できた。そのなかでも因子3『安全・安心感』が最も高くなることが確認できた。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q20 国産和牛肉の価格許容度								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	国産和牛肉へのこだわりはない	同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ
高級感	-0.015	-0.006	0.000	0.002	0.001	0.007	0.006	0.002	0.004
利便性	-0.017	-0.007	0.000	0.003	0.001	0.008	0.007	0.002	0.005
安全・安心感	-0.069	-0.029	-0.001	0.011	0.003	0.031	0.026	0.008	0.019
京阪神	-0.067	-0.027	-0.001	0.010	0.003	0.030	0.025	0.008	0.019
性別	-0.024	-0.010	0.000	0.004	0.001	0.011	0.009	0.003	0.007
年齢(10歳刻み)	-0.014	-0.006	0.000	0.002	0.001	0.006	0.005	0.002	0.004
世帯年収300万円未満	0.036	0.014	-0.001	-0.006	-0.002	-0.016	-0.013	-0.004	-0.009
世帯年収500～700万円未満	-0.022	-0.009	-0.001	0.003	0.001	0.010	0.008	0.003	0.006
世帯年収700～1000万円未満	-0.051	-0.024	-0.003	0.007	0.002	0.024	0.021	0.007	0.017
世帯年収1000～1500万円未満	-0.099	-0.055	-0.018	0.011	0.004	0.047	0.048	0.017	0.046
世帯年収1500万円以上	-0.164	-0.124	-0.080	-0.004	0.003	0.068	0.102	0.043	0.156

*10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 49 国産和牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

■和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度の順序プロビット分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を図表50に示す。因子得点に着目すると、3つ因子すべてがプラスになると価格許容度が高くなる傾向が確認できた。そのなかでも因子3『安全・安心感』が最も高くなることが確認できた。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、性別だと女性、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q21 和牛以外の国産牛肉の価格許容度								
	1 国産へのこだわりはない	2 同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	3 1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4 2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	5 4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6 6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	7 8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8 2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	9 2倍を超える価格でも国産牛肉を選ぶ
高級感	-0.022	-0.008	-0.001	0.004	0.004	0.002	0.002	0.008	0.010
利便性	-0.036	-0.012	-0.001	0.007	0.006	0.004	0.003	0.014	0.016
安全・安心感	-0.060	-0.021	-0.002	0.011	0.010	0.006	0.006	0.023	0.027
京阪神	-0.068	-0.023	-0.003	0.013	0.012	0.007	0.006	0.026	0.031
性別	-0.043	-0.015	-0.002	0.008	0.007	0.004	0.004	0.016	0.019
年齢(10歳刻み)	-0.021	-0.007	-0.001	0.004	0.004	0.002	0.002	0.008	0.009
世帯年収300万円未満	0.038	0.012	0.001	-0.008	-0.006	-0.004	-0.004	-0.014	-0.016
世帯年収500～700万円未満	-0.015	-0.005	-0.001	0.003	0.002	0.001	0.001	0.006	0.007
世帯年収700～1000万円未満	-0.038	-0.014	-0.002	0.006	0.006	0.004	0.004	0.015	0.019
世帯年収1000～1500万円未満	-0.082	-0.037	-0.008	0.010	0.013	0.008	0.008	0.037	0.051
世帯年収1500万円以上	-0.164	-0.103	-0.039	-0.012	0.019	0.015	0.017	0.089	0.179

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 50 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

6) ポートフォリオ分析による国産牛肉と輸入牛肉に対する消費者意識分析

各種牛肉の購入意向（Q11）と各種牛肉のイメージ（Q16）の関係性から、各種牛肉の購入意向に影響を及ぼすイメージは何かをポートフォリオ分析により探った。

ポートフォリオ分析は以下の方法で行った。

【国産和牛の場合】

- ・ Y 軸を、国産和牛のイメージ（Q16(1)）の比率（%）とした。
- ・ X 軸を、国産和牛のイメージ（Q16(1)）がある人と、ない人の購入意向（Q11(1)）【非常に購入したい+購入したい+やや購入したい】の差を『重要度』と考えた。
- ・ 次に、イメージ項目内の平均で、ポートフォリオマップを 4 象限に分類し、次の 4 項目に分類した。

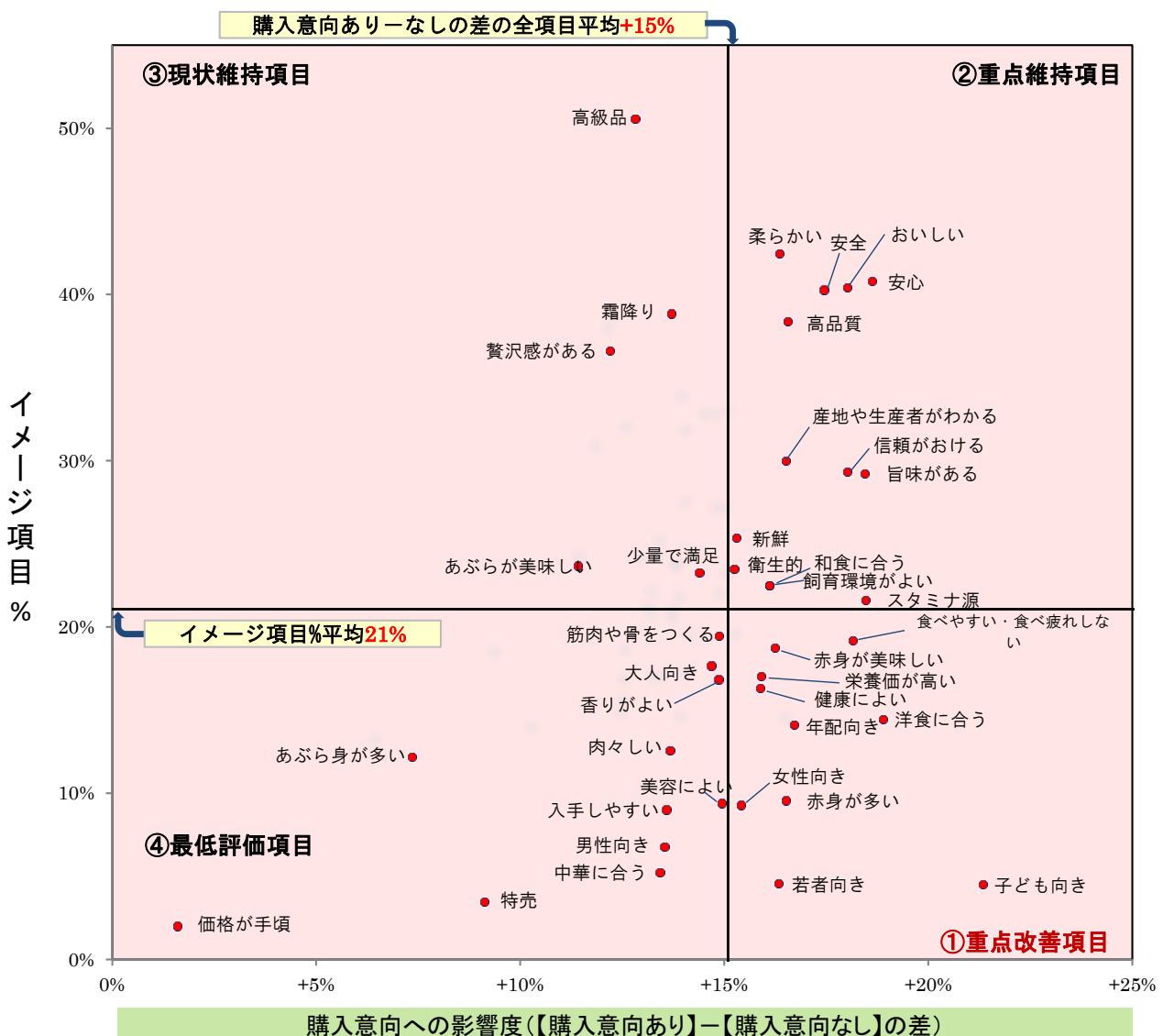
【③現状維持項目】 現状のイメージが高く、 重要度が低い	【②重点維持項目】 現状のイメージが高く、 重要度も高い
【④最低評価項目】 現状のイメージが低く、 重要度も低い	【①重点改善項目】 現状のイメージが低く、 重要度が高い ●今後のイメージ改善が求められ 注目すべきイメージ

- ・ 【①重点改善項目】に分類される [イメージ項目が【ある人】と【ない人】で購入意向の差が大きいイメージ] が高くなれば、購入意向が改善される可能性が高いとみなし、今後の改善ポイントと分析した。

国産和牛の購入意向とイメージの関係性から、国産和牛の購入意向に影響を及ぼすイメージをポートフォリオ分析で見た。

国産和牛のイメージの重点改善項目は、「子ども向き」「若者向き」「洋食に合う」である。子どもや若者が好む、洋食に合うメニューでの国産和牛のイメージ改善が望まれる。

重点維持項目は、「安心」「安全」「信頼がおける」「産地や生産者がわかる」といった国産牛肉の安心安全への信頼と、「おいしい」「高品質」「柔らかい」「旨味がある」といった高品質のおいしさで、国産牛肉の強みである。

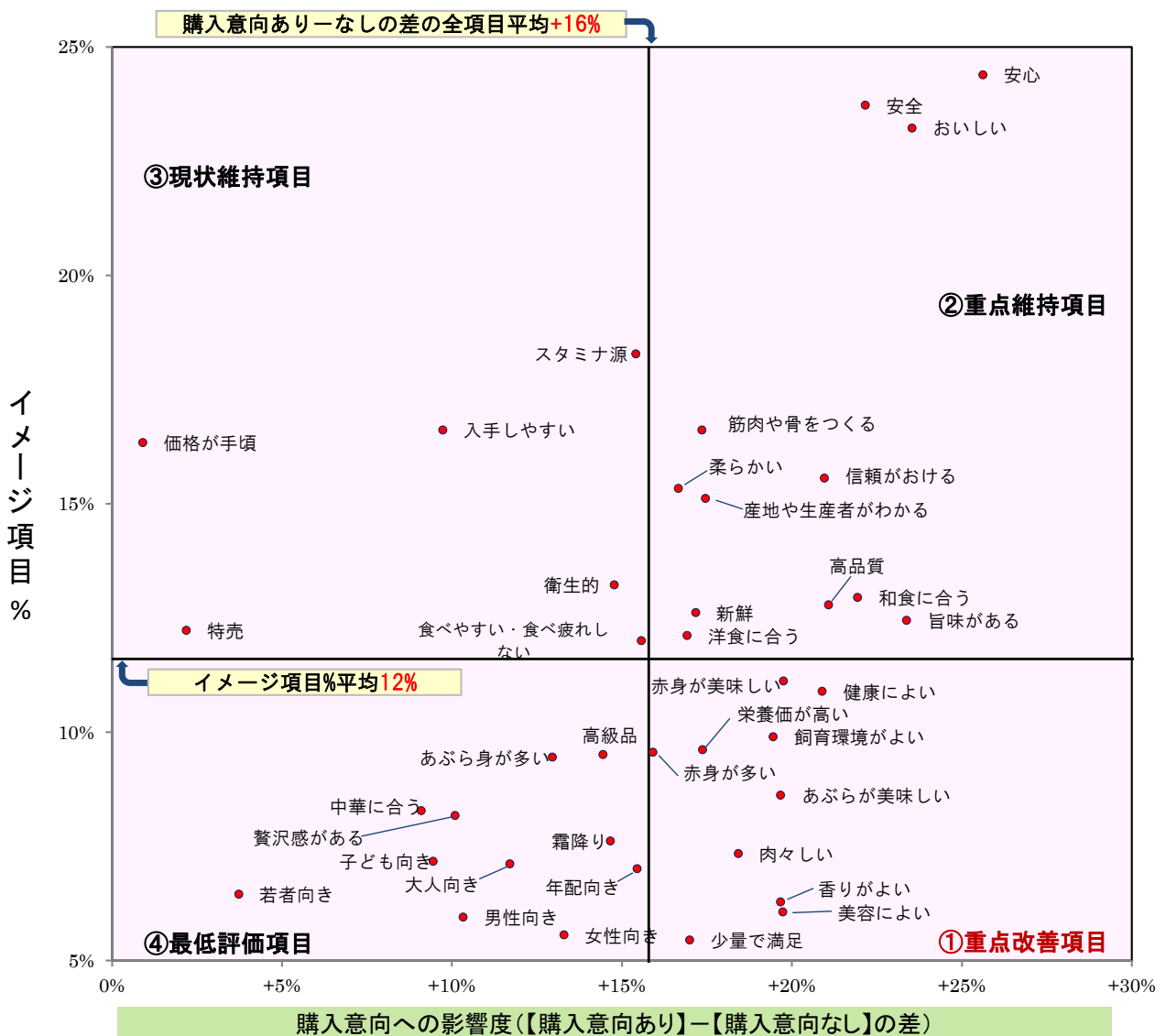


図表 51 国産和牛の購入意向とイメージによる消費者意識分析（ポートフォリオ分析）

和牛以外の国産牛肉の購入意向とイメージの関係性から、和牛以外の国産牛肉の購入意向に影響を及ぼすイメージをポートフォリオ分析で見た。

和牛以外の国産牛肉のイメージの重点改善項目は、「美容によい」「香りがよい」「あぶらが美味しい」「肉々しい」であり、和牛以外の国産牛肉でのイメージ改善が望まれる。

重点維持項目は、「安心」「安全」「おいしい」の3つが強く、国産の安心安全と、おいしさが、和牛以外の国産牛肉の強みである。

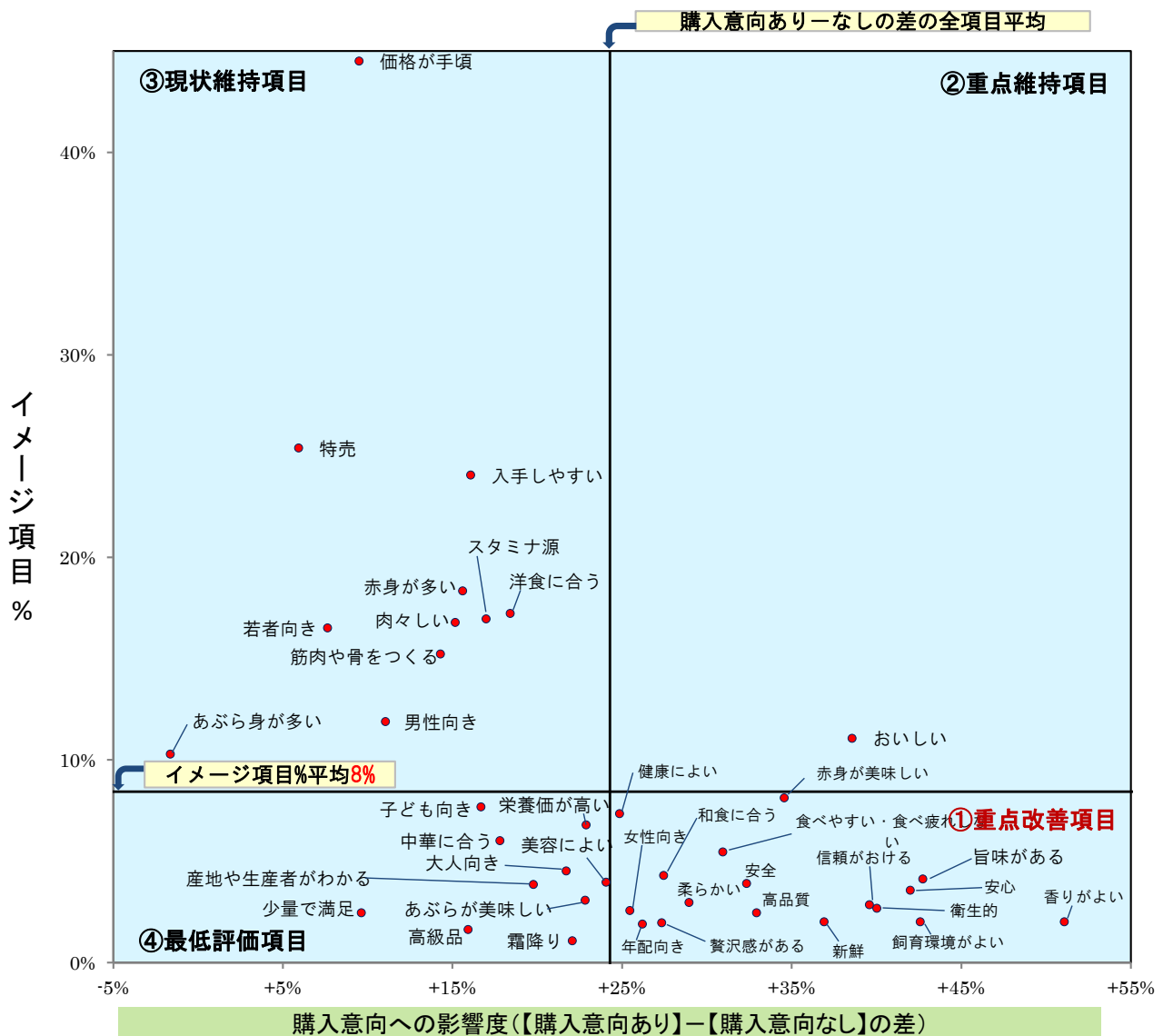


図表 52 和牛以外の国産牛肉の購入意向とイメージによる消費者意識分析 (ポートフォリオ分析)

アメリカ産牛肉の購入意向とイメージの関係性から、アメリカ産牛肉の購入意向に影響を及ぼすイメージをポートフォリオ分析で見た。

アメリカ産牛肉のイメージの重点改善項目は、「香りがよい」「飼育環境がよい」「安心」「信頼がおける」「衛生的」「旨味がある」である。飼育環境や衛生面での安心・信頼や、旨味や香りのよさといった品質でのイメージ改善が望まれる。

重点維持項目は特にみられず、現状維持項目として「価格が手頃」が突出しており、「特売」「入手しやすい」といった価格イメージが強い。

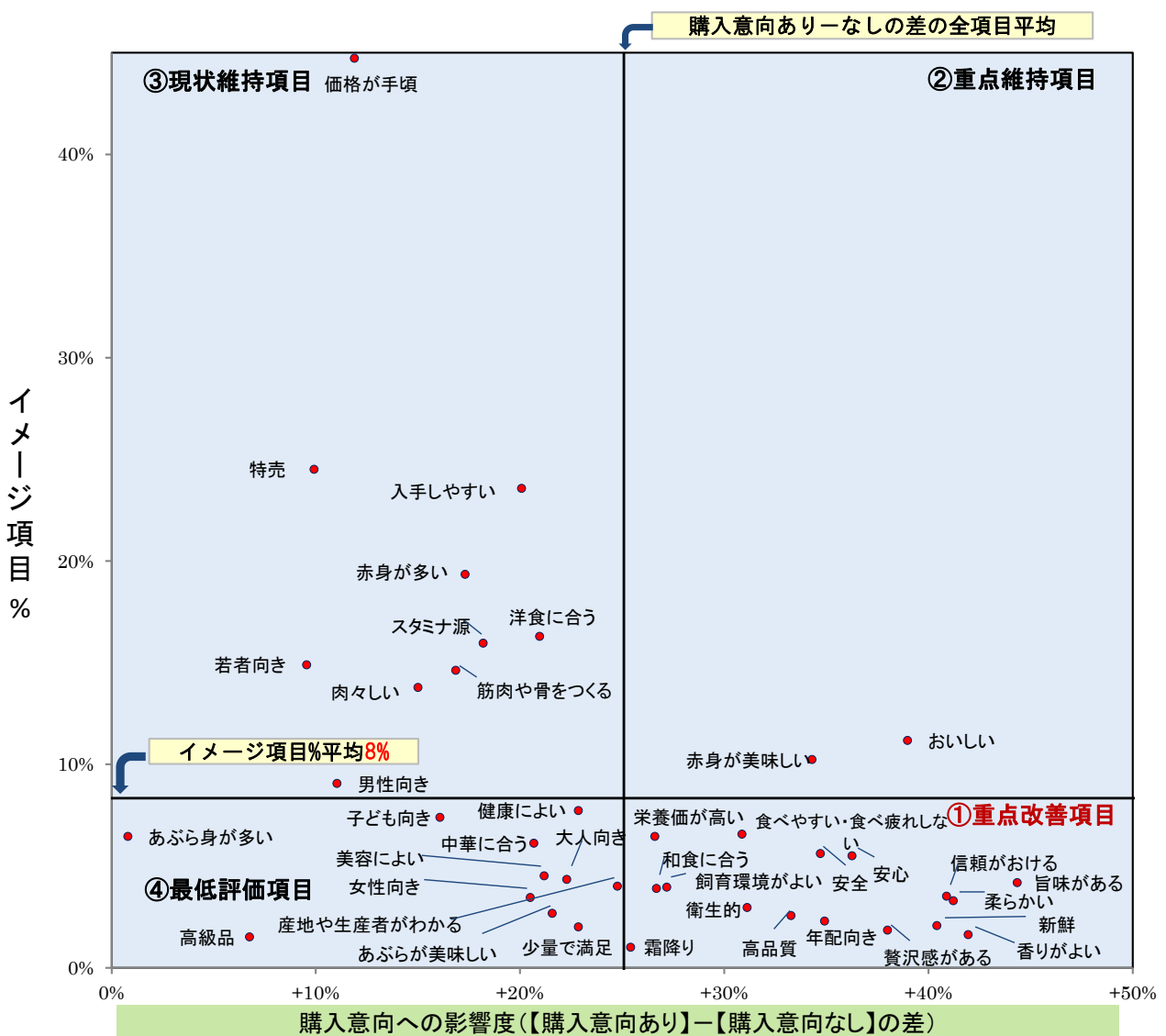


図表 53 アメリカ産牛肉の国産牛肉の購入意向とイメージによる消費者意識分析 (ポートフォリオ分析)

オーストラリア産牛肉の購入意向とイメージの関係性から、オーストラリア産牛肉の購入意向に影響を及ぼすイメージをポートフォリオ分析で見た。

オーストラリア産牛肉のイメージの重点改善項目は、「香りがよい」「旨味がある」「柔らかい」「信頼がおける」「新鮮」である。香りのよさや旨味といった品質や、信頼・新鮮といったイメージ改善が望まれる。

重点維持項目は特にみられず、現状維持項目として「価格が手頃」が突出しており、「特売」「入手しやすい」といった価格イメージが強い。



図表 54 オーストラリア産牛肉の国産牛肉の購入意向とイメージによる消費者意識分析 (ポートフォリオ分析)

2.2 食肉の消費変化（増減）に関する考察

- ・ 食肉全体の購入回数の変化によるセグメント別にその特徴を見た。
- ・ 食肉全体の増加者では、「国産豚肉」「国産鶏肉」の購入回数が増加しており、「野菜」「卵」「牛乳」といった食品の購入も増加している。
属性の特徴としては、平均 40 代で、子供がおり、世帯年収が高めで、カロリー過剰摂取に気をつける、健康意識が高めのセグメント層である。
牛肉の喫食頻度、購入頻度も高く、購入チャネルも多岐に渡り、食肉に対するイメージも高い、優良・ロイヤル食肉ユーザーセグメント層である。
- ・ 一方、食肉全体の減少者は、「牛肉（国産・輸入ともに）」の購入回数が減少しており、「ファストフード」「米」「インスタント麺」「弁当・惣菜類」「菓子類」など他の食品の購入回数も減少しており、食に対する消費意識が総じて低い。属性の特徴としては、世帯年収が低めで、ひとり暮らしが 3 分の 1 を占め、カロリー過剰摂取への意識、健康意識が低めのセグメント層である。牛肉の喫食頻度、購入頻度も低く、食肉に対するイメージも総じて低い流出ユーザーセグメント層である。
- ・ 食肉の消費変化（購入回数の増減）についての特徴分析を機会学習の 1 つである決定木分析で行ったところ、「年齢・40 歳」「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」「世帯年収」が食肉の消費変化に重要な要因と推察された。

この 2.2 では、食肉の消費変化(増減)の状況把握と要因の分析を目的とした。

「食肉全体」の昨年同期と比べた最近 1 カ月間の購入回数の変化（増減）から、食肉の消費変化セグメント（増加者、無変化者、減少者）を作成し、食肉の種類別の増減、食肉を食べる機会、肉料理の多様化など食肉の消費変化を把握し、その特徴分析を行う。

また、食肉消費の増減によって、意識的に消費量を増減させた食品の品目は何かを把握し、食肉消費と他の食品の増減の関係を把握する。

また、機械学習の 1 つである決定木を用い、セグメント特徴分析を行う。

そこで、ここでは以下の 3 つの分析を行った。

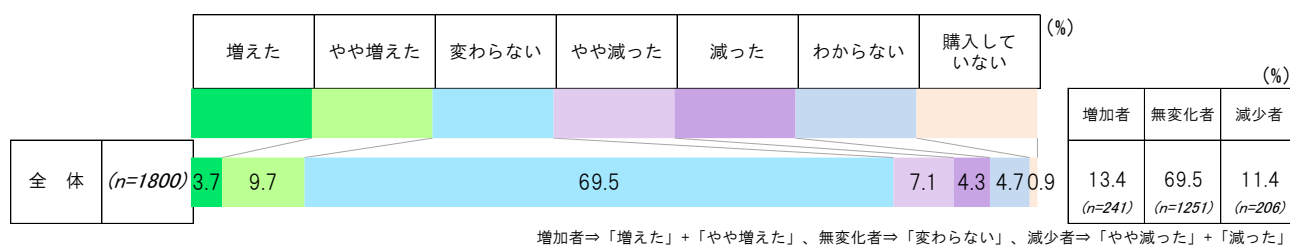
- 1)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメンテーション
- 2)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメントの特徴分析（クロス集計分析）
- 3)食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメント特徴分析（決定木）

1) 食肉全体の購入回数の変化（Q9）によるセグメンテーション

食肉の消費変化（増減）の状況把握と要因を把握するため、「食肉全体」の昨年同期と比べた最近1カ月間の購入回数の変化（増減）から、食肉の購入回数の変化セグメント（増加者、無変化者、減少者）を作成した。

具体的には、「食肉全体」の昨年同期と比べた最近1カ月間の購入回数（Q9）について、「増えた」＋「やや増えた」と回答した対象者を「増加者」、「変わらない」と回答した対象者を「無変化者」、「やや減った」＋「減った」と回答した対象者を「減少者」と定義した上でクロス集計を行い、食肉の種類別の増減、食肉を食べる機会、肉料理の多様化など食肉の消費変化を把握し、その特徴分析を行った。

食肉全体の購入回数「増加者」は13.4%、「減少者」は11.4%と各1割強、「無変化者」が69.5%と回答者の7割弱を占める。



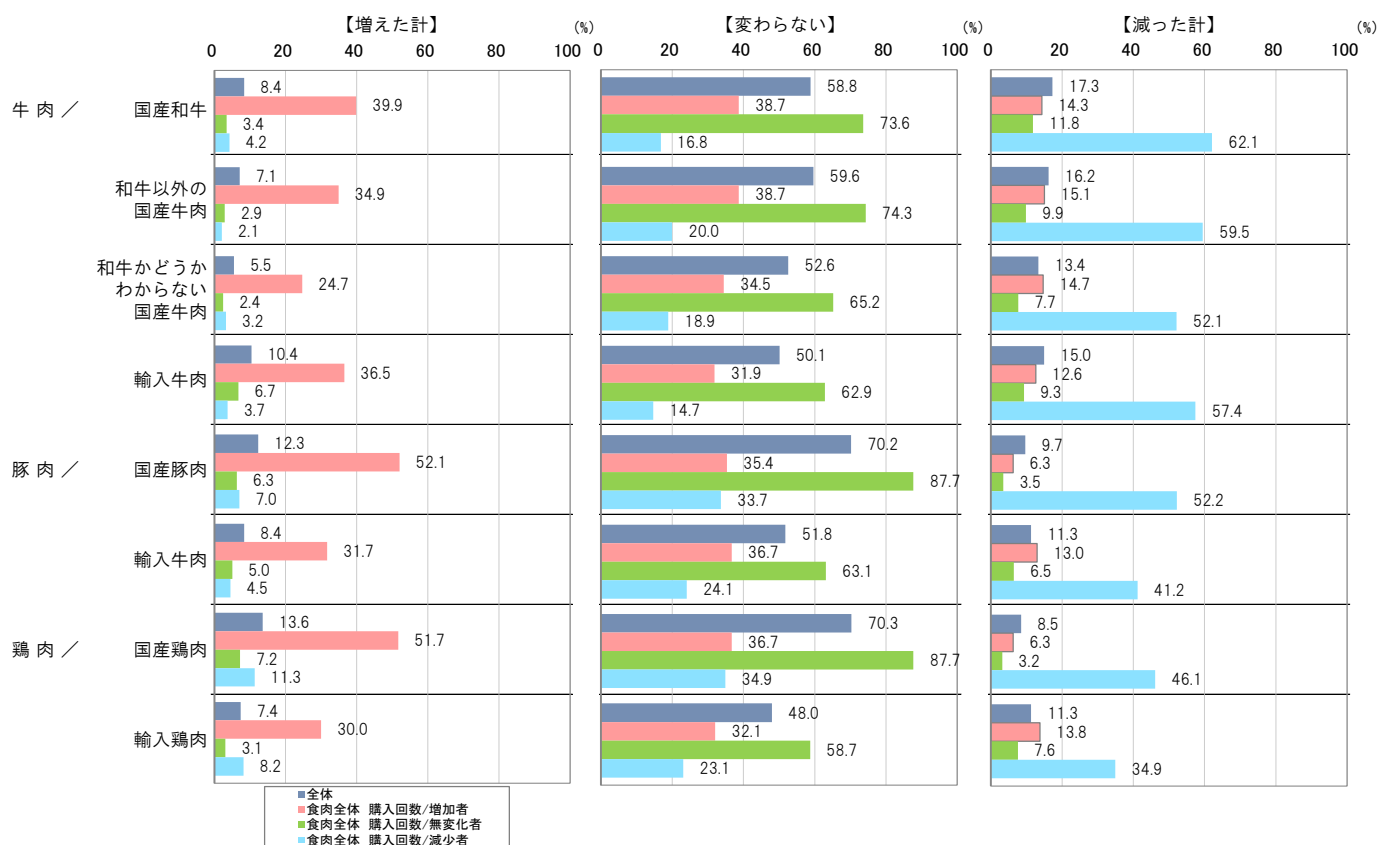
図表 55 昨年同期と比べた最近1か月の食肉全体の購入回数の変化（全体）

食肉全体の購入回数の変化セグメント別に、各食肉の購入回数の増減を各食肉の「増えた計（増えた+やや増えた）」、「変わらない」、「減った計（やや減った+減った）」の比率で見た。

食肉全体「増加者」は、「増えた計」で見ると、「国産豚肉」52.1%、「国産鶏肉」51.7%、「国産和牛」39.9%、「輸入牛肉」36.5%、「和牛以外の国産牛肉」34.9%の順に購入回数が増加している。

一方、食肉全体「減少者」は、「減った計」で見ると、「国産和牛」62.1%、「和牛以外の国産牛肉」59.5%、「輸入牛肉」57.4%、「国産豚肉」52.2%、「和牛かどうか分からない国産牛肉」52.1%の順に購入回数が減少している。

食肉全体の消費増加は、「国産豚肉」「国産鶏肉」の消費増加に起因することが大きく、一方、食肉全体の消費減少は、「牛肉（国産和牛・国産牛肉・輸入牛肉）」の消費減少に起因するところが大きいと推察される。



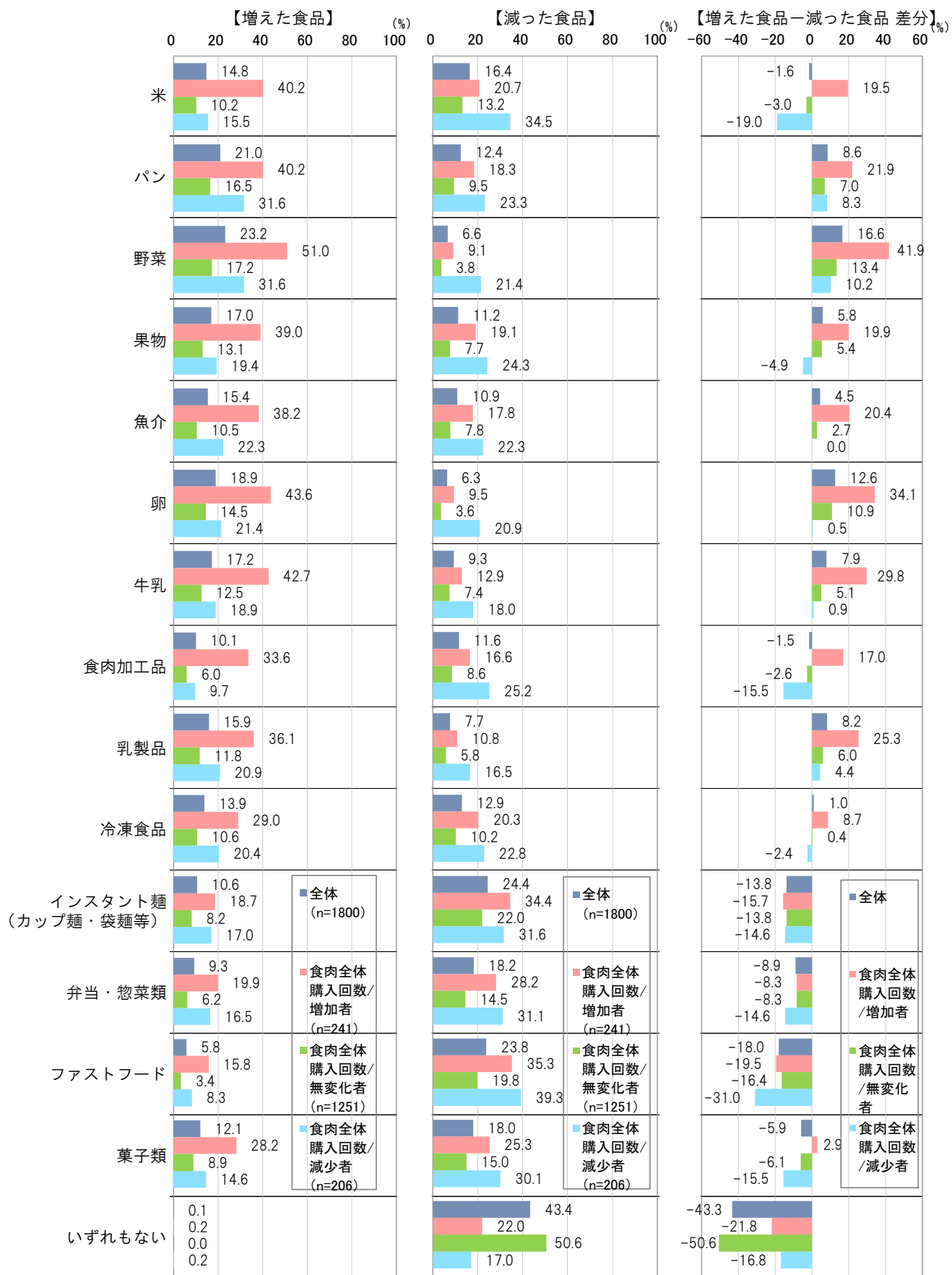
図表 56 食肉全体の購入回数セグメント別 各食肉の購入回数の変化

2) 食肉全体の購入回数の変化(Q9)によるセグメントの特徴分析(クロス集計分析)

食肉全体の購入回数の変化セグメント(増加者、無変化者、減少者)について特徴を抽出すべく各設問とのクロス集計を行ったところ、次のような特徴が見られた。

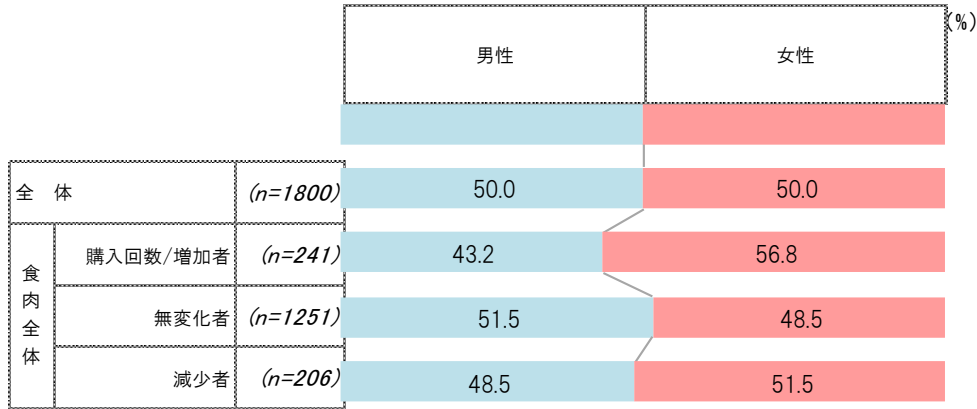
食肉以外の食品の購入回数の変化(Q10)は、食肉全体「増加者」では、「野菜」51.0%、「卵」43.6%、「牛乳」42.7%、「米」及び「パン」40.2%の順に購入回数が増加しており、「ファストフード」35.3%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」34.4%の購入回数が減少している。

一方、食肉全体「減少者」は、「ファストフード」39.3%、「米」34.5%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」31.6%、「弁当・惣菜類」31.1%、「菓子類」30.1%の順に購入回数が減少している。それ以外の食品も、食肉全体「増加者」に比して、総じて購入回数の減少率が高い。食肉全体「減少者」で購入回数が増加した食品は、「パン」及び「野菜」31.6%である。

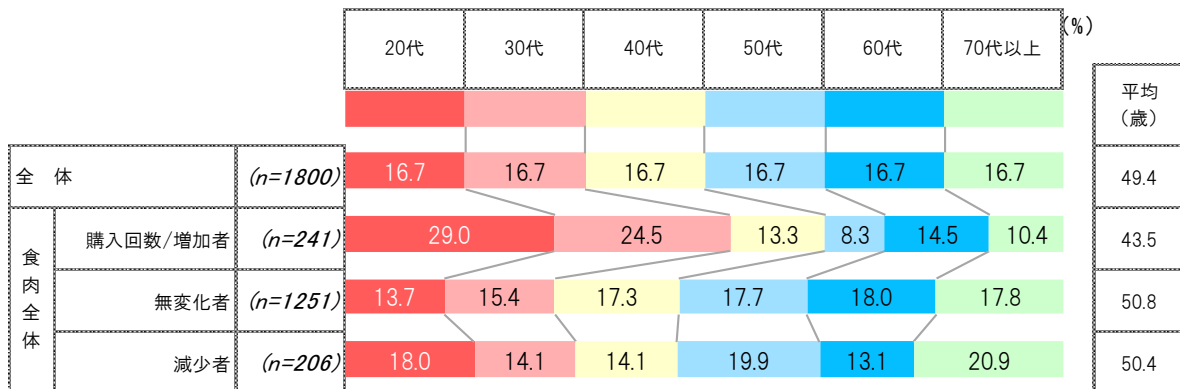


図表 57 食肉全体の購入回数セグメント別 食品の購入回数の変化

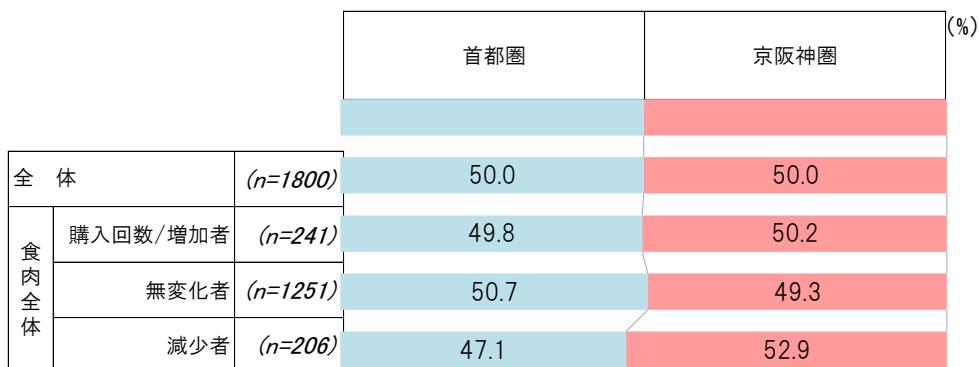
性別（Q2）は、食肉全体「増加者」は「女性」が 56.8%と多い。
 年代（Q3）は、食肉全体「増加者」は平均年齢が 43.5 歳と若い。
 居住エリアは、食肉全体「減少者」は、「京阪神」が 52.9%とやや多い。



図表 58 食肉全体の購入回数セグメント別 性別

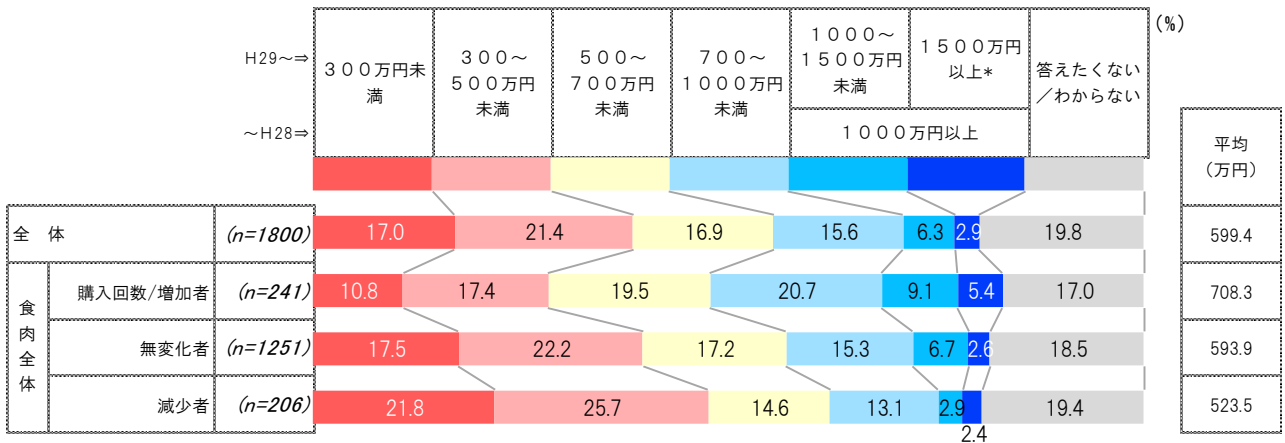


図表 59 食肉全体の購入回数セグメント別 年代



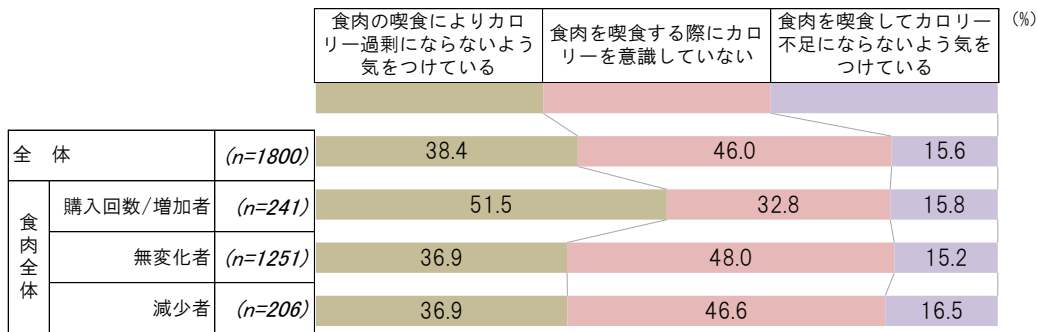
図表 60 食肉全体の購入回数セグメント別 居住エリア

世帯年収 (Q55) は、食肉全体「増加者」は平均世帯年収が 708.3 万円と高い。



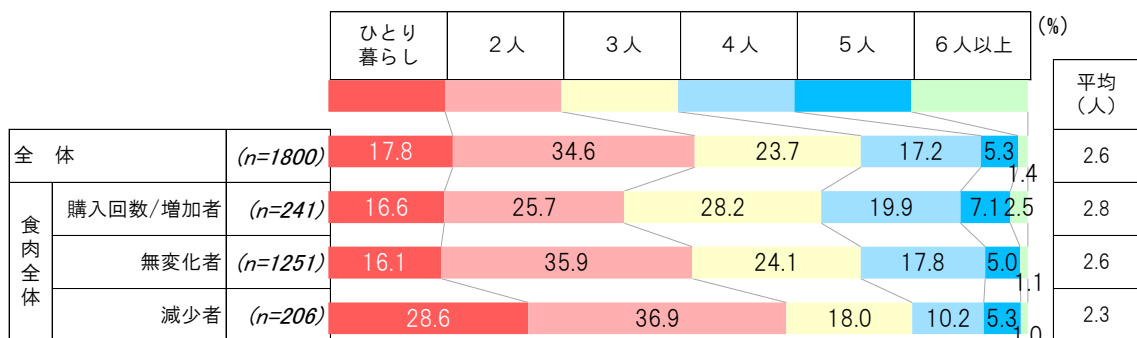
図表 61 食肉全体の購入回数セグメント別 世帯年収

食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53) は、食肉全体「増加者」は、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」が 51.5%と高く、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」が 32.8%と低い。



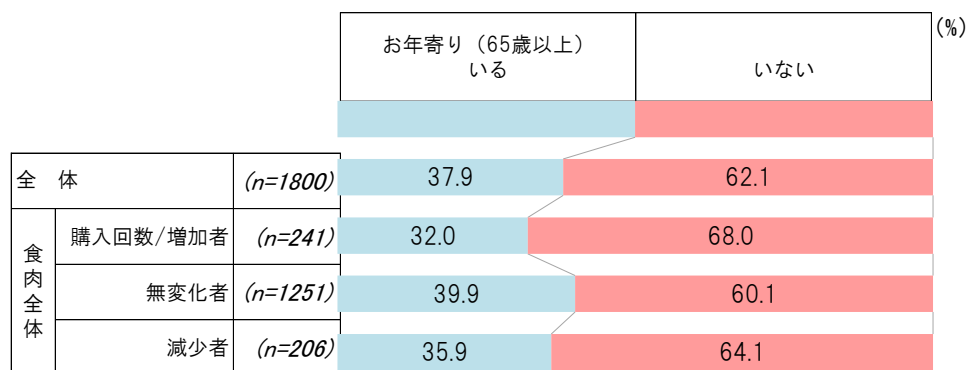
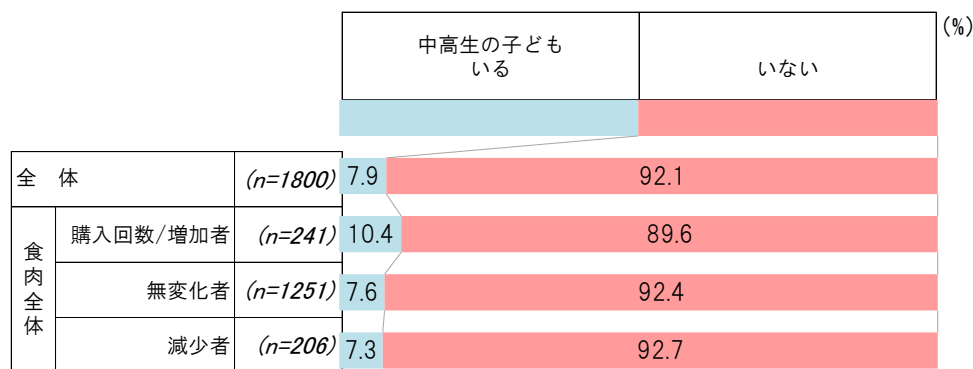
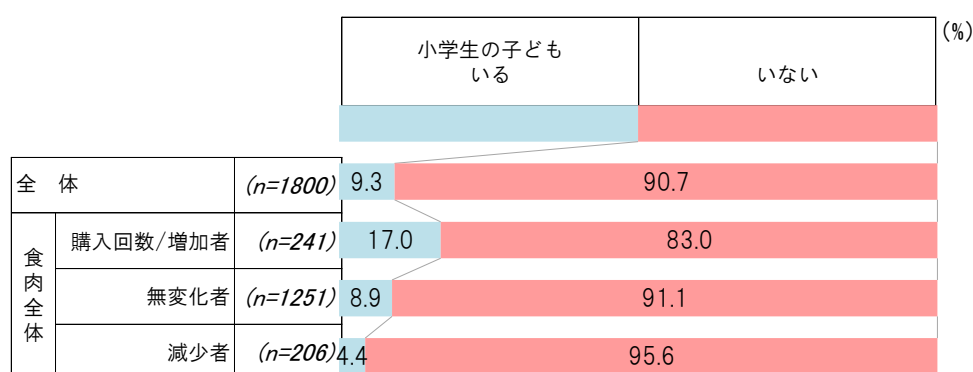
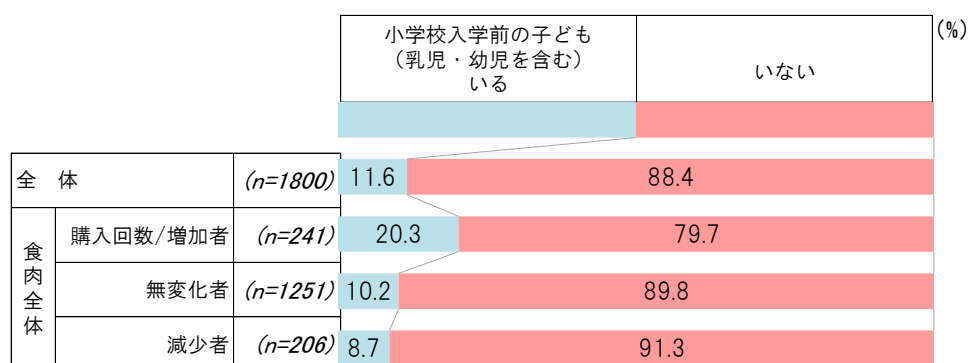
図表 62 食肉全体の購入回数セグメント別 食肉の喫食によるカロリーに対する意識

世帯構成人数 (Q50) は、食肉全体「減少者」は「ひとり暮らし」が 28.6%と多く、約 3 分の 1 を占める。



図表 63 食肉全体の購入回数セグメント別 世帯構成人数

世帯構成員の状況（Q51）は、食肉全体「増加者」は、「小学校入学前の子供（乳児・幼児を含む）」が 20.3%、「小学生の子供」が 17.0%、「中高生の子供」が 10.4%と子どもがいる割合が高いが、「お年寄り（65歳以上）」は 32.0%とやや低くなっている。



図表 64 食肉全体の購入回数セグメント別 家族構成員の状況

食肉の種類別機会別の喫食頻度（Q4）を、食肉全体の購入回数の変化セグメント別に見た。

食肉全体の購入回数の「増加者」「減少者」別に「週に1日以上喫食計」の比率をみると、以下のように喫食率に大きな差が見られ、牛肉料理は、他の料理に比して最も差が大きい。

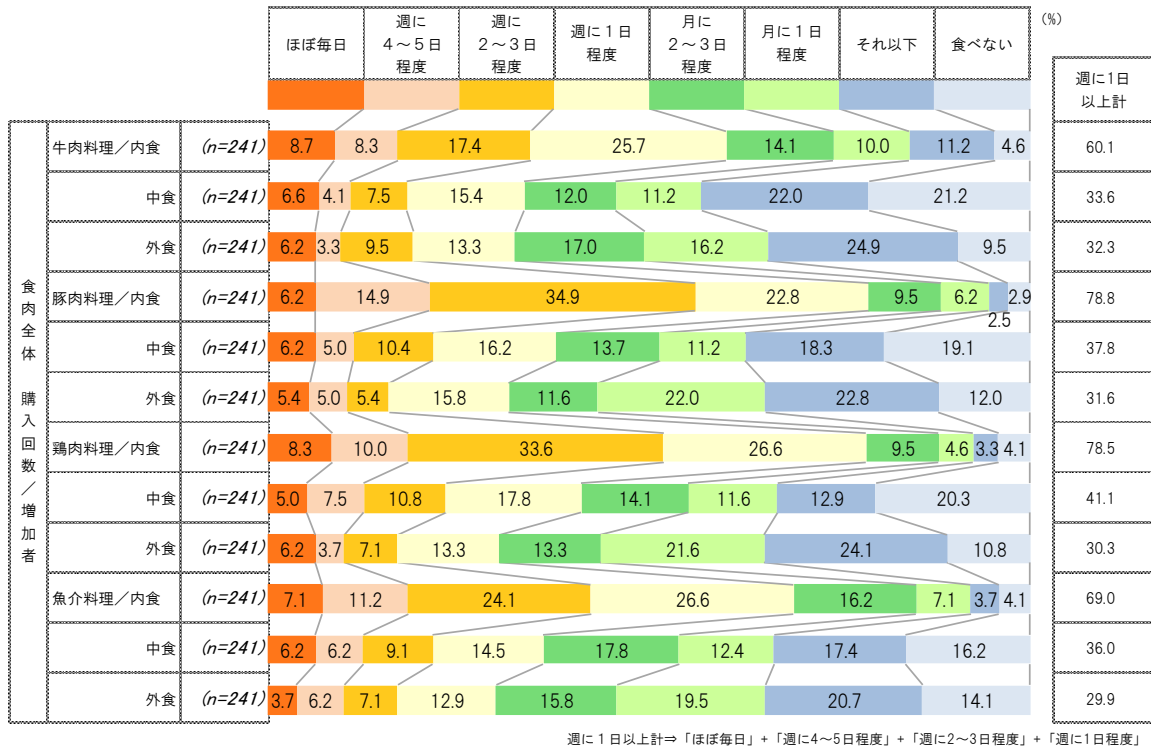
特に、牛肉料理の内食では、購入回数の「増加者」では「週に1回以上喫食」が60.1%に対し、「減少者」は23.3%と36.8ポイントの大きな開きがある。

豚肉料理の内食でも、購入回数の「増加者」では「週に1回以上喫食」が78.8%に対し、「減少者」は53.4%と25.4ポイントの開きがある。

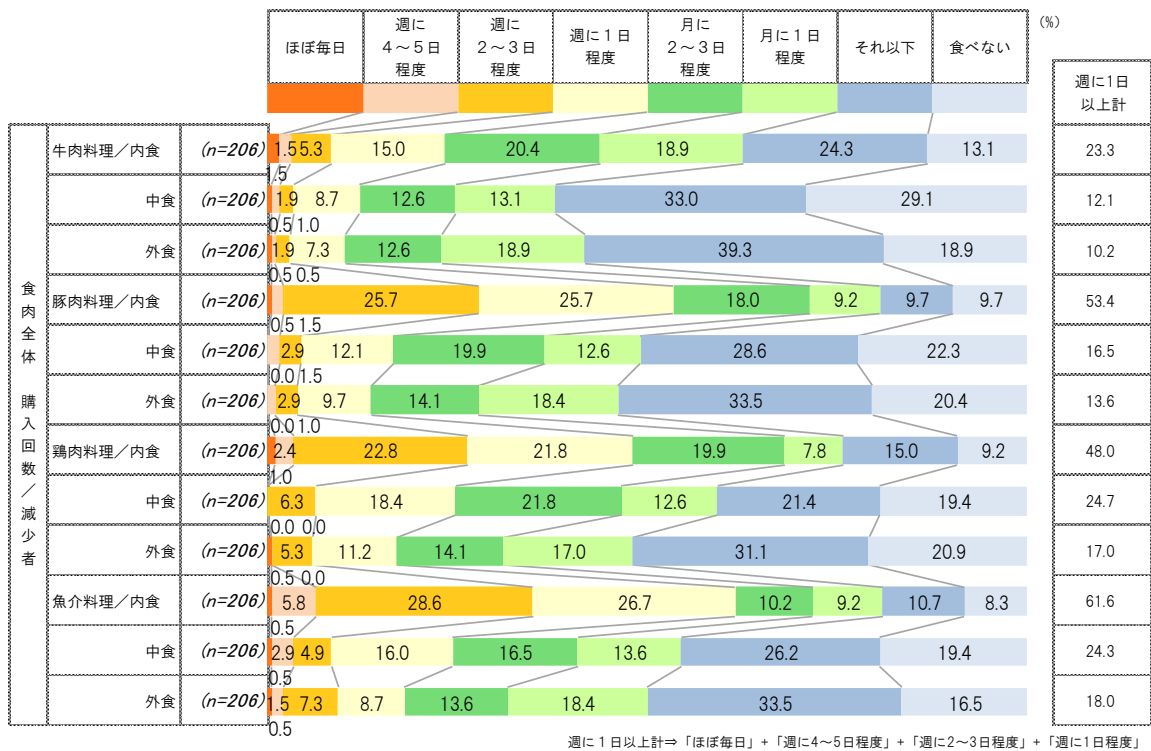
鶏肉料理の内食では、購入回数の「増加者」では「週に1回以上喫食」が78.5%に対し、「減少者」は48.0%と30.5ポイントの開きがある。

		週に1日以上 喫食 計 (%)		
		①食肉全体 増加者	②食肉全体 減少者	①－②の差分
牛肉料理	内食	60.1	23.3	36.8
	中食	33.6	12.1	21.5
	外食	32.3	10.2	22.1
豚肉料理	内食	78.8	53.4	25.4
	中食	37.8	16.5	21.3
	外食	31.6	13.6	18.0
鶏肉料理	内食	78.5	48.0	30.5
	中食	41.1	24.7	16.4
	外食	30.3	17.0	13.3
魚介料理	内食	69.0	61.6	7.4
	中食	36.0	24.3	11.7
	外食	29.9	18.0	11.9

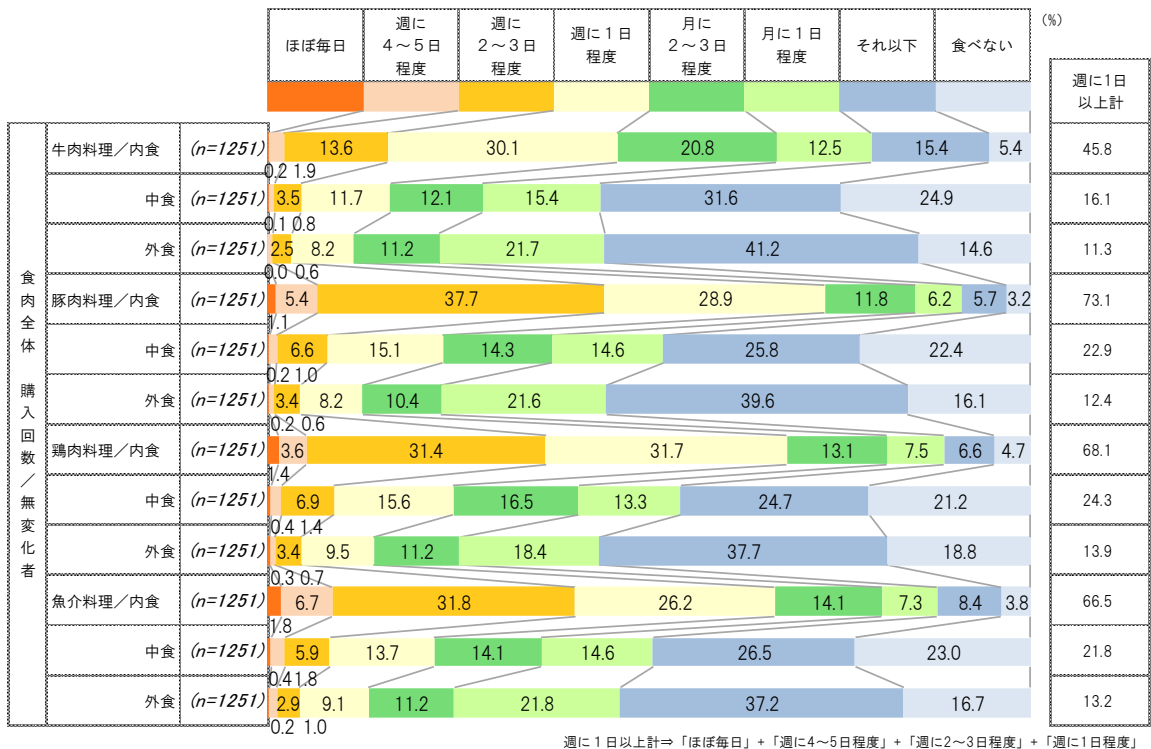
図表 65 食肉全体の購入回数セグメント「増加者」「減少者」
食肉の種類別機会別の喫食頻度「週に1日以上計」の比率まとめ



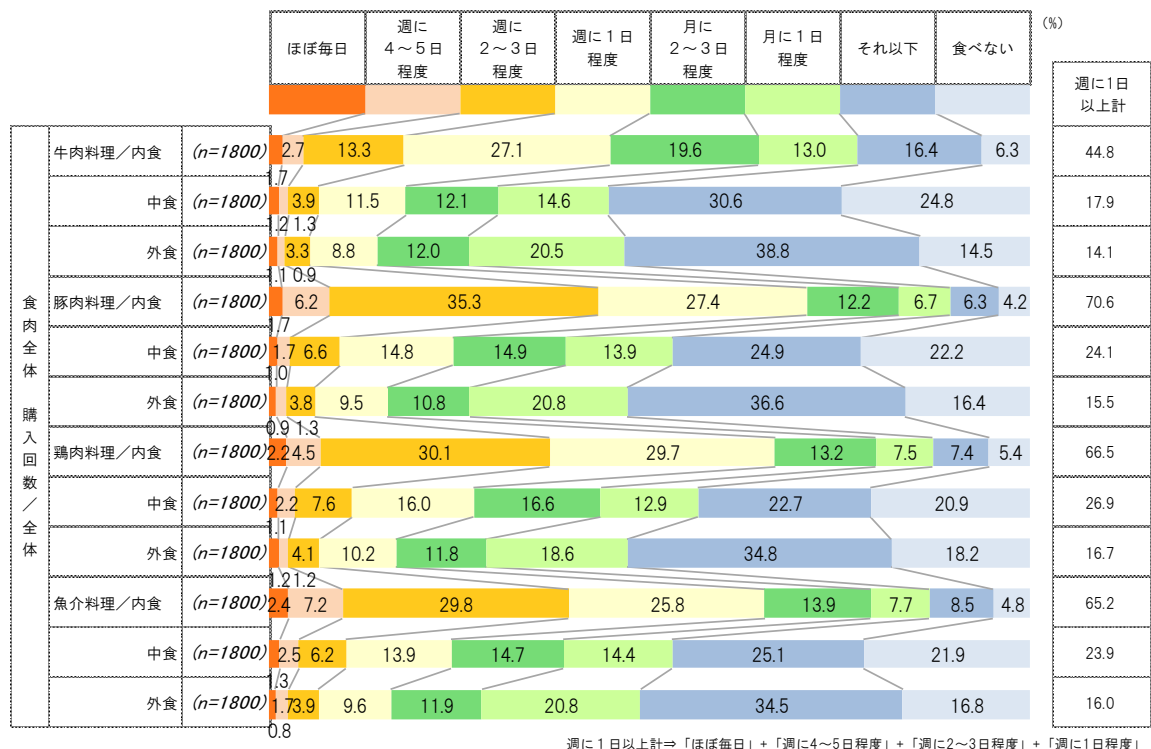
図表 66 食肉全体の購入回数セグメント「増加者」 食肉の種類別機会別の喫食頻度



図表 67 食肉全体の購入回数セグメント「減少者」 食肉の種類別機会別の喫食頻度



図表 68 食肉全体の購入回数セグメント「無変化者」 食肉の種類別機会別の喫食頻度



図表 69 食肉全体の購入回数セグメント「全体」 食肉の種類別機会別の喫食頻度

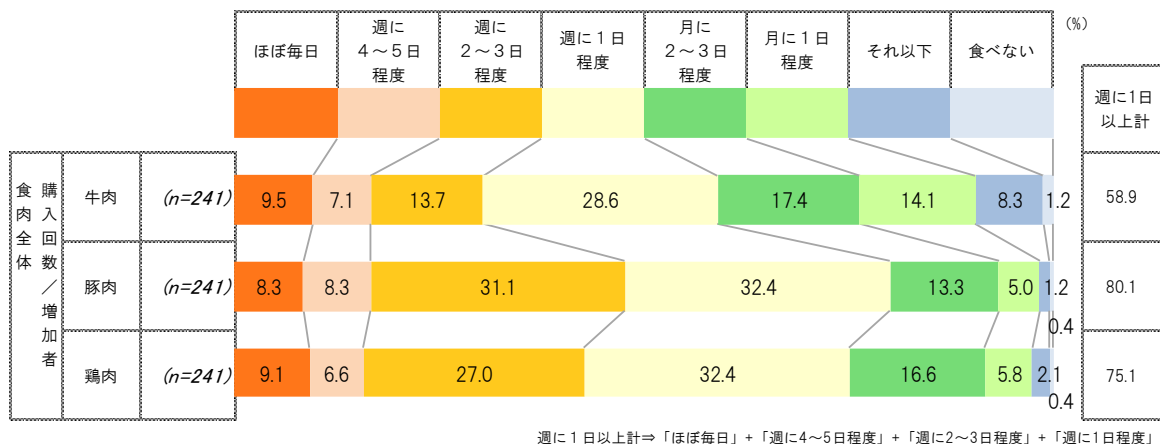
食肉の購入頻度（Q6）を、食肉全体の購入回数の変化セグメント別に見た。
牛肉は、食肉全体の購入回数の「増加者」では「週に1回以上購入」が58.9%に対し「減少者」は25.7%と33.2ポイントと、豚肉、鶏肉に比して大きな開きがある。

豚肉も、食肉全体の購入回数の「増加者」では「週に1回以上購入」が80.1%に対し、「減少者」は51.0%と29.1ポイントの開きがある。

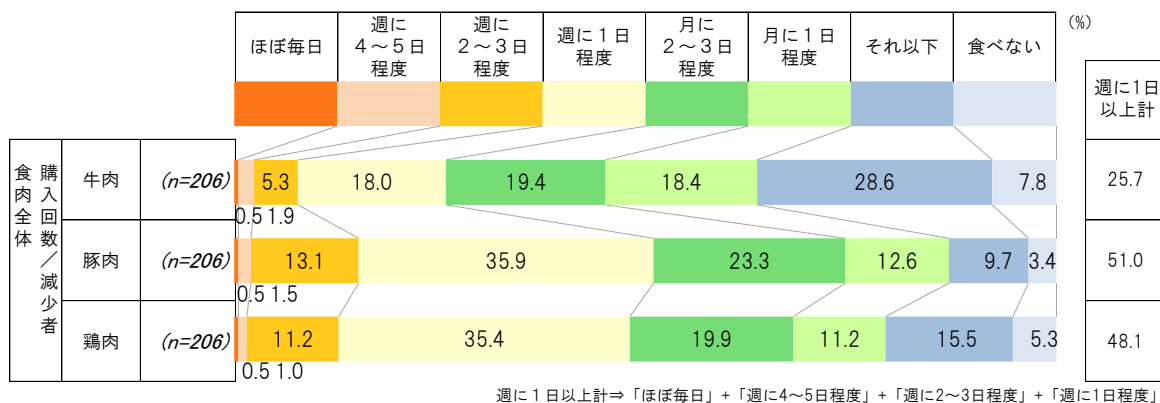
鶏肉では、食肉全体の購入回数の「増加者」では「週に1回以上購入」が75.1%に対し、「減少者」は48.1%と27.0ポイントの開きがある。

	週に1日以上 購入 計 (%)		
	①食肉全体増加者	②食肉全体減少者	①-②の差分
牛肉	58.9	25.7	33.2
豚肉	80.1	51.0	29.1
鶏肉	75.1	48.1	27.0

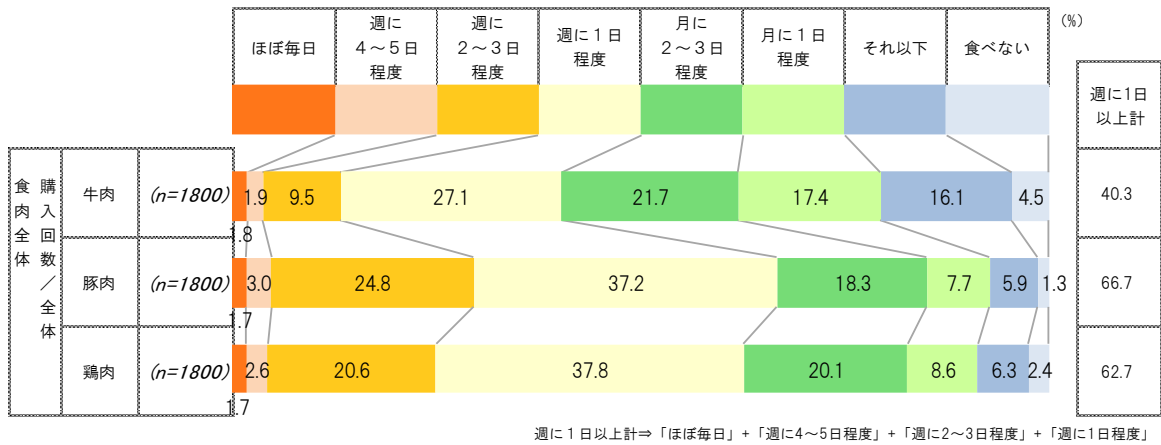
図表 70 食肉全体の購入回数セグメント「増加者」「減少者」
食肉の種類別購入頻度「週に1日以上計」の比率まとめ



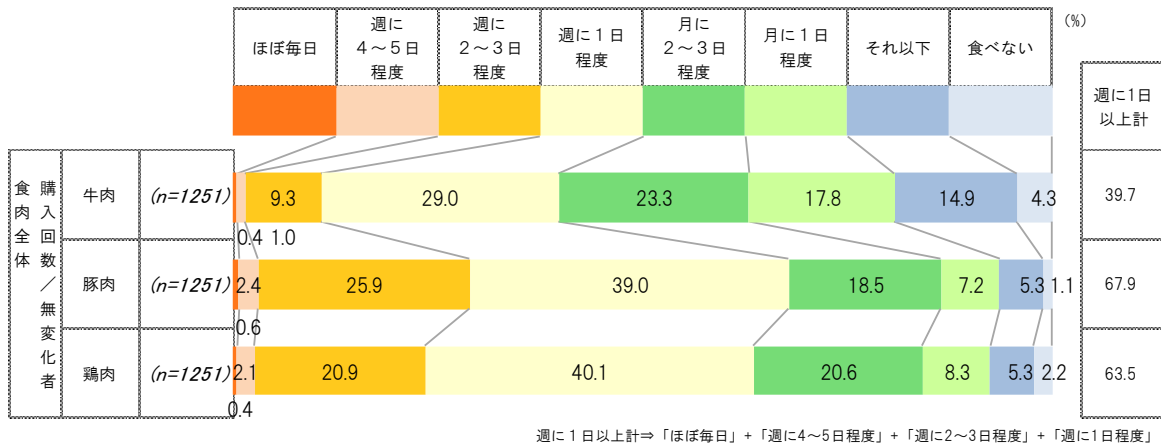
図表 71 食肉全体の購入回数セグメント「増加者」 食肉の種類別購入頻度



図表 72 食肉全体の購入回数セグメント「減少者」 食肉の種類別購入頻度



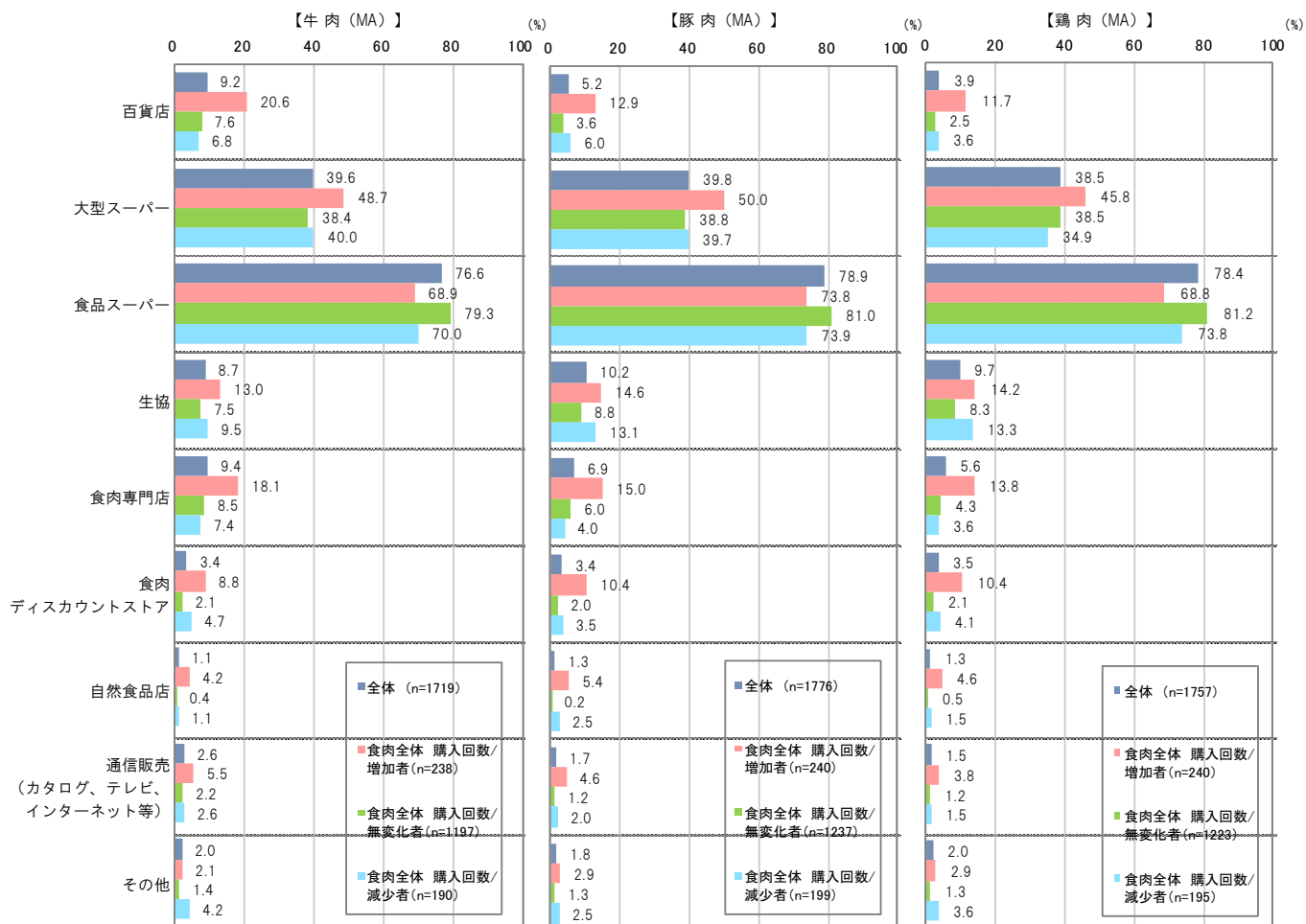
図表 73 食肉全体の購入回数セグメント「無変化者」 食肉の種類別購入頻度



図表 74 食肉全体の購入回数セグメント「全体」 食肉の種類別購入頻度

食肉の主な購入先（Q7／複数回答）を、食肉全体の購入回数の変化セグメント別にみた。

食肉全体「増加者」では、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれにおいても、主な購入先として、「大型スーパー」「百貨店」が全体に比して高い。また、「食肉専門店」「生協」「食肉ディスカウントストア」「自然食品店」「通信販売」なども全体に比して高く、購入チャンネルが多岐に渡っている。

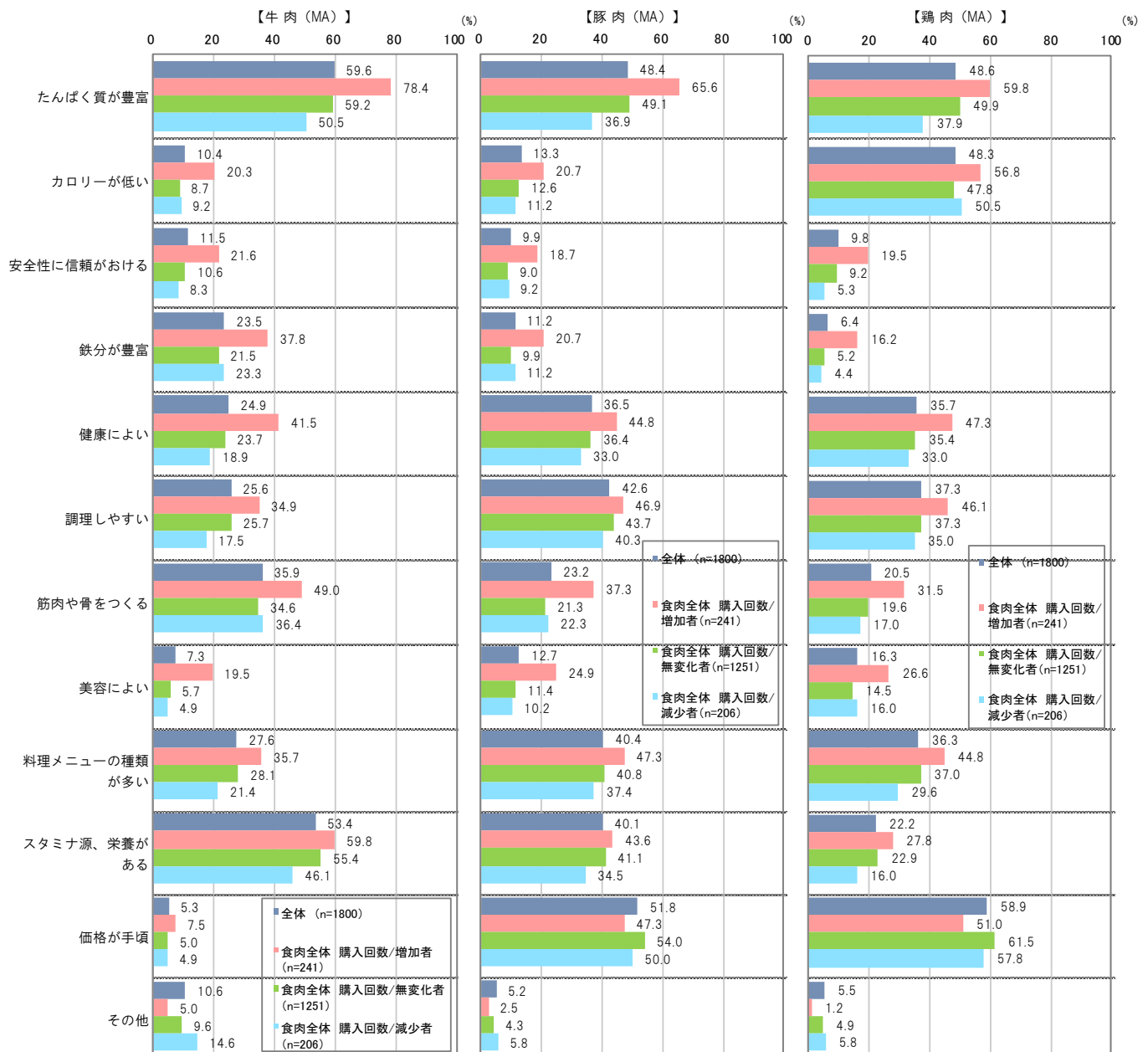


図表 75 食肉全体の購入回数セグメント別 食肉の主な購入先

食肉のイメージ（Q5／複数回答）を、食肉全体の購入回数の変化セグメント別に見た。

食肉全体「増加者」では、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれにおいても、「たんぱく質が豊富」「スタミナ源・栄養がある」「筋肉や骨をつくる」「健康にいい」「鉄分が豊富」「カロリーが低い」など、総じていずれのイメージも全体に比して高く、食肉のイメージがよい。

一方、食肉全体「減少者」では、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれにおいても、総じていずれのイメージも全体に比して低くなっている。

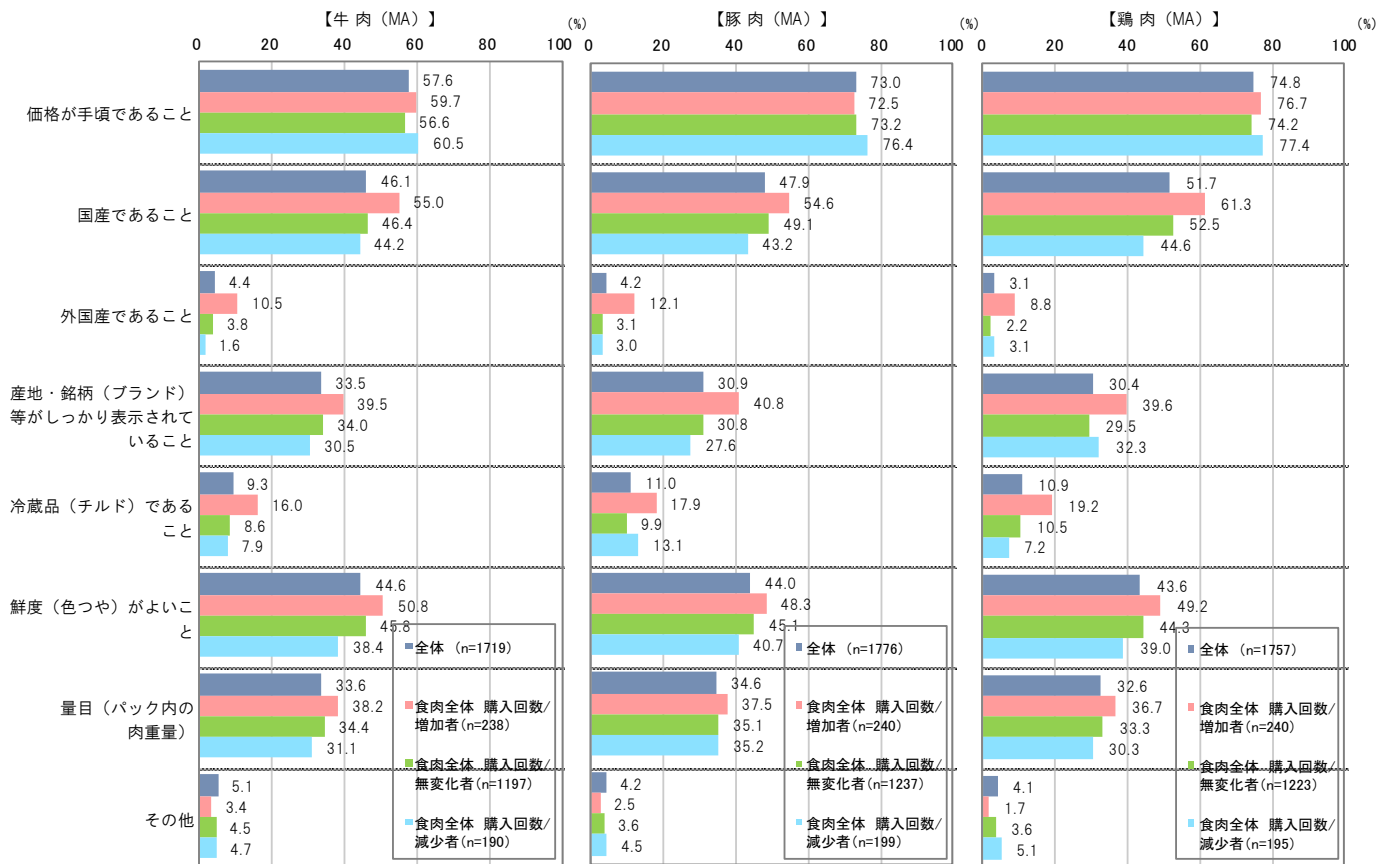


図表 76 食肉全体の購入回数セグメント別 食肉のイメージ

食肉の購入重視点（Q8／複数回答）を、食肉全体の購入回数の変化セグメント別にみた。

食肉全体「増加者」では、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれにおいても、「国産であること」「産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること」「鮮度（色つや）がよいこと」「量目（パック内の肉重量）」が全体に比して高い。

一方、食肉全体「減少者」では、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれにおいても、「価格が手頃であること」が全体に比して高く、価格重視である。



図表 77 食肉全体の購入回数セグメント別 食肉の購入重視点

食肉全体の購入回数の変化セグメントの特徴を図表 78 にまとめた。

	食肉全体 増加者	食肉全体 減少者
食肉の増減	国産豚肉、国産鶏肉の購入回数が増加 【増えた計の比率】 「国産豚肉」52.1% 「国産鶏肉」51.7% 「国産和牛」39.9% 「輸入牛肉」36.5% 「和牛以外の国産牛肉」34.9%	牛肉の購入回数が減少 【減った計の比率】 「国産和牛」62.1% 「和牛以外の国産牛肉」59.5% 「輸入牛肉」57.4% 「国産豚肉」52.2% 「和牛かどうかわからない国産牛肉」52.1%
食品の増減	【増えた食品】 「野菜」51.0% 「卵」43.6% 「牛乳」42.7% 「米」及び「パン」40.2% 【減った食品】 「ファストフード」35.3% 「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」34.4%	【増えた食品】 「パン」及び「野菜」31.6% 【減った食品】 「ファストフード」39.3% 「米」34.5% 「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」31.6% 「弁当・惣菜類」31.1% 「菓子類」30.1%
性別	女性（56.8%）が多い	男女半々
年代	若い（平均 43.5 歳）	全体と同じ（平均 50.4 歳）
エリア	全体と同じ	京阪神（52.9%）がやや多い
世帯年収	世帯年収が高め（平均 708.3 万円）	世帯年収が低め（平均 523.5 万円）
食肉の喫食意識	「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」（51.5%）が高い	「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」（36.9%）が低い
世帯構成	子供がいる割合が高い 「小学校入学前（乳児・幼児含）」20.3% 「小学生の子供」17.0% 「中高生の子供」10.4%	「ひとり暮らし」が 28.6%
食肉の喫食頻度 【週 1 日以上】	特に内食で喫食頻度の差が大きい。 牛肉料理 内食 60.1%（+36.8 ポイント） 豚肉料理 内食 78.8%（+25.4 ポイント） 鶏肉料理 内食 78.5%（+30.5 ポイント）	牛肉料理 内食 23.3% 豚肉料理 内食 53.4% 鶏肉料理 内食 48.0%
食肉の購入頻度 【週 1 日以上】	牛肉 58.9%（+33.2 ポイント） 豚肉 80.1%（+29.1 ポイント） 鶏肉 75.1%（+27.0 ポイント）	牛肉 25.7% 豚肉 51.0% 鶏肉 48.1%
食肉の購入先	「大型スーパー」「百貨店」が高く、購入チャネルが多岐に渡っている。	—
食肉のイメージ	「たんぱく質が豊富」「筋肉や骨をつくる」「健康にいい」「鉄分が豊富」「カロリーが低い」など、総じてイメージが高く、食肉のイメージがよい	総じていずれのイメージも低め
食肉の購入重視点	「国産であること」「産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること」「鮮度（色つや）がよいこと」「量目（パック内の肉重量）」が高め	「価格が手頃であること」が高め

図表 78 食肉全体の購入回数セグメント「増加者」「減少者」の特徴

3) 食肉全体の購入回数の変化 (Q9) によるセグメント特徴分析 (決定木)

食肉全体の購入回数の変化 (Q9 s1) により、対象者を以下の 3 セグメントに分け、機械学習の 1 つである決定木を用い、セグメント特徴分析を行った。

- ・①食肉全体・増加者 (率) 14% : 「増えた」「やや増えた」
- ・②食肉全体・無変化者 (率) 74% : 「変わらない」
- ・③食肉全体・減少者 (率) 12% : 「減った」「やや減った」

※なお Q9 s1 で「わからない」「購入していない」、世帯年収について「7 分らない、答えたくない」と回答しているサンプルは分析対象から除外し、サンプルサイズ 1,386 で分析を行った。

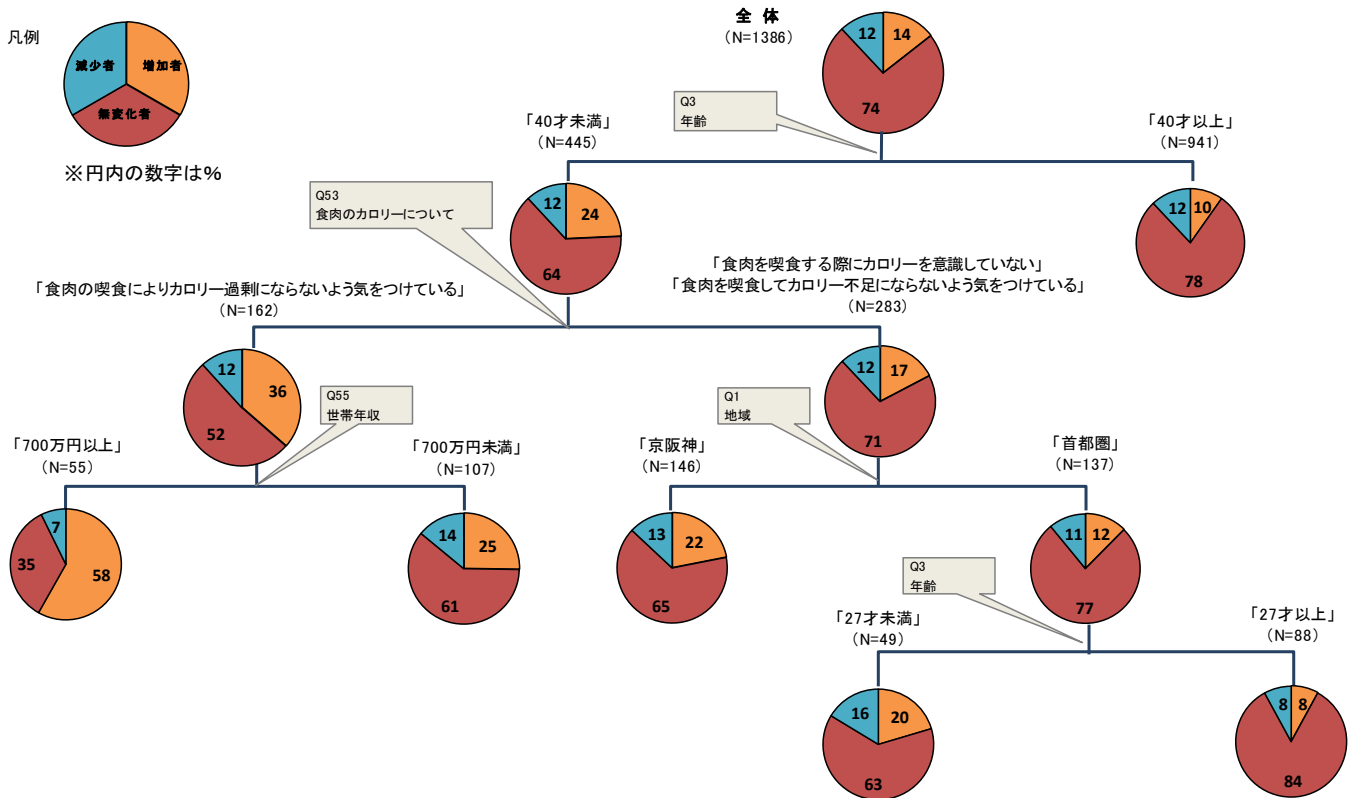
まず、全体からの分岐の設問として、「年齢・40 歳」(Q3) が選ばれ、「40 歳以上」では【食肉全体・無変化者】が 78% に高くなり、それ以上の分岐は見られなかった。

「40 歳未満」では、【食肉全体・増加者】が 24% となり、次に「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q53) が分岐の設問として選ばれた。これに「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」と回答した場合、【食肉全体・増加者】が 36% と高くなった。さらに、「世帯年収」(Q55) が分岐の設問として選ばれ、これに「700 万円以上」と回答した場合、全セグメントの中で【食肉全体・増加者】が 58% と最も高くなった。

一方、【食肉全体・減少者】は、「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q53) で、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」と回答し、さらに「首都圏」の「27 歳未満」で、全セグメントの中で【食肉全体・減少者】が 16% と最も高くなった。ただし【食肉全体・増加者】が 20% と全体より高い。

これらの結果から、食肉全体の購入回数の変化、つまり消費の変化は、40 歳以上の消費者層にはあまり見られず、40 歳未満の消費者、単身者や乳幼児・小中学生の子育て世代の消費者層で、消費の変化が見込まれることがわかる。

「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないように気を付けている」といった健康意識のある消費者で、家計にややゆとりのある消費者層では、食肉の消費が増加していることがわかる。一方、首都圏の 20 代の若者層で、カロリーへの意識が低い・健康意識が低い層では、食肉の消費が減少しており、今後の課題といえる。



図表 79 食肉全体の購入回数の変化によるセグメント特徴分析 (決定木)

2.3 家畜疫病（CSF^{*1}、ASF^{*2}、鳥インフルエンザ）による食肉への不安に関する考察

- ・ 豚肉への不安セグメンテーションは、「豚肉」について「不安を感じる層」は 20.7%、「中立層」は 36.3%、「不安を感じない層」は 43.0%。
「鶏肉」について「不安を感じる層」は 21.5%、「中立層」は 35.8%、「不安を感じない層」は 42.6%。
- ・ 豚肉・鶏肉に「不安を感じる層」は、他の食肉・魚介や、食肉を使用した食品（ファストフード・加工品・弁当・惣菜類）に対しても不安感が高い。
一方、豚肉・鶏肉に「不安を感じない層」層では、食肉を使用した食品（ファストフード・食肉加工品・弁当・惣菜類）やインスタント麺（カップ麺・袋麺等）に対してはやや不安がある。
- ・ 豚肉・鶏肉に「不安を感じる層」は、「女性」が多く、平均年齢が 40 代半ばと若めで、平均世帯年収が 610 万円以上と高め。
- ・ 豚肉・鶏肉に「不安を感じる層」は、「関心がある計」で見ると、「食肉の消費期限改ざん」「牛肉・豚肉の発がん性」「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」「食肉の産地偽装」「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」などが高い。
- ・ 豚肉に「不安を感じない層」は、総じて CSF^{*1}への認知・理解度が高く、家畜疫病への認知・理解の浸透が不安感の払拭につながっている。
- ・ 「ASF^{*2}」は日本の消費者にとっては、新しい家畜疫病であり、「CSF^{*1}」と比べると、認知・理解度がまだ低い。
- ・ 鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」中立層は、鳥インフルエンザへの認知・理解度が低く、鳥インフルエンザへの認知・理解の低さが「どちらともいえない」という意識につながっている。

この 2.3 では、家畜疫病（CSF^{*1}、ASF^{*2}、鳥インフルエンザ）による食肉への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

「食品の安全性への不安感」から、食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント（不安を感じる層、中立層、不安を感じない層）を作成し、家畜疫病（CSF^{*1}、ASF^{*2}、鳥インフルエンザ）への関心・認知・理解を把握し、その特徴分析を行う。

そこで、ここでは以下の 4 つの分析を行った。

- 1) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーション
- 2) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーションの特徴分析（クロス集計分析）
- 3) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）セグメント別の家畜疫病への関心度（Q27）
- 4) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）セグメント別の家畜疫病への認知・理解（Q28～Q30）

※1. CSF: Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2. ASF: African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

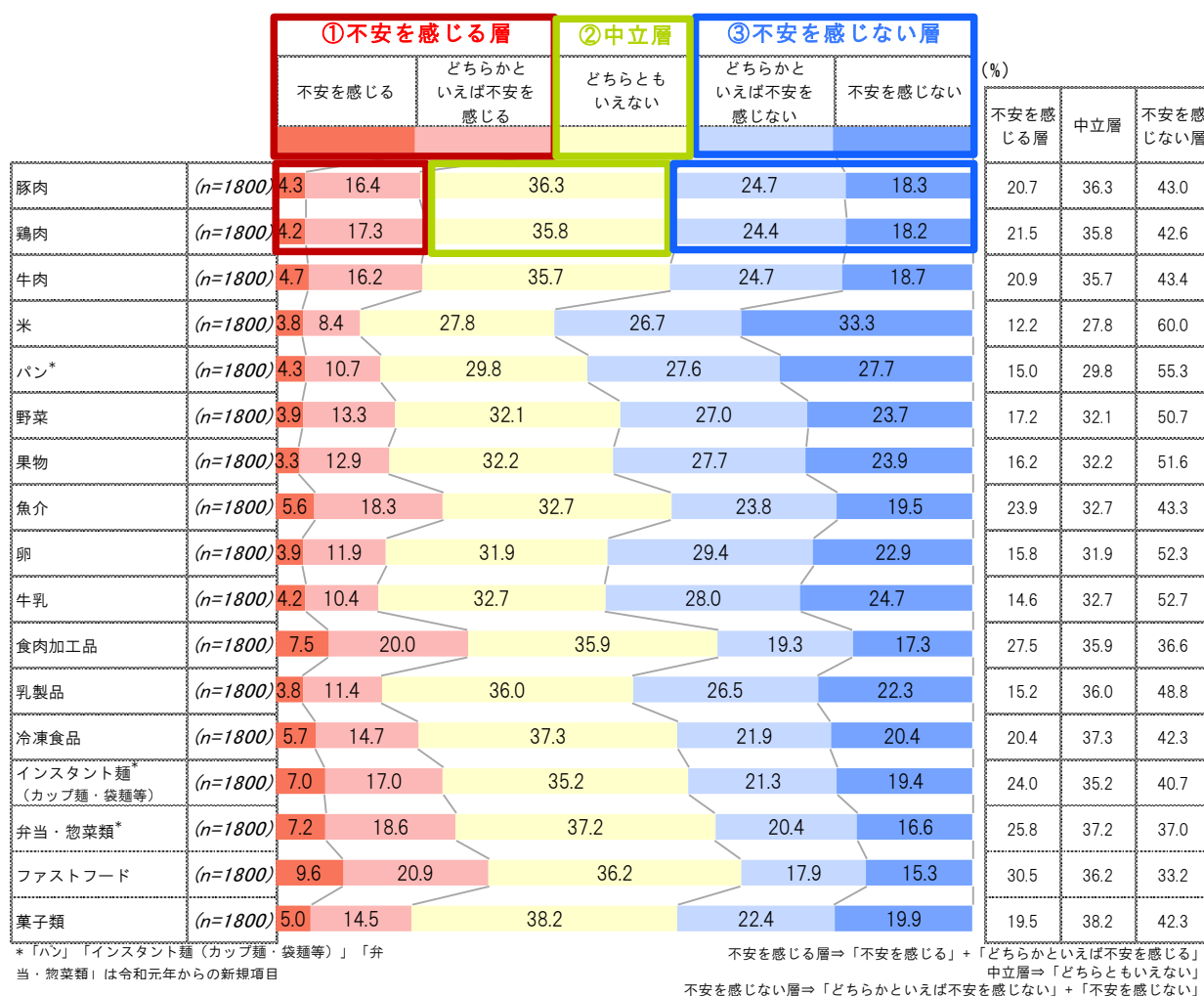
1) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーション

家畜疫病（CSF^{*1}、ASF^{*2}、鳥インフルエンザ）による食肉への不安状況把握と要因を把握するため、食肉（豚肉・鶏肉）への不安感から、食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント（不安を感じる層、中立層、不安を感じない層）を作成した。

具体的には、「豚肉」「鶏肉」（Q25）について、「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」と回答した対象者を「不安を感じる層」、「どちらともいえない」と回答した対象者を「中立層」、「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」と回答した対象者を「不安を感じない層」と定義した上でクロス集計を行い、家畜疫病（CSF^{*1}、ASF^{*2}、鳥インフルエンザ）への関心・認知・理解を把握し、その特徴分析を行った。

「豚肉」について「不安を感じる層」は20.7%、「中立層」は36.3%、「不安を感じない層」は43.0%と4割強を占める。

「鶏肉」について「不安を感じる層」は21.5%、「中立層」は35.8%、「不安を感じない層」は42.6%と4割強を占める。



図表 80 食品の安全性の不安感（全体）

「豚肉」「鶏肉」の不安セグメント別に、各食品の不安感（Q25）を見た。

豚肉に「不安を感じる層」は、「不安を感じる計」で見ると、「鶏肉」89.5%、「牛肉」85.5%、「魚介」73.5%、「食肉加工品」70.7%、「ファストフード」64.6%の順に不安感が高い。一方、「不安を感じない計」で見ると、「米」30.8%、「パン」28.4%といった主食に対しては不安感があまりない。

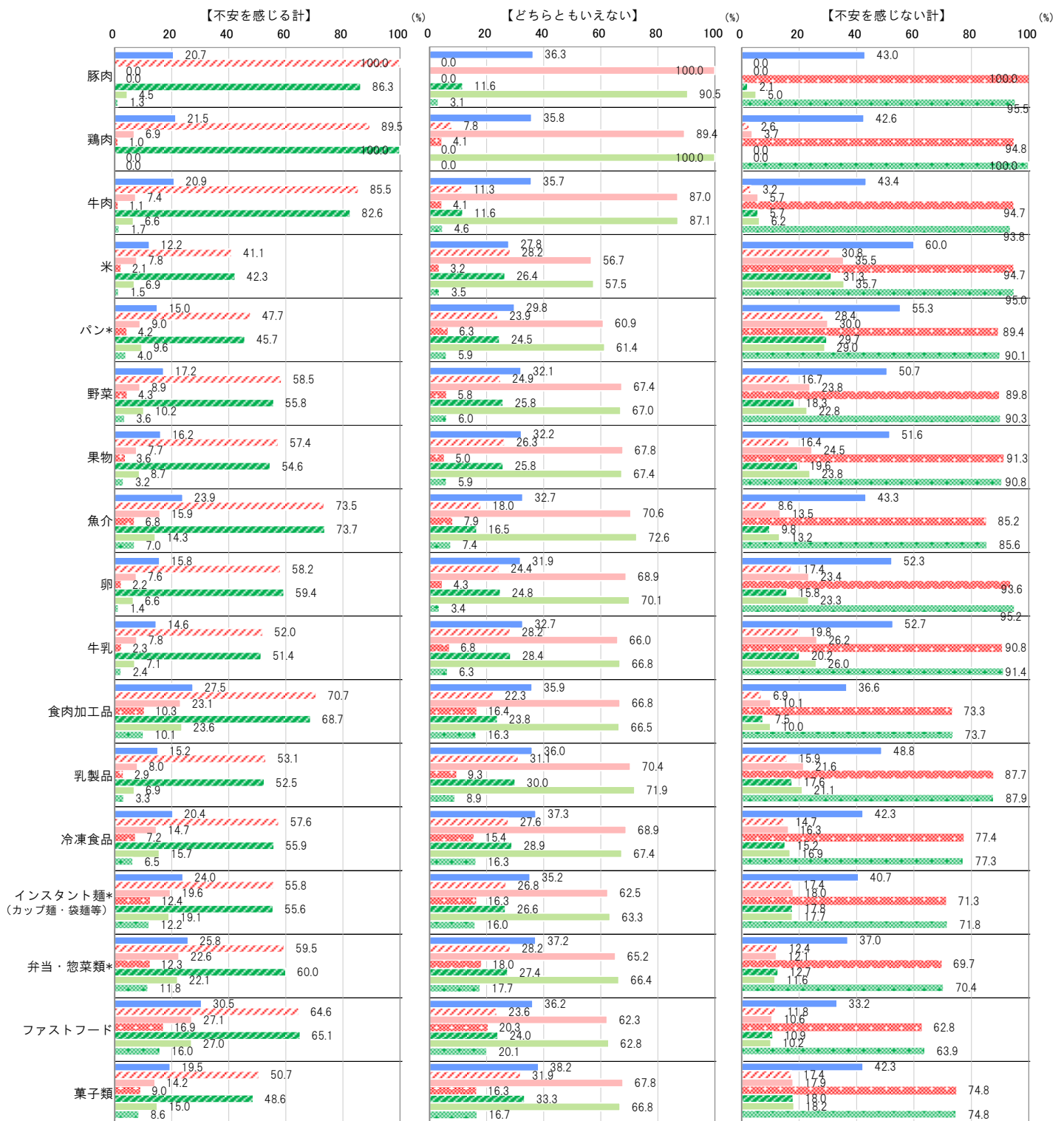
豚肉に「不安を感じない層」で「不安を感じる計」で見ると、「ファストフード」16.9%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」12.4%、「弁当・惣菜類」12.3%、「食肉加工品」10.3%に対しては、やや不安がある。

鶏肉も同傾向であり、鶏肉に「不安を感じる層」は、「不安を感じる計」で見ると、「豚肉」86.3%、「牛肉」82.6%、「魚介」73.7%、「食肉加工品」68.7%、「ファストフード」65.1%の順に不安感が高い。一方、「不安を感じない計」で見ると、「米」31.3%、「パン」29.7%といった主食に対しては不安感があまりない。

鶏肉に「不安を感じない層」で「不安を感じる計」で見ても、「ファストフード」16.0%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」12.2%、「弁当・惣菜類」11.8%、「食肉加工品」10.1%に対しては、やや不安がある。

豚肉・鶏肉に「不安を感じる層」は、他の食肉・魚介や、食肉を使用した食品（ファストフード・食肉加工品・弁当・惣菜類）に対して、同様に不安感が高い。

一方、豚肉・鶏肉に「不安を感じない」層では、食肉を使用した食品（ファストフード・加工品・弁当・惣菜類）やインスタント麺（カップ麺・袋麺等）に対してはやや不安がある。

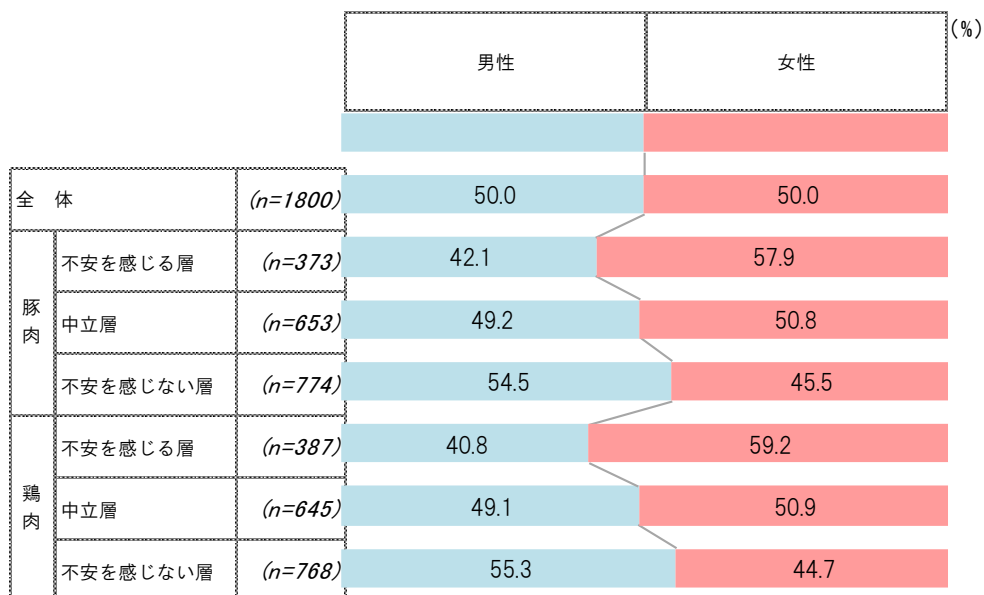


図表 81 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 食品の安全性の不安感

2) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）によるセグメンテーションの特徴分析（クロス集計分析）

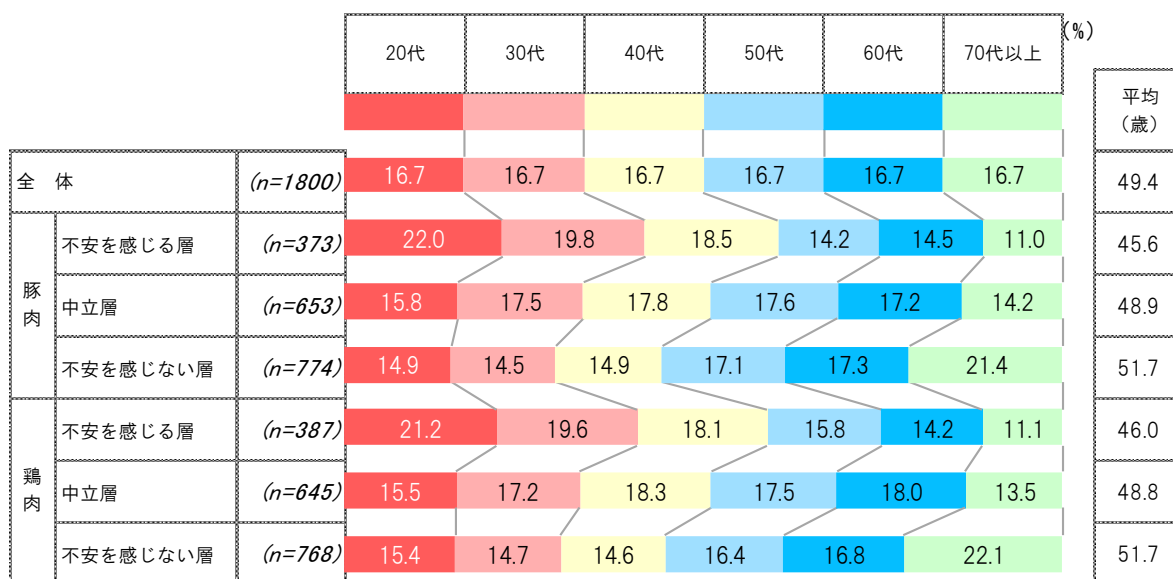
食肉（豚肉・鶏肉）の不安セグメント（不安を感じる層、中立層、不安を感じない層）について特徴を抽出すべく各設問とのクロス集計を行ったところ、次のような特徴が見られた

性別（Q2）は、豚肉・鶏肉ともに「不安を感じる層」の方が「女性」が多く、「不安を感じない層」の方が「男性」が多い。



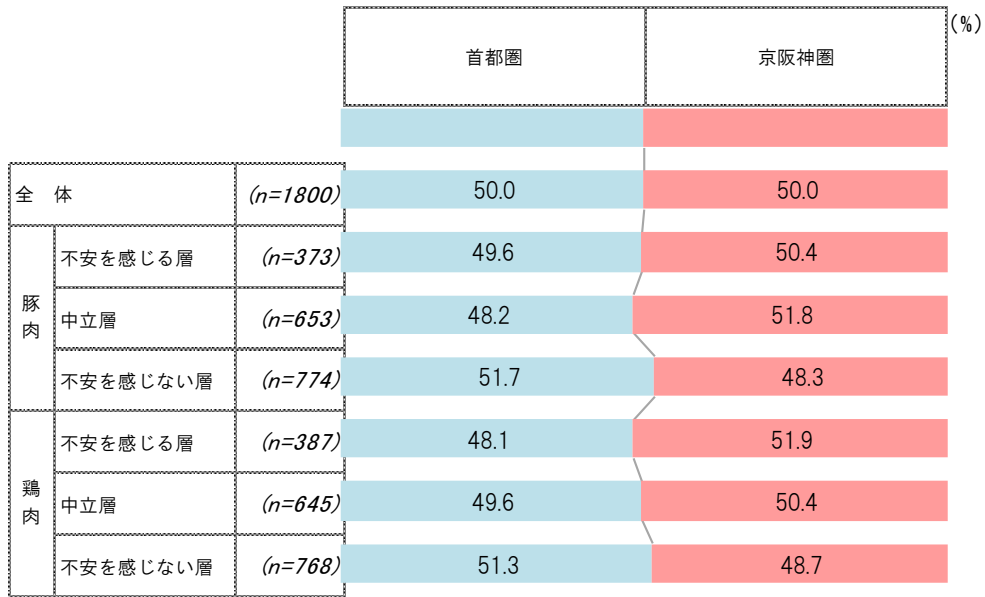
図表 82 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 性別

年代（Q3）は、豚肉・鶏肉ともに「不安を感じる層」の方が平均年齢が40代半ばと若く、「不安を感じない層」の方が平均年齢が50歳以上と高い。



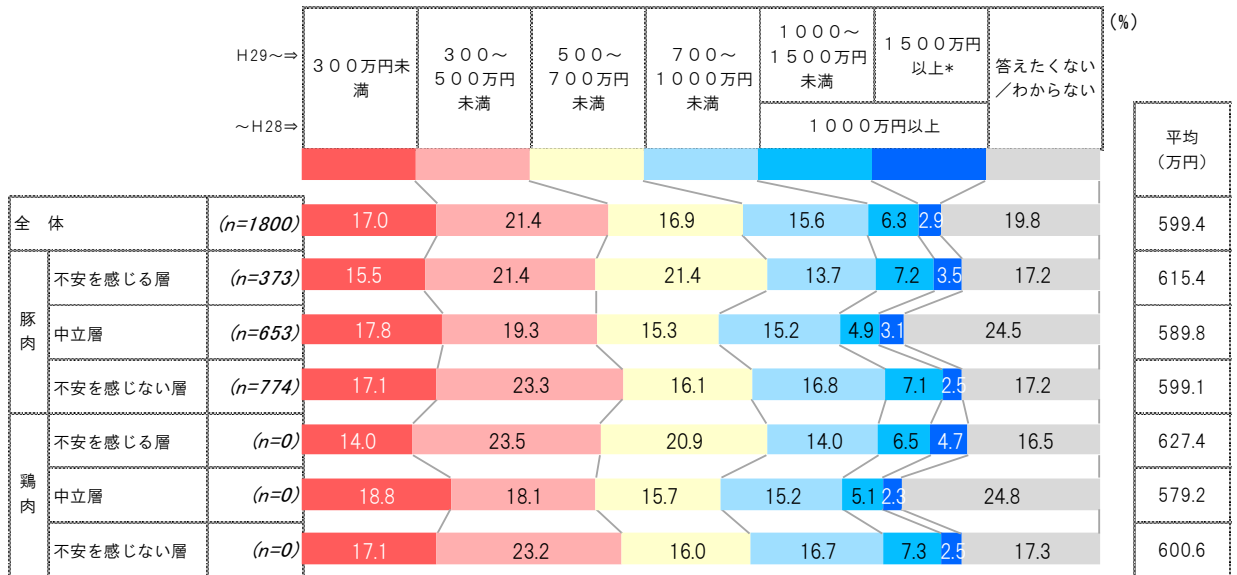
図表 83 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 年代

居住エリアは、大きな違いは見られないが、豚肉・鶏肉ともに「不安を感じない層」の方が「首都圏」が僅かに多い。



図表 84 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 居住エリア

世帯年収（Q55）は、豚肉・鶏肉ともに「不安を感じる層」の方が平均世帯年収が610万円以上と高い。



図表 85 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 世帯年収

食肉（豚肉・鶏肉）の不安セグメントの特徴を図表 86 にまとめた。

【豚肉】

	豚肉に不安を感じる層	豚肉に不安を感じない層
食品への不安感 【不安を感じる計】	「鶏肉」89.5% 「牛肉」85.5% 「魚介」73.5% 「食肉加工品」70.7% 「ファストフード」64.6%	「ファストフード」16.9% 「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」12.4% 「弁当・惣菜類」12.3% 「食肉加工品」10.3%
性別	女性（57.9%）が多い	男性（54.5%）が多い
年代	若い（平均 45.6 歳）	全体と同じ（平均 51.7 歳）
エリア	全体と同じ	やや首都圏（51.7%）が多い
世帯年収	世帯年収がやや高め（平均 615.4 万円）	全体と同じ（平均 599.1 万円）

【鶏肉】

	鶏肉に不安を感じる層	鶏肉に不安を感じない層
食品への不安感 【不安を感じる計】	「豚肉」86.3% 「牛肉」82.6% 「魚介」73.7% 「食肉加工品」68.7% 「ファストフード」65.1%	「ファストフード」16.0% 「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」12.4% 「弁当・惣菜類」11.8% 「食肉加工品」10.1%
性別	女性（59.2%）が多い	男性（55.3%）が多い
年代	若い（平均 46.0 歳）	全体と同じ（平均 51.7 歳）
エリア	全体と同じ	やや首都圏（51.3%）が多い
世帯年収	世帯年収がやや高め（平均 627.4 万円）	全体と同じ（平均 600.6 万円）

図表 86 食肉（豚肉・鶏肉）への不安セグメント別の特徴

3) 食肉(豚肉・鶏肉)への不安(Q25)セグメント別の家畜疫病への関心度(Q27)

「豚肉」「鶏肉」の不安セグメント別に、家畜疫病への関心度(Q27)を見た。

豚肉に「不安を感じる層」は、「関心がある計」で見ると、「食肉の消費期限改ざん」82.9%、「牛肉・豚肉の発がん性」81.8%、「豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性」80.7%、「食肉の産地偽装」80.4%、「食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染」80.2%順に関心度が高い。

また、「CSF^{*1}」は79.4%、「ASF^{*2}」76.4%、「豚インフルエンザ」77.7%、「鳥インフルエンザ」78.8%の関心度であった。

一方、豚肉に「不安を感じない層」でも、「CSF^{*1}」は58.4%、「ASF^{*2}」55.3%、「豚インフルエンザ」58.4%、「鳥インフルエンザ」62.9%の関心度があった。

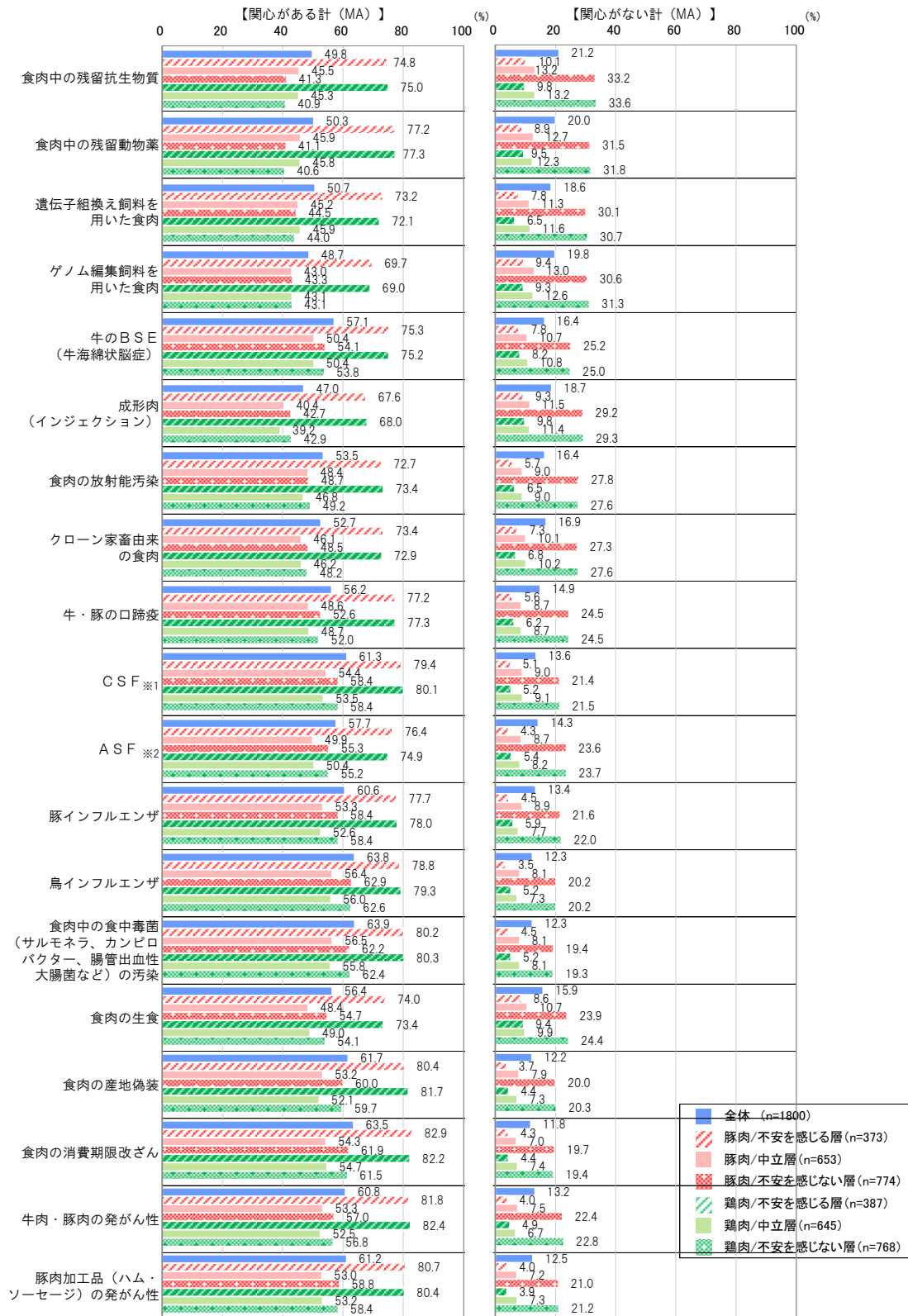
鶏肉も同傾向であり、鶏肉に「不安を感じる層」は、「関心がある計」で見ると、「牛肉・豚肉の発がん性」82.4%、「食肉の消費期限改ざん」82.2%、「食肉の産地偽装」81.7%、「豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性」80.4%、「食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染」80.3%順に関心度が高い。

また、「CSF^{*1}」は80.1%、「ASF^{*2}」74.9%、「豚インフルエンザ」78.0%、「鳥インフルエンザ」79.3%の関心度であった。

一方、鶏肉に「不安を感じない層」でも、「CSF^{*1}」は58.4%、「ASF^{*2}」55.2%、「豚インフルエンザ」58.4%、「鳥インフルエンザ」62.6%の関心度があった。

※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。



※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。(令和元年よりの新規項目)

図表 87 食肉 (豚肉・鶏肉) への不安セグメント別 家畜疫病への関心度

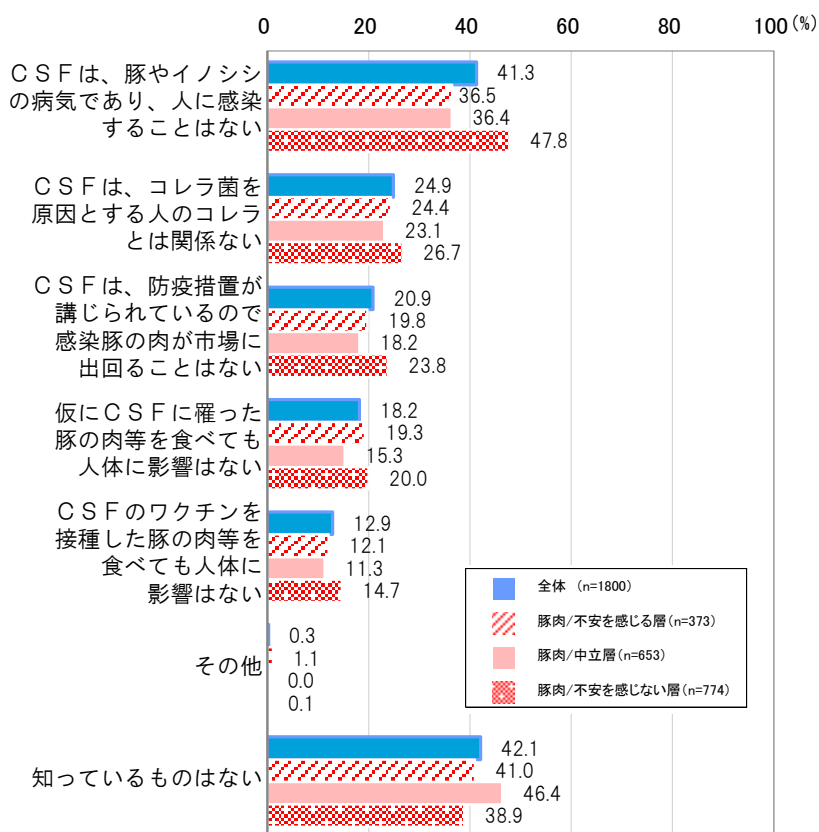
4) 食肉（豚肉・鶏肉）への不安（Q25）セグメント別の家畜疫病への認知・理解（Q28～Q30）

CSF^{*1}への認知・理解

CSF^{*1}への認知・理解（Q29／複数回答）は、全体で見ると、「CSF^{*1}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」41.3%、「CSF^{*1}は、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ない」24.9%、「CSF^{*1}は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」20.9%の順に多い。「知っているものはない」が42.1%である。

豚肉への不安セグメント別に見ると、「CSF^{*1}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」は、豚肉に「不安を感じる層」では36.5%、「中立層」でも36.4%だが、豚肉に「不安を感じない層」では47.8%と約半数が「人に感染することはない」と理解している。

豚肉に「不安を感じない層」は、総じてCSF^{*1}への認知・理解度が高く、家畜疫病への認知・理解の浸透が不安感の払拭につながると言える。



※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

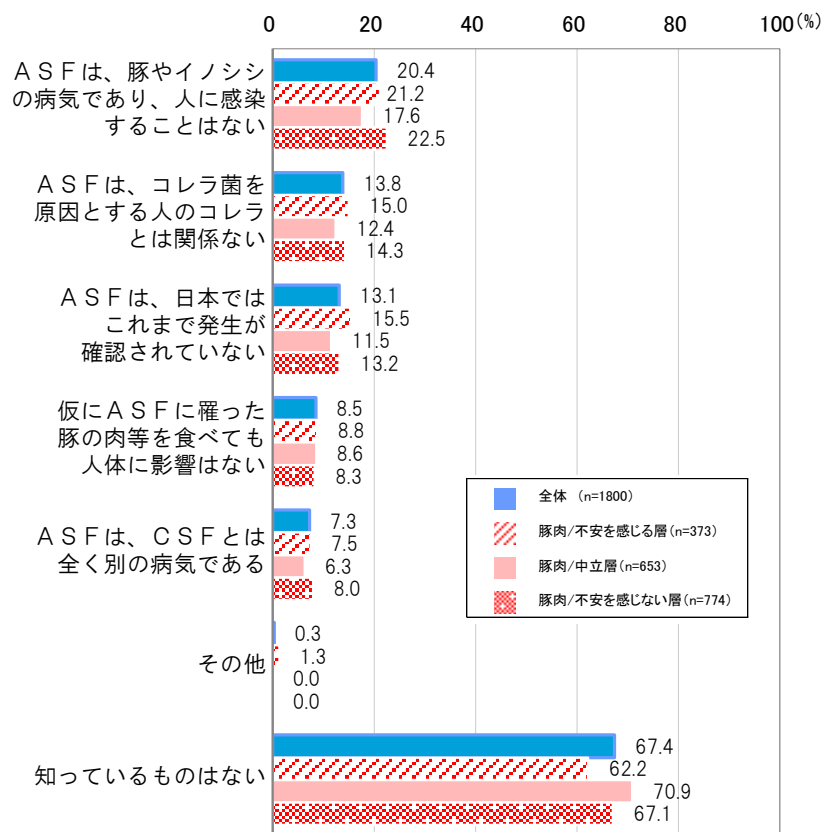
図表 88 豚肉への不安セグメント別 CSF^{*1}への認知・理解

ASF^{※2}への認知・理解

ASF^{※2}への認知・理解（Q30／複数回答）は、全体で見ると、「ASF^{※2}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」20.4%、「ASF^{※2}は、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ない」13.8%、「ASF^{※2}は、日本ではこれまで発生が確認されていない」13.1%の順に多い。「知っているものはない」が67.4%である。

「CSF^{※1}」は、豚肉への不安セグメント別に違いが見られたが、「ASF^{※2}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」は、豚肉に「不安を感じる層」では21.2%、豚肉に「不安を感じない層」では22.5%というように、「ASF^{※2}」については、豚肉への不安セグメント別で大きな違いは見られない。

「ASF^{※2}」は日本の消費者にとっては、新しい家畜疫病であり、「CSF^{※1}」と比べると、認知・理解度がまだ低い。



※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF：African Swine Fever（直訳すればアフリカの豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

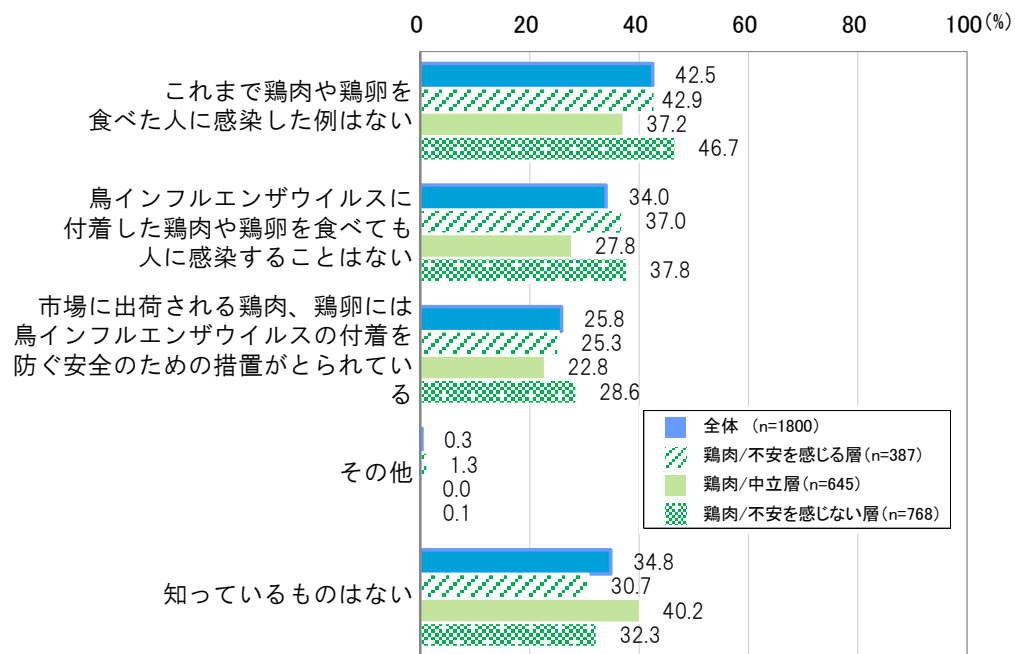
図表 89 豚肉への不安セグメント別 ASF^{※2}への認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q28／複数回答）は、全体で見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」42.5%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」34.0%、「市場に出荷される鶏肉・鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」25.8%の順に多い。「知っているものはない」が34.8%である。

鶏肉への不安セグメント別に見ると「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は、鶏肉に「不安を感じる層」では42.9%、鶏肉に「不安を感じない層」では46.7%では、「中立層（どちらともいえない）」では37.2%と低い。「中立層」では、「知っているものはない」が40.2%と多い。

鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」中立層では、総じて鳥インフルエンザへの認知・理解度が低く、鳥インフルエンザへの認知・理解の低さが「どちらともいえない」という意識につながっていると言える。



図表 90 鶏肉への不安セグメント別 鳥インフルエンザへの認知・理解

2.4 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」に関する考察

- ・ 「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」の認知度は、全体の51.3%（「詳しく知っている」3.9%+「ある程度知っている」17.4%+「何となく知っている」30.0%）。
- ・ 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」の認知度は、全体の27.1%（「詳しく知っている」2.6%+「ある程度知っている」7.6%+「何となく知っている」16.9%）。
- ・ 「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知度は、全体の25.6%（「詳しく知っている」1.9%+「ある程度知っている」7.1%+「何となく知っている」16.6%）。
- ・ 「植物由来の代替肉」の喫食経験は、「食べたことがない」が38.5%、「食べたことがあるかどうかわからない」が30.7%と合わせて7割。「日本国内」が26.3%、「アメリカ合衆国」が5.3%、「オーストラリア」が2.6%。
- ・ 「植物由来の代替肉」に対する消費者意識は、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」が33.8%、「動物性たんぱく質よりも、植物性たんぱく質を積極的に摂取したい」が16.8%、「食肉とよく似た製品があるならば、食肉を食べる量を減らして、「植物由来の代替肉」を食べる量を増やしたい」が12.7%、「植物由来の代替肉」は、食肉とは異なる食品なので、両方を食べたい」が11.6%の順に高い。
- ・ 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」に対する消費者意識は、「細胞培養による代替肉」は、人工的に畜産物を生産しており、不安なので食べたくない」が15.8%、「細胞培養による代替肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい」が12.7%、「細胞培養による代替肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」が12.5%の順に高い。
- ・ 「ゲノム編集家畜由来の食肉」に対する消費者意識は、「遺伝子配列を人工的に変化させた家畜から生産された食肉を食べたくない」が23.1%、「ゲノム編集家畜由来の食肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」が12.4%、「ゲノム編集家畜由来の食肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい」が11.1%の順に高い。

2.4では、本物の肉の味や食感を人工的に再現した「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知を把握すること、及び消費者の意識の違いを探ることを目的とし、そのために以下の5つの分析を行った。

- 1) 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知（Q45）のエリア・性・年代別分析
- 2) 「植物由来の代替肉」の喫食経験（Q46）のエリア・性・年代別分析
- 3) 「植物由来の代替肉」についての考え（Q47）のエリア・性・年代別分析
- 4) 「植物由来の代替肉」の認知（Q45）・喫食経験（Q46）・考え（Q47）の食肉の喫食によるカロリーに対する意識（Q53）別分析
- 5) 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」についての考え（Q48）のエリア・性・年代別分析
- 6) 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についての考え（Q49）のエリア・性・年代別分析

1) 「代替肉」や「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知（Q45）のエリア・性・年代別分析

「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」の認知度（Q45）は、「詳しく知っている」が3.9%、「ある程度知っている」が17.4%、「何となく知っている」が30.0%で、認知度計は全体の51.3%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が16.8%、「知らない」が10.6%、「全く知らない」が最も多く21.2%で、非認知計は全体の48.6%である。

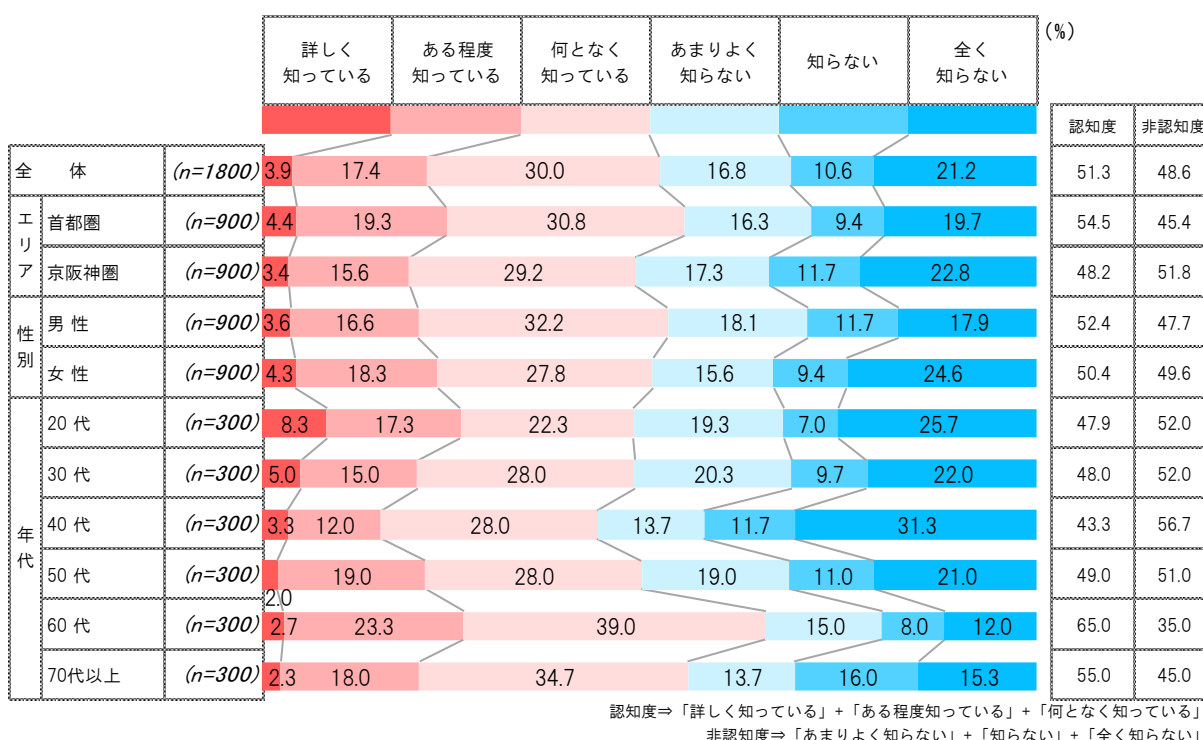
「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」の認知度（Q45）は、「詳しく知っている」が2.6%、「ある程度知っている」が7.6%、「何となく知っている」が16.9%で、認知度計は全体の27.1%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が21.5%、「知らない」が20.3%、「全く知らない」が最も多く31.2%で、非認知計は全体の73.0%である。

「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知度（Q45）は、「詳しく知っている」が1.9%、「ある程度知っている」が7.1%、「何となく知っている」が16.6%で、認知度計は全体の25.6%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が23.1%、「知らない」が19.1%、「全く知らない」が最も多く32.2%で、非認知計は全体の74.4%である。

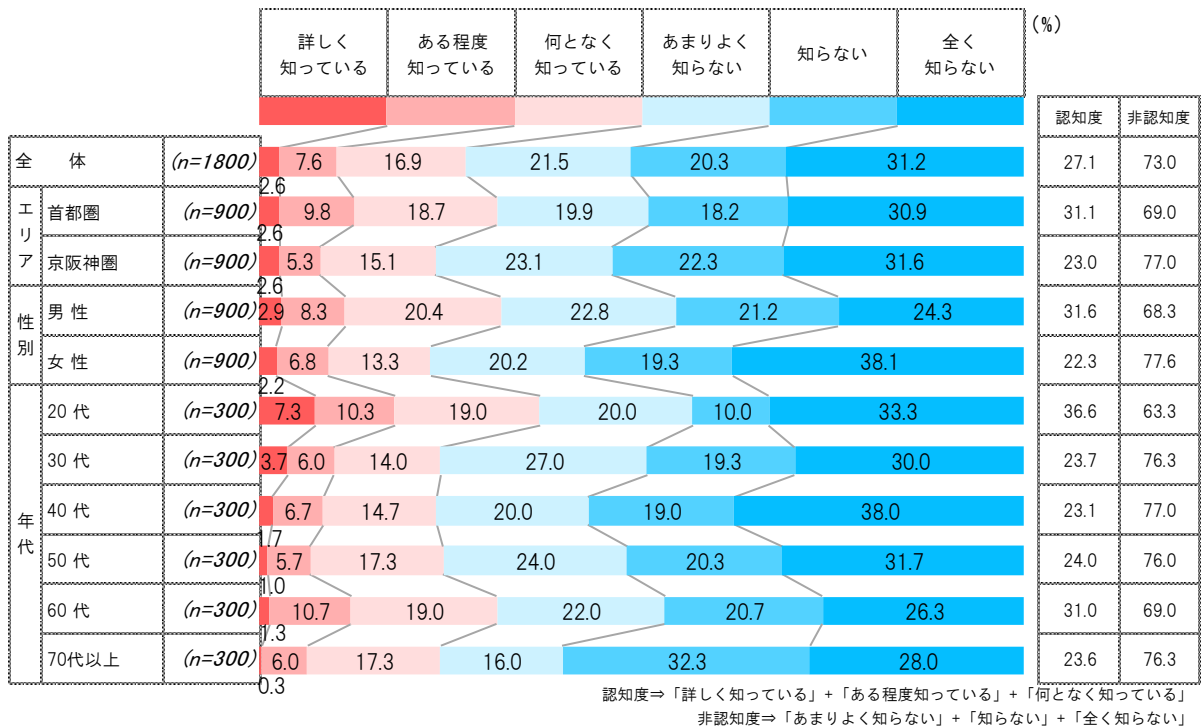
エリア別に認知度計を見ると、いずれも、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。

男女別に認知度計を見ると、いずれも女性より男性の方が認知度が高い。

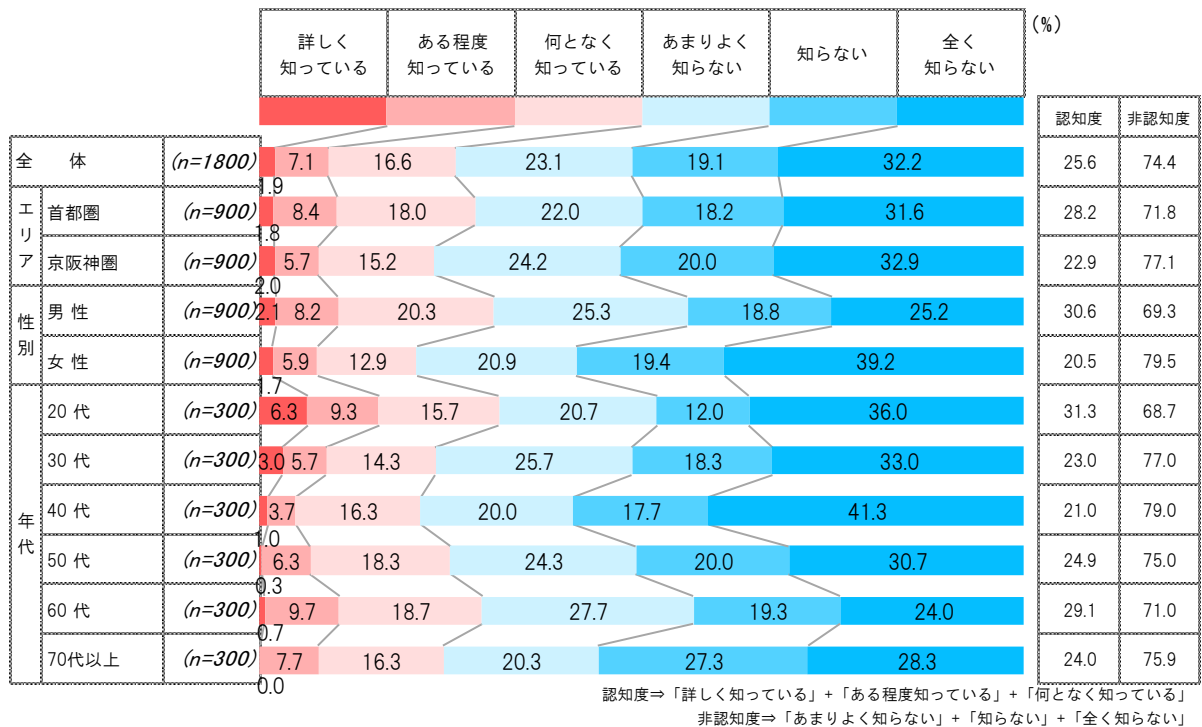
年代別に見ると、いずれも「詳しく知っている」の比率が20代で高い。



図表 91 「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」の認知度



図表 92 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」の認知度



図表 93 「ゲノム編集家畜由来の食肉」の認知度

2) 「植物由来の代替肉」の喫食経験 (Q46) のエリア・性・年代別分析

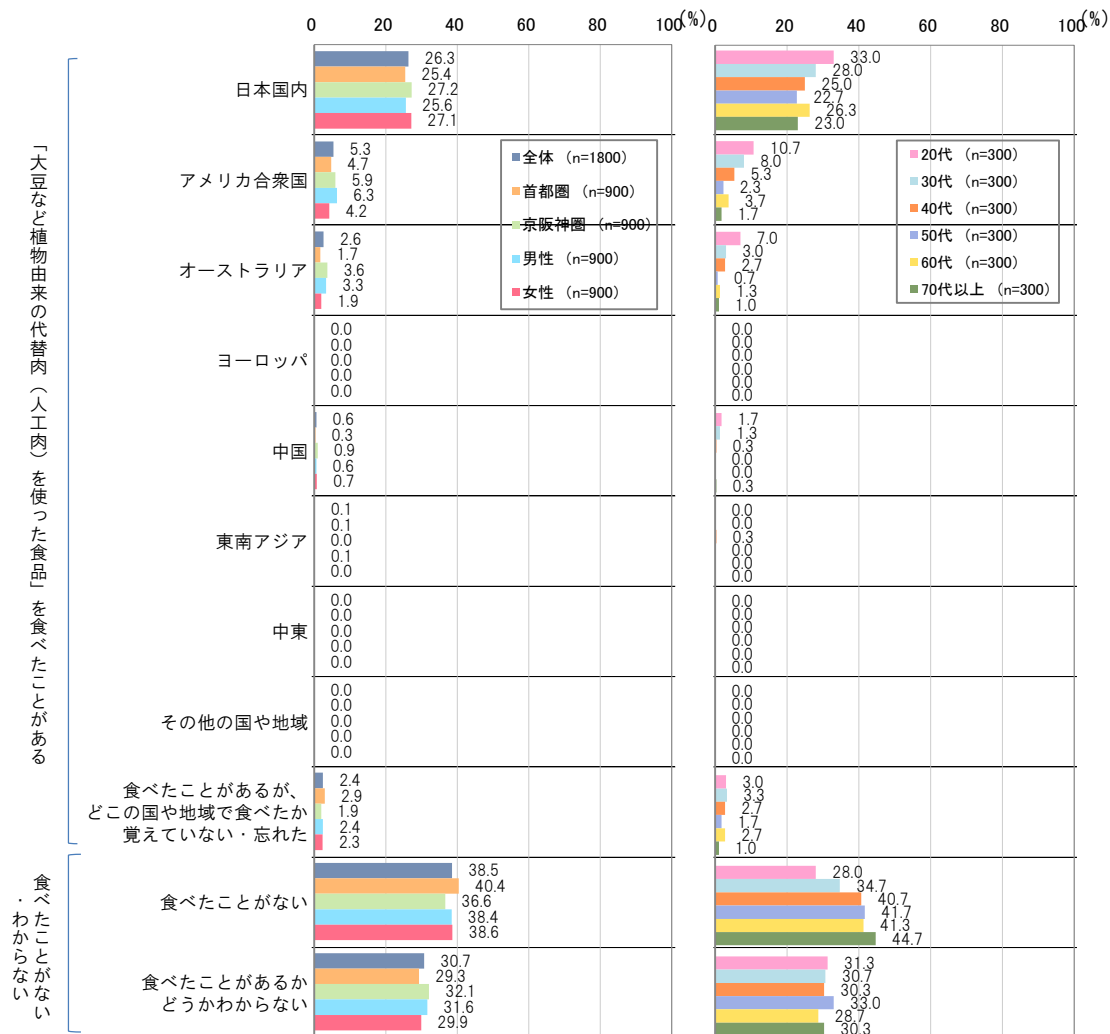
「植物由来の代替肉」の説明文を提示して聞いた食べたことがある国やエリア (Q46/複数回答) は、「食べたことがない」が 38.5%、「食べたことがあるかどうかわからない」が 30.7%と合わせて 7 割を占める。食べたことがあるエリアは、「日本国内」が 26.3%と最も多く、「アメリカ合衆国」が 5.3%、「オーストラリア」が 2.6%であった。

エリア別、男女別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、若い年代の方が喫食経験が高く、20 代では「日本国内」が 33.0%、「アメリカ合衆国」が 10.7%、「オーストラリア」が 7.0%と高い。

「大豆などの植物由来の原料を使って、食肉の風味と食感を再現した食品」(植物由来のソーセージ、ハンバーグ、ホットドッグ、バーガー、ナゲット、唐揚げなど)が、国内外で販売され、関心を集めるようになっていきます。

図表 94 提示説明文



図表 95 「植物由来の代替肉」の喫食経験

3) 「植物由来の代替肉」についての考え (Q47) のエリア・性・年代別分析

「植物由来の代替肉」の説明文を提示して聞いた消費者の意識 (Q47/複数回答) は、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」が 33.8%、「動物性たんぱく質と植物性たんぱく質は、両方をバランスよく摂取したい」が 16.8%、「食肉とよく似た製品があるならば、食肉を食べる量を減らして、「植物由来の代替肉」を食べる量を増やしたい」が 12.7%、「植物由来の代替肉」は、食肉とは異なる食品なので、両方を食べたい」が 11.6%の順に高くなっている。

「よくわからない」が 31.3%、「いずれもあてはまらない」が 13.9%となっており、合わせて 45.2%と半数弱を占める。

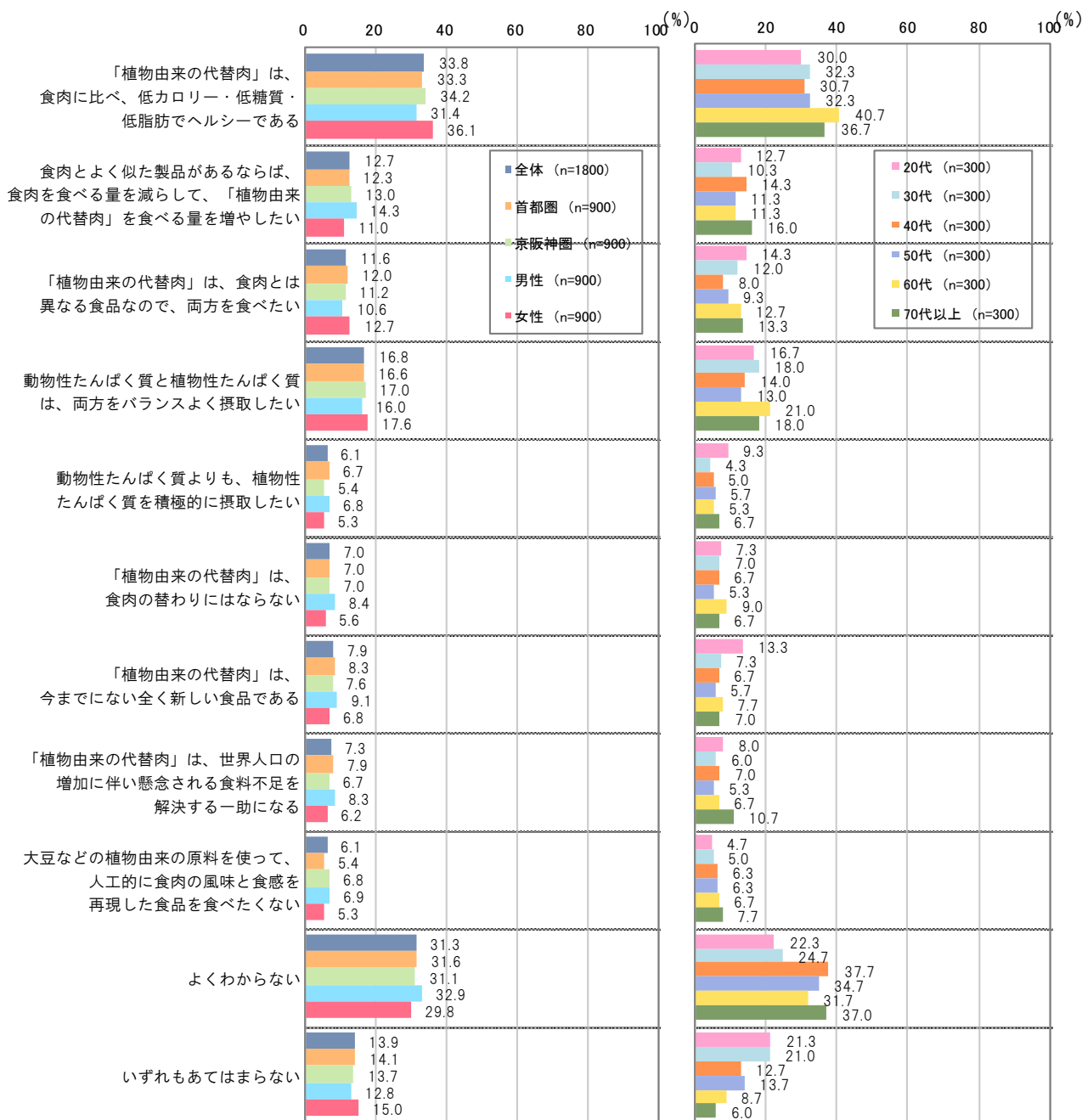
エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」は、男性が 31.4%、女性が 36.1%と女性の方が高い。

年代別に見ると、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」は 60代が 40.7%、70代以上が 36.7%と年代が高い方が高くなっている。

「大豆などの植物由来の原料を使って、食肉の風味と食感を再現した食品」(植物由来のソーセージ、ハンバーグ、ホットドッグ、バーガー、ナゲット、唐揚げなど)が、国内外で販売され、関心を集めるようになっていきます。

図表 96 提示説明文



図表 97 「植物由来の代替肉」についての考え

4) 「植物由来の代替肉」の認知 (Q45) ・喫食経験 (Q46) ・考え (Q47) の食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53) 別分析

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53・食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている:1、食肉を喫食する際にカロリーを意識していない:2、食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている:3)」と、「植物由来の代替肉の認知 (Q45・詳しく知っている:1～全く知らない:6)」、「植物由来の代替肉の喫食経験 (Q46・喫食経験あり:1、わからない:2、食べたことがない:3)」、「植物由来の代替肉についての考え (Q47/複数回答・あてはまる:1、あてはまらない:2)」との関連性を見た。

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「植物由来の代替肉の認知」は、相関係数 0.204 で、1%水準で優位な正の相関が認められた。

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「植物由来の代替肉の喫食経験」については、相関係数 0.039 で、有意な相関は認められなかった。

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「植物由来の代替肉への考え」については、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」が相関係数 0.156、「動物性たんぱく質よりも、植物性たんぱく質を積極的に摂取したい」が相関係数 0.111 と相関係数+0.1 以上となり、1%水準で優位な正の相関が認められた。また、上記以外の「植物由来の代替肉」についてのポジティブな考えについても、1%水準で優位な正の相関が認められた。

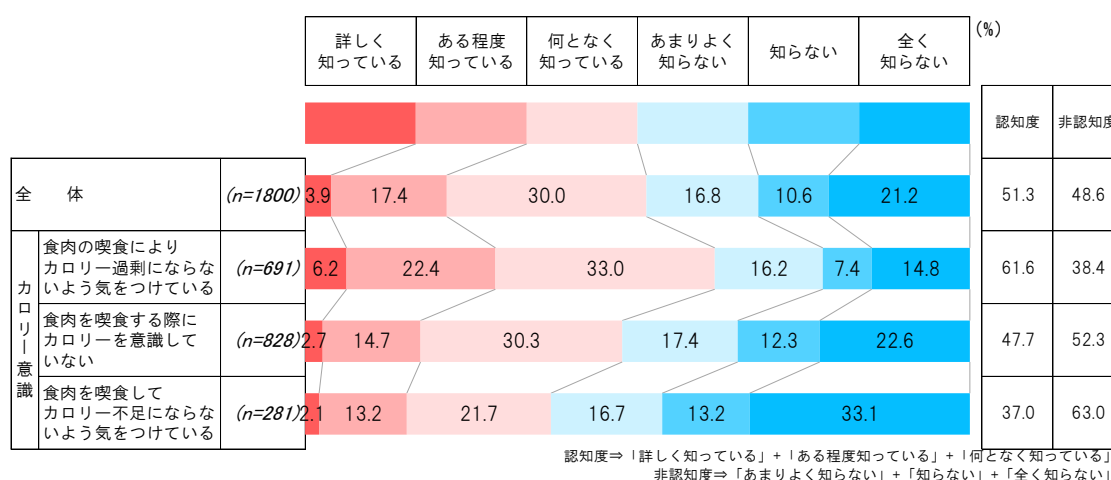
		相関係数	有意確率
認知	「植物由来の代替肉」の認知	0.204	0.000
喫食	「植物由来の代替肉」喫食経験	0.039	0.098
「植物由来の代替肉」についての考え	「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである	0.156	0.000
	食肉とよく似た製品があるならば、食肉を食べる量を減らして、「植物由来の代替肉」を食べる量を増やしたい	0.086	0.000
	「植物由来の代替肉」は、食肉とは異なる食品なので、両方を食べたい	0.080	0.001
	動物性たんぱく質と植物性たんぱく質は、両方をバランスよく摂取したい	0.083	0.000
	動物性たんぱく質よりも、植物性たんぱく質を積極的に摂取したい	0.111	0.000
	「植物由来の代替肉」は、食肉の替わりにはならない	0.010	0.663
	「植物由来の代替肉」は、今までにない全く新しい食品である	0.072	0.002
	「植物由来の代替肉」は、世界人口の増加に伴い懸念される食料不足を解決する一助になる	0.074	0.002
	大豆などの植物由来の原料を使って、人工的に食肉の風味と食感を再現した食品を食べたくない	0.020	0.403

相関係数 0.1 ≤ 1% 水準で有意

図表 98 食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53) と「植物由来の代替肉」の認知 (Q45) ・喫食経験 (Q46) ・考え (Q47) の相関係数

「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」の認知度（Q45）を、「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」（Q53）別に認知度計を見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、認知度計が61.6%と全体より10.3ポイント高く、「詳しく知っている」が6.2%である。低カロリー志向の消費者では、「植物由来の代替肉」が高くなっている。

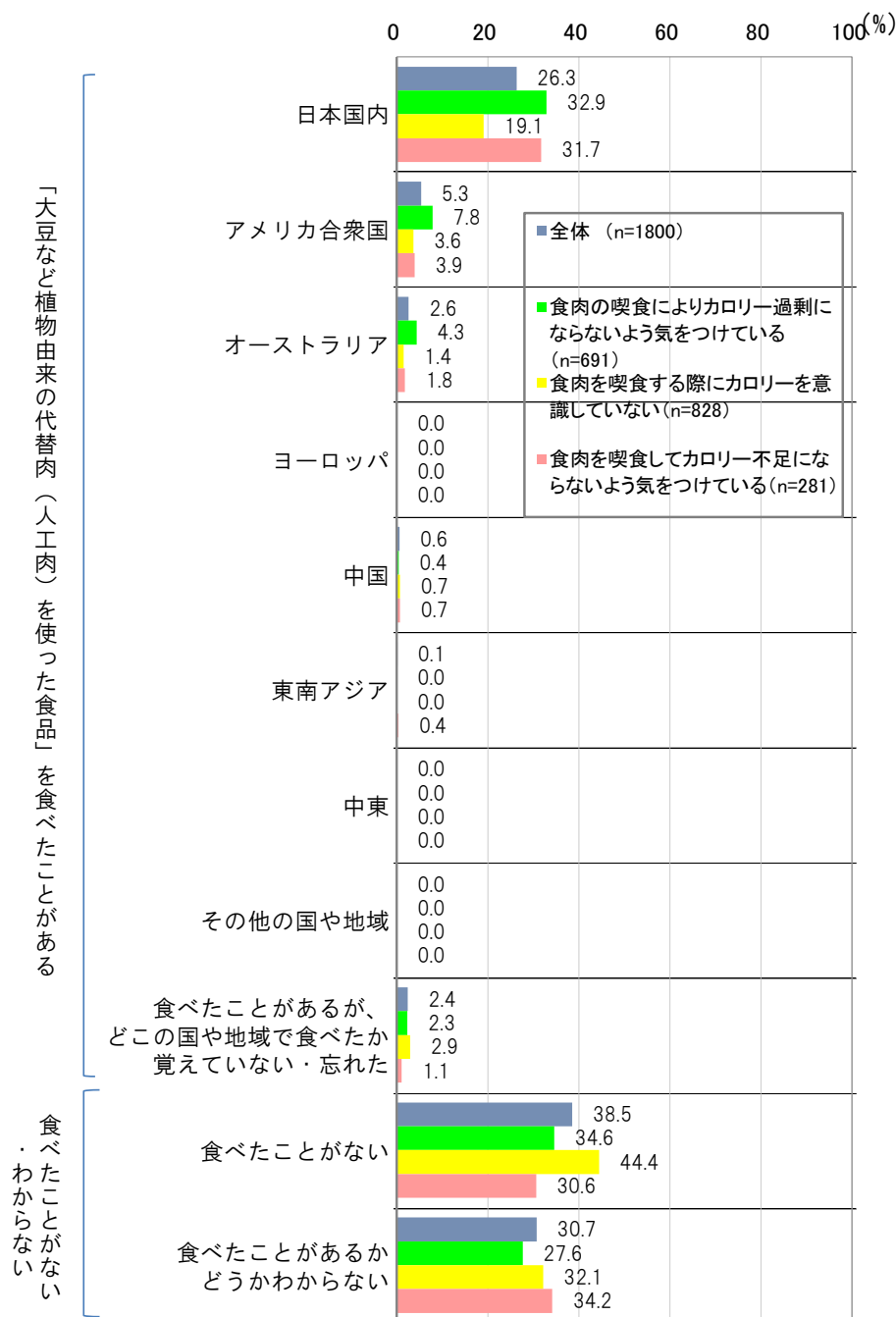
一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では認知度計が47.7%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では認知度計が37.0%と低くなっている。



図表 99 食肉の喫食によるカロリーに対する意識（Q53）別
「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」の認知度

「植物由来の代替肉」を食べたことがある国やエリア (Q46／複数回答) を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」 (Q53) 別に認知度計を見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では喫食経験が高く、「日本国内」が 32.9%、「アメリカ合衆国」が 7.8%、「オーストラリア」が 4.3%と高い。また、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層でも、「日本国内」が 31.7%と高くなっている。カロリーを意識している消費者の方が、「植物由来の代替肉」の喫食経験が高い。

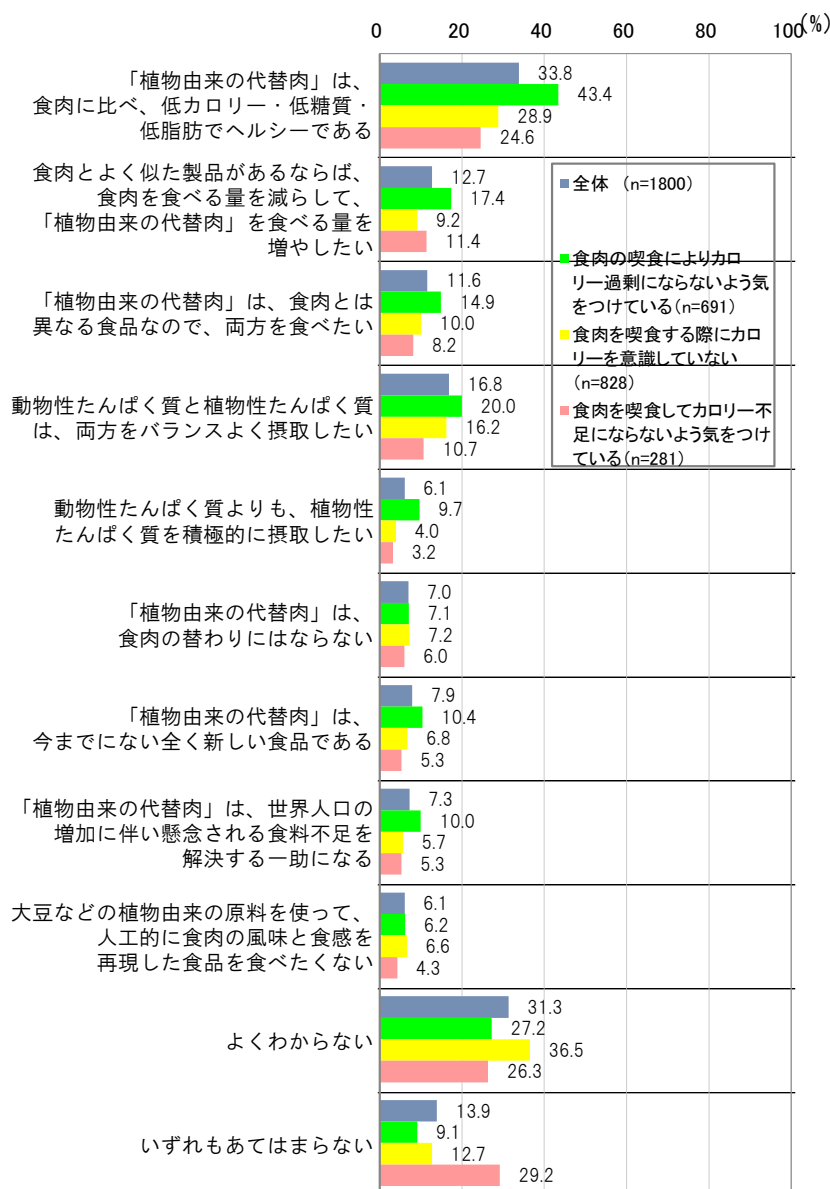
一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では喫食経験が低く、「食べたことがない」が 44.4%と高い。



図表 100 食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q53) 別
「植物由来の代替肉」の喫食経験

「植物由来の代替肉」への消費者の意識（Q47／複数回答）を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」（Q53）別に認知度計を見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである」が43.4%と非常に高く、次いで、「動物性たんぱく質と植物性たんぱく質は、両方をバランスよく摂取したい」が20.0%、「食肉とよく似た製品があるならば、食肉を食べる量を減らして、「植物由来の代替肉」を食べる量を増やしたい」が17.4%と高い。低カロリー志向の消費者では、「植物由来の代替肉」に対するポジティブな意識が高くなっている。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では「よくわからない」が36.5%と高く、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では「いずれもあてはまらない」が29.2%と高くなっており、「植物由来の代替肉」に対する意識が低い。



図表 101 食肉の喫食によるカロリーに対する意識（Q53）別「植物由来の代替肉」についての考え

5) 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」についての考え (Q48) の エリア・性・年代別分析

「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」の説明文を提示して聞いた消費者の意識 (Q47/複数回答) は、「細胞培養による代替肉」は、人工的に畜産物を生産しており、不安なので食べたくない」が 15.8%と多く、「細胞培養による代替肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい」が 12.7%、「細胞培養による代替肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」が 12.5%と続き、生産方法・安全性に対する不安感が高い。

「よくわからない」が 40.6%、「いずれもあてはまらない」が 12.2%となっており、合わせて 52.8%と半数以上を占める。

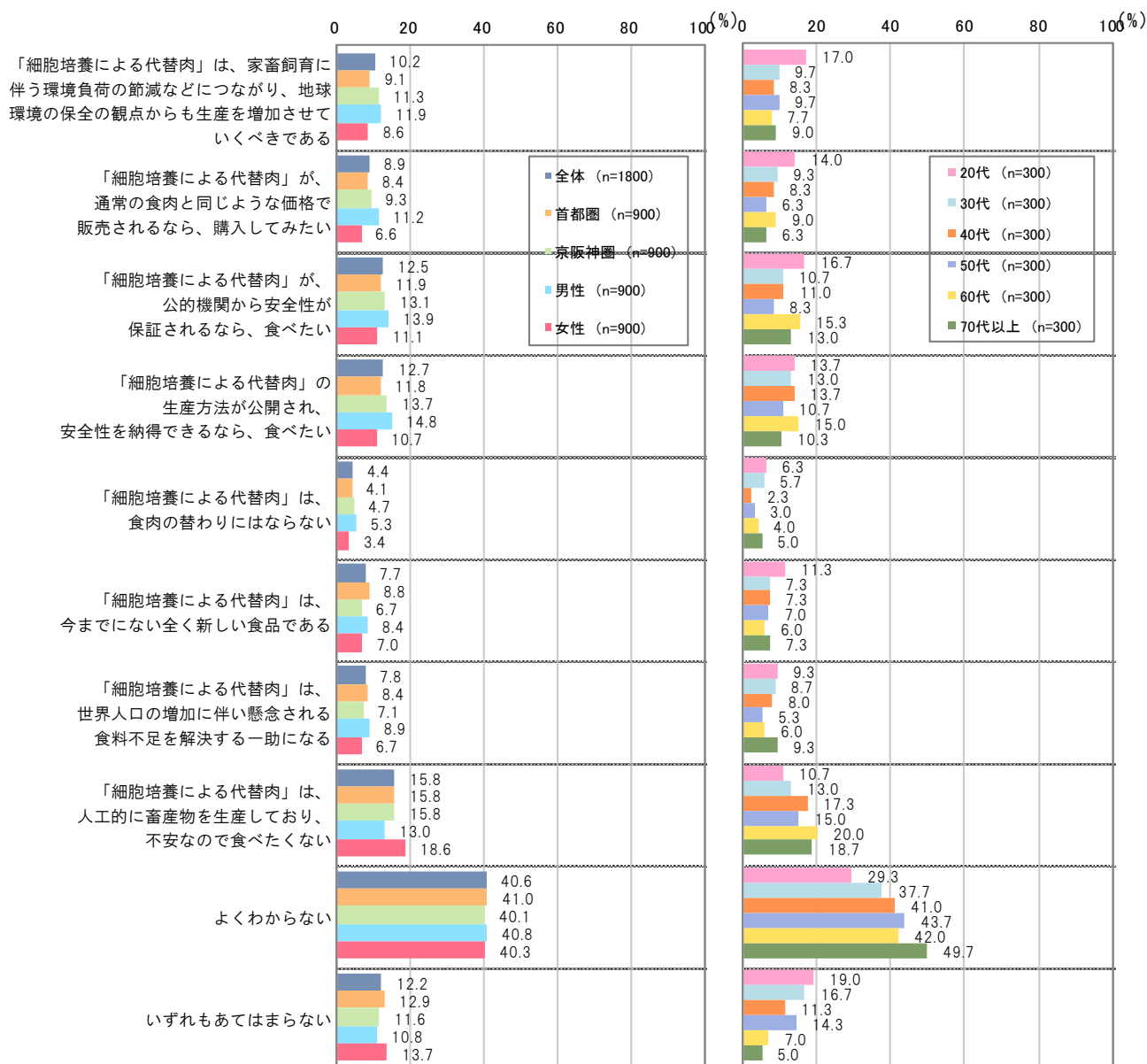
エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「細胞培養による代替肉」は、人工的に畜産物を生産しており、不安なので食べたくない」は、男性が 13.0%、女性が 18.6%と女性の方が不安感が高く、「購入してみたい」「食べたい」という意識は女性の方が低くなっている。

年代別に見ると、20代で意識が高く、「細胞培養による代替肉」は、家畜飼育に伴う環境負荷の節減などにつながり、地球環境の保全の観点からも生産を増加させていくべきである」が 17.0%、「細胞培養による代替肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」が 16.7%、「細胞培養による代替肉」が、通常の食肉と同じような価格で販売されるなら、購入してみたい」が 14.0%など、総じてポジティブな意識が高くなっている。

<p>国内外の研究者やベンチャー企業が次世代の食肉生産を目指し、「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉(人工肉)」の開発に乗り出しています。「生きた家畜や家禽から採取した細胞を人工培養」して、外観、食感、食味などが食肉とよく似た食品を、通常の食肉と同程度の価格で供給できるように開発が進められています。</p>
--

図表 102 提示説明文



図表 103 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉」についての考え

6) 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についての考え (Q49) のエリア・性・年代別分析

「ゲノム編集家畜由来の食肉」の説明文を提示して聞いた消費者の意識 (Q49/複数回答) は、「遺伝子配列を人工的に変化させた家畜から生産された食肉を食べたくない」が 23.1%と多く、「ゲノム編集家畜由来の食肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」が 12.4%、「ゲノム編集家畜由来の食肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい」が 11.1%と続き、生産方法・安全性に対する不安感が高い。

「よくわからない」が 38.7%、「いずれもあてはまらない」が 10.6%となっており、合わせて 49.3%と約半数を占める。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「遺伝子配列を人工的に変化させた家畜から生産された食肉を食べたくない」は、男性が 20.8%、女性が 25.4%と女性の方が不安感が高く、「食べたい」という意識は女性の方が低くなっている。

年代別に見ると、20代で意識が高く、「ゲノム編集家畜由来の食肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい」20.0%、「ゲノム編集家畜由来の食肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい」が 13.3%といった安全性が担保されるなら食べたいという意識が強い。また、「栄養価に富む食肉を安価で購入できるなら、「ゲノム編集家畜由来の食肉」を食べたい」が 12.0%、「一般的な家畜の改良手法との違いは気にならないので、「ゲノム編集家畜由来の食肉」を食べたい」が 11.0%という意識も他の年代より高く、「ゲノム編集家畜由来の食肉」は、今までにない全く新しい食品である」も 10.7%と他の年代より高くなっている。

現在の一般的な家畜育種(品質改良)法は、「有用な性質を持つ個体同士を交配・選抜して、さらに優れた品種を作り出す方法」です。

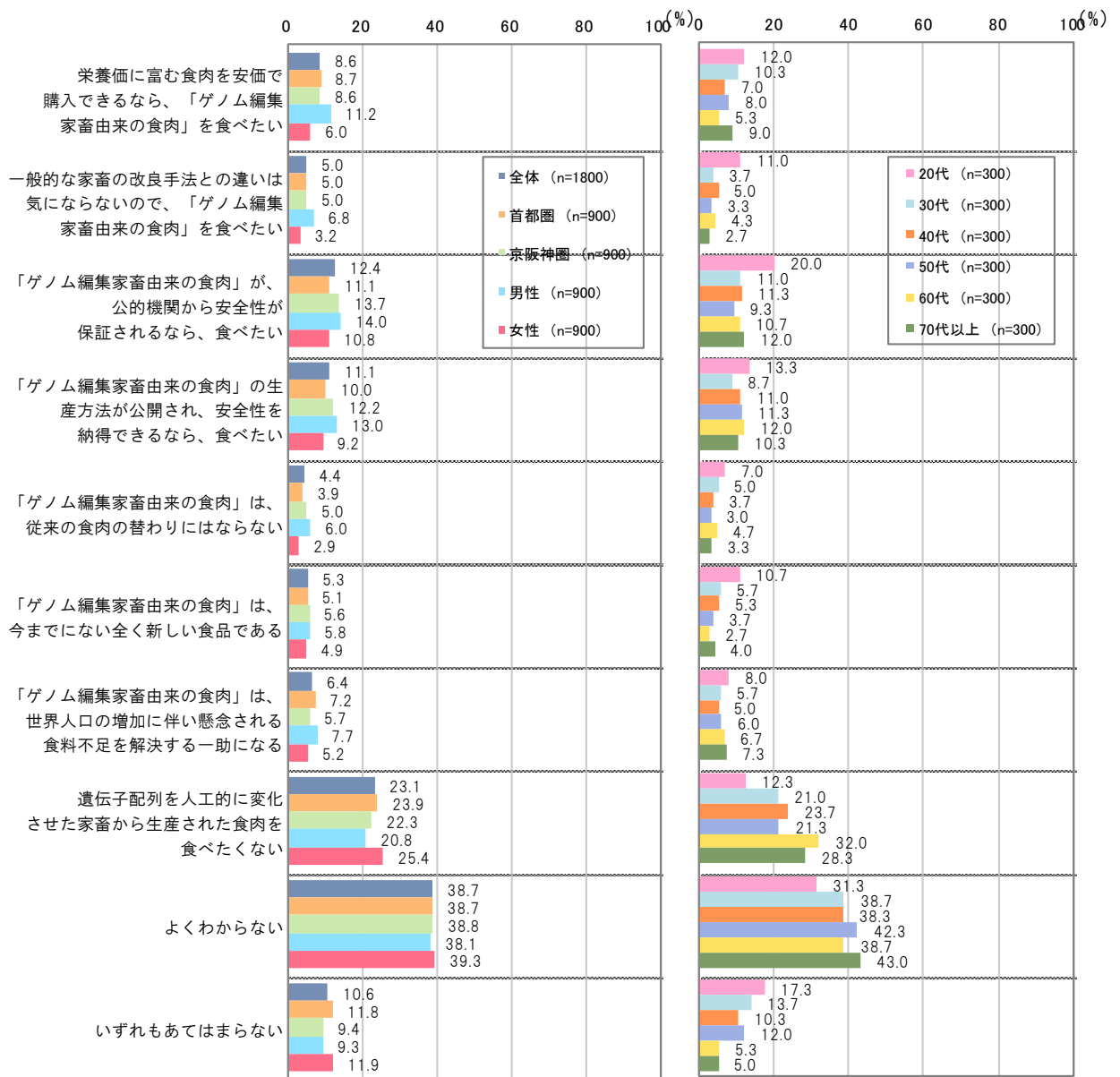
「ゲノム編集」とは、「生物の遺伝情報であるゲノムの中の狙った遺伝子配列だけをピンポイントで人為的に改変する技術」のことです。

この「ゲノム編集」によって、人間にとって望ましい性質を持った家畜を従来よりも短期間で効率よく作り出すことが可能となります。

その家畜から生産された食肉が、「ゲノム編集家畜由来の食肉」です。例えば、「筋肉量を抑える遺伝子を壊して産肉量を多くした家畜から生産された食肉」などが考えられます。

※ゲノム編集食品については、その表示のあり方が話題になっていますが、ゲノム編集家畜は未だ研究段階であり、その食肉は流通していません。

図表 104 提示説明文



図表 105 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についての考え

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2~3日程度」、中食、外食では「それ以下」とする割合が最も高い。

【今年度調査】

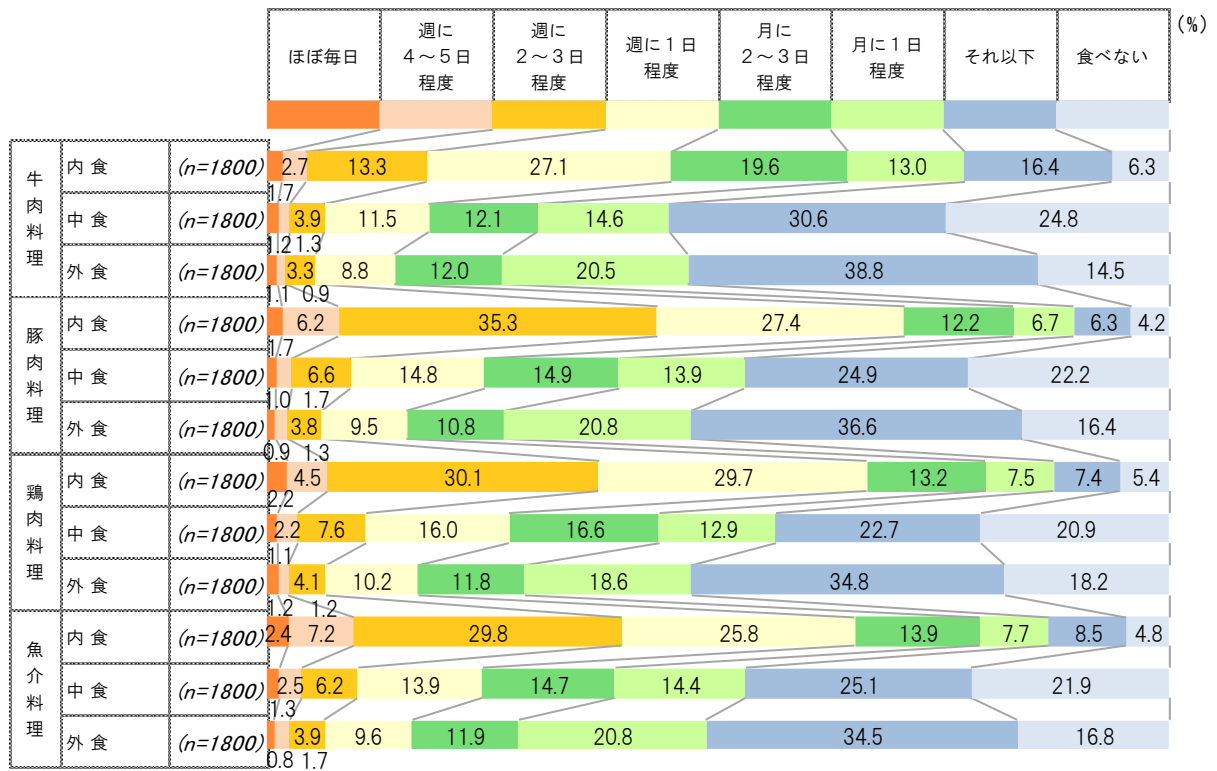
牛肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」27.1%、「月に2~3日程度」19.6%、「週に2~3日程度」13.3%の順で高い。中食では、「それ以下」30.6%、「食べない」24.8%、「月に1日程度」14.6%の順で高い。外食では、「それ以下」38.8%、「月に1日程度」20.5%、「食べない」14.5%の順で高い。牛肉の内食は「週に1日程度」が最も高く、他の食肉に比べ頻度が低い傾向にある。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」35.3%、「週に1日程度」27.4%、「月に2~3日程度」12.2%の順で高い。中食では、「それ以下」24.9%、「食べない」22.2%、「月に2~3日程度」14.9%の順で高い。外食では、「それ以下」36.6%、「月に1日程度」20.8%、「食べない」16.4%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」30.1%、「週に1日程度」29.7%、「月に2~3日程度」13.2%の順で高い。中食では、「それ以下」22.7%、「食べない」20.9%、「月に2~3日程度」16.6%の順で高い。外食では、「それ以下」34.8%、「月に1日程度」18.6%、「食べない」18.2%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」29.8%、「週に1日程度」25.8%、「月に2~3日程度」13.9%の順で高い。中食では、「それ以下」25.1%、「食べない」21.9%、「月に2~3日程度」14.7%の順で高い。外食では、「それ以下」34.5%、「月に1日程度」20.8%、「食べない」16.8%の順で高い。

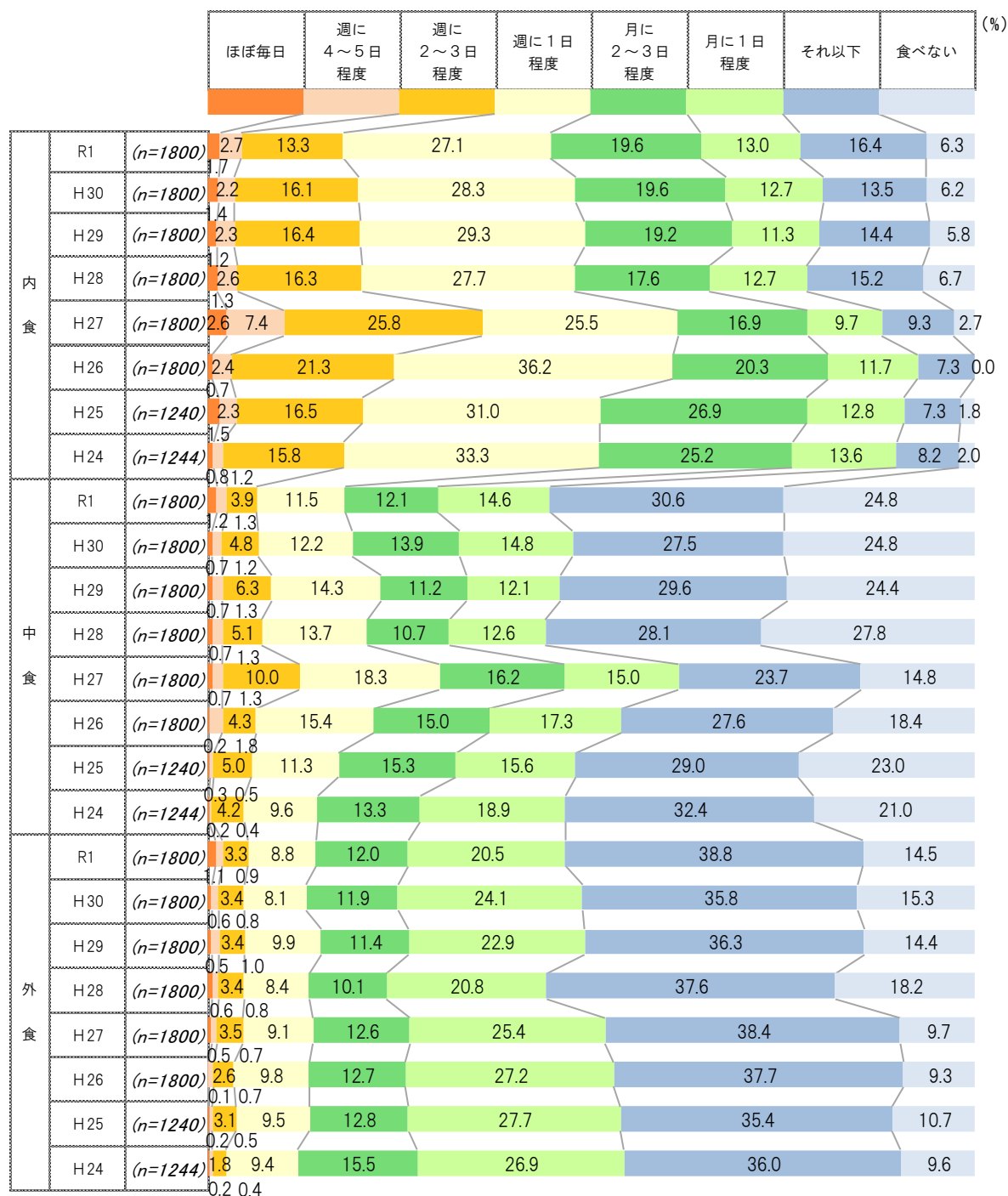
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にあると言える。



図表 106 食肉の種類別機会別の喫食頻度

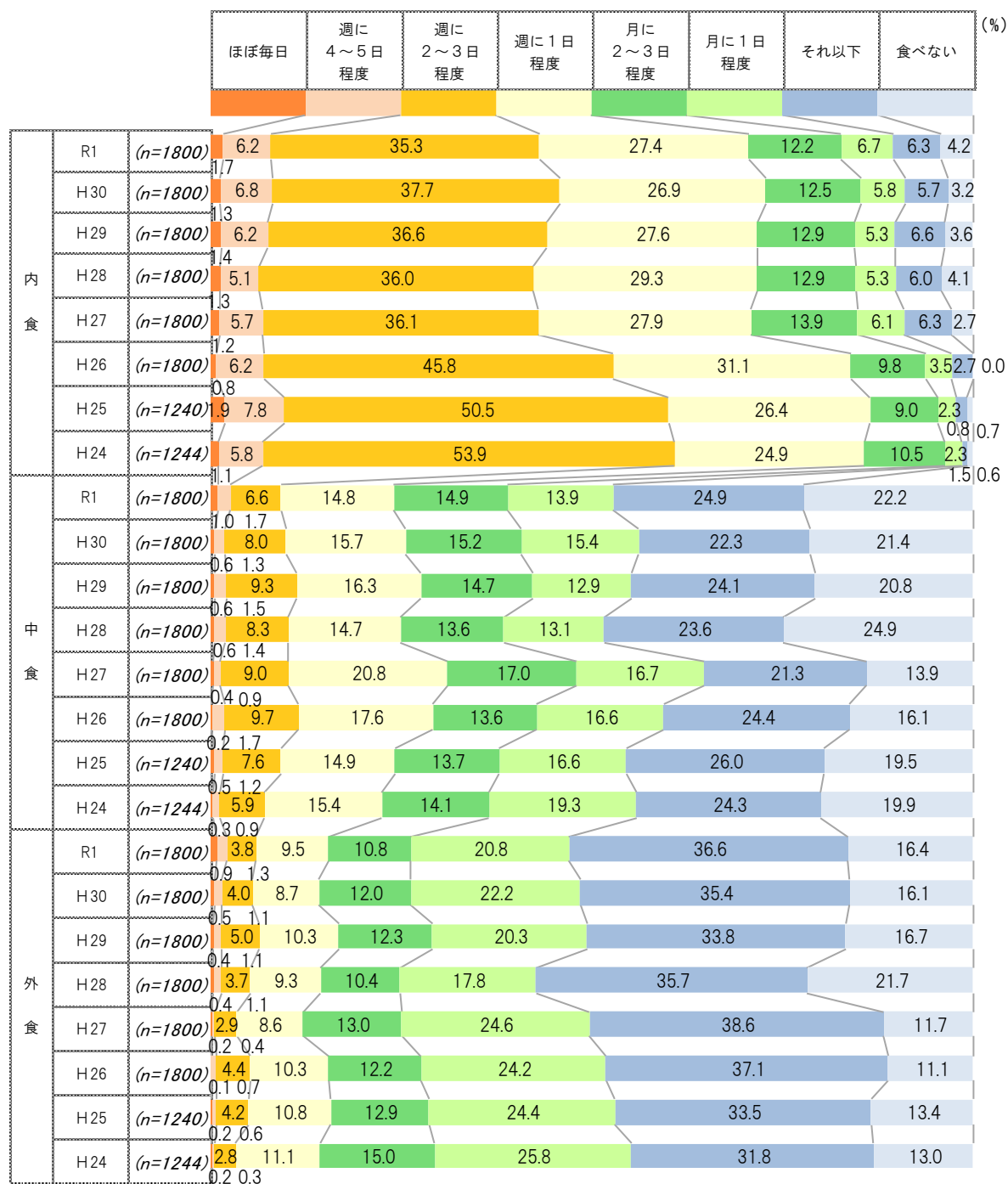
【過年度調査との比較】

牛肉料理の内食は、昨年度に比べて大きな変化はない。また、中食、外食では「それ以下」が昨年度に比べてやや増加している。



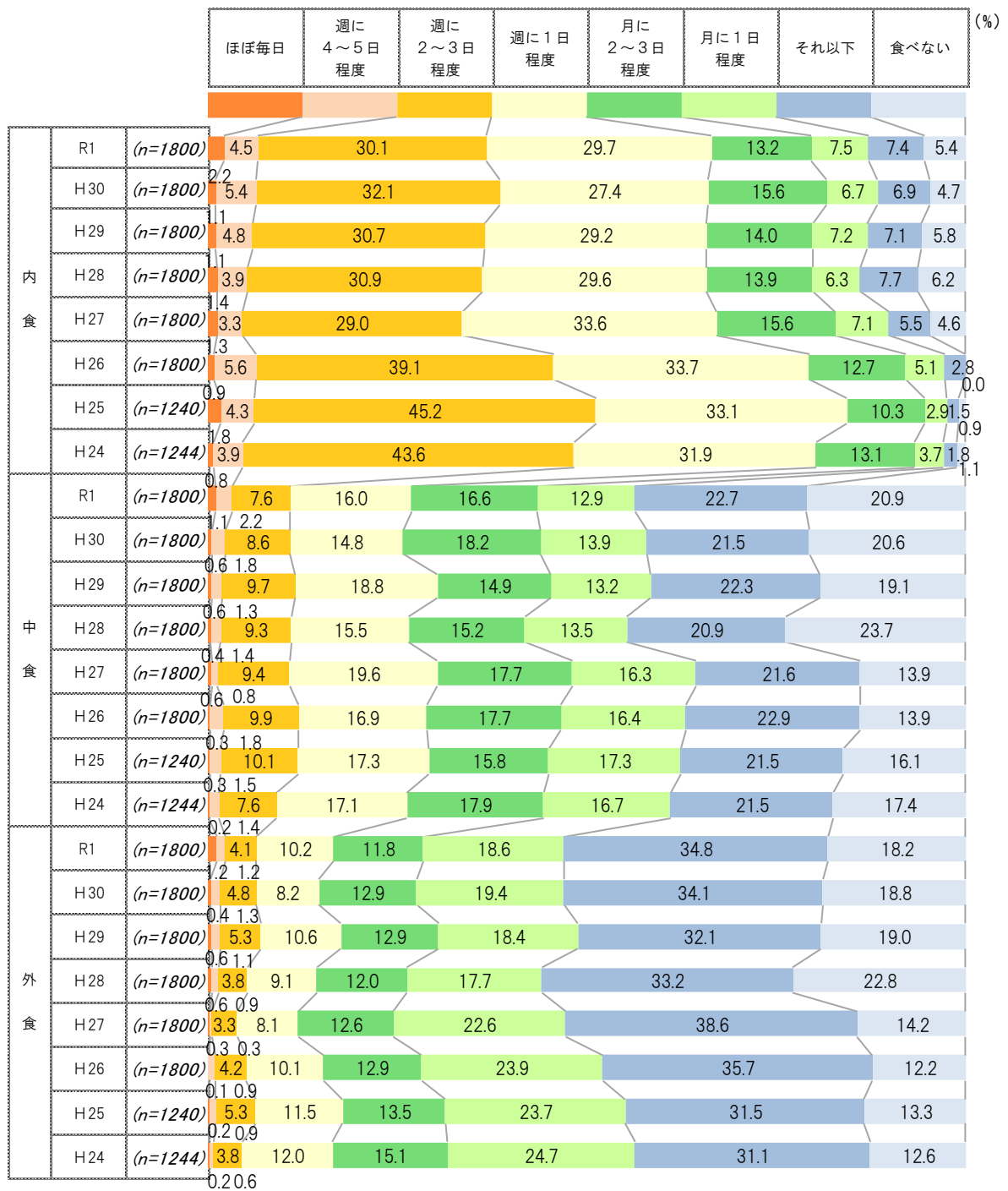
図表 107 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理の内食・外食は昨年度に比べて大きな変化はない。また、中食では「それ以下」が昨年度に比べてやや増加している。



図表 108 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食、中食、外食は、昨年度に比べて大きな変化はない。



図表 109 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- 牛肉は栄養の高さ、豚肉は価格と調理の手軽さ、鶏肉は、価格とカロリーの低さに関するイメージが強い。
- 過年度調査と比較すると、牛肉は「たんぱく質が豊富」「鉄分が豊富」「健康に良い」の割合が増加。豚肉では、「価格が手頃」の割合が増加。鶏肉は「たんぱく質が豊富」の割合が増加。

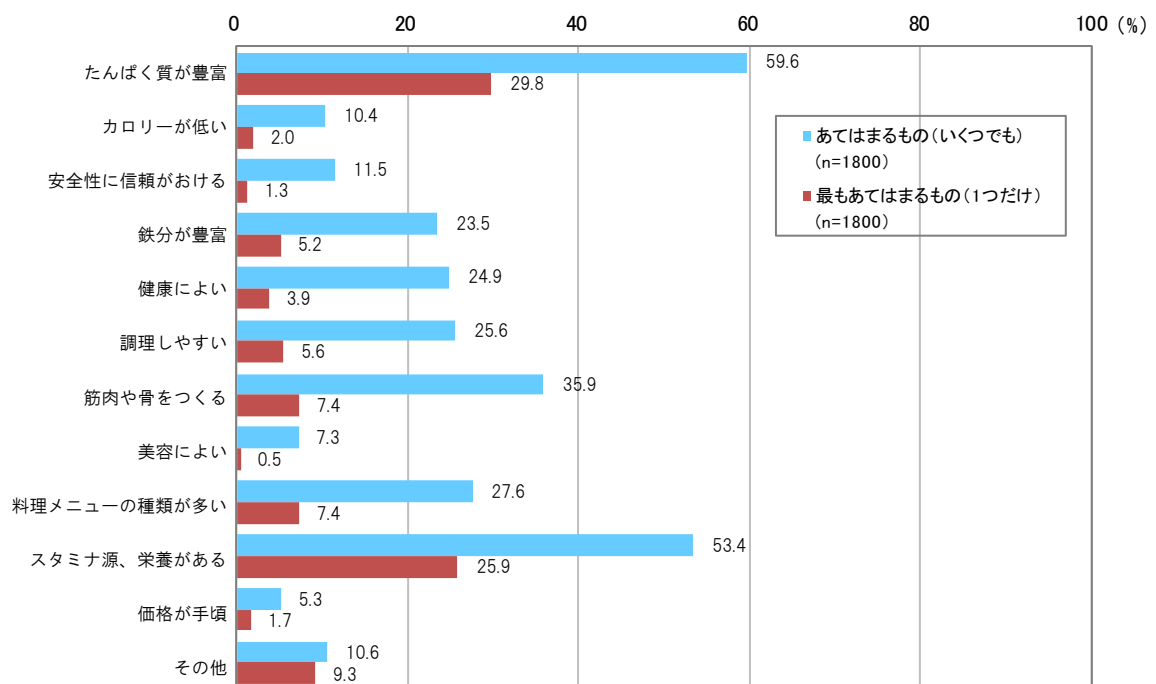
【今年度調査】

牛肉に対するイメージは（複数回答）、「たんぱく質が豊富」59.6%、「スタミナ源、栄養がある」53.4%、「筋肉や骨をつくる」35.9%の順で高い。

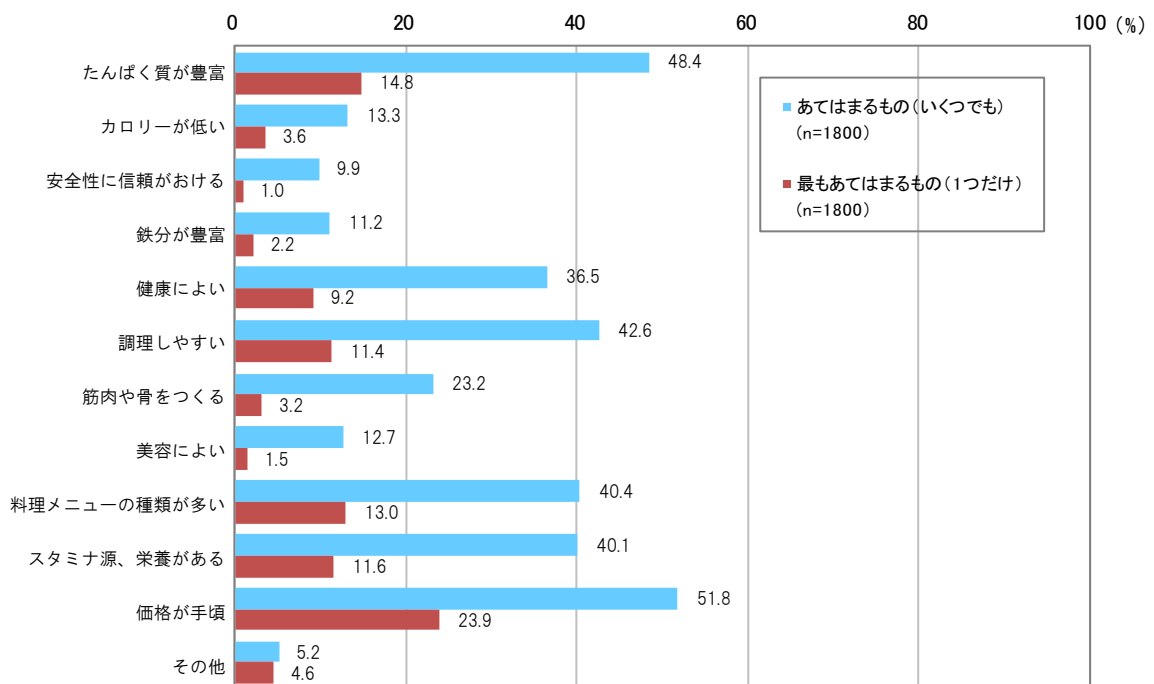
豚肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」51.8%、「たんぱく質が豊富」48.4%、「調理しやすい」42.6%の順で高い。

鶏肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」58.9%、「たんぱく質が豊富」48.6%、「カロリーが低い」48.3%の順で高い。

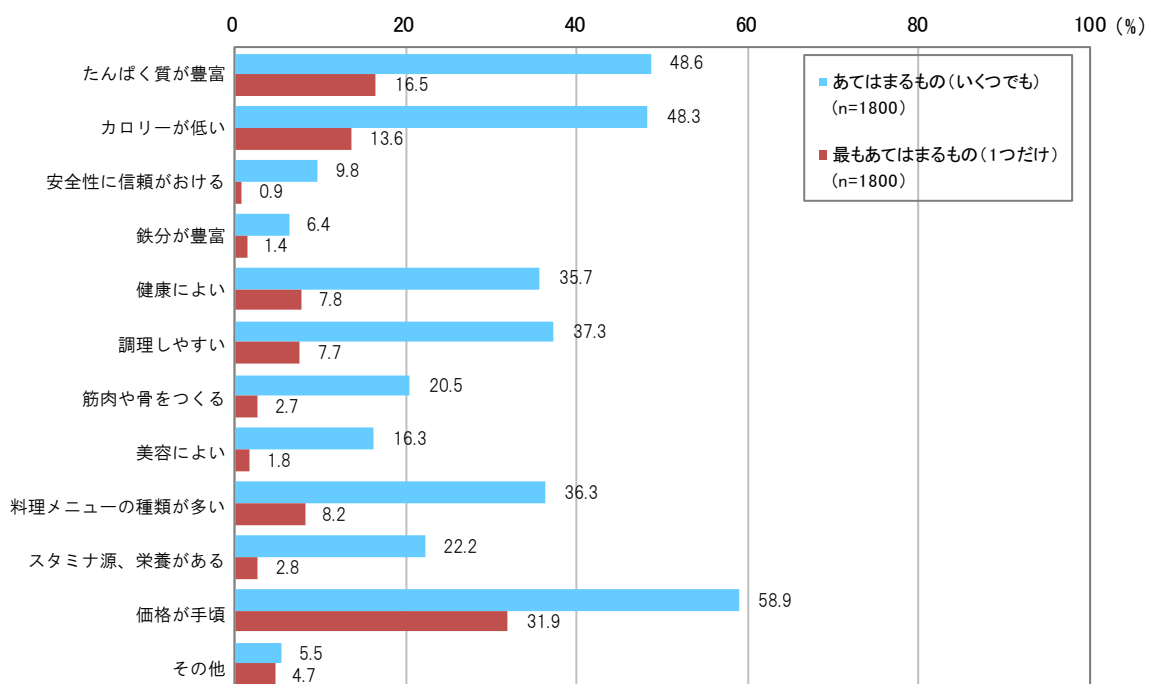
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。また、牛肉は栄養の高さ、豚肉は価格と調理のしやすさ、鶏肉は価格とカロリーの低さに関するイメージが強い。



図表 110 牛肉に対するイメージ



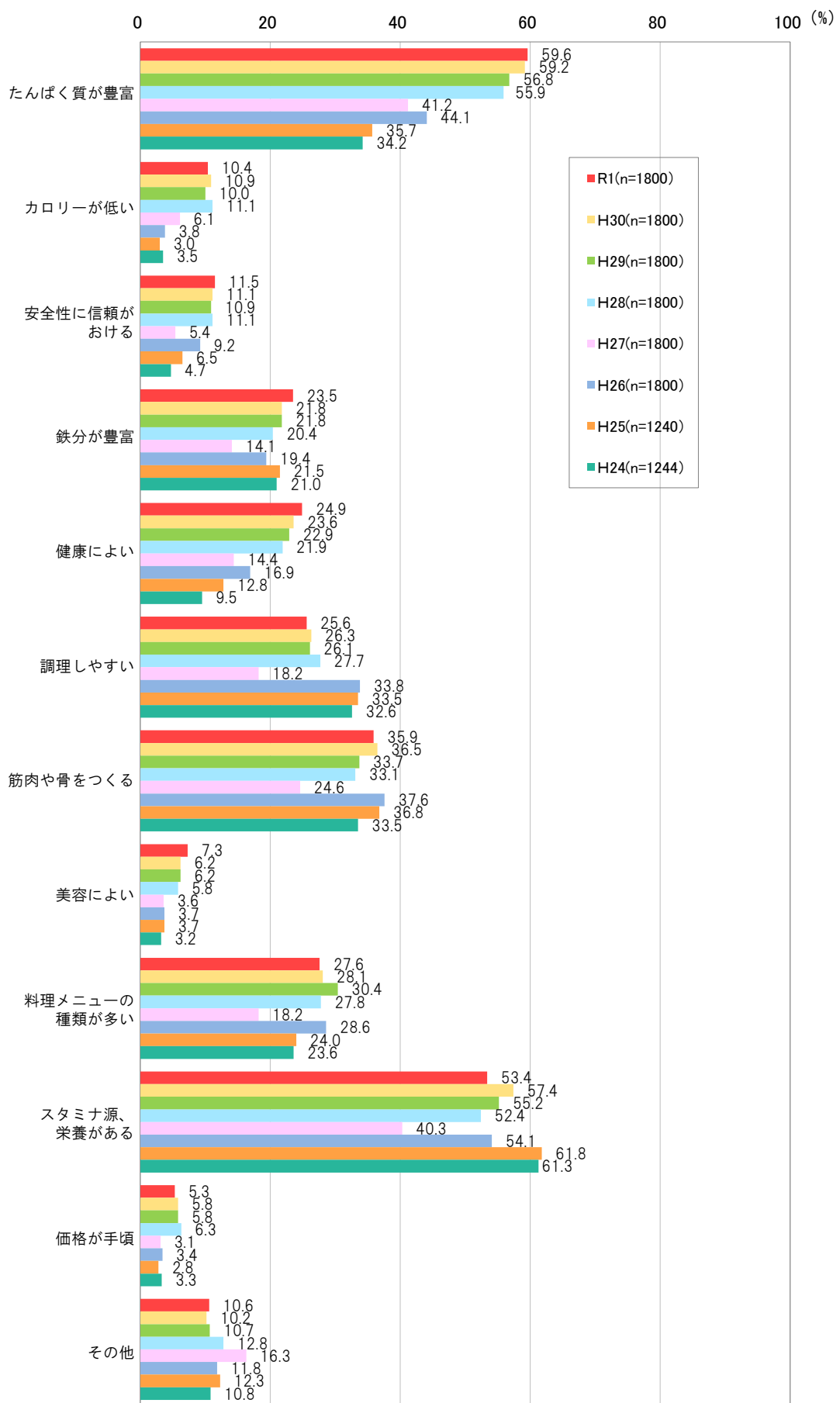
図表 111 豚肉に対するイメージ



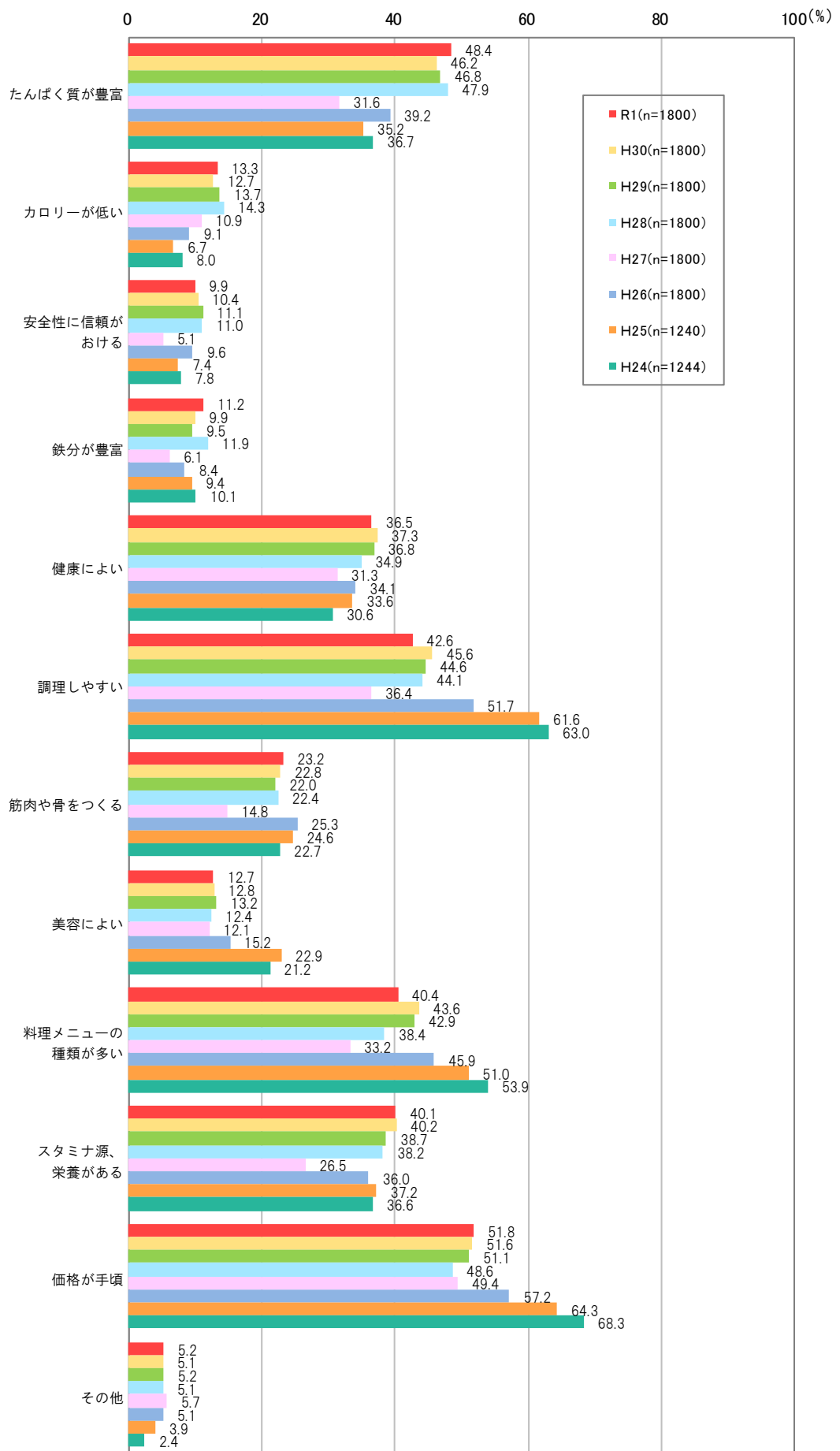
図表 112 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

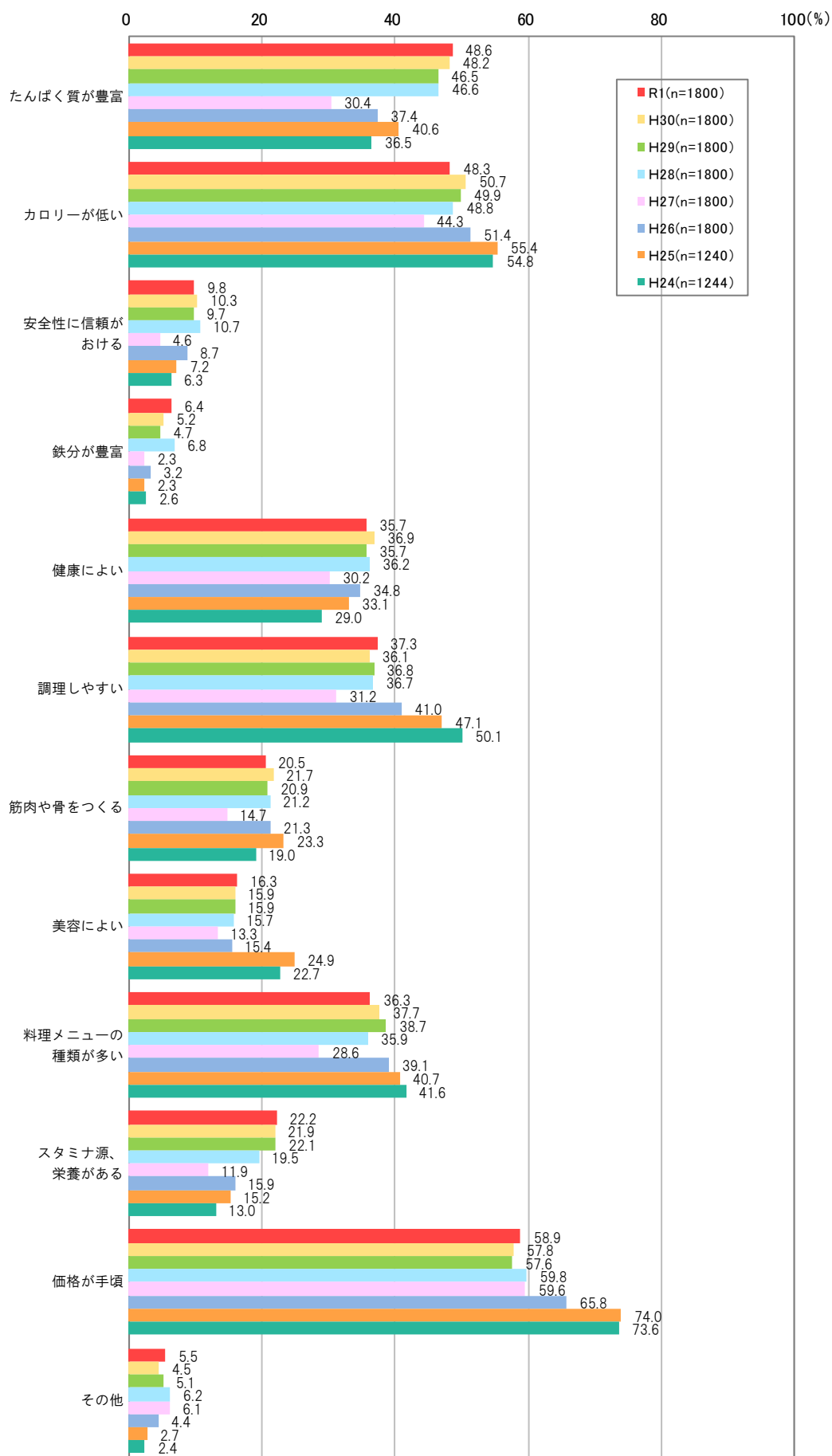
過年度調査と比較すると、牛肉は「たんぱく質が豊富」「鉄分が豊富」「健康に良い」の割合が増加傾向である。また、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と大きな違いは見られない。



図表 113 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 114 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 115 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

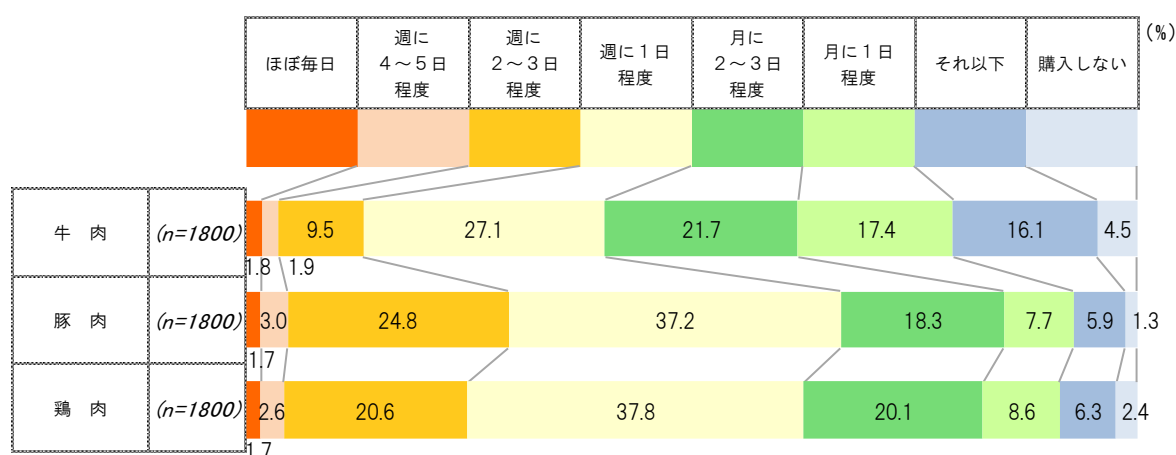
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

- 牛肉は「週に1日程度」と「月に2~3日程度」がボリュームゾーン。
- 豚肉、鶏肉は「週に1日程度」と「週に2~3日程度」がボリュームゾーン。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向にある。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」が27.1%、「月に2~3日程度」が21.7%で、合わせて48.8%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「月に1日程度」が17.4%、「それ以下」が16.1%と他の食肉に比べて高い。

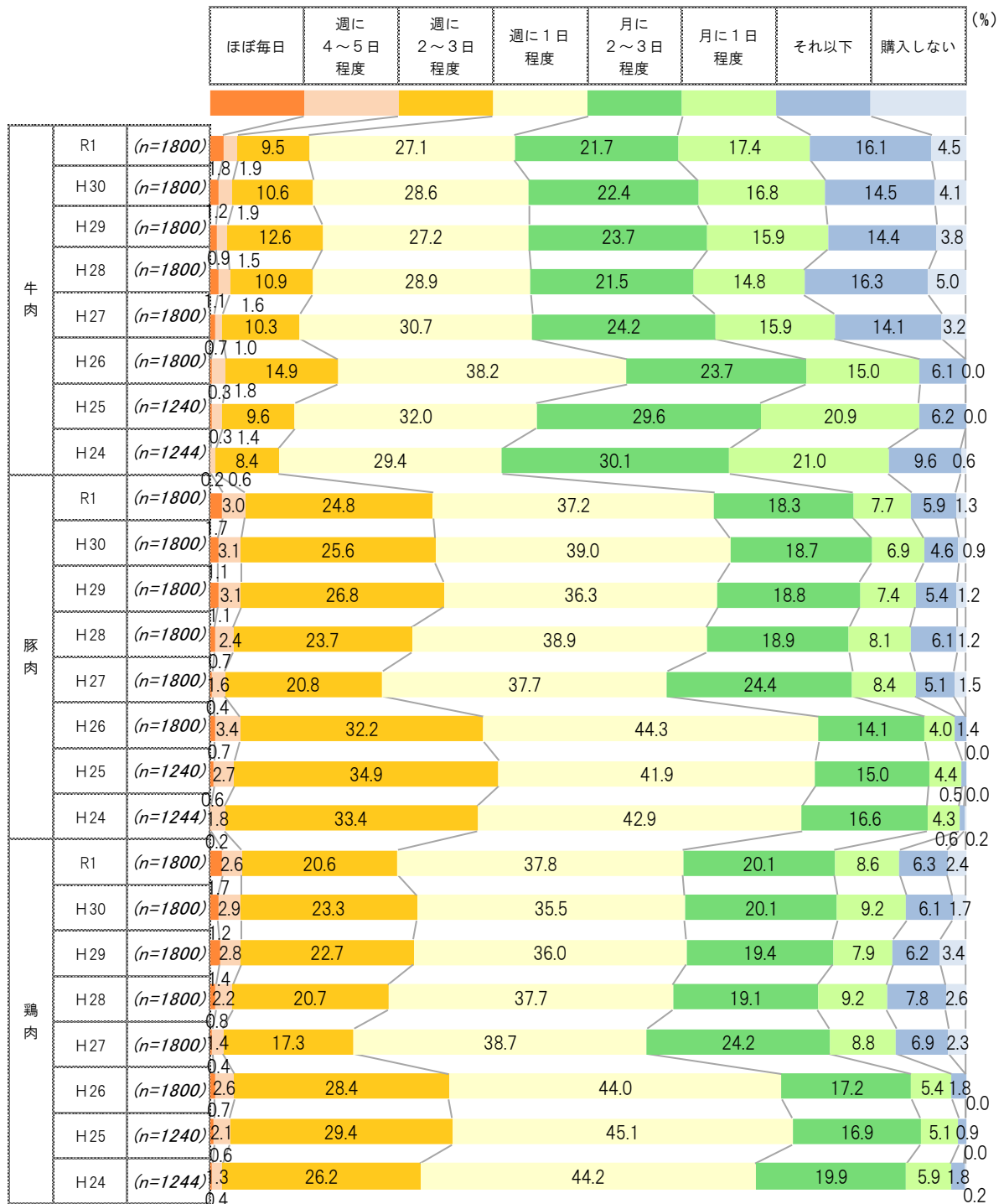
豚肉及び鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」と「週に2~3日程度」であり、豚肉は37.2%と24.8%、鶏肉は37.8%と20.6%となっており、いずれの食肉も合計で約6割を占める。



図表 116 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向である。



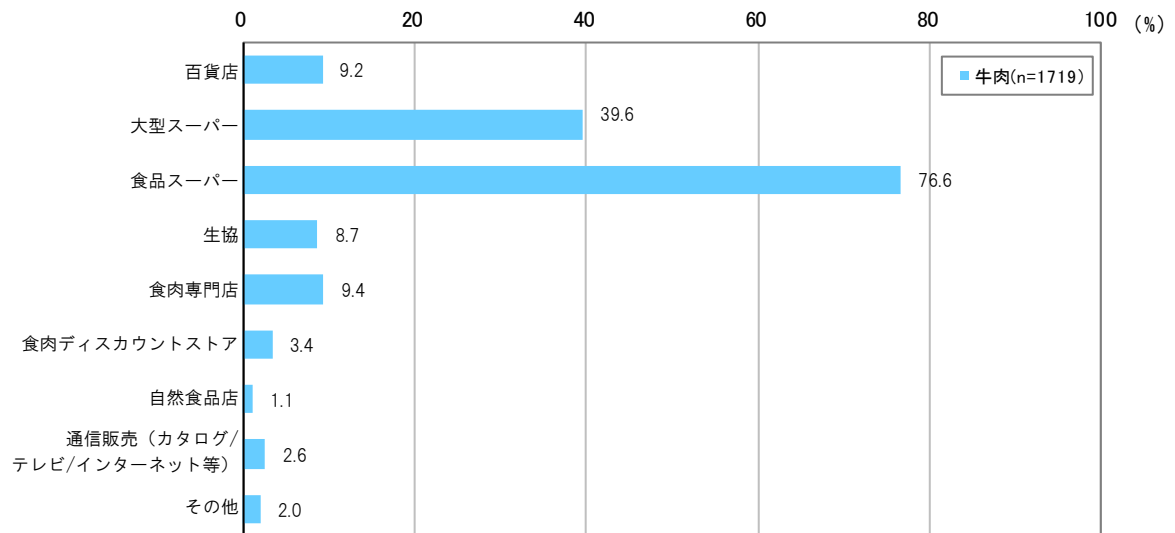
図表 117 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)

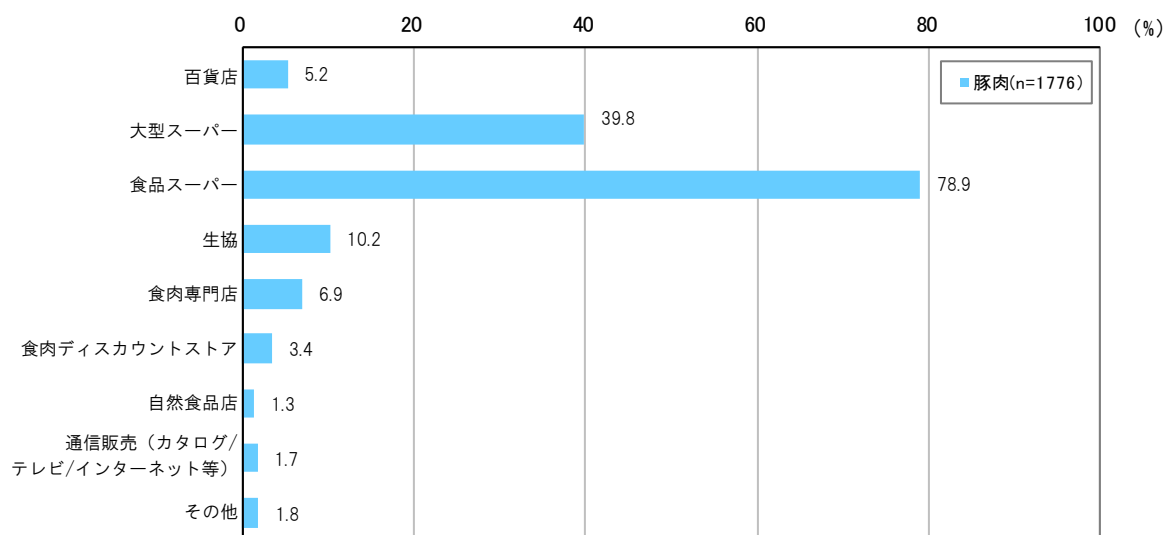
- どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「食品スーパー」が増加。

【今年度調査】

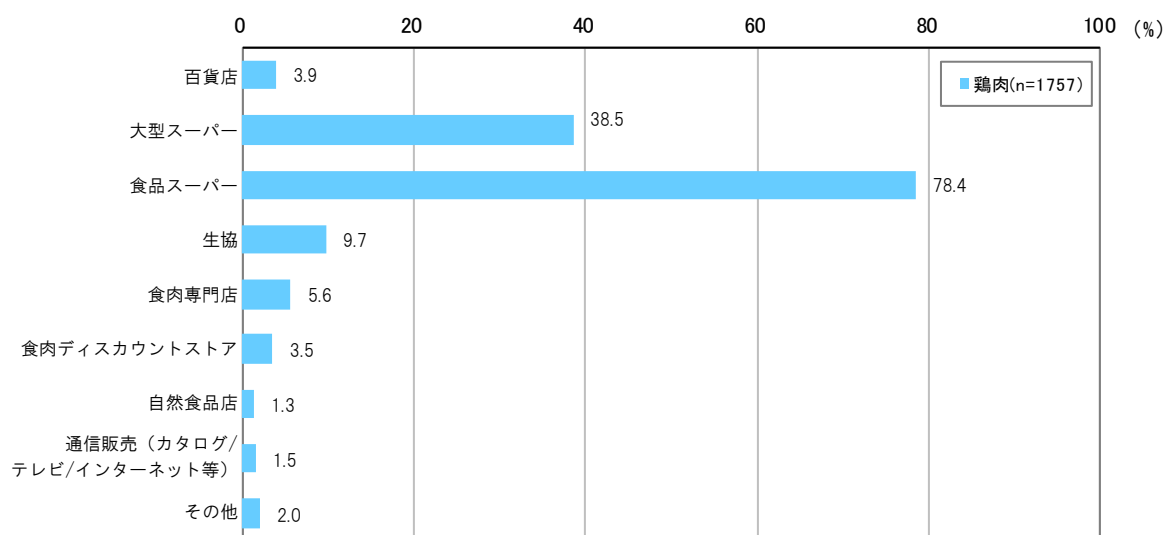
食肉の主な購入先を尋ねたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 76.6%、豚肉 78.9%、鶏肉 78.4%）、次いで「大型スーパー」が約 4 割（牛肉 39.6%、豚肉 39.8%、鶏肉 38.5%）となっている。



図表 118 牛肉の主な購入先



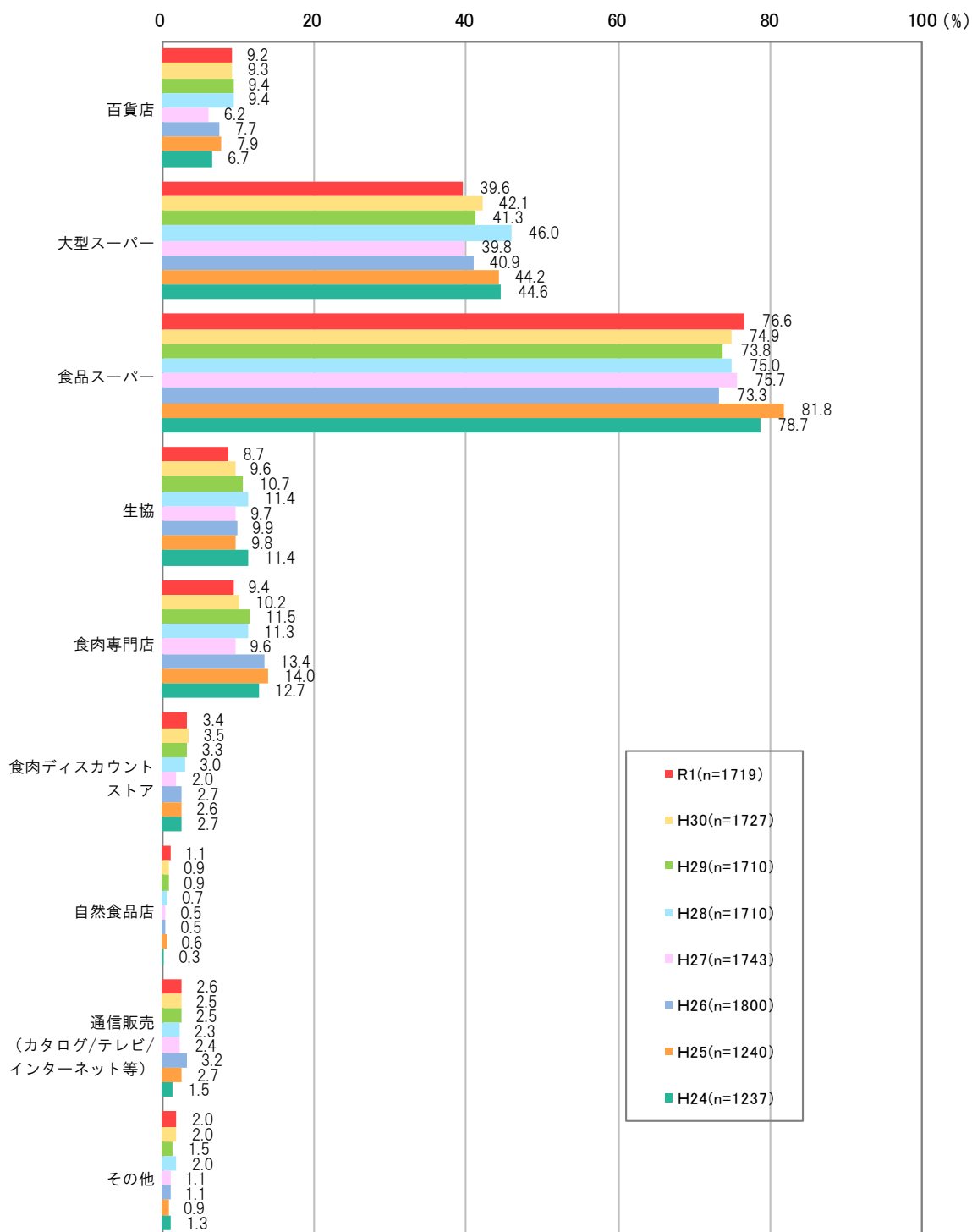
図表 119 豚肉の主な購入先



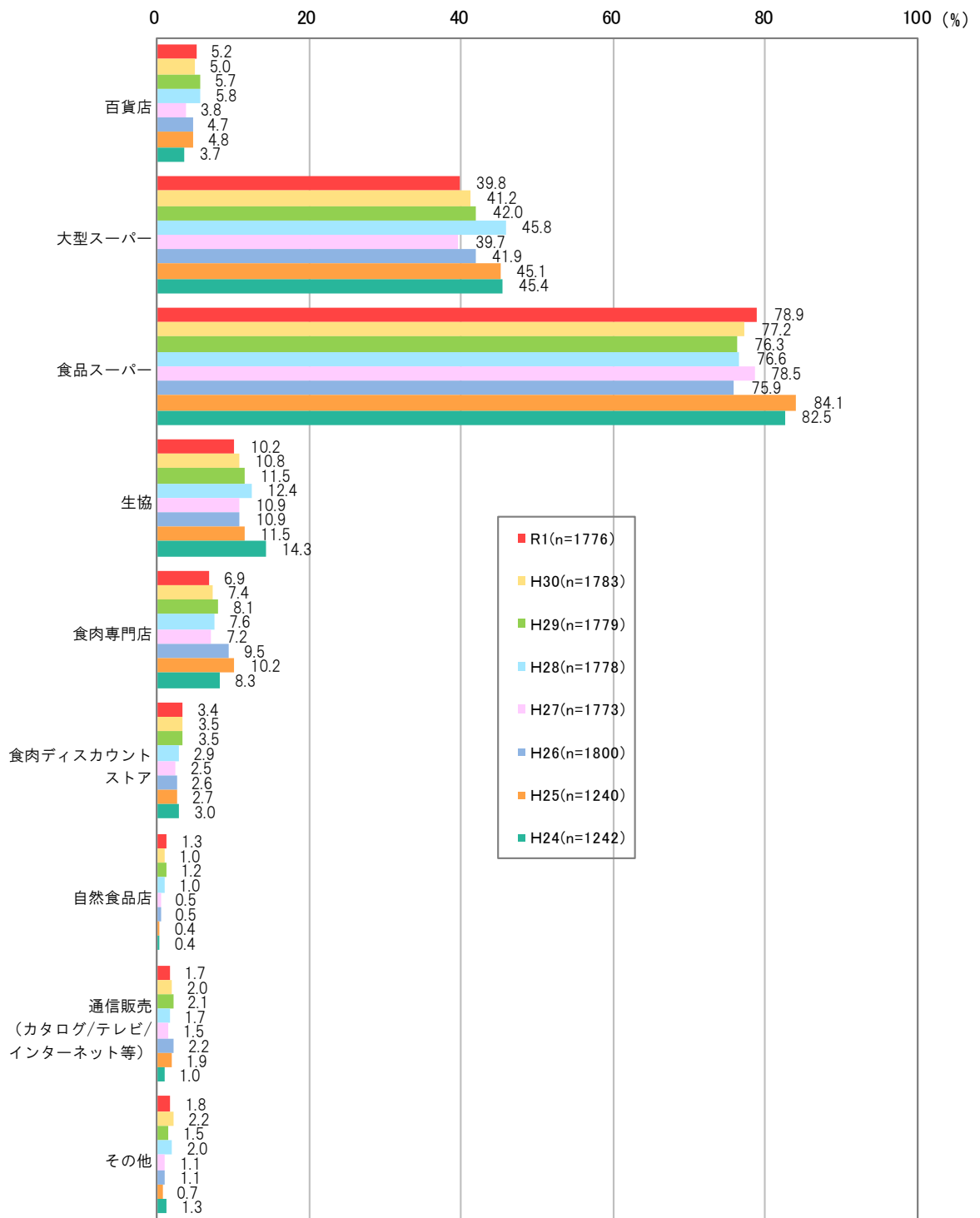
図表 120 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

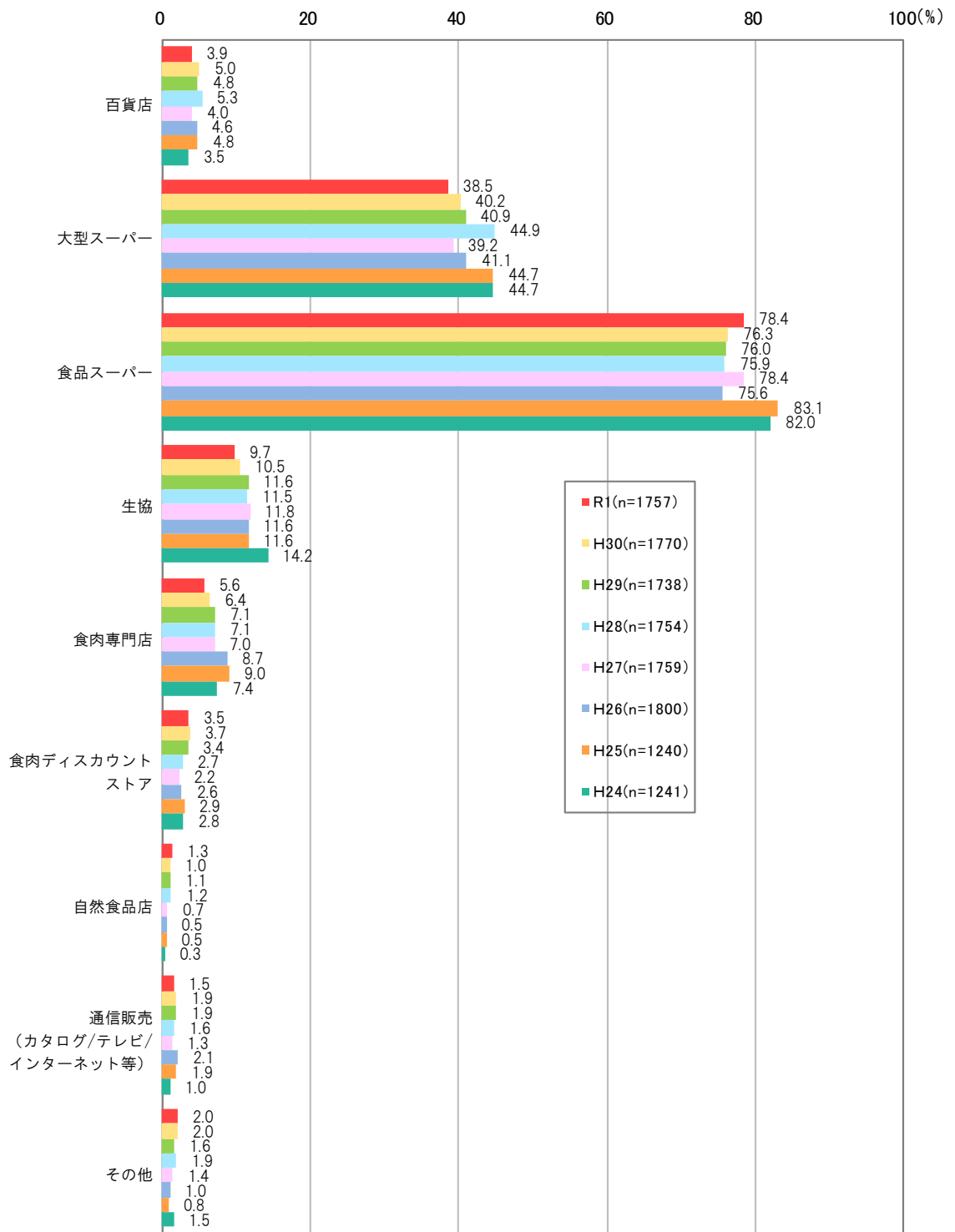
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「食品スーパー」が増加している。



図表 121 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 122 豚肉の主な購入先（経年変化）



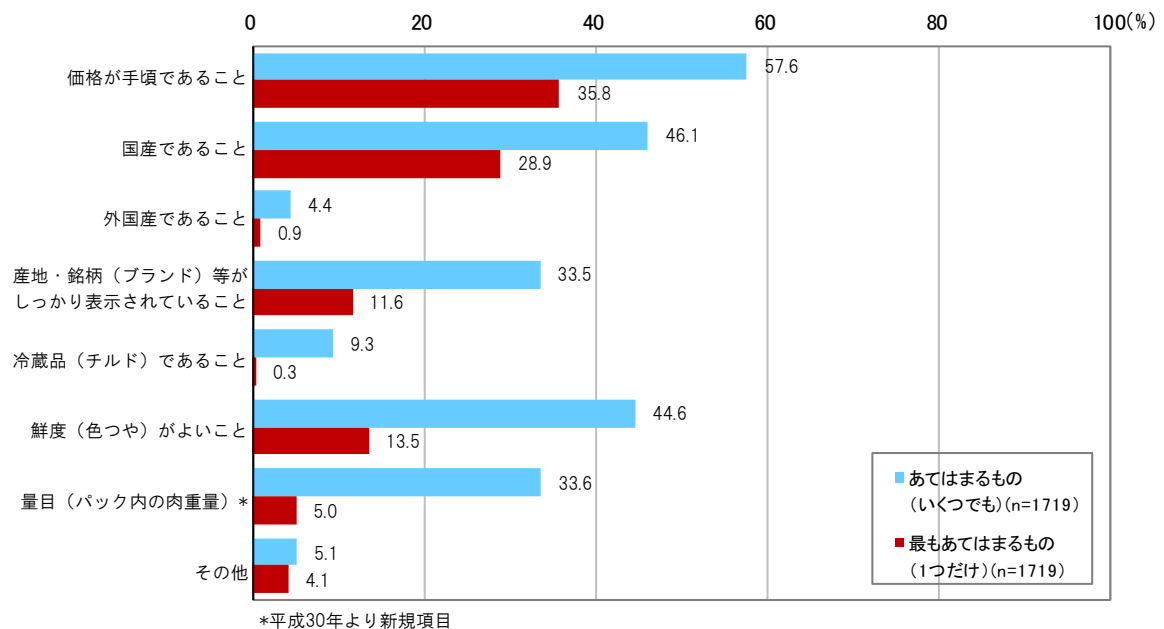
図表 123 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

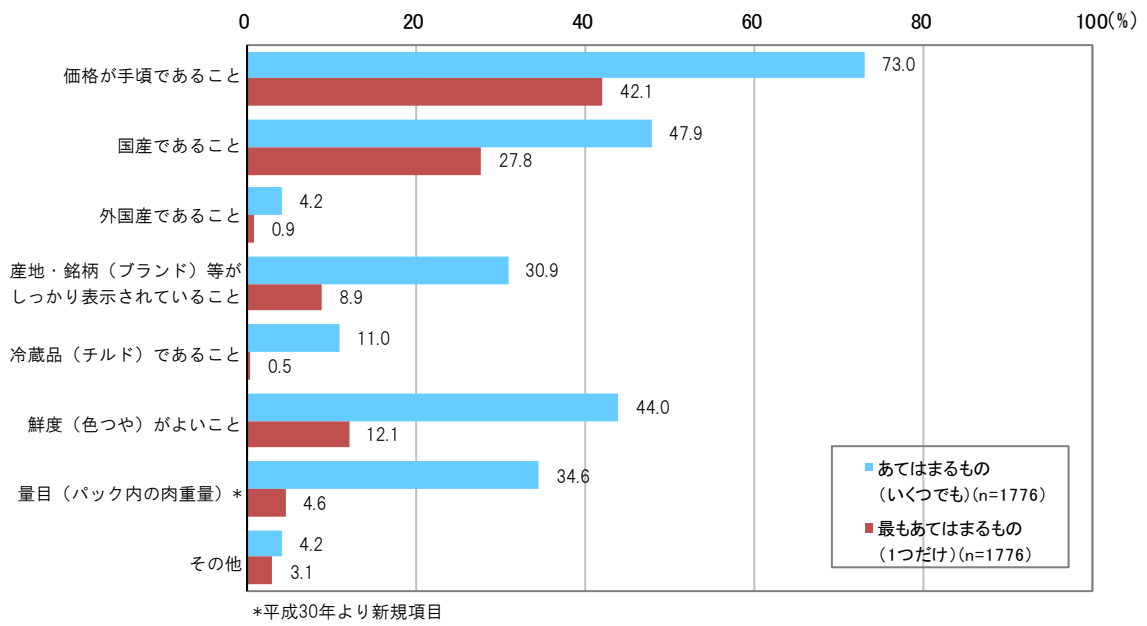
- どの食肉でも TOP3 は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「国産であること」が減少傾向。

【今年度調査】

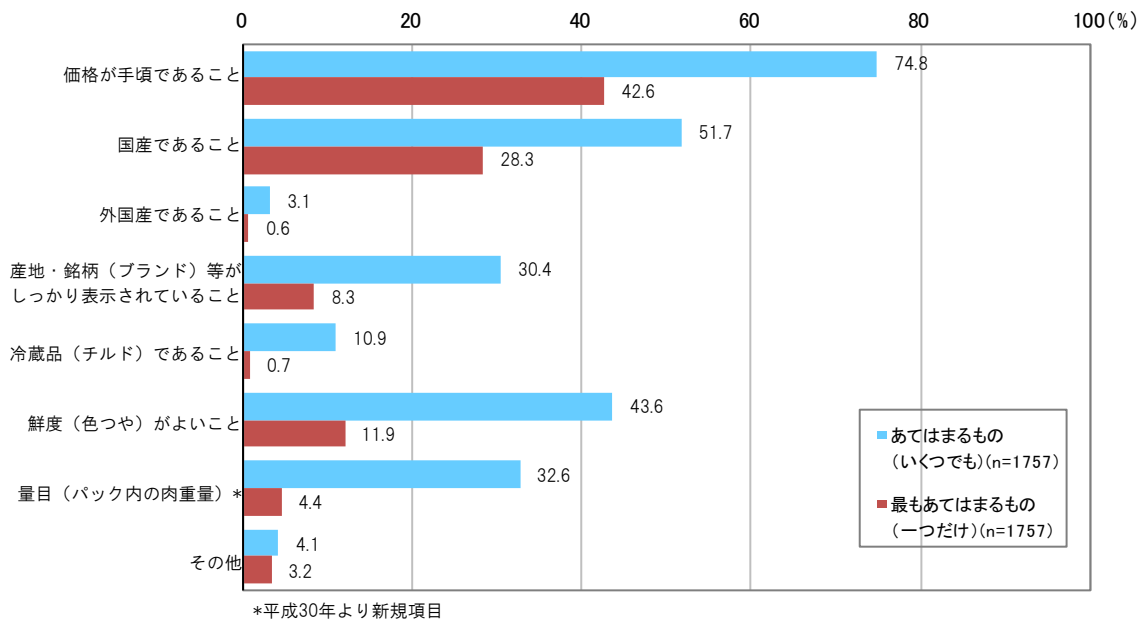
食肉購入時に重視する点（複数回答）の TOP3 は、どの食肉でも同じ順位で、「価格が手頃であること」（牛肉 57.6%、豚肉 73.0%、鶏肉 74.8%）、「国産であること」（牛肉 46.1%、豚肉 47.9%、鶏肉 51.7%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 44.6%、豚肉 44.0%、鶏肉 43.6%）。



図表 124 牛肉購入時に重視する項目



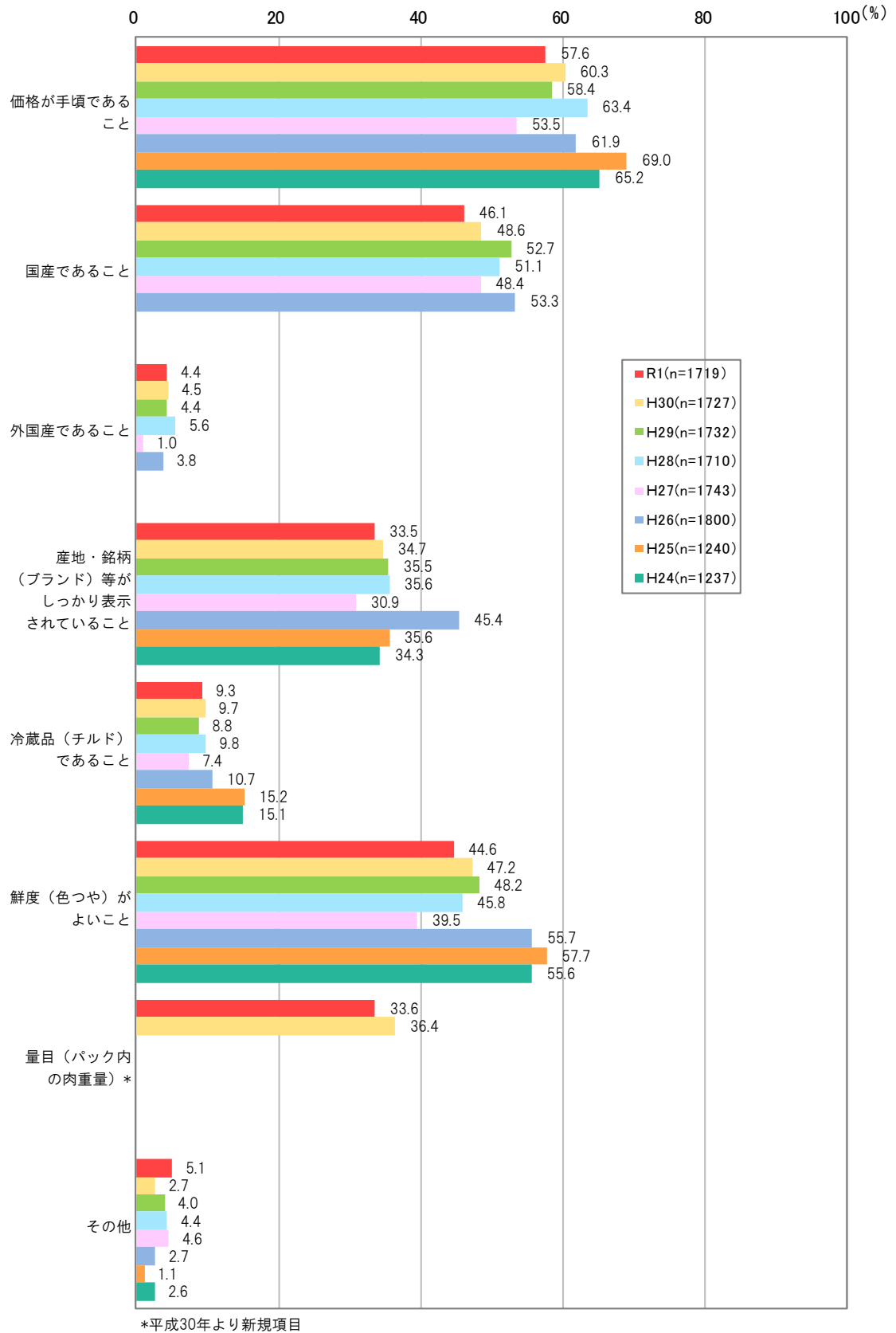
図表 125 豚肉購入時に重視する項目



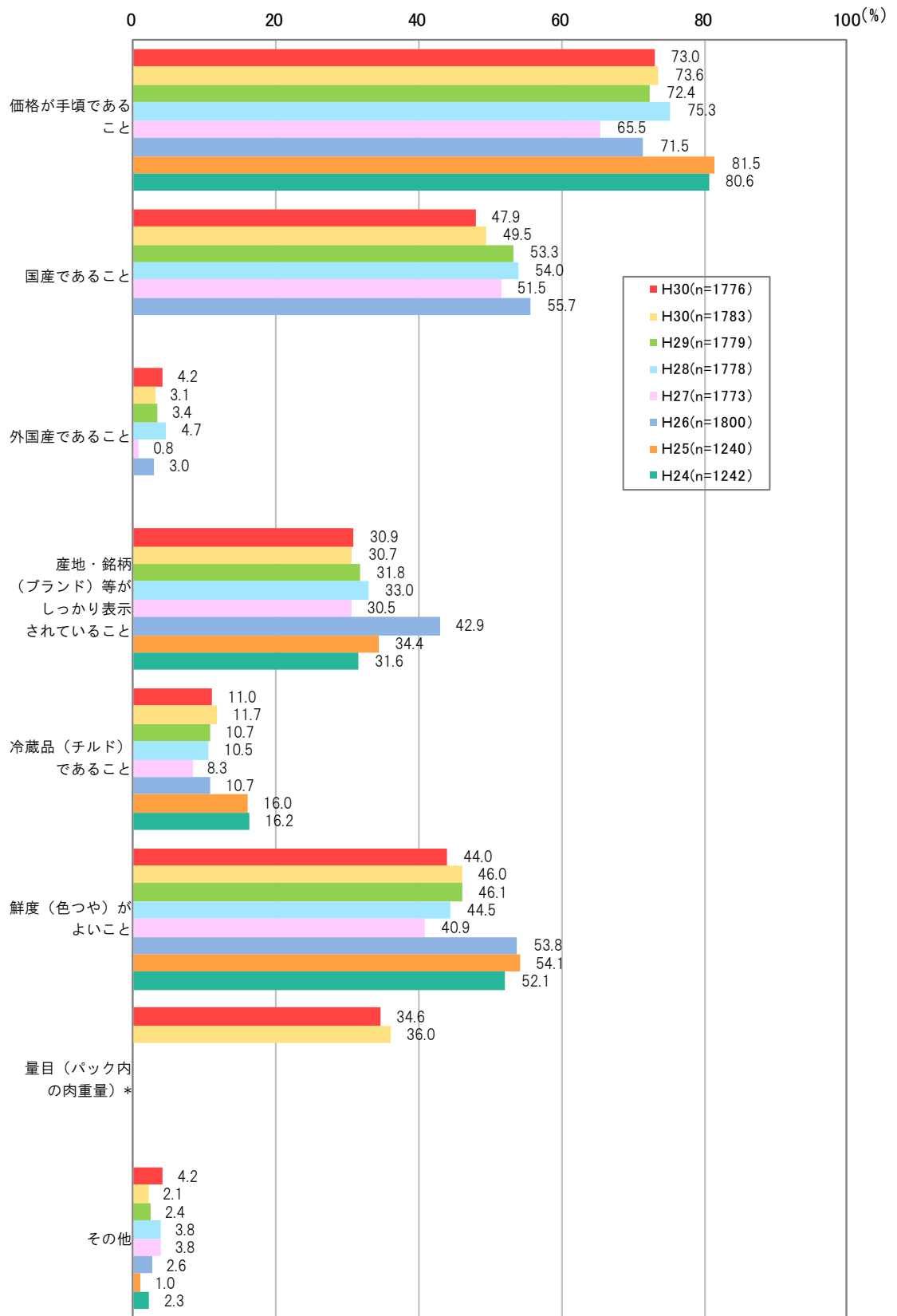
図表 126 鶏肉購入時に重視する項目

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「国産であること」が減少している。

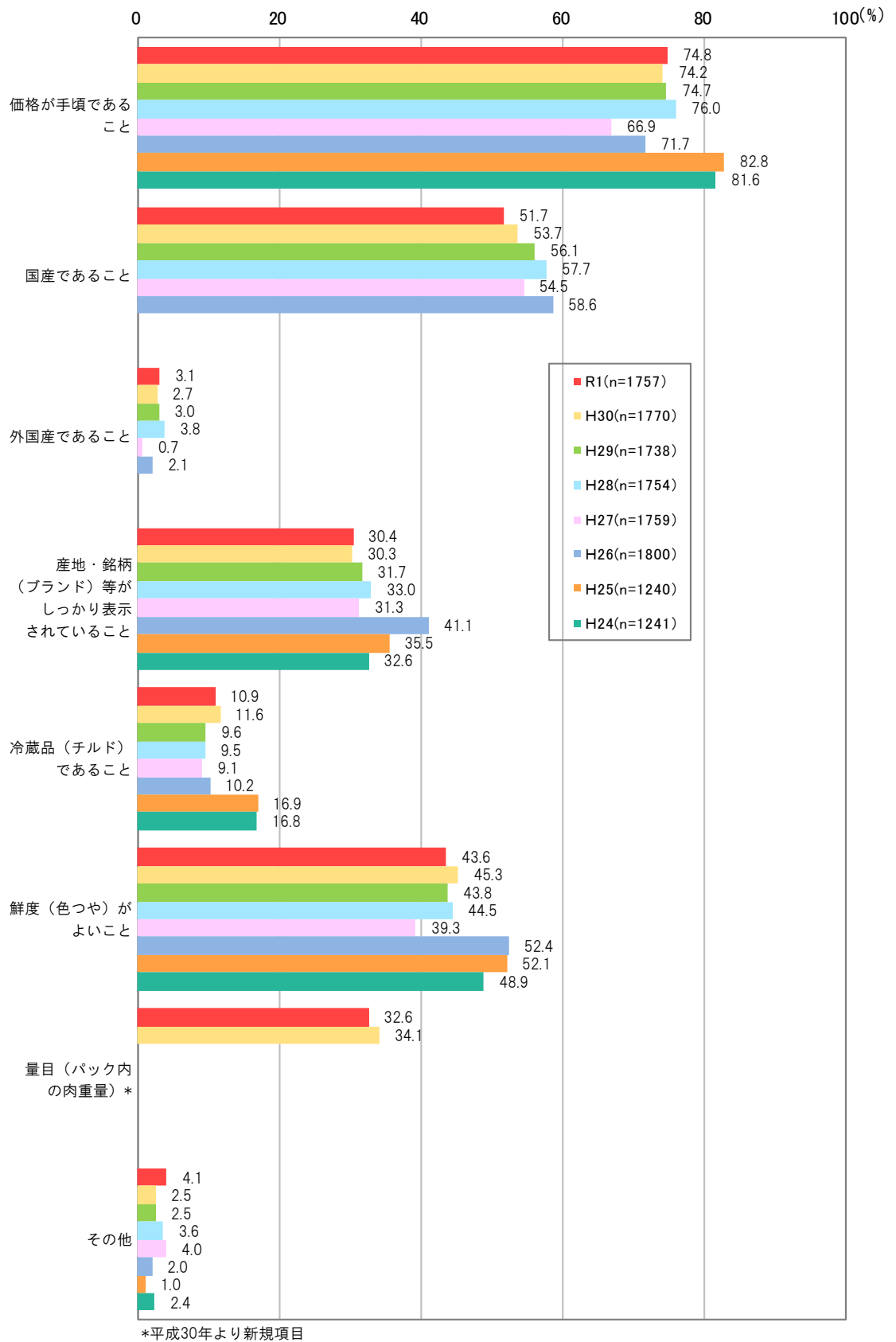


図表 127 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



*平成30年より新規項目

図表 128 豚肉購入時に重視する項目(経年変化)



図表 129 鶏肉購入時に重視する項目(経年変化)

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (Q9)

- 食肉全体で「増えた」は 13.4%。一方「減った」は 11.4%。
- 過年度調査と比較すると、食肉全体でも個別でも食肉購入回数は「変わらない」が増加。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を尋ねたところ、食肉全体では「増えた (増えた+やや増えた)」は 13.4%、「減った (減った+やや減った)」は 11.4%。「変わらない」は 69.5%。

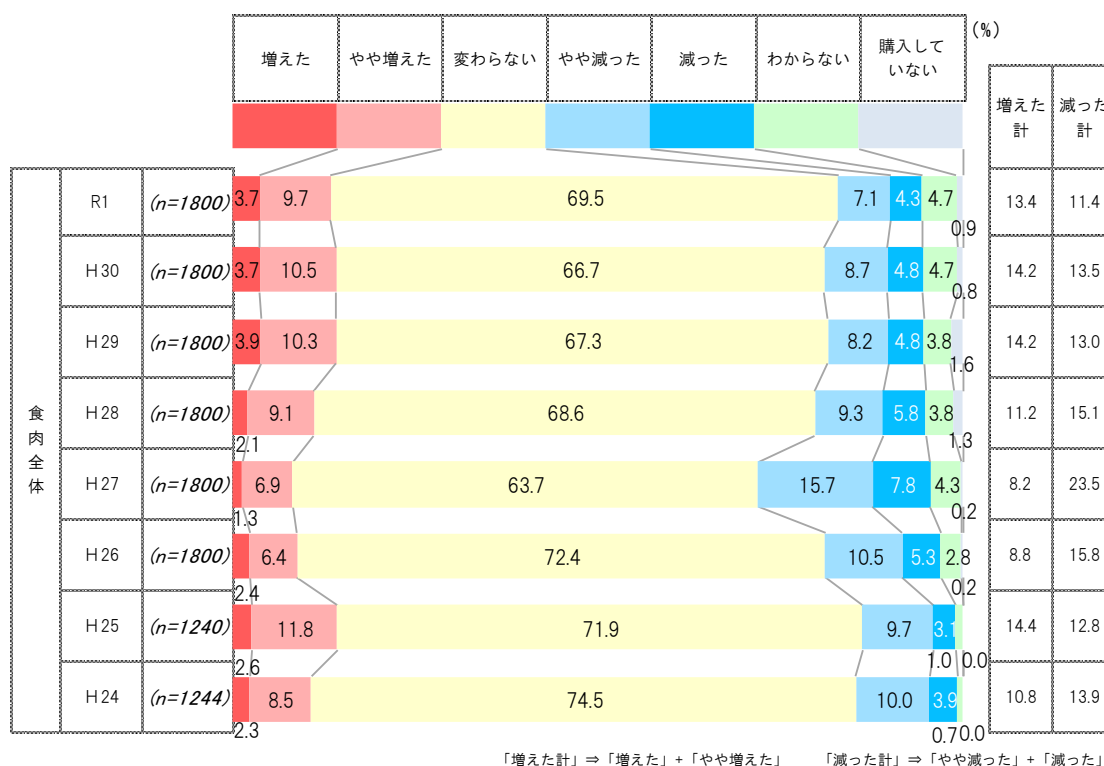
牛肉では、「増えた」が最も多いのは輸入牛肉で 10.4%、「減った」が多いのは、国産和牛で 17.3%。

豚肉では、「増えた」が国産豚肉で 12.3%、輸入豚肉では 8.4%。「減った」は、国産豚肉で 9.7%、輸入豚肉で 11.3%。

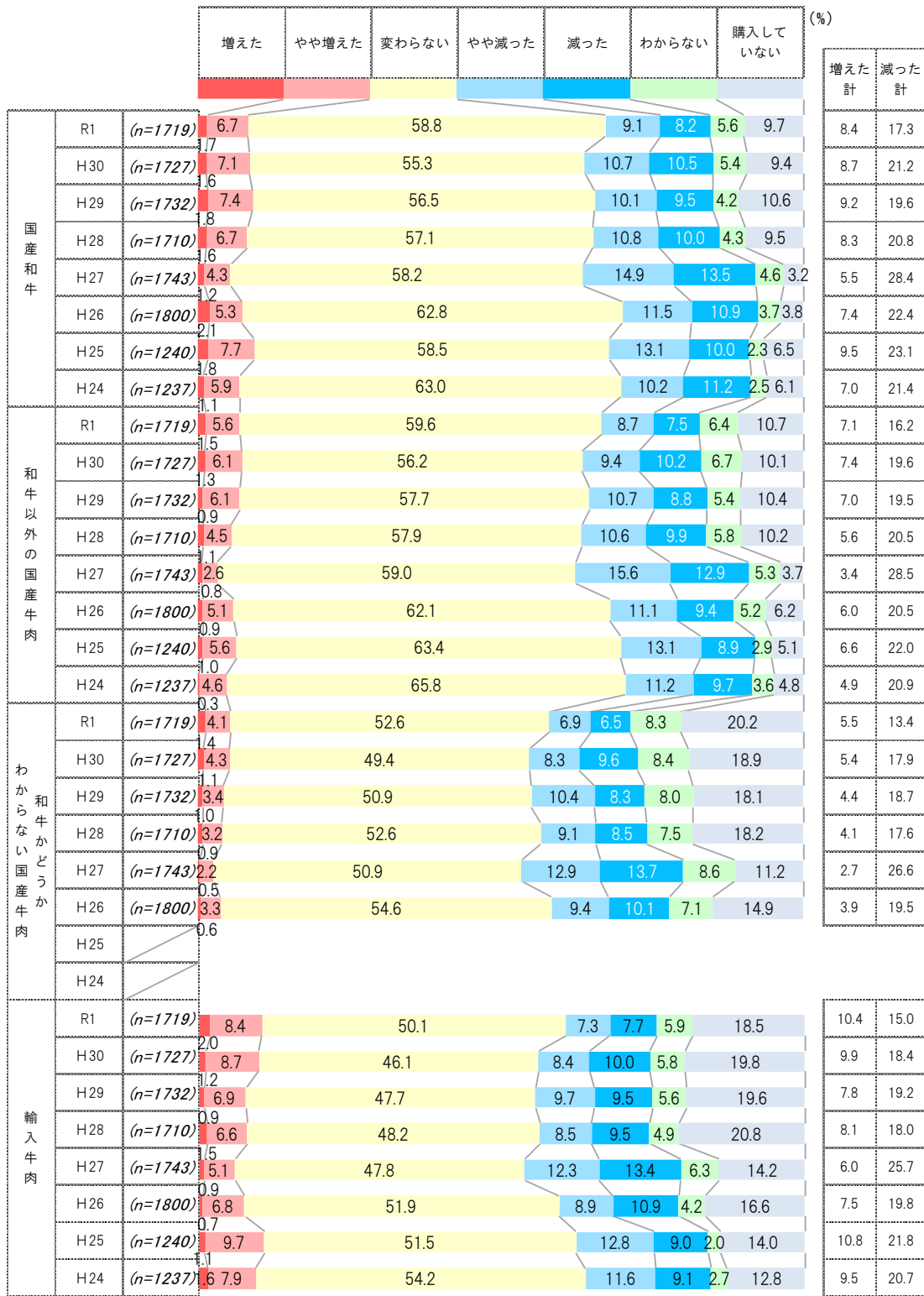
鶏肉では、「増えた」が国産鶏肉で 13.6%、輸入鶏肉では 7.4%。「減った」は、国産鶏肉で 8.5%、輸入鶏肉で 11.3%。

【過年度調査との比較】

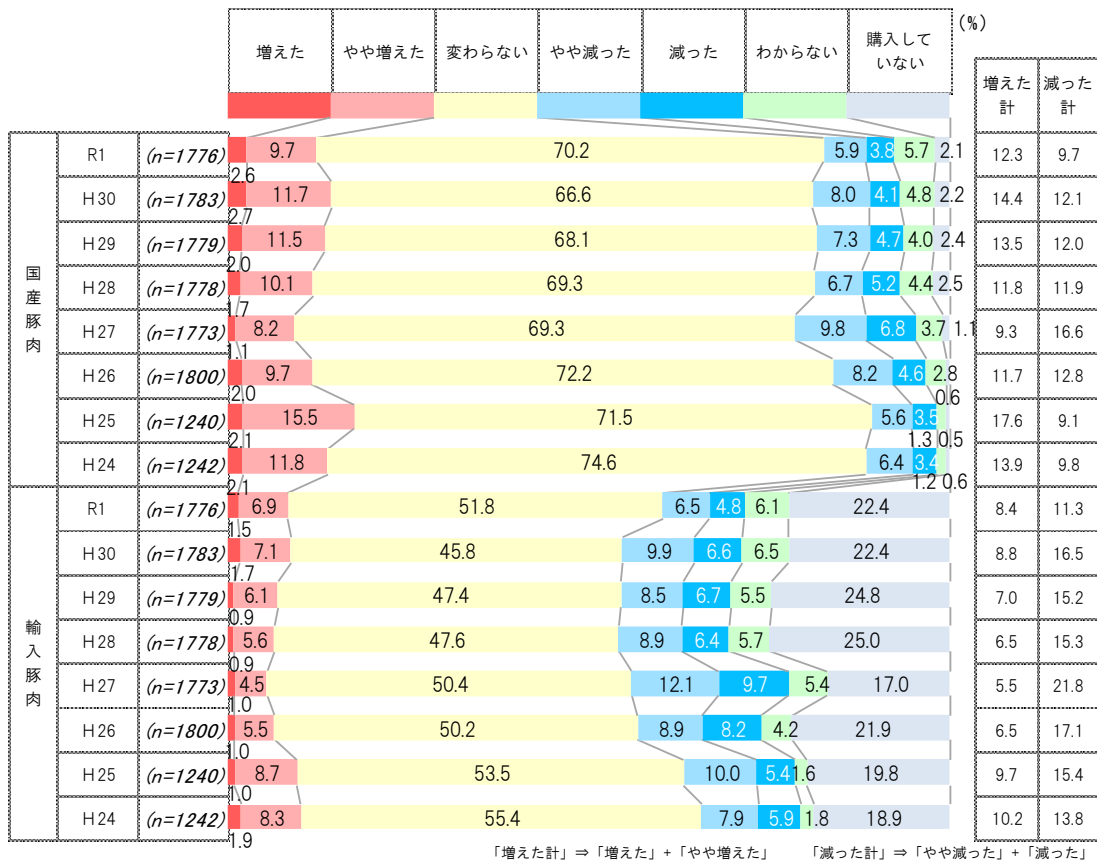
過年度調査と比較すると、食肉全体は、「変わらない」が増加している。食肉を個別に見ても、どの食肉でも、「変わらない」が増加している。



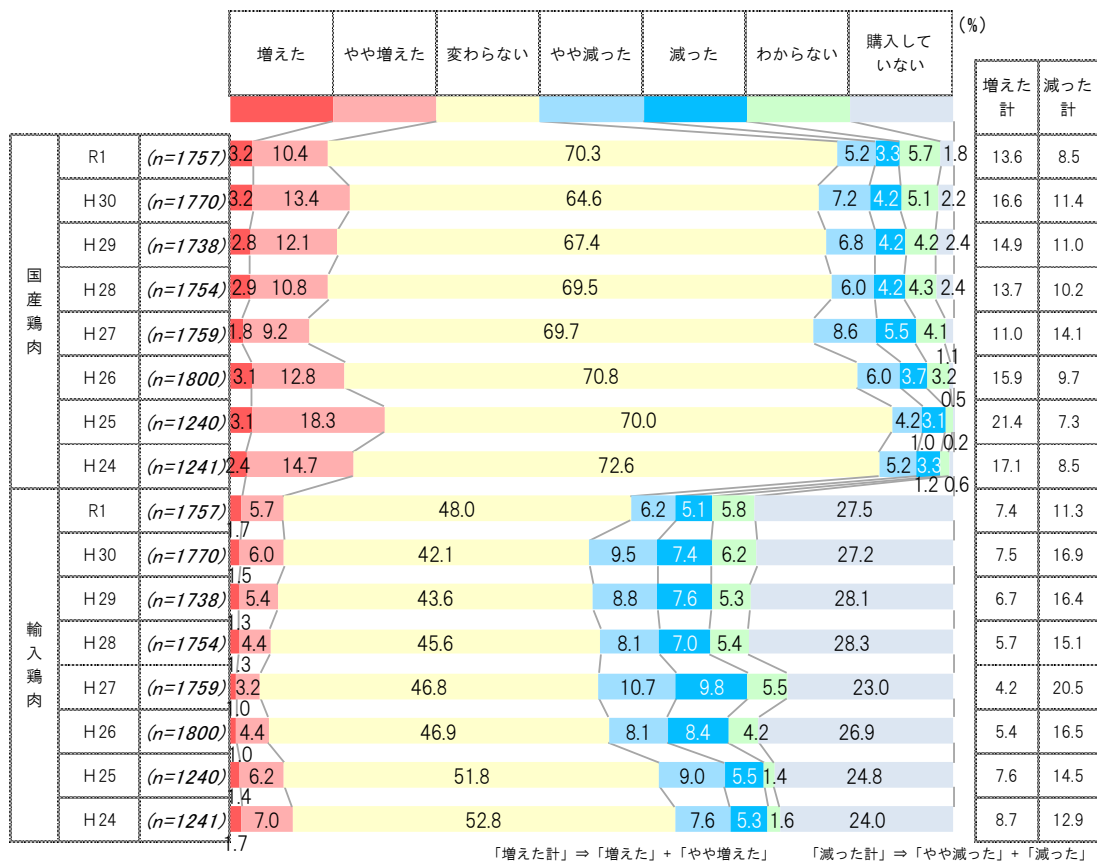
図表 130 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (食肉全体)



図表 131 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（牛肉全体）



図表 132 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 133 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

7) 各種牛肉の購入意向 (Q11)

- 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く 73.4%。次いで「和牛以外の国産牛肉」が 59.4%。
- 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」の購入意向が減少。「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」は昨年度と同傾向。

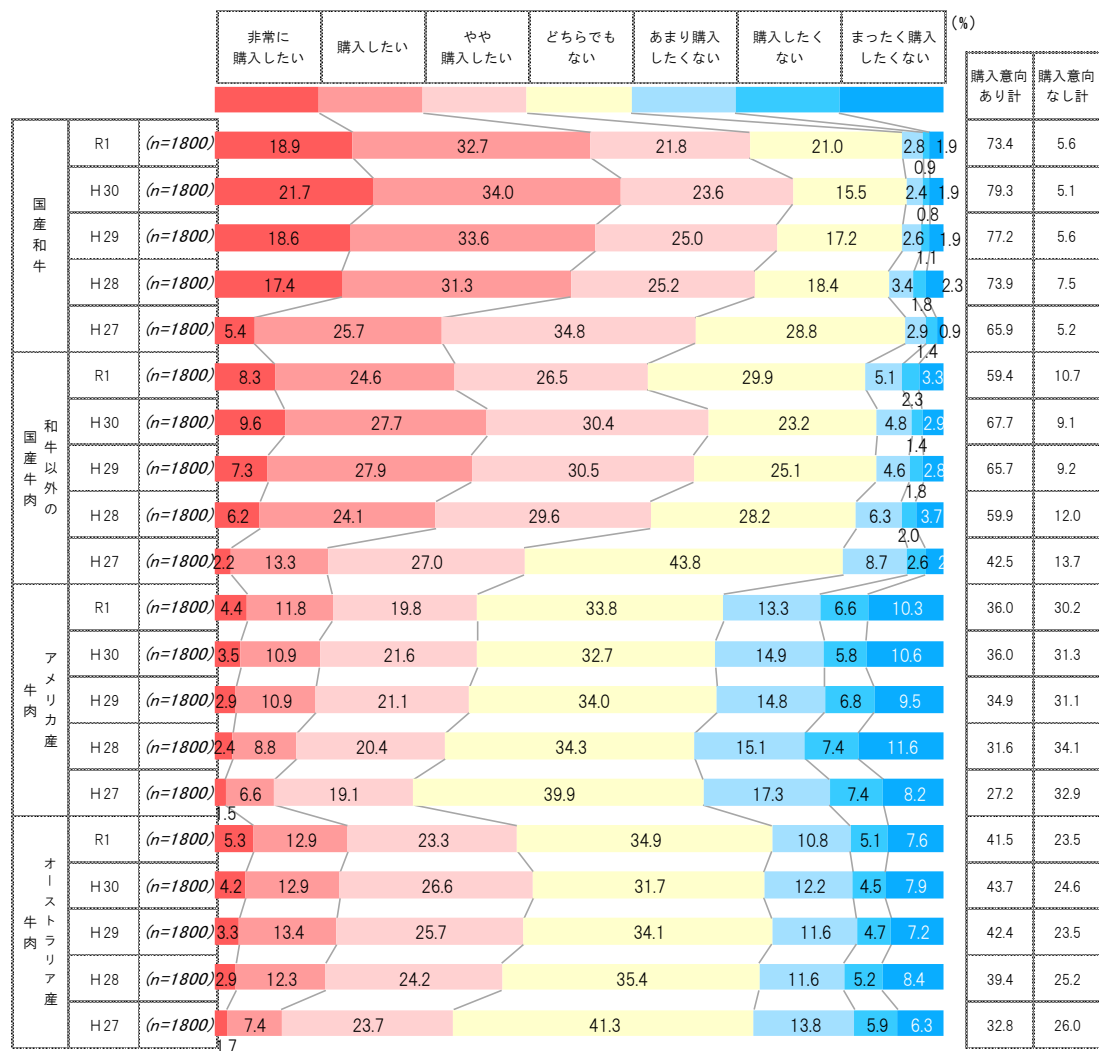
【今年度調査】

「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では、「国産和牛」が 73.4%、「和牛以外の国産牛肉」が 59.4%の順で高い。

一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が 30.2%、「オーストラリア産牛肉」が 23.5%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」の購入意向が減少した。「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」は昨年度と同傾向。



「購入意向あり計」⇒「非常に購入したい」+「購入したい」+「やや購入したい」
 「購入意向なし計」⇒「あまり購入したくない」+「購入したくない」+「まったく購入したくない」

図表 134 各種牛肉の購入意向

8) 各種牛肉のイメージ (Q16)

- 国産和牛のイメージの TOP3 は「高級品」「柔らかい」「安心」。
- 和牛以外の国産牛肉の TOP3 は「安心」「安全」「おいしい」。
- アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の TOP3 はいずれも「価格が手頃」「特売」「入手しやすい」。
- 過年度調査と比較すると、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のいずれも、総じてイメージ比率が減少傾向。

【今年度調査】

各種牛肉のイメージ(複数回答)の TOP3 は、国産和牛では「高級品」が 50.6%、「柔らかい」が 42.4%、「安心」が 40.8%。

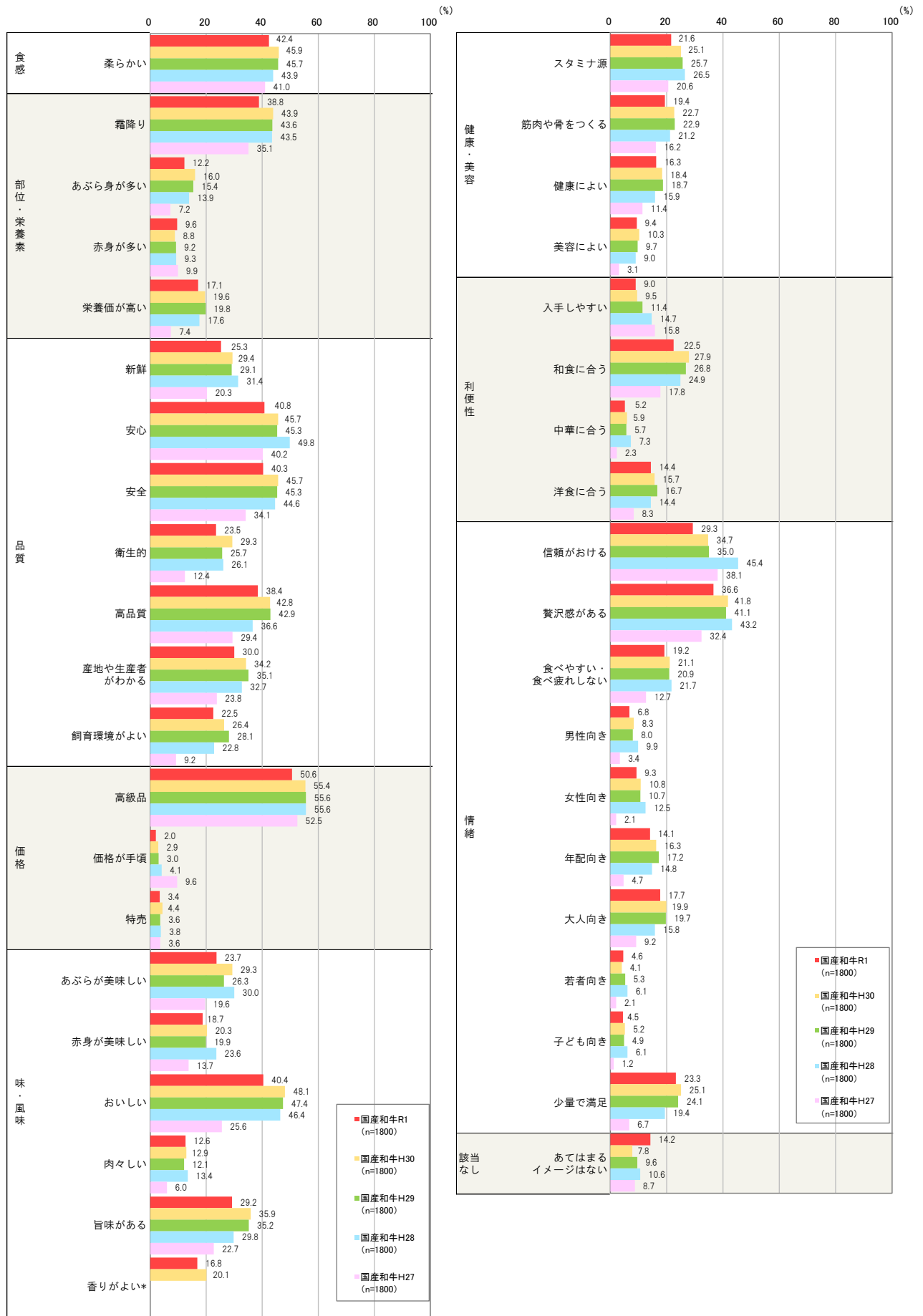
和牛以外の国産牛肉では「安心」が 24.4%、「安全」が 23.7%、「おいしい」が 23.2%。

アメリカ産牛肉では「価格が手頃」が 44.5%、「特売」が 25.4%、「入手しやすい」が 24.1%。

オーストラリア産牛肉ではアメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」が 44.7%、「特売」が 24.5%、「入手しやすい」が 23.6%。

【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のいずれも、総じてイメージ比率が減少傾向にある。

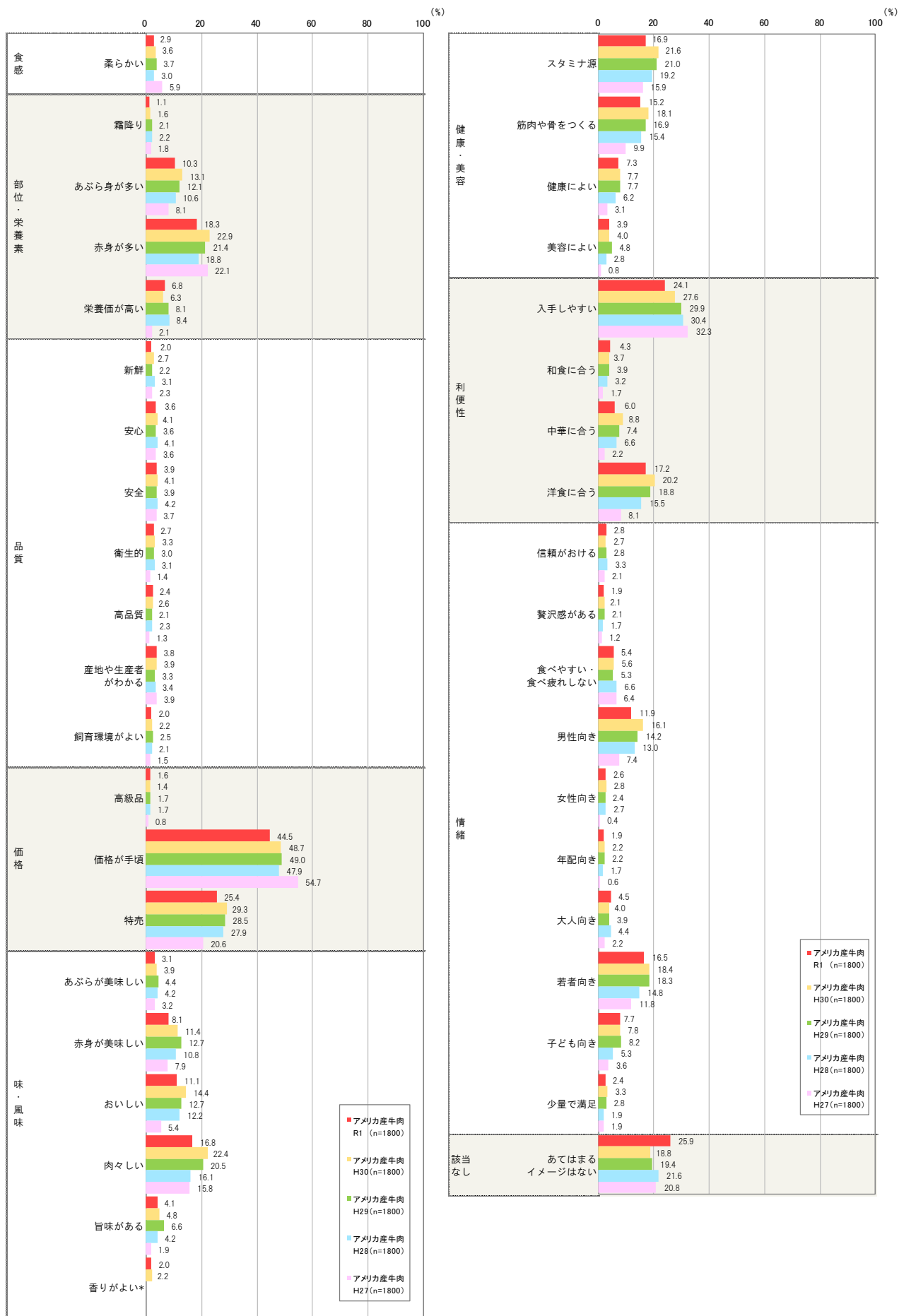


図表 135 国産和牛のイメージ（経年変化）



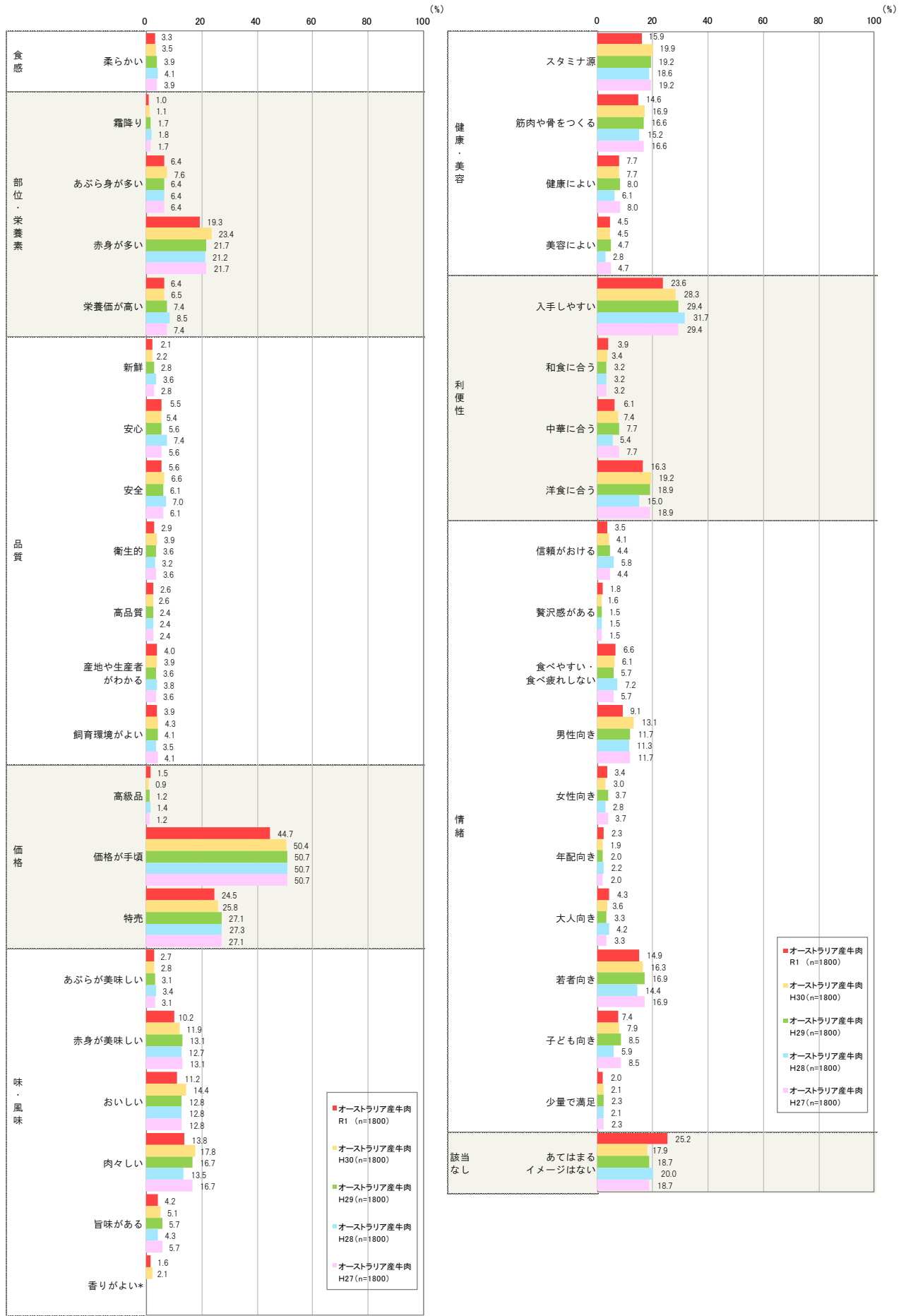
*平成30年より新規項目

図表 136 和牛以外の国産牛肉のイメージ（経年変化）



*平成30年より新規項目

図表 137 アメリカ産牛肉のイメージ (経年変化)



図表 138 オーストラリア産牛肉のイメージ（経年変化）

9) 各種牛肉を家庭内で食べる場面 (Q17)

- 国産和牛を食べる場面の TOP3 は、「日常の食材」「誕生日・記念日」「自分へのご褒美」。
- 和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は「日常の食材」が4割~5割と高い。
- 昨年度調査と比較すると、国産和牛は、「日常の食材」がやや増加した他は、総じて食べる場面が昨年度より減少。和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉も、昨年度より総じて食べる場面が減少。

【今年度調査】

各種牛肉を家庭内で食べる場面（複数回答）の TOP3 は、国産和牛では、「日常の食材」35.6%、「誕生日・記念日」28.7%、「自分へのご褒美」26.9%。

和牛以外の国産牛肉では、「日常の食材」50.0%、「休日」17.9%、「バーベキューをする時」15.3%。

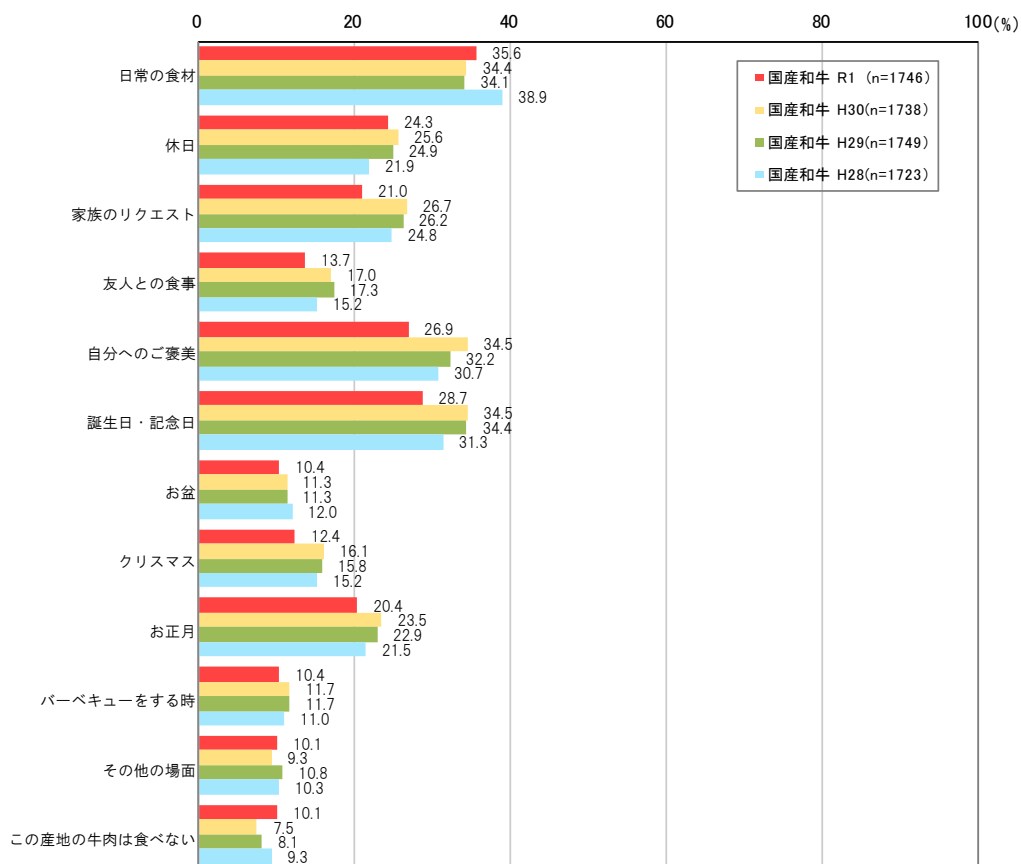
アメリカ産牛肉では、「日常の食材」45.9%、「バーベキューをする時」20.7%、「休日」9.9%で、「この産地の牛肉は食べない」が29.0%。

オーストラリア産牛肉では、「日常の食材」が48.9%、「バーベキューをする時」20.8%、「その他の場面」が11.2%で、「この産地の牛肉は食べない」が25.4%。

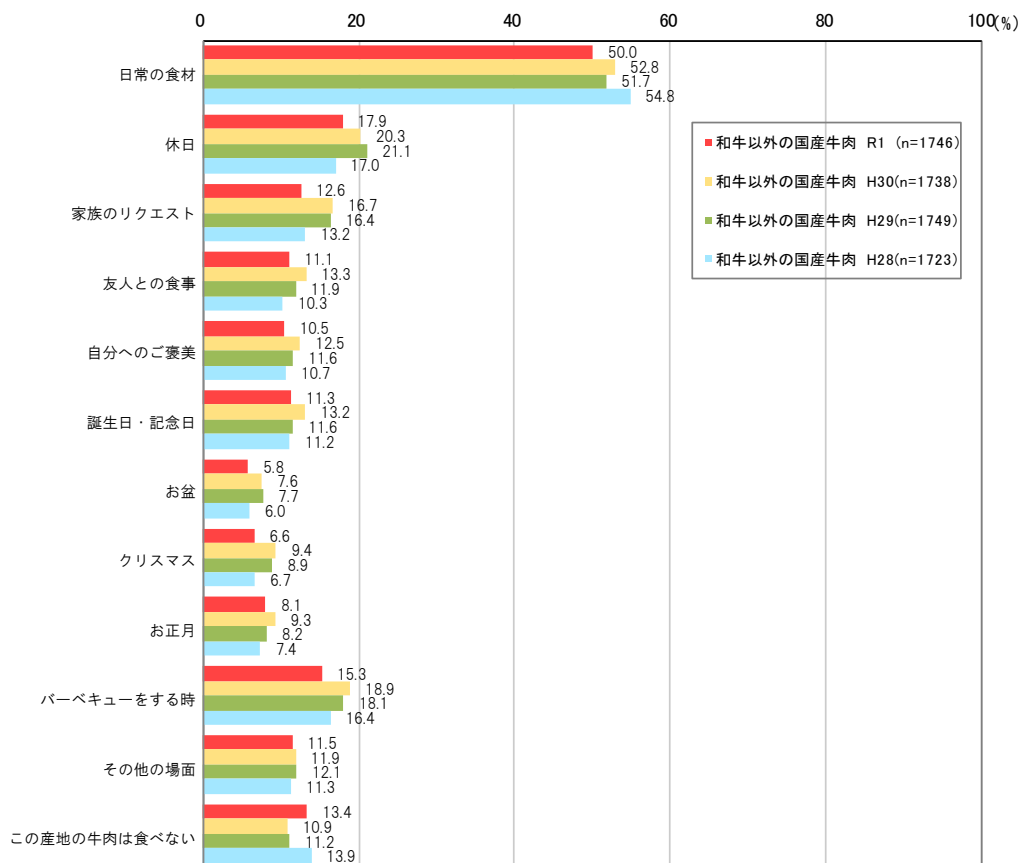
【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛は、「日常の食材」がやや増加した他は、総じて食べる場面が昨年度より減少した。

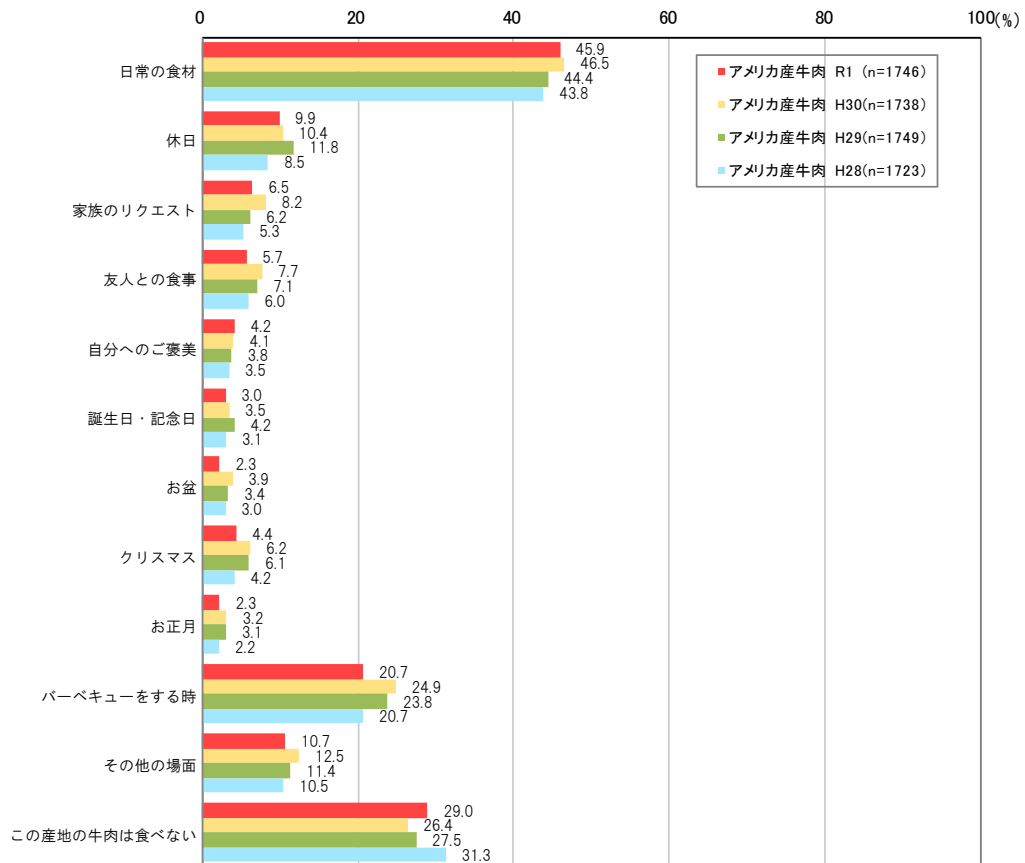
和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉も、昨年度より総じて食べる場面が減少した。



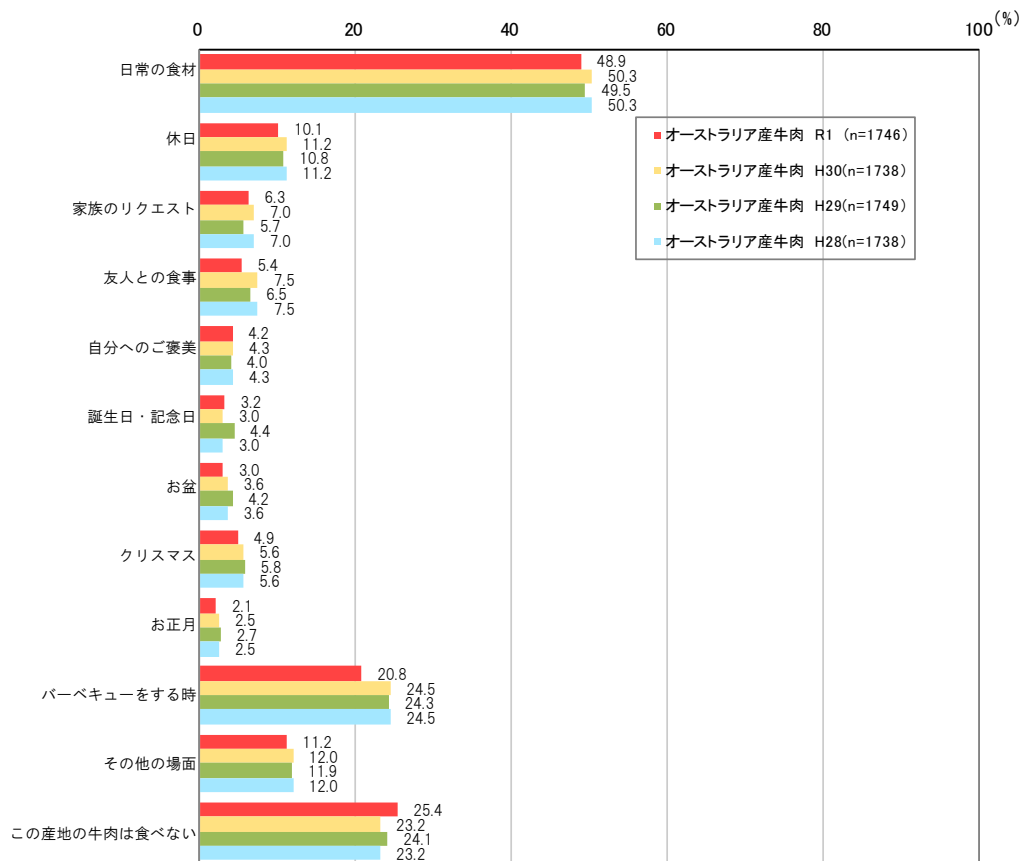
図表 139 国産和牛を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 140 和牛以外の国産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 141 アメリカ産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 142 オーストラリア産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）

10) 各種牛肉を家庭内で食べる料理 (Q18)

- ▶ 各種牛肉を家庭内で食べる料理の TOP3 は、国産和牛では「すき焼き」「焼き肉」「ステーキ」で、これらに用途が集中する傾向にある。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉では「焼き肉」「すき焼き」「肉じゃが」。
- ▶ アメリカ産、オーストラリア産では「焼き肉」「ステーキ」「カレー」。
- ▶ 昨年度調査と比較すると、国産和牛、和牛以外の国産牛肉は、昨年度より総じて食べる料理が減少。アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉も、「焼き肉」以外は、昨年度より総じて食べる料理が減少。

【今年度調査】

各種牛肉を家庭内で食べる料理（複数回答）の TOP3 は、国産和牛では、「すき焼き」が 64.6%、「焼き肉」が 57.4%、「ステーキ」が 45.7%。

和牛以外の国産牛肉では、「焼き肉」が 51.3%、「すき焼き」42.7%、「肉じゃが」が 39.9%。

アメリカ産牛肉では、「焼き肉」が 44.6%、「ステーキ」が 40.1%、「カレー」が 38.7%。

オーストラリア産牛肉では、「焼き肉」43.3%、「ステーキ」が 39.5%、「カレー」が 38.5%。

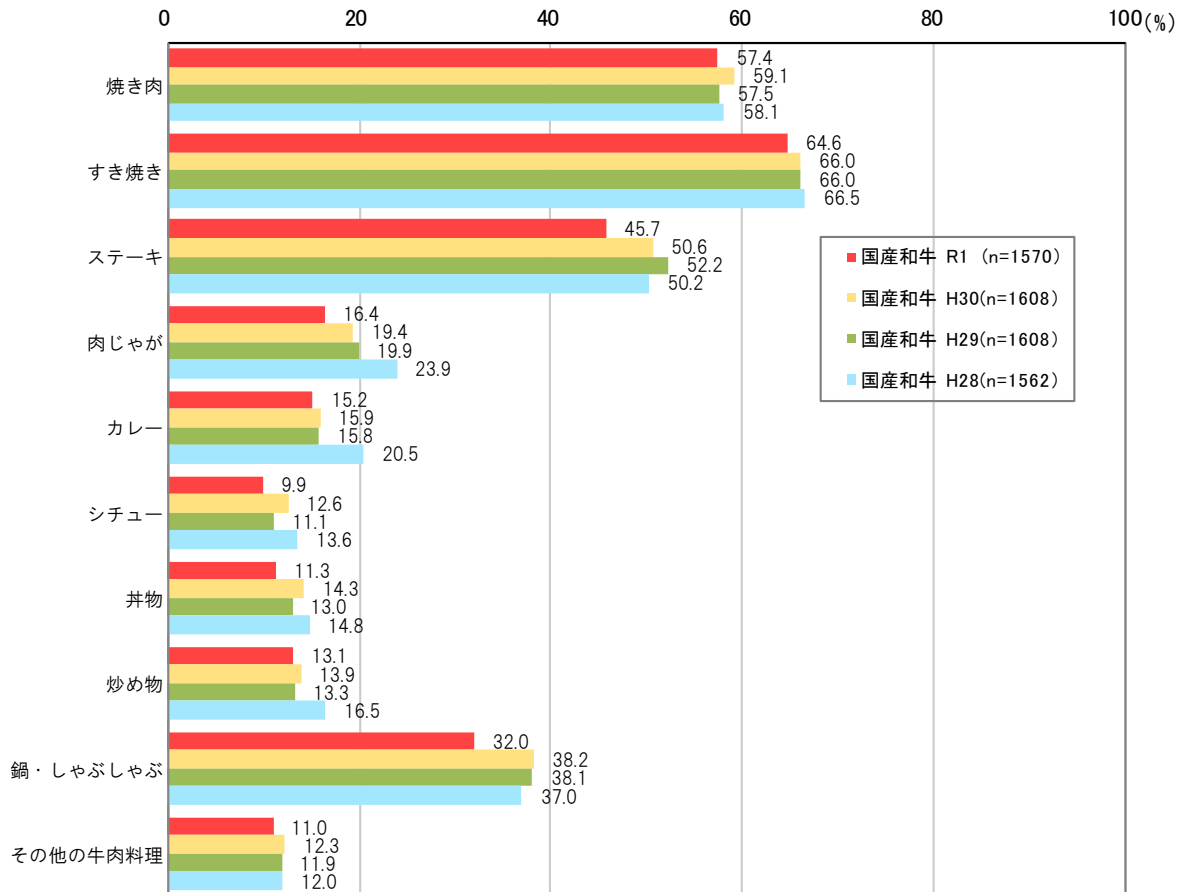
国産和牛は TOP3 が 4 割を超える一方で、4 位の「鍋・しゃぶしゃぶ」が約 3 割、それ以降は 1~2 割と TOP3 に用途が集中する傾向にある。

アメリカ産牛肉やオーストラリア産牛肉は、TOP3 の料理は同じであり、またそれ以外の料理も同水準の比率となっている。

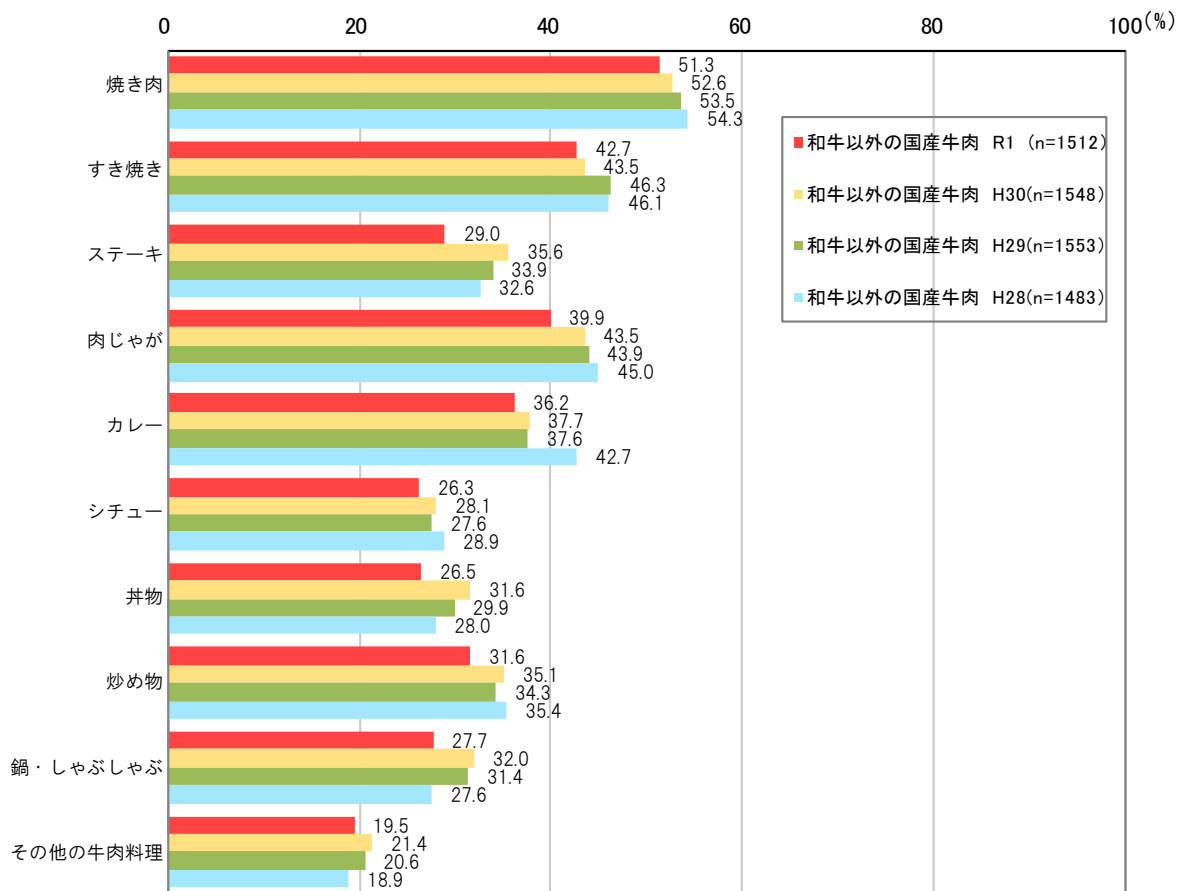
【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛、和牛以外の国産牛肉は、昨年度より総じて食べる料理が減少した。

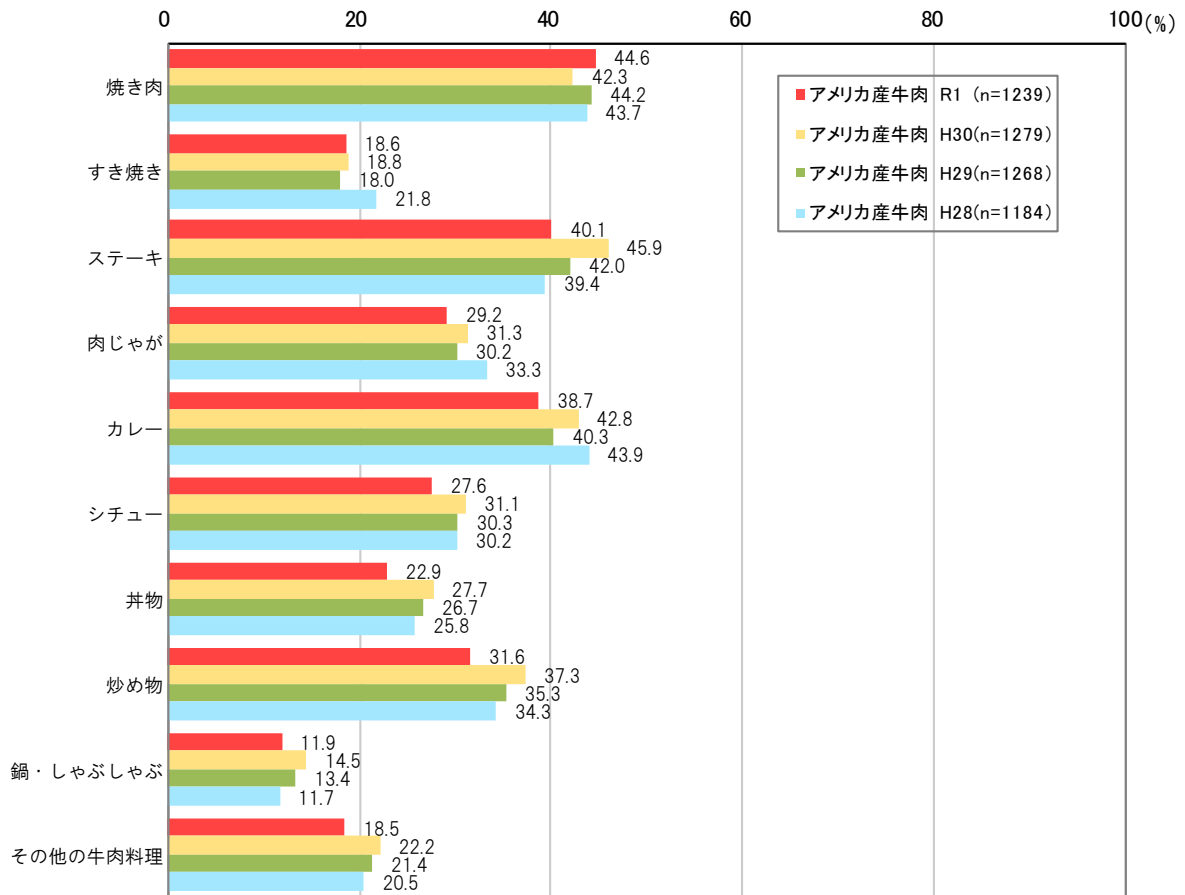
アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉も、「焼き肉」以外は、昨年度より総じて食べる料理が減少した。



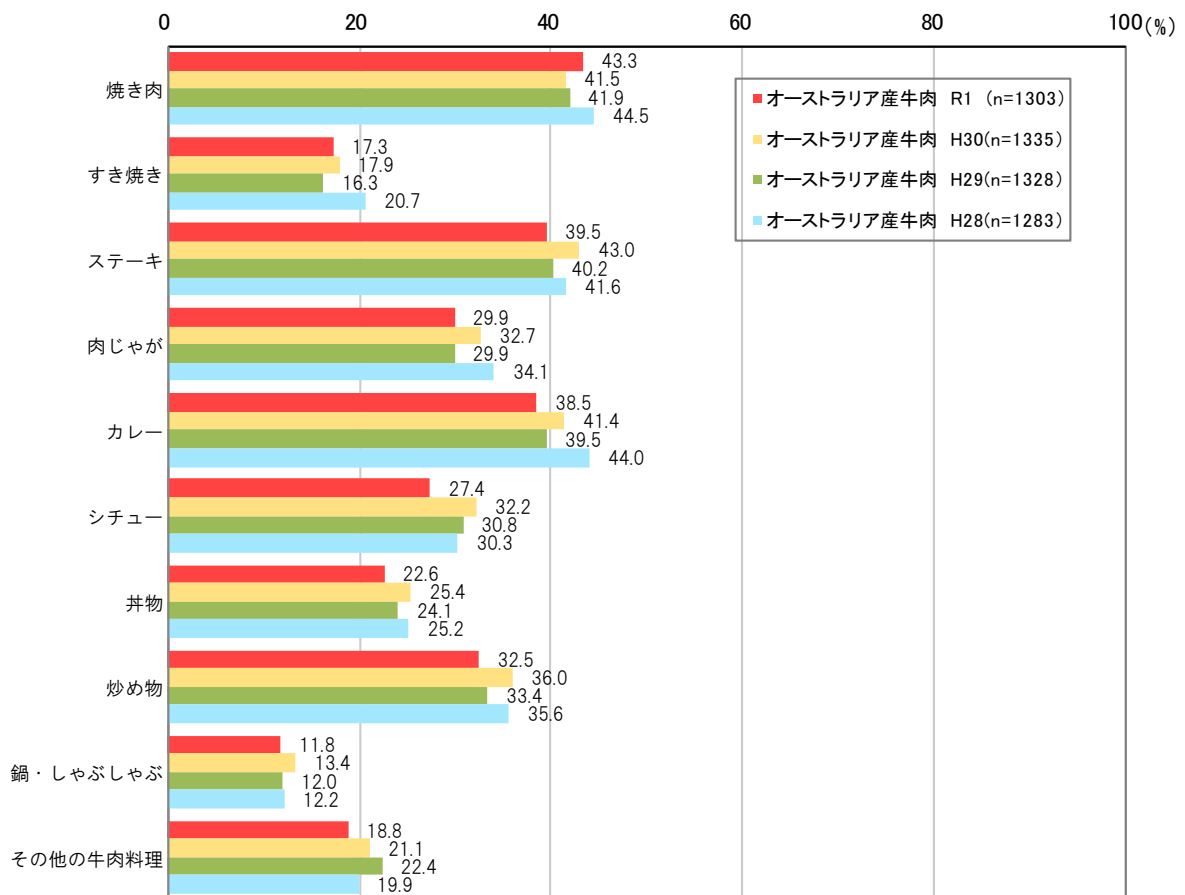
図表 143 国産和牛を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 144 和牛以外の国産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 145 アメリカ産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 146 オーストラリア産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）

11) 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源 (Q19)

- 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源の TOP3 は、順位は異なるが、どの牛肉でも「自宅で購入したものを食して」「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」「テレビのニュース・報道番組」。
- 「特になし」の割合がどの牛肉でも 4 割を超える。
- 昨年度調査と比較すると、いずれの牛肉の情報源も、「テレビのニュース・報道番組」が減少傾向。

【今年度調査】

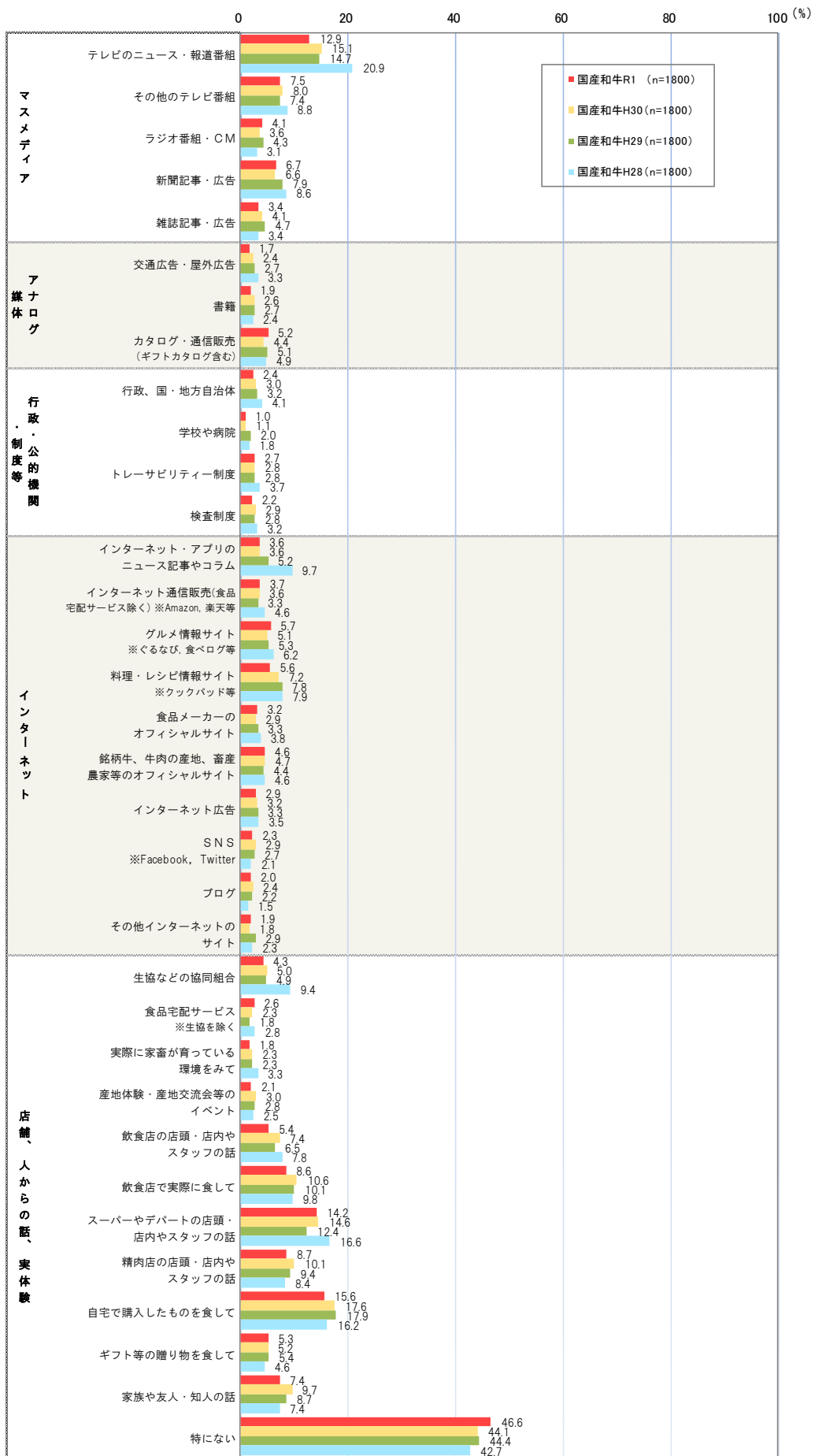
国産和牛、和牛以外の国産牛肉の情報を得るために用いている情報源（複数回答）の TOP3 は、いずれも「自宅で購入したものを食して」（国産和牛 15.6%、和牛以外の国産牛肉 15.4%）、「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」（国産和牛 14.2%、和牛以外の国産牛肉 13.6%）、「テレビのニュース・報道番組」（国産和牛 12.9%、和牛以外の国産牛肉 11.3%）。

アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の情報を得るために用いている情報源（複数回答）の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」（アメリカ産牛肉 12.3%、オーストラリア産牛肉 11.7%）、「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」（アメリカ産牛肉 11.7%、オーストラリア産牛肉 11.5%）、「自宅で購入したものを食して」（アメリカ産牛肉 11.3%、オーストラリア産牛肉 11.5%）。

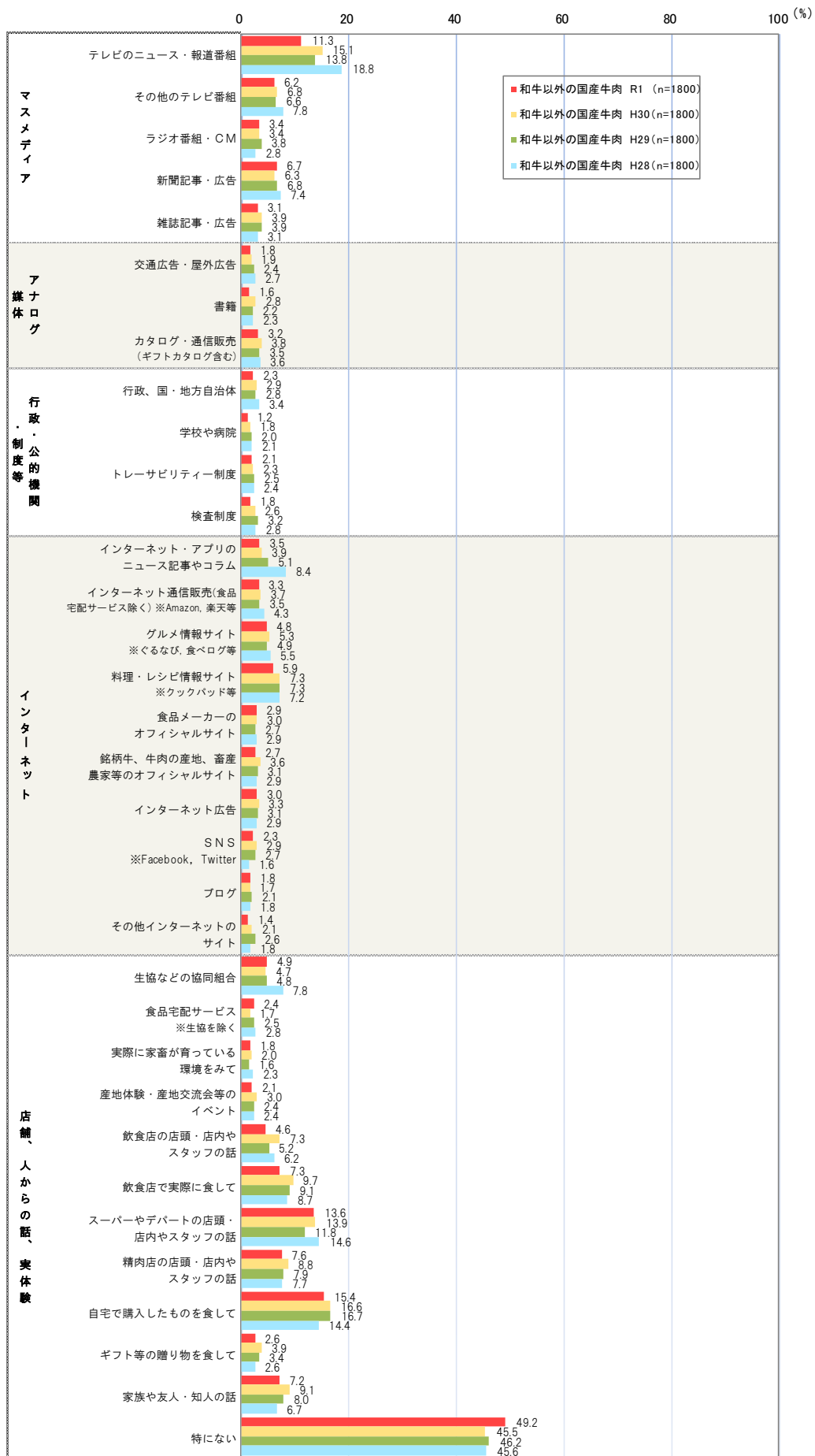
また、「特になし」の割合がどの牛肉でも 4 割を超えていた。

【過年度調査との比較】

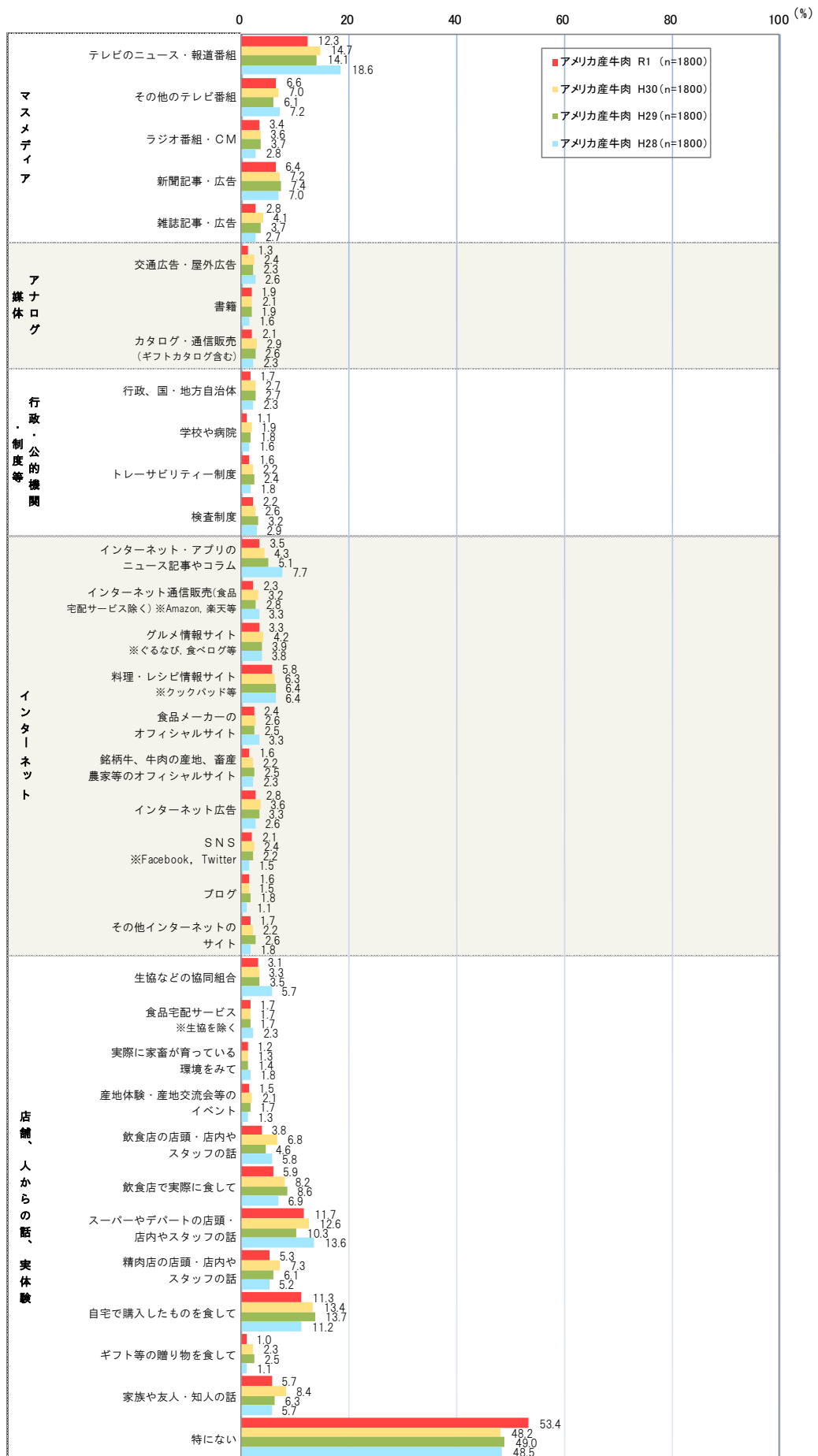
昨年度調査と比較すると、いずれの牛肉の情報源も、「テレビのニュース・報道番組」が減少している。



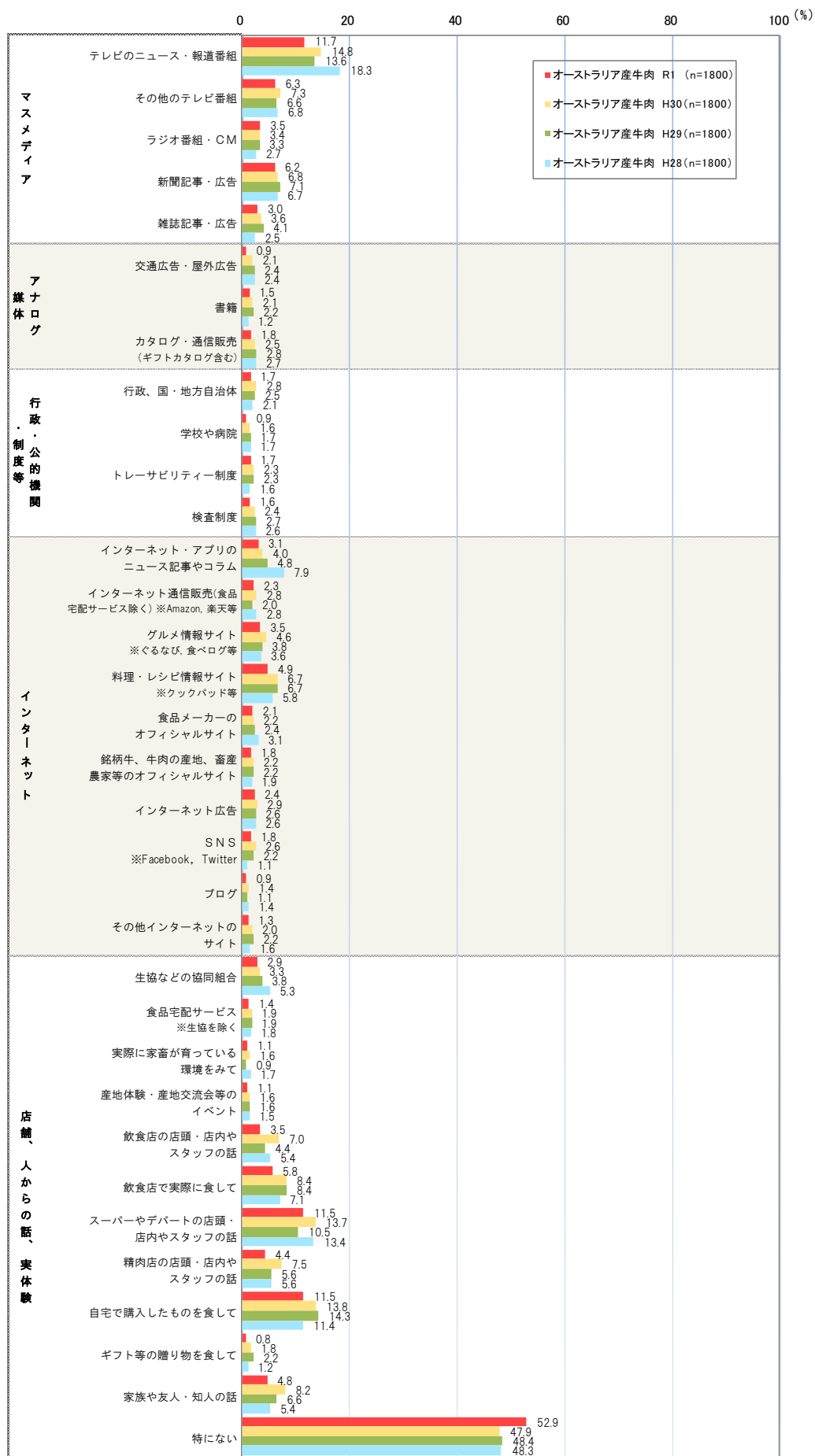
図表 147 国産和牛の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 148 和牛以外の国産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 149 アメリカ産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 150 オーストラリア産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）

12) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q20)

- 国産和牛肉を選ぶ割合は全体の 77.0%。
- 「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」の割合が最も高く、19.3%。
- 過年度調査と比較すると、国産和牛肉を選ぶ割合は昨年度より減少し、「国産和牛肉へのこだわりがない」が 23.1%と増加。

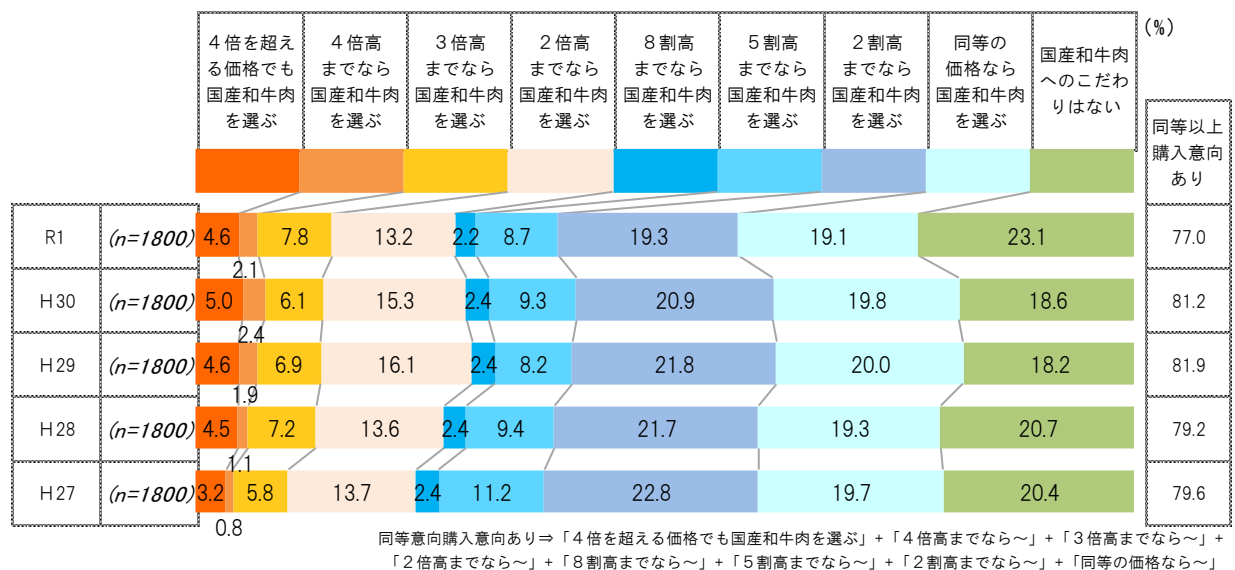
【今年度調査】

国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」）割合は 77.0%。

特に「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」が 19.3%、「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」が 19.1%の順で高く、合わせて全体の約 4割を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」）割合は昨年度より減少し、「国産和牛肉へのこだわりがない」が 23.1%と増加した。



図表 151 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (経年変化)

13) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q21)

- 和牛以外の国産牛肉を選ぶ割合は全体の 76.0%。
- 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合が最も多く、19.7%。
- 過年度調査と比較すると、和牛以外の国産牛肉を選ぶ割合は昨年度より減少し、「国産牛肉へのこだわりがない」が 24.1%。

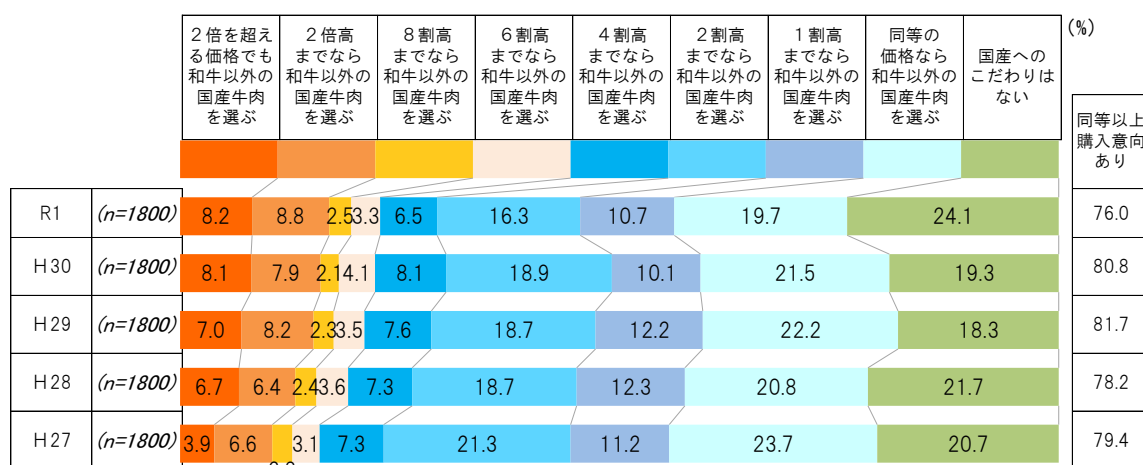
【今年度調査】

和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は 76.0%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 19.7%、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 16.3%の順で高く、全体の半数弱を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」）割合は昨年度より減少し、「国産牛肉へのこだわりがない」が 24.1%と増加した。



「同等意向購入意向あり」⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」+「同等の価格なら～」

図表 152 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

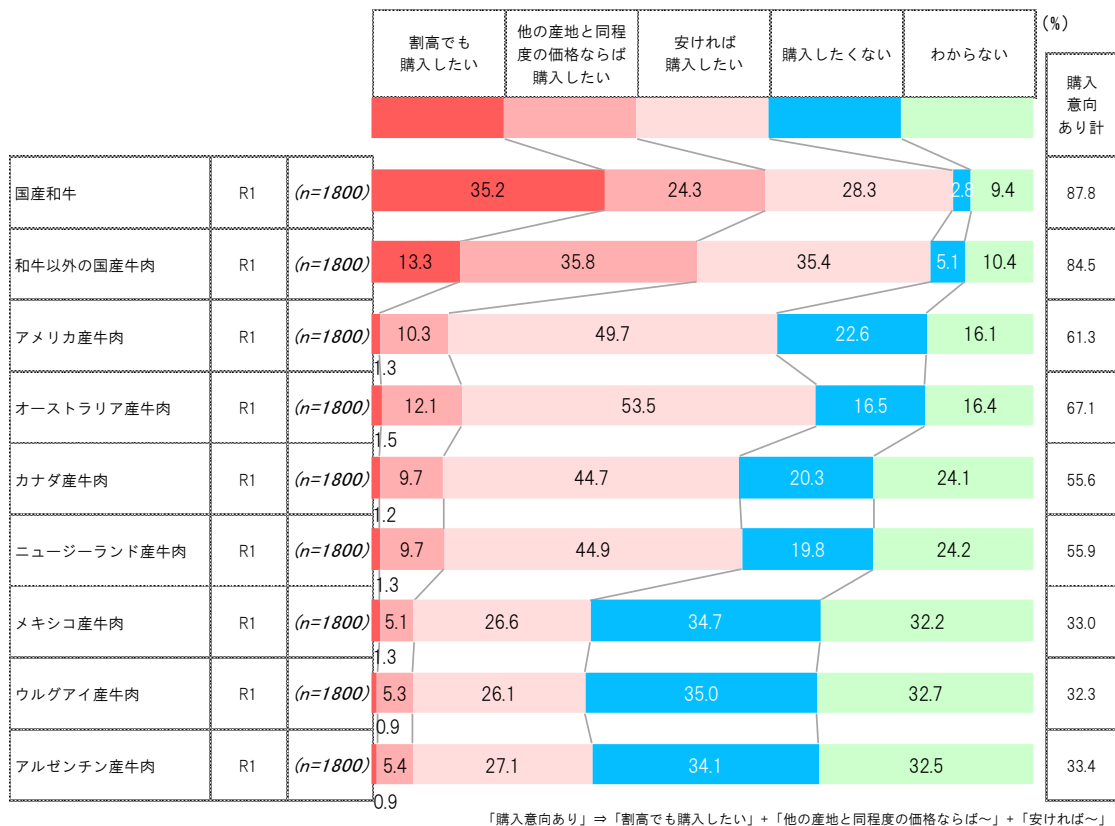
14) 産地別牛肉の購入意向 (Q22)

- ▶ 牛肉の産地別購入意向は、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 87.8%、和牛以外の国産牛肉が 84.5%、オーストラリア産牛肉が 67.1%、アメリカ産牛肉が 61.3%の順に多い。
- ▶ 「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 35.2%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 13.3%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%以下。

【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 87.8%、和牛以外の国産牛肉が 84.5%、オーストラリア産牛肉が 67.1%、アメリカ産牛肉が 61.3%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 35.2%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 13.3%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%以下と低い。



図表 153 牛肉の産地別購入意向

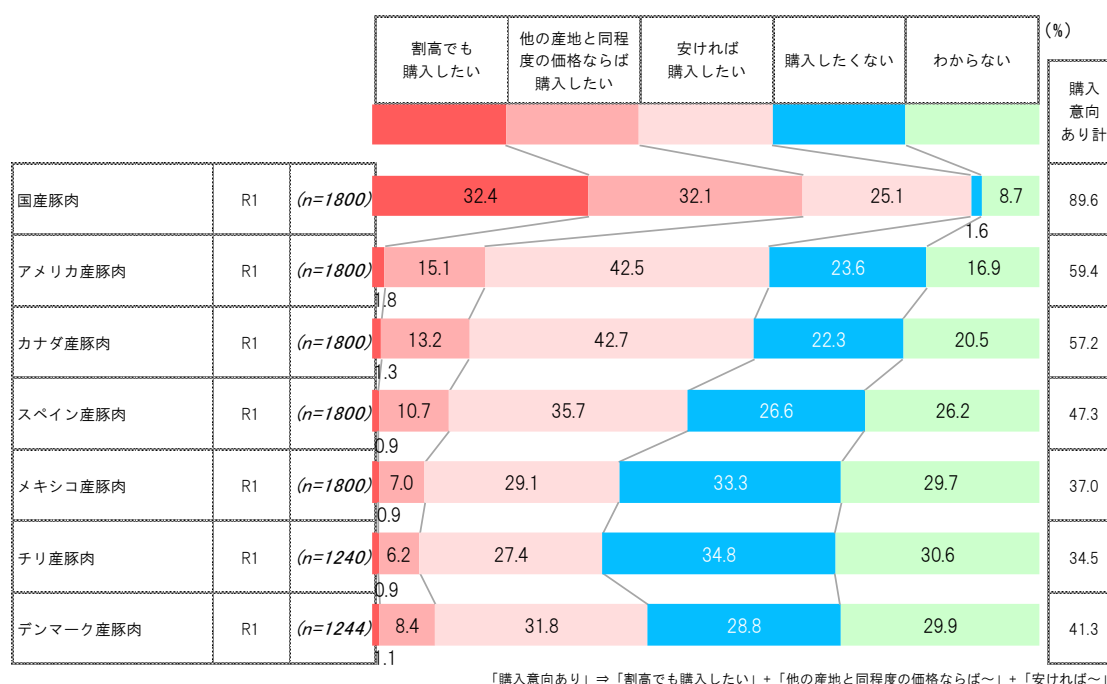
15) 産地別豚肉の購入意向 (Q23)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 89.6%、アメリカ産豚肉が 59.4%、カナダ産豚肉が 57.2%、スペイン産豚肉が 47.3%の順に多い。
- ▶ 「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 32.4%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含めた輸入豚肉はいずれも 2%以下。

【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 89.6%、アメリカ産豚肉が 59.4%、カナダ産豚肉が 57.2%、スペイン産豚肉が 47.3%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 32.4%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含めた輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。



図表 154 豚肉の産地別購入意向

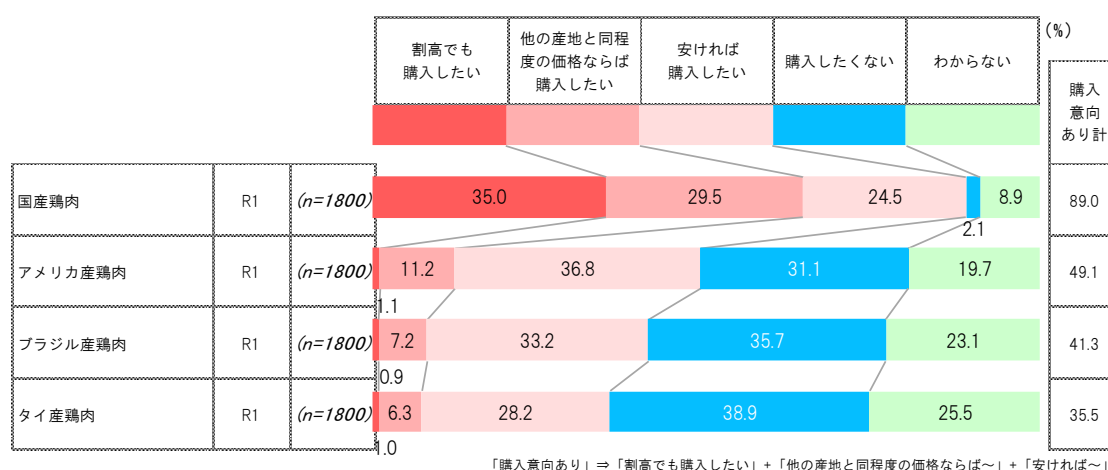
16) 産地別鶏肉の購入意向 (Q24)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 89.0%、アメリカ産鶏肉が 49.1%、ブラジル産鶏肉が 41.3%、タイ産鶏肉が 35.5%の順。
- 「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 35.0%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 2%以下。

【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 89.0%、アメリカ産鶏肉が 49.1%、ブラジル産鶏肉が 41.3%、タイ産鶏肉が 35.5%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 35.0%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 2%以下と低い。



図表 155 鶏肉の産地別購入意向

4. 食肉の安全性に関する意識調査

4.1 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q25)

- ▶ 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」「食肉加工品」「弁当・惣菜類」「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」「魚介」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。

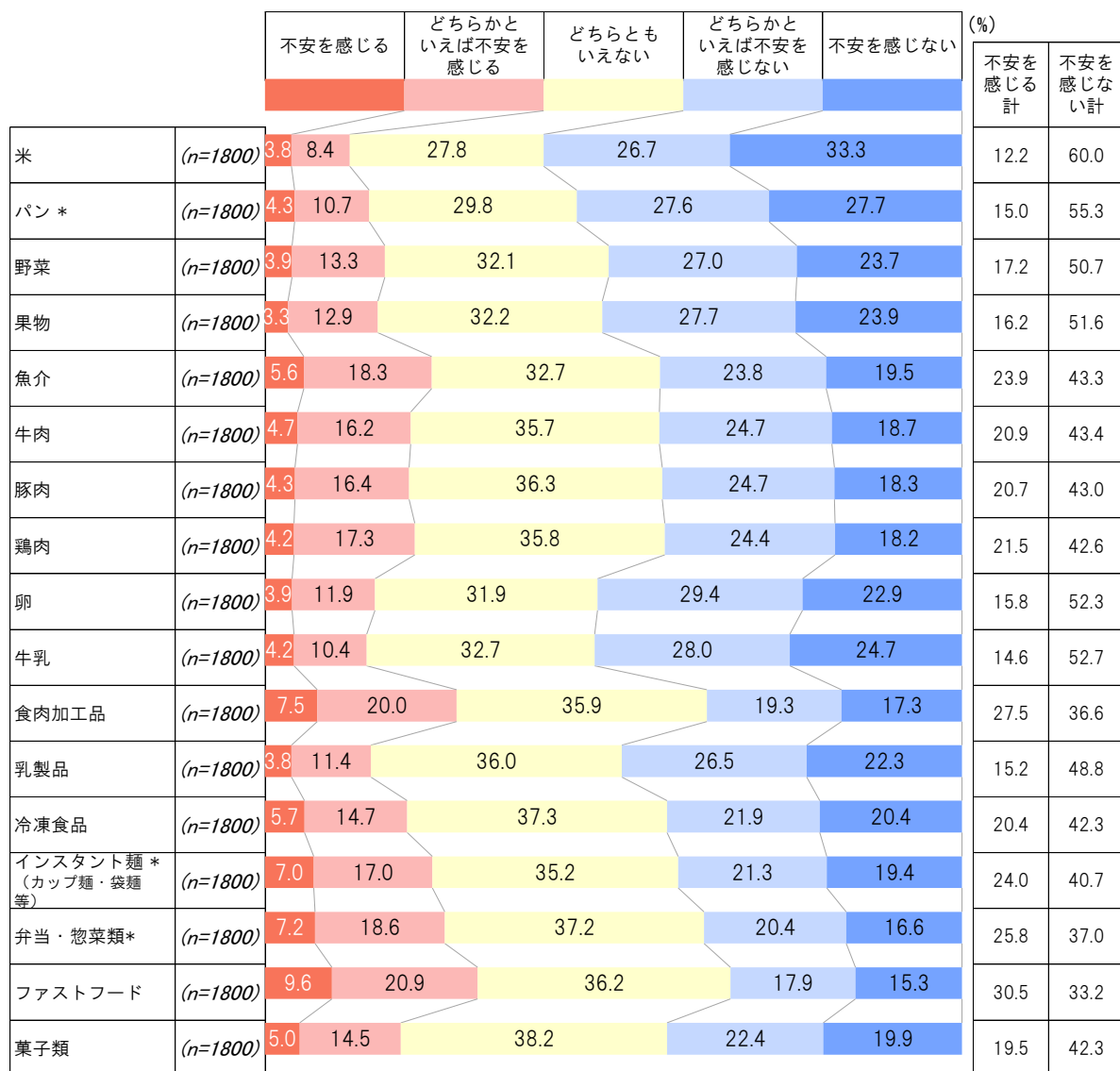
【今年度調査】

17種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを尋ねたところ、「不安を感じる（不安を感じる+どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」30.5%、「食肉加工品」27.5%、「弁当・惣菜類」25.8%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」24.0%、「魚介」23.9%の順で高い。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない+不安を感じない）」の割合は、「米」60.0%、「パン」55.3%、「牛乳」52.7%、「卵」52.3%、「果物」51.6%、「野菜」50.7%の順で高い。なお「牛肉」は43.4%、「豚肉」は43.0%、「鶏肉」は42.6%であった。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。



*「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年からの新規項目

「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえど不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえど不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 156 食品の安全性の不安感

			不安を感じる	どちらかといえ ば不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
			不安を感じる計		不安を感じない計				
食肉加工品	R1	(n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25	(n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
	H24	(n=1244)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7
乳製品	R1	(n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
	H30	(n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29	(n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28	(n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27	(n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26	(n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
	H25	(n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
	H24	(n=1244)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1
冷凍食品	R1	(n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25	(n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24	(n=1244)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2
インスタント麺*	R1	(n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7
弁当・惣菜類*	R1	(n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0
ファーストフード	R1	(n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2
	H30	(n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
	H29	(n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
	H28	(n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
	H27	(n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
	H26	(n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
	H25	(n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
	H24	(n=1244)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9
菓子類	R1	(n=1800)	5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3
	H30	(n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
	H29	(n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
	H28	(n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
	H27	(n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
	H26	(n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
	H25	(n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
	H24	(n=1244)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8

*「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年よりの新規項目

「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえ
ば不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえ
ば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 159 食品の安全性に関する意識調査③ (経年変化)

2) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について感じている不安（Q26）

➤ 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について感じている不安として「飼料・飼育環境」というキーワードを含む不安が最も多い。

Q26で食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について「不安を感じる」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した人に、牛肉の安全性に関して感じている不安を具体的に記入してもらい、キーワードをもとに意見を集計した。

その結果、「飼料・飼育環境」というキーワードを含む不安が最も多く、次いで「病気・伝染病・菌・BSE・O157」「輸入牛肉・海外産」「薬・抗生物質・農薬・残留薬・発がん性物質」「衛生・衛生管理」「安全性・安心・信用・信頼」というキーワードを含む不安が多くあげられた。

キーワード	件数	主な回答内容
飼料・飼育環境	60	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬、薬物、人工飼料、クローン、遺伝子組み換えなど。 ・外国産のものは、国内産と飼育環境がかなり違うため、食するとき人体に被害はないか不安に感じることがある。また、価格が安いのは消費者として嬉しいが、同時に安全性に問題があるのではないかと不安に思うときもある。 ・飼育環境と飼料の品質がわからないため、肉にも不安がある ・早期成長を促したり、病気にならないよう飼料に添加物を混ぜて飼育されている。
病気・伝染病・菌・BSE・O157	49	<ul style="list-style-type: none"> ・O157や狂牛病に感染した牛が市場に出回っているのではないかと懸念がある。 ・伝染病が人に感染しないか。 ・いずれの肉も、病気が流行り、蔓延している経緯が今までであるので、心配である。
輸入牛肉・海外産	46	<ul style="list-style-type: none"> ・外国産の肉は、日本と比べてどの程度の安全基準・衛生基準で飼育されているのかよく知らないので、何となく怖い。 ・飼料をはじめ、飼育環境の管理が確認しづらい、特に輸入品の豚、鳥は、固く、異臭を感じるものが多い。 ・外国産については、特にどんな餌で育ったか、環境や衛生面など気になる。
薬・抗生物質・農薬・残留薬・発がん性物質	43	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料や予防薬など薬品残着色料。 ・ホルモン剤の使用や、餌に質の悪い人間にとっては、害があるものが使用されていそうな感じ。 ・飼育にホルモン剤等の促成飼育飼料を使っていたり、抗生剤の大量投与などが不安
衛生・衛生管理	33	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入、輸送、倉庫、店舗での衛生管理。 ・海外の食肉は、加工過程や衛生面に見えない部分があるので、不安を感じます。 ・衛生基準が形骸化しており、外部の情報をあまり信用できない。
安全性・安心・信用・信頼	32	<ul style="list-style-type: none"> ・国産は安全だと思うが、値段につられて外国産を買うこともある。見た目新鮮なものを選ぶようにしている。 ・こちらと安全基準が違うのではないかとこちらにない病気とかになりそう。

キーワード	件数	主な回答内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国産のものは日本より安全性が劣ると思われるから。
産地偽装・偽装・食中毒・事故	30	<ul style="list-style-type: none"> ・産地偽装や期限切れ食品使用などの事件は、未だになくなることはなく今もなお明るみに出ていないだけで、もしかしたら今も口にしているかもしれないであろう。ただ具合が悪くなっていないだけ。 ・飼料などに何が使われているのかわからないし表示が偽装されていることが過去に合ったので信頼できない。 ・外国産でも問題ないと思うが、輸出国によって信頼性が低い国があるので心配だ。あとは販売店での偽装表示があるかもしれないと思うので信頼できる販売店を確認するのが難しいと思う。
産地	17	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり管理された土地でつくられているか、産地が信用できるか。 ・原産地をごまかしていないかなど。 ・産地の表記が正しいのか不安になる時がある。
検査・加工・流通	15	<ul style="list-style-type: none"> ・検査方法や検査基準が消費者には見えにくい。現物とのその対比が難しいので信頼して購入するしかないことが一抹の不安である。 ・いろんな外国産が入ってくると、また昔のように病気関係など検査が気になる。 ・外国からの輸入品の検査結果。
放射能・放射能汚染・福島原発	14	<ul style="list-style-type: none"> ・福島原発事故の際の汚水処理問題のめどが立たないこと。 ・国産が重宝されるが、放射能のことを考えると、その安全性が信用できない。 ・放射能の危険性について大変不安を感じる。肉のパックに、放射能の安全基準値を合格したものと書いてあるものに、特に不安を感じる。できるだけ西日本のものにこだわるようにしている。
CSF ^{※1} ・コレラ	14	<ul style="list-style-type: none"> ・CSF^{※1}などの報道があると絶対食べない。 ・CSF^{※1}がアジア各地で流行しています。特にASF^{※2}には日本に流入しないかが、不安です。 ・CSF^{※1}の感染が心配。
遺伝子組換え・遺伝子操作・ゲノム編集	14	<ul style="list-style-type: none"> ・餌が外国産の穀物であること。牧草だったらよいが、なかなかない。遺伝子組み換えのとうもろこしや大豆だとちょっと不安。 ・遺伝子組み換えの餌を食べているかどうか。 ・ホルモン剤の使用 遺伝子組み換えの飼育餌。
狂牛病	12	<ul style="list-style-type: none"> ・狂牛病や飼料など問題点が改善されていないと思うから。特に海外のものは、国が関与出来ないから怖く感じる。 ・狂牛病などの海外からの病気が、心配。 ・狂牛病や鳥インフルエンザ等の病気が人体に影響がないとわかっていたとしても不安を感じる。
鳥インフルエンザ	7	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥インフルエンザなどの疫病。タイ産鶏肉の衛生面が気になる。 ・鶏インフルエンザなどが流行ると怖い。

※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です

図表 160 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について感じている不安

3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q27)

- ▶ 関心が高い項目 TOP3 は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「鳥インフルエンザ」「食肉の消費期限改ざん」。
- ▶ 「食肉の放射能汚染」については、「関心がある」の割合は 53.5%、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して尋ねたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 63.9%、「鳥インフルエンザ」が 63.8%、「食肉の消費期限改ざん」が 63.5%、「食肉の産地偽装」61.7%、「CSF^{※1}」61.3%、「豚インフルエンザ」60.6%の順で高い。

「食肉の放射能汚染」については 53.5%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉の消費期限改ざん」が 31.7%、「食肉の消費期限改ざん」が 31.4%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 30.6%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、今年度は昨年度と同傾向にあり、特に大きな変動は見られない。

「食肉の放射能汚染」についても、「関心がある（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合に大きな変動は見られない。

※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心 がある計	関心 がない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6
ゲノム編集飼料を用いた食肉 *a	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8
牛のBSE（牛海綿状脳症）	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
成形肉（インジェクション）*b	(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
食肉の放射能汚染	(n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	20.9	31.8	30.3	9.4	7.5	52.7	16.9
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	23.3	32.9	28.9	8.0	6.9	56.2	14.9
CSF ※1	(n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
ASF ※2	(n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7	14.3
豚インフルエンザ	(n=1800)	26.6	34.0	26.0	6.9	6.5	60.6	13.4
鳥インフルエンザ	(n=1800)	28.4	35.4	23.8	6.2	6.1	63.8	12.3
食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染	(n=1800)	30.6	33.3	23.9	6.6	5.7	63.9	12.3
食肉の生食	(n=1800)	25.7	30.7	27.7	7.9	8.0	56.4	15.9
食肉の産地偽装	(n=1800)	31.7	30.0	26.1	6.7	5.5	61.7	12.2
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	31.4	32.1	24.6	6.4	5.4	63.5	11.8
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2
豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性	(n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5

*a 令和元年より新規項目 *b 平成29年の選択肢「成形肉」より変更

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
「関心がない計」⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。（平成30年よりの新規項目）

※2 ASF：African Swine Fever（直訳すればアフリカの豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。（令和元年よりの新規項目）

図表 161 食肉の安全性に関する項目別関心度

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)			
							関心が ある計	関心 がない計			
残留 食肉中の 抗菌物質	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2		
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4		
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3		
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7		
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3		
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7		
	H25	(n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1		
	H24	(n=1244)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2		
残留 食肉中の 動物薬	R1	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0		
	H30	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9		
	H29	(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6		
	H28	(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9		
	H27	(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5		
	H26	(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6		
	H25	(n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3		
	H24	(n=1244)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7		
飼料を 用いた 食肉 遺伝子 組換え	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6		
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5		
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6		
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7		
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6		
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8		
	H25	(n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0		
	H24	(n=1244)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1		
ゲノム *1	R1	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8		
(牛の BSE 海綿状 脳症)	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4		
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5		
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3		
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2		
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4		
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6		
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0		
	H24	(n=1244)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1		
(イン ジェク ション 成形肉)*2	R1	(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7		
	H30	(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6		
	H29	(n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2		
	H28	(n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0		
	H27	(n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6		
	H26	(n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7		
	H25	(n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0		
	H24	(n=1244)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8		

*1 ゲノム→「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年よりの新規項目
 *2 「成形肉(インジェクション)」平成30年より変更

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
 「関心がない計」⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 162 食肉の安全性に関する項目別関心度① (経年変化)

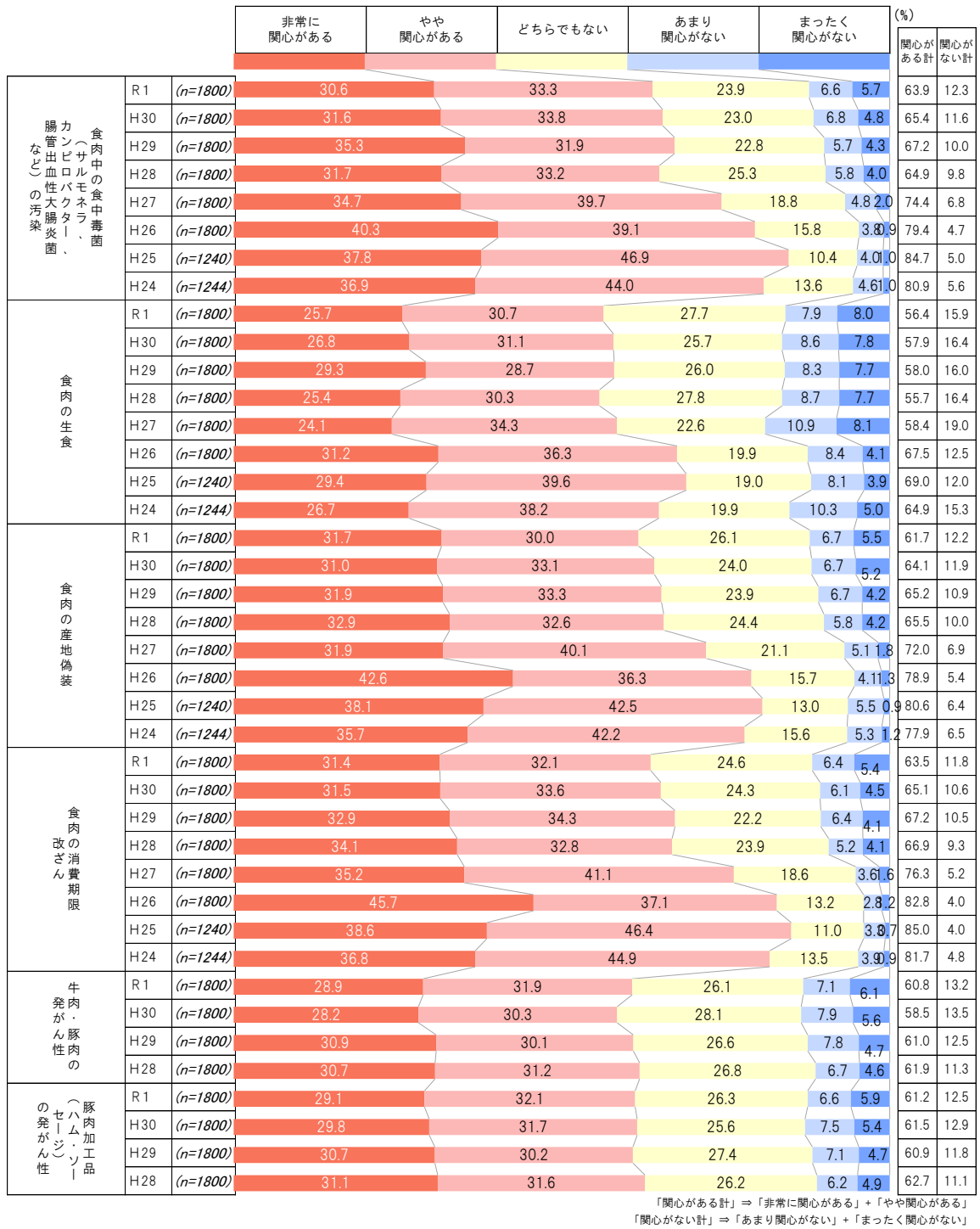
			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心がない	
								関心がある計	関心がない計
食肉の放射能汚染	R1	(n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
	H30	(n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
	H29	(n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9
	H28	(n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7
	H27	(n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4
	H26	(n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3
	H25	(n=1240)	33.0	39.7	18.0	7.3	2.0	72.7	9.3
	H24	(n=1244)	33.8	39.9	17.8	6.4	2.1	73.7	8.5
クローリン家畜由来の食肉	R1	(n=1800)	20.9	31.8	30.3	9.4	7.5	52.7	16.9
	H30	(n=1800)	20.9	32.2	29.3	10.4	7.2	53.1	17.6
	H29	(n=1800)	23.4	32.9	27.7	10.7	5.3	56.3	16.0
	H28	(n=1800)	24.2	32.9	29.2	8.3	5.4	57.1	13.7
	H27	(n=1800)	24.7	38.7	25.4	7.9	3.3	63.4	11.2
	H26	(n=1800)	28.5	40.4	22.9	6.5	1.7	68.9	8.2
	H25	(n=1240)	28.3	41.2	20.6	7.7	2.1	69.5	9.8
	H24	(n=1244)	23.4	42.5	22.7	9.2	2.2	65.9	11.4
牛・豚の口蹄疫	R1	(n=1800)	23.3	32.9	28.9	8.0	6.9	56.2	14.9
	H30	(n=1800)	25.1	31.9	28.1	7.9	7.1	57.0	15.0
	H29	(n=1800)	26.9	33.3	26.3	8.5	5.0	60.2	13.5
	H28	(n=1800)	27.6	32.9	26.9	7.6	4.9	60.5	12.5
	H27	(n=1800)	28.8	40.7	21.3	6.8	2.5	69.5	9.3
	H26	(n=1800)	35.2	39.7	18.5	5.4	1.2	74.9	6.6
	H25	(n=1240)	31.2	44.5	16.8	6.1	1.4	75.7	7.5
	H24	(n=1244)	30.1	44.0	18.4	6.4	1.2	74.1	7.6
CSF ※1	R1	(n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
	H30	(n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7	14.7
ASF ※2	R1	(n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7	14.3
豚インフルエンザ	R1	(n=1800)	26.6	34.0	26.0	6.9	6.5	60.6	13.4
	H30	(n=1800)	27.6	35.6	24.4	7.3	5.0	63.2	12.3
	H29	(n=1800)	30.8	33.8	23.4	7.8	4.1	64.6	11.9
	H28	(n=1800)	28.8	35.8	24.8	6.4	4.2	64.6	10.6
	H27	(n=1800)	28.8	41.3	20.8	7.0	2.1	70.1	9.1
	H26	(n=1800)	35.9	40.5	17.9	4.5	1.1	76.4	5.6
	H25	(n=1240)	32.0	47.9	13.8	4.8	1.5	79.9	6.3
	H24	(n=1244)	29.1	46.0	17.7	6.4	0.9	75.1	7.3
鳥インフルエンザ	R1	(n=1800)	28.4	35.4	23.8	6.2	6.1	63.8	12.3
	H30	(n=1800)	31.3	36.9	21.3	5.7	4.8	68.2	10.5
	H29	(n=1800)	33.3	35.5	21.4	5.9	3.9	68.8	9.8
	H28	(n=1800)	32.0	36.3	22.1	5.8	3.8	68.3	9.6
	H27	(n=1800)	33.7	41.3	17.7	5.4	1.9	75.0	7.3
	H26	(n=1800)	39.6	39.5	15.8	4.2	0.9	79.1	5.1
	H25	(n=1240)	36.5	46.9	11.5	4.0	1.2	83.4	5.2
	H24	(n=1244)	30.9	46.8	15.8	5.7	0.8	77.7	6.5

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
「関心がない計」⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。(平成30年よりの新規項目)

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。(令和元年よりの新規項目)

図表 163 食肉の安全性に関する項目別関心度② (経年変化)



図表 164 食肉の安全性に関する項目別関心度③（経年変化）

4.2 家畜疫病（CSF^{※1}、ASF^{※2}、鳥インフルエンザ）に関する知識

※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF：African Swine Fever（直訳すればアフリカの豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

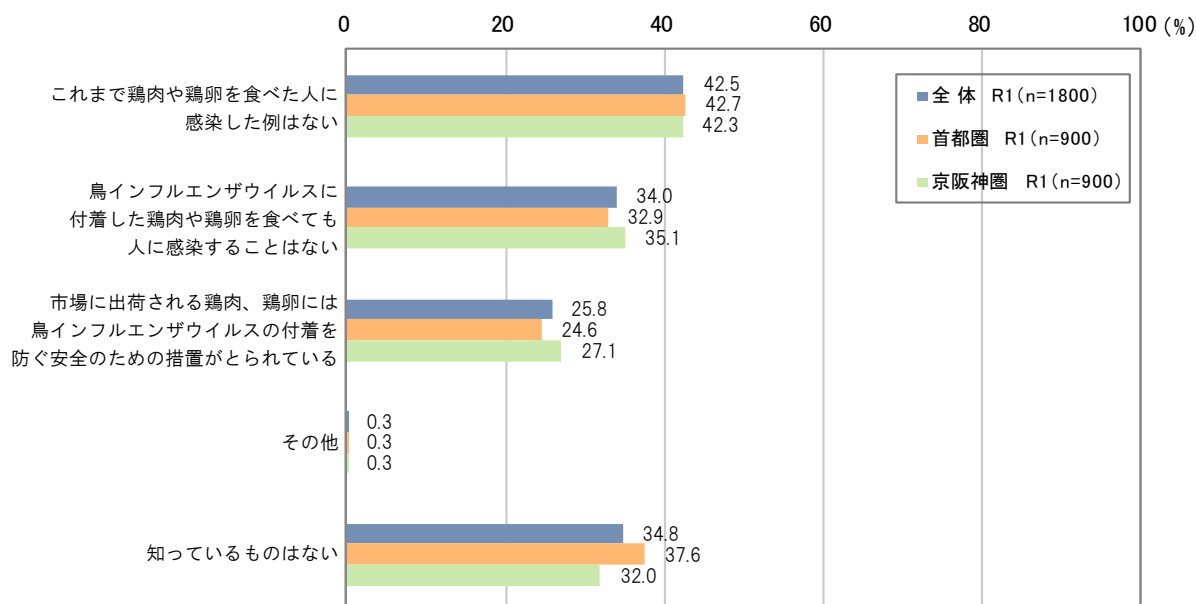
1) 鳥インフルエンザについて知っている知識（Q28）

- ▶ 「これまで鶏肉や鶏卵を食べて人に感染した例はない」を知っている割合が42.5%と最も高い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、いずれの知識も増加傾向。

【今年度調査】

鳥インフルエンザについて知っている知識（複数回答）は、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が42.5%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が34.0%、「市場に出荷される鶏肉・鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が25.8%の順に高い。

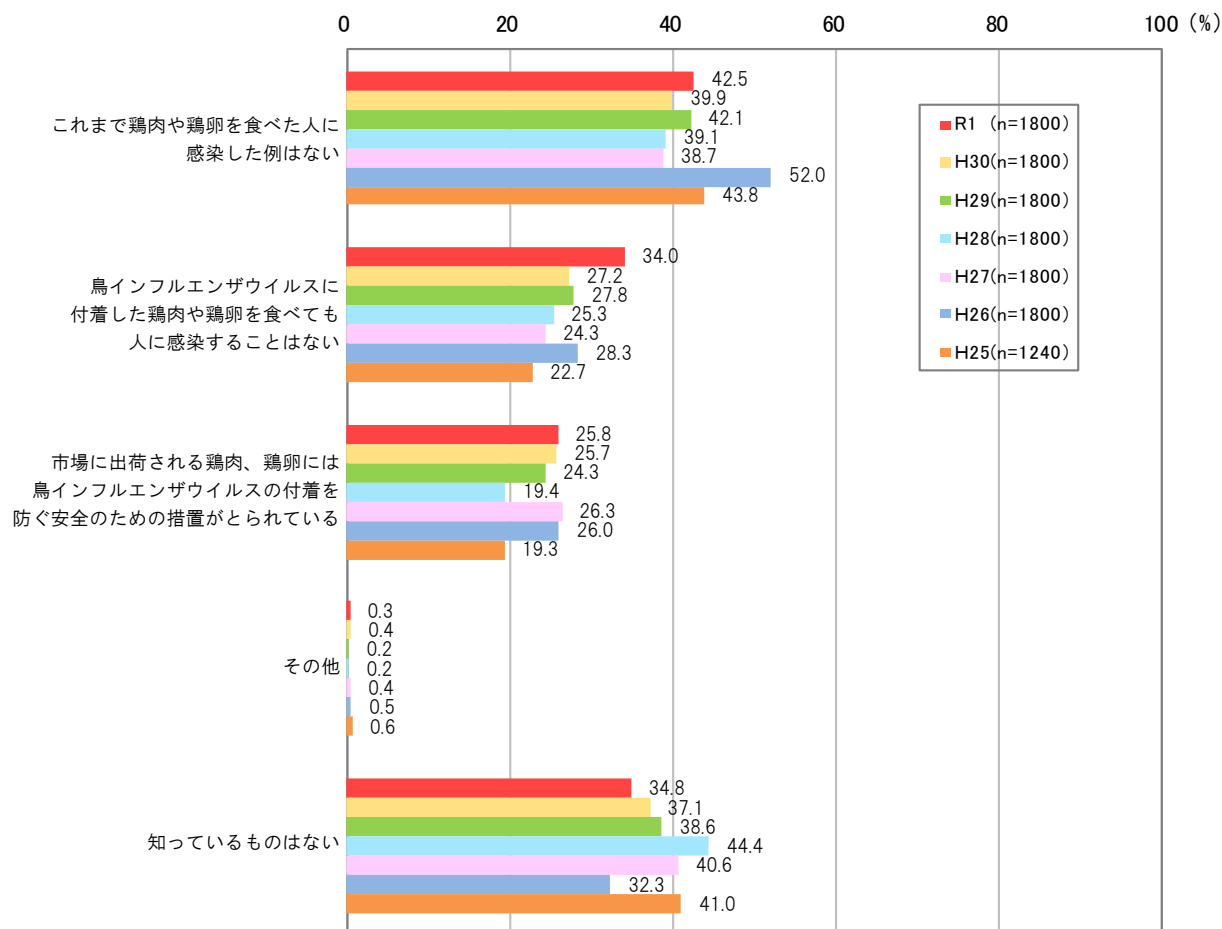
エリア別では、鳥インフルエンザについて知っている知識に大きな違いは見られない。



図表 165 鳥インフルエンザについて知っている知識

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、いずれの知識も増加傾向にある。



図表 166 鳥インフルエンザについて知っている知識（経年変化）

2) CSF^{*1}について知っている知識 (Q29)

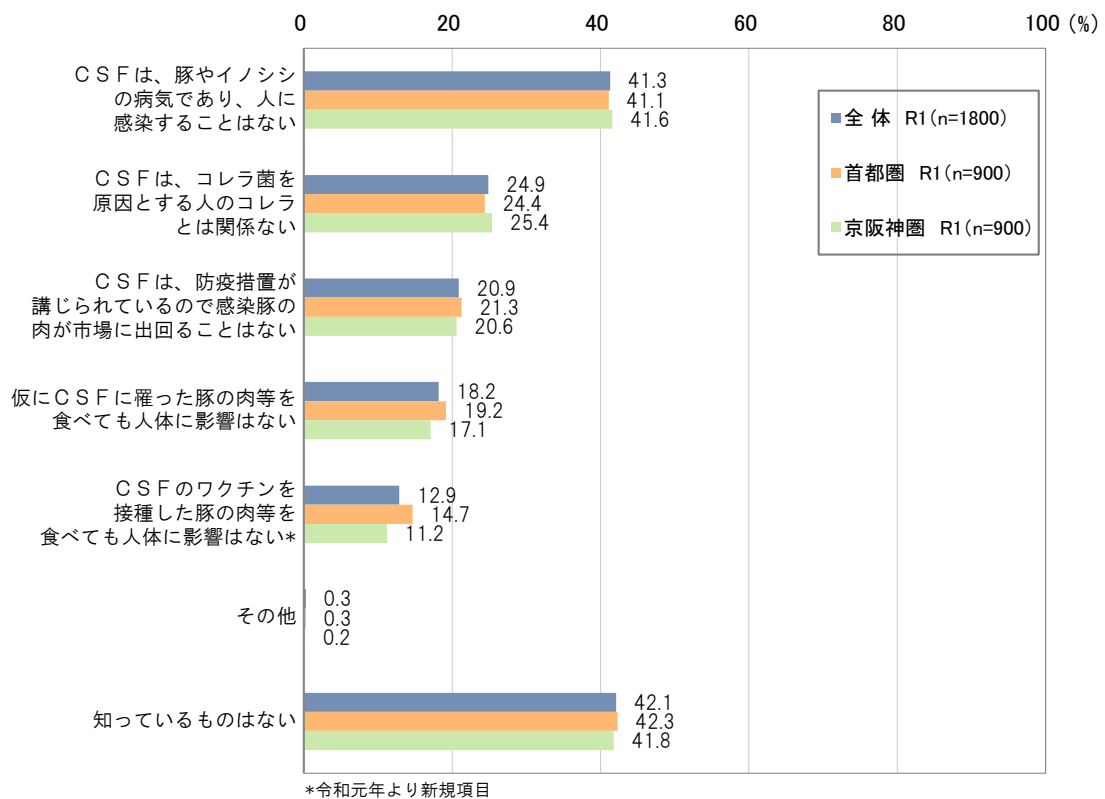
※1 CSF：Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

- ▶ 「CSF^{*1}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」を知っている割合が41.3%で最も高い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、いずれの知識も昨年度より大幅に増加。

【今年度調査】

CSF^{*1}について知っている知識(複数回答)のTOP3は、「CSF^{*1}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」が41.3%、「CSF^{*1}は、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ない」が24.9%、「CSF^{*1}は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が20.9%の順で高い。

エリア別では、CSF^{*1}について知っている知識に大きな違いは見られない。

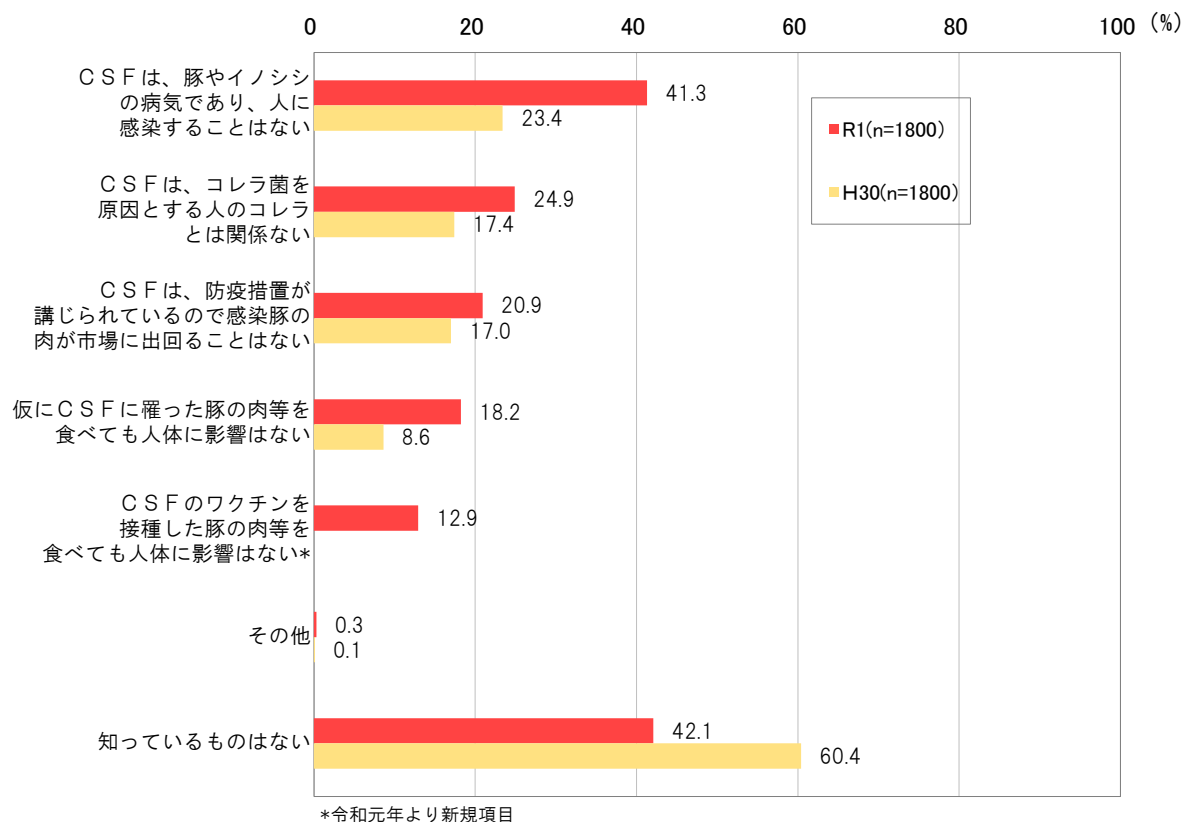


図表 167 CSF^{*1}について知っている知識

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、いずれの知識も昨年度より大幅に増加した。

※1. CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。



図表 168 CSF※1について知っている知識（経年変化）

3) ASF^{※2}について知っている知識 (Q30)

※2. ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

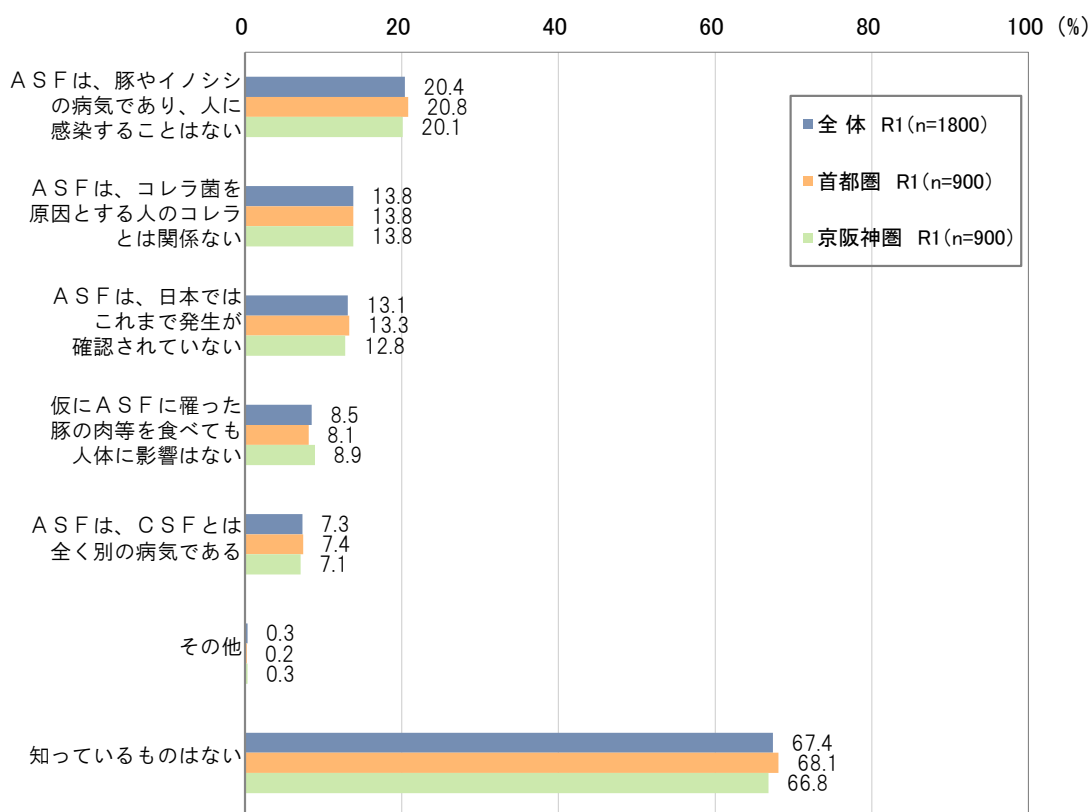
- 「ASF^{※2}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」を知っている割合が最も高く、20.4%。
- 「知っているものはない」が6割を占める。

【今年度調査】

ASF^{※2}について知っている知識（複数回答）のTOP3は、「ASF^{※2}は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」が20.4%、「ASF^{※2}は、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ない」が13.8%、「ASF^{※2}は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が13.1%の順で高い。

CSF^{※1}は、「知っているものはない」が42.1%であったのに対し、昨年度のCSF^{※1}と同様、ASF^{※2}は「知っているものはない」が67.4%と多い。

エリア別では、ASF^{※2}について知っている知識に大きな違いは見られない。



図表 169 ASF^{※2}について知っている知識

4.3 食肉の放射能汚染に関する意識

1) 産地別の食肉の放射能汚染への不安 (Q31)

▶ 「どちらかといえば不安を感じている」 + 「不安を感じている」の割合が福島県産で21.2%と高いが、その比率は減少傾向。
 本年度は、福島県に「不安を感じていない」は49.1%と約半数となった。

【今年度調査】

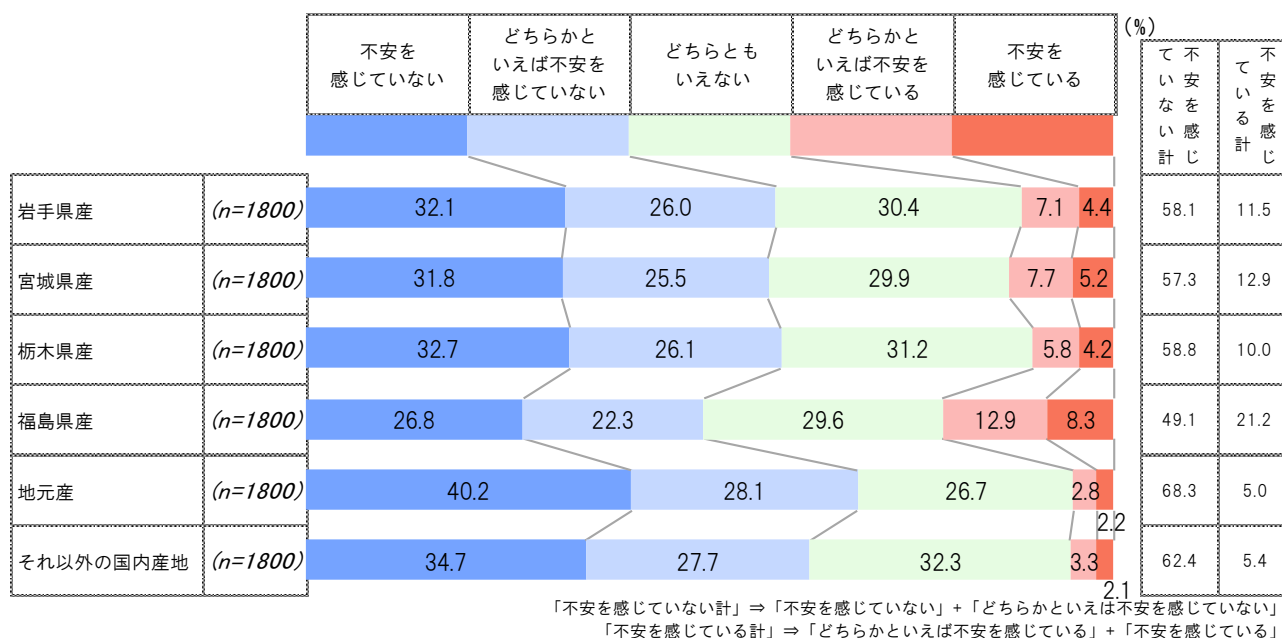
産地別の食肉の放射能汚染への不安について尋ねたところ、「不安を感じている（不安を感じている+どちらかといえば不安を感じている）」の割合は、福島県産が21.2%、宮城県産が12.9%、岩手県産が11.5%、栃木県産が10.0%、地元産が5.0%、それ以外の国内産地が5.4%、福島県産の割合が高い。

一方、「不安を感じていない（不安を感じていない+どちらかといえば不安を感じていない）」の割合は地元産が68.3%、それ以外の国内産地が62.4%の順で高い。

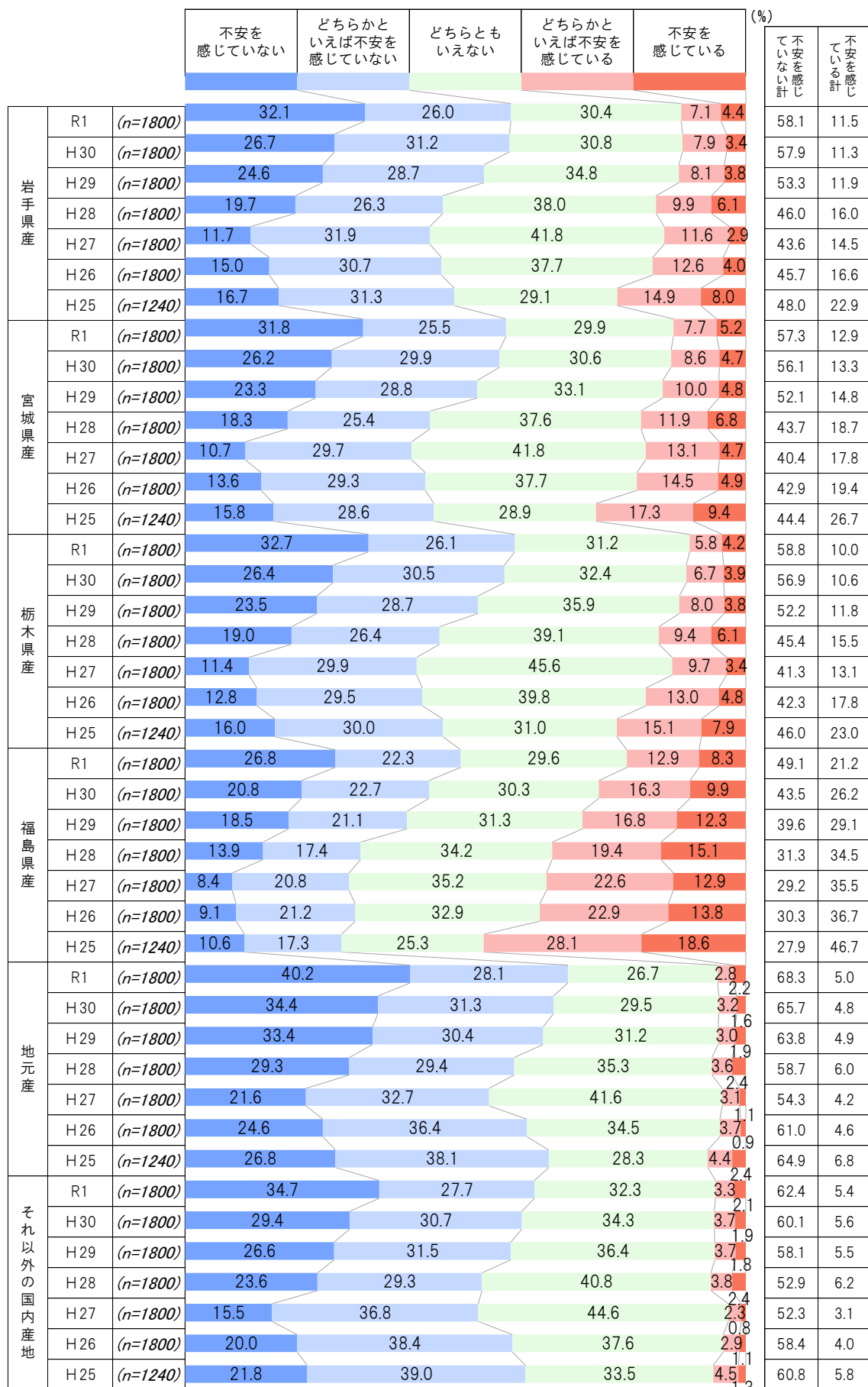
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、各県ともに「不安を感じていない（不安を感じていない+どちらかといえば不安を感じていない）」の割合が増加傾向にある。

福島県に「不安を感じていない」は49.1%と約半数となった。



図表 170 産地別の食肉の放射能汚染への不安



「不安を感じていない計」⇒「不安を感じていない」+「どちらかといえば不安を感じていない」
「不安を感じている計」⇒「どちらかといえば不安を感じている」+「不安を感じている」

図表 171 産地別の食肉の放射能汚染への不安（経年変化）

4.4 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q32)

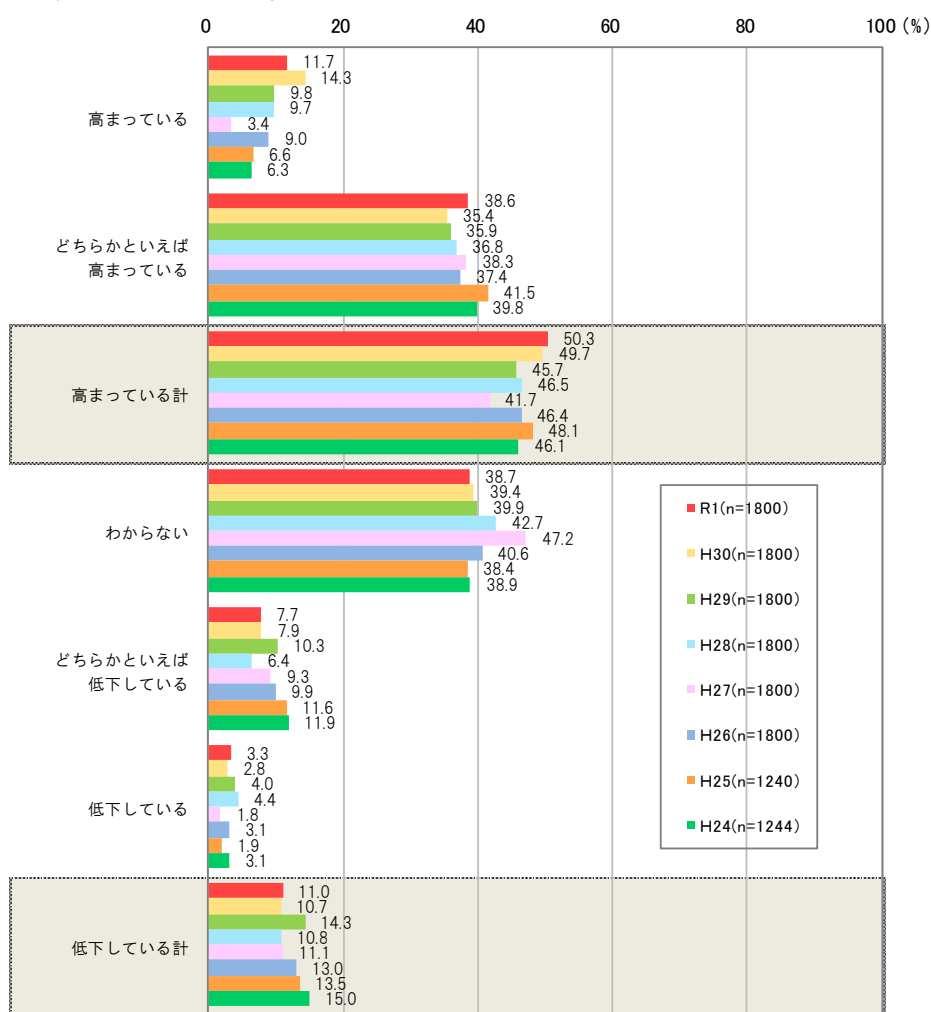
- 社会全体に対する食肉の安全性の認識は「高まっている」の割合が半数。
- 過年度調査と比較すると、「わからない」の割合は減少傾向にあり、「高まっている」が増加傾向。

【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について尋ねたところ、「低下している（低下している+どちらかといえば低下している）」の割合が11.0%であるのに対して、「高まっている（高まっている+どちらかといえば高まっている）」の割合は50.3%と半数を占め、社会全体の食肉の安全性が高まっていると消費者が認識していると考えられる。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「わからない」の割合は減少傾向にあり、「高まっている」が増加傾向である。



図表 172 社会全体における食肉の安全性の認識（経年変化）

2) 食品の安全性に係る問題発生時に食肉の情報を得るために用いる情報源と 普段用いる情報源、信頼できる情報源 (Q33・Q34・Q35)

- 食品の安全性に係る問題発生時用いる情報源、普段用いる情報源、信頼できる情報源はいずれも「テレビのニュース・報道番組」が最も多く、「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」が続く。
- 過年度調査と比較すると、「新聞」が減少傾向。

【今年度調査】

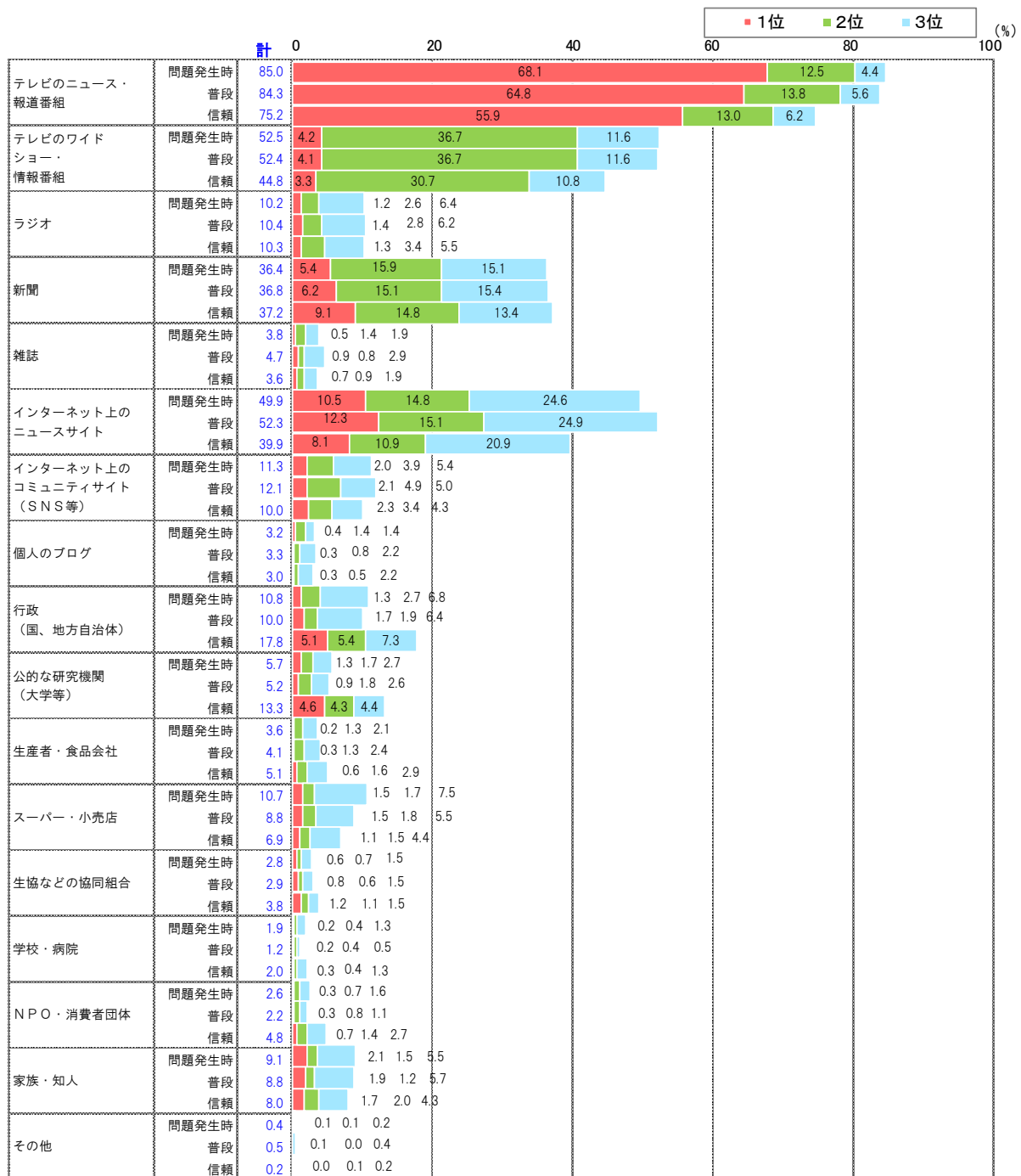
食品の安全性に係る問題発生時に用いる情報源、普段用いる情報源、信頼できる情報源について尋ねたところ、問題発生時に用いる情報源の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」が 85.0%、「テレビのワイドショー・情報番組」52.5%、「インターネット上のニュースサイト」が 49.9%。

普段用いる情報源の TOP3 は問題発生時に用いる情報源と変わらず、「テレビのニュース・報道番組」が 84.3%、「テレビのワイドショー・情報番組」が 52.4%、「インターネット上のニュースサイト」が 52.3%。

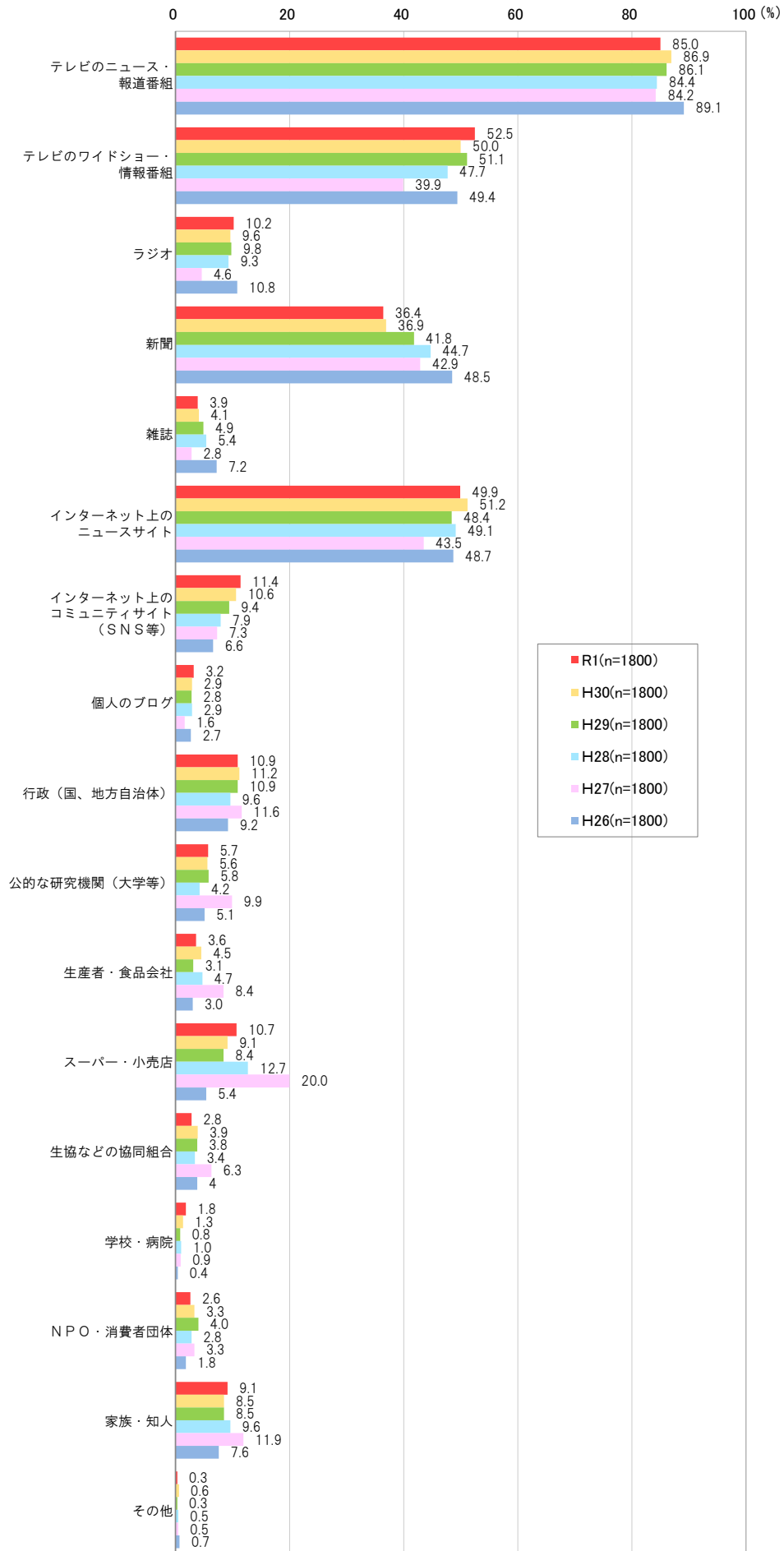
信頼できる情報源の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」が 75.2%、「テレビのワイドショー・情報番組」が 44.8%、「インターネット上のニュースサイト」が 39.9%。

【過年度調査との比較】

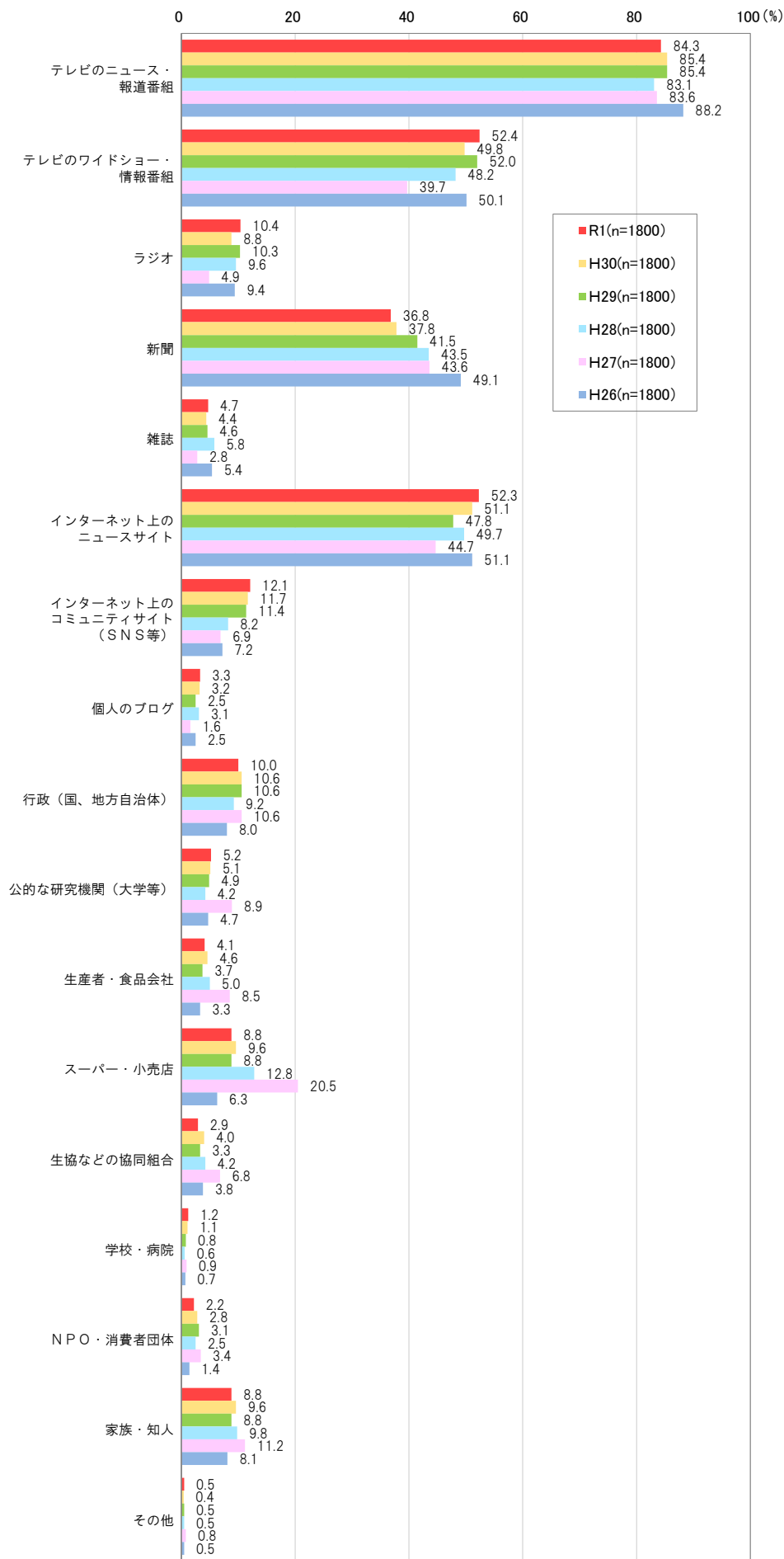
過年度調査と比較すると、いずれの情報源でも「新聞」が減少傾向となっている。



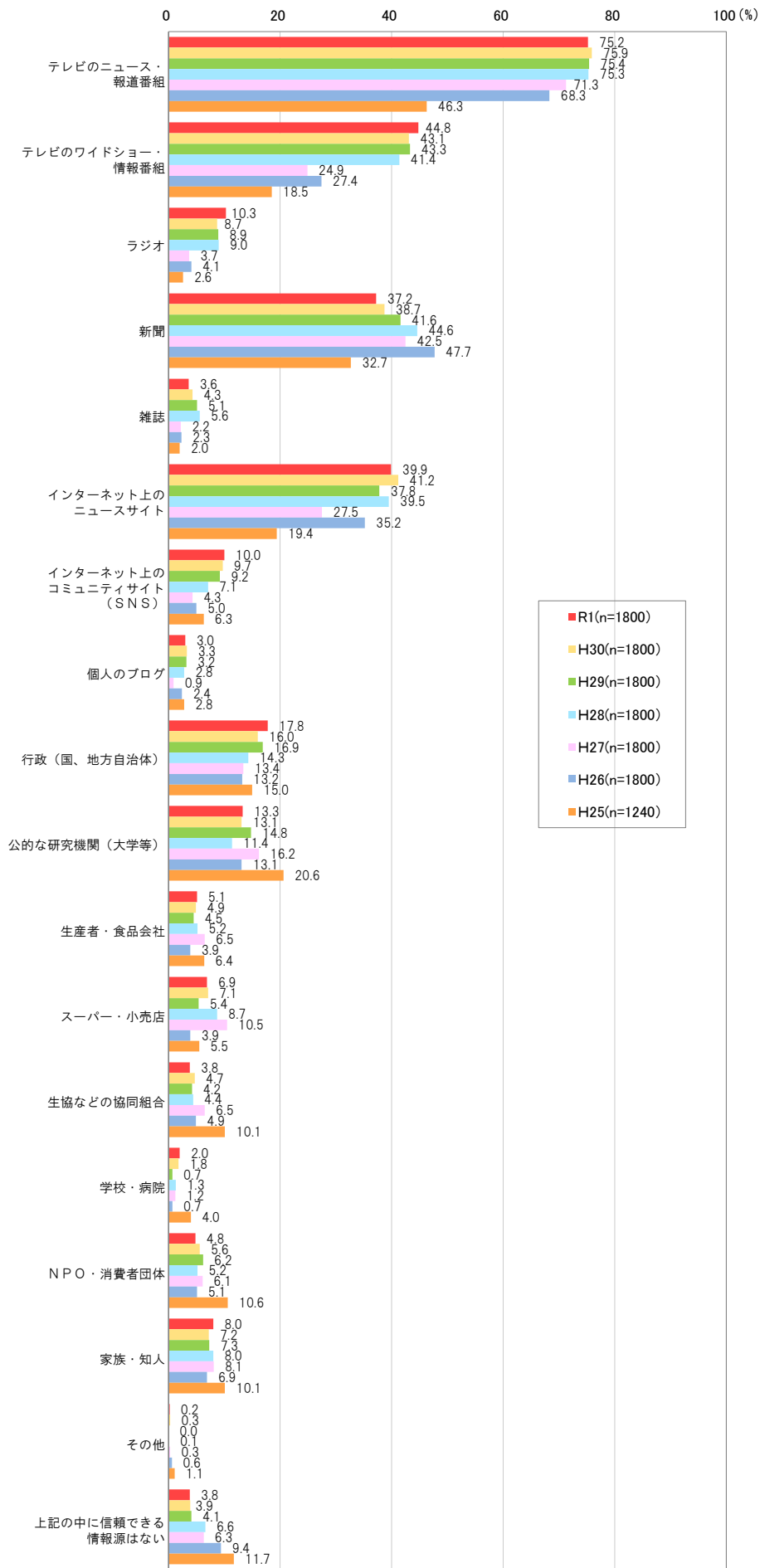
図表 173 問題発生時に用いる情報源・普段用いる情報源・信頼できる情報源



図表 174 問題発生時に用いる情報源 (経年変化)



図表 175 普段用いる情報源 (経年変化)



図表 176 信頼できる情報源 (経年変化)

3) 各機関の取り組みに対する信頼性 (Q36)

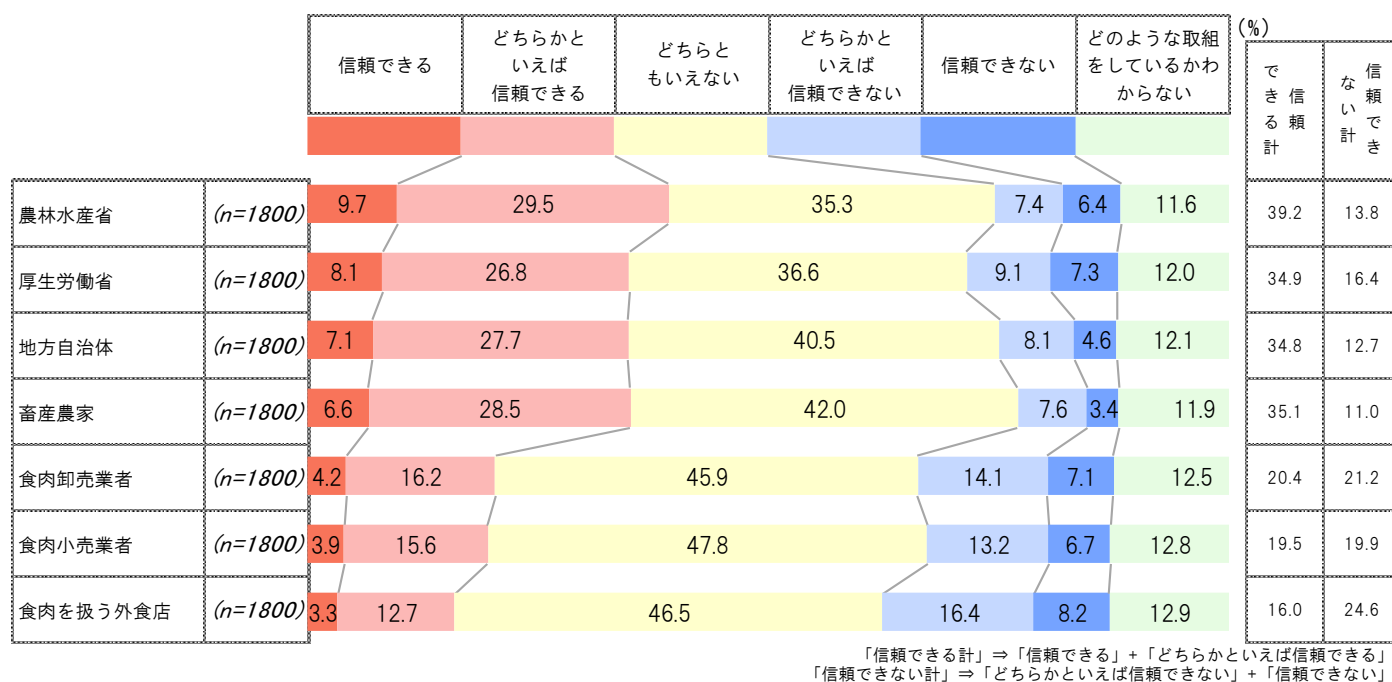
- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「畜産農家」「厚生労働省」「地方自治体」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取り組みを行っている。各機関の取り組みについて消費者から見た際、どの機関が信用できるか尋ねた。

その結果「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 39.2%、「畜産農家」が 35.1%、「厚生労働省」が 34.9%、「地方自治体」34.8%の順で高い。

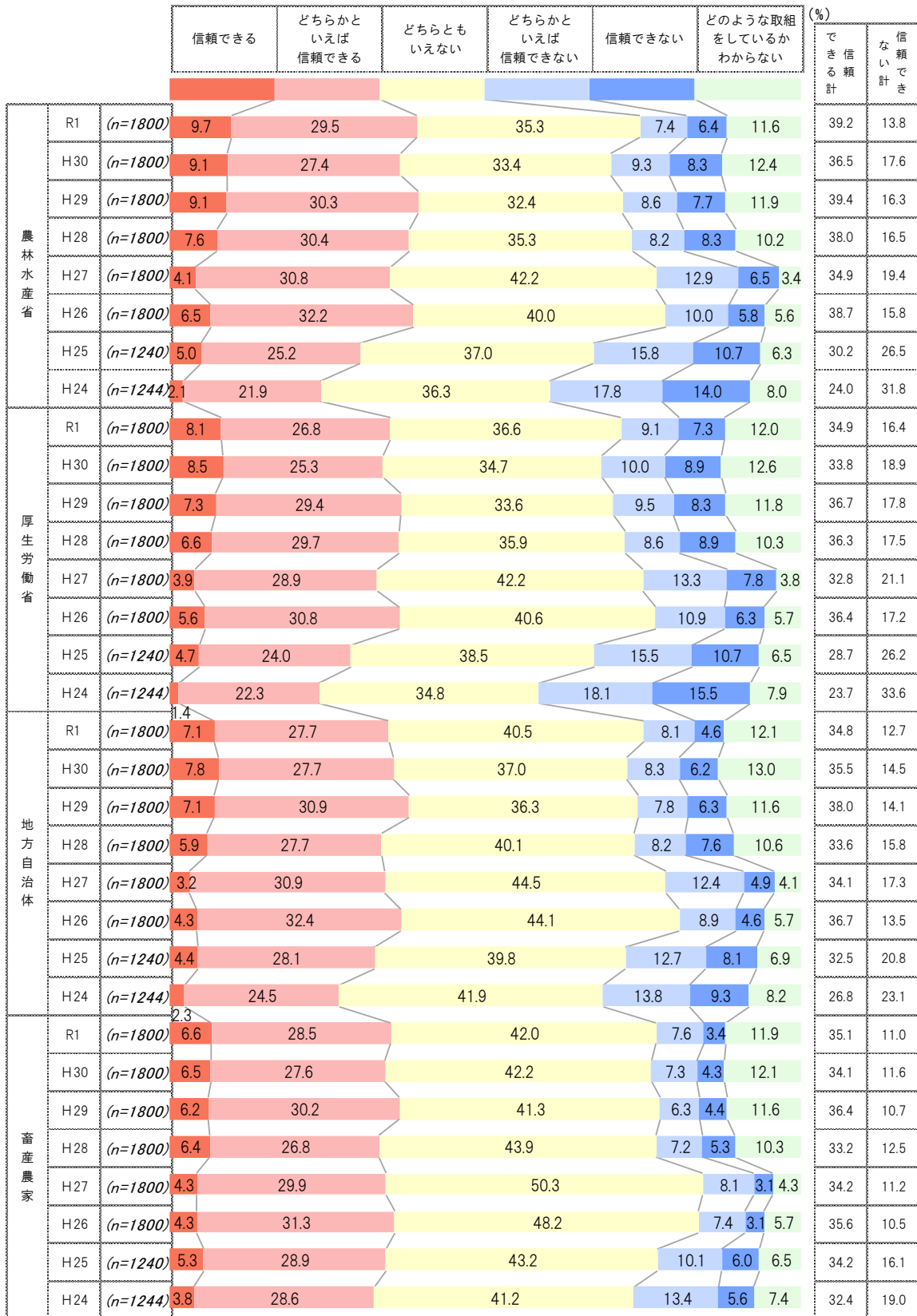
逆に「信頼できない (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 24.6%、「食肉卸売業者」が 21.2%、「食肉小売業者」が 19.9%の順で高い。



図表 177 各機関の取組に対する信頼性

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である。



「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」
 「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 178 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえ ば信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえ ば信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない	計 (%)	
								で 信 頼 計	信 頼 計
食肉卸売業者	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	2.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	2.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
	H25 (n=1240)	1.9	11.0	44.3	24.2	11.7	6.9	12.9	35.9
	H24 (n=1244)	0.7	8.8	42.2	27.7	12.9	7.6	9.5	40.6
食肉小売業者	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
	H25 (n=1240)	1.9	10.8	46.9	22.9	10.7	6.9	12.7	33.6
	H24 (n=1244)	0.9	10.0	44.7	25.7	10.9	7.7	10.9	36.6
食肉を扱う外食店	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3
	H25 (n=1240)	1.0	8.1	44.6	25.0	14.4	6.9	9.1	39.4
	H24 (n=1244)	0.5	8.8	43.9	26.5	12.3	8.0	9.3	38.8

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」
「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

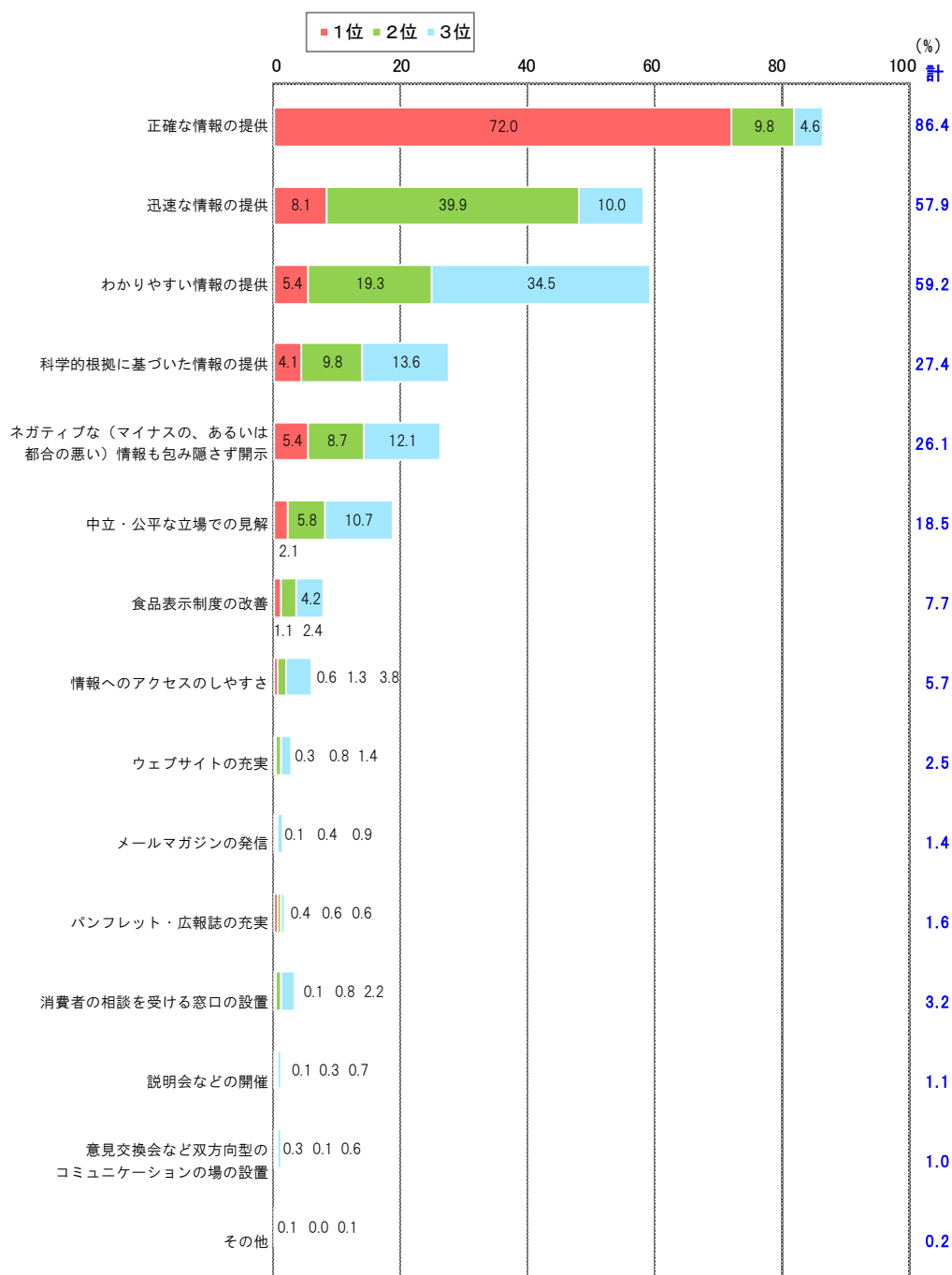
図表 179 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

4) 食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待 (Q37)

- 「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」の順で高い。
- 過年度調査と比較すると、「迅速な情報の提供」が増加。

【今年度調査】

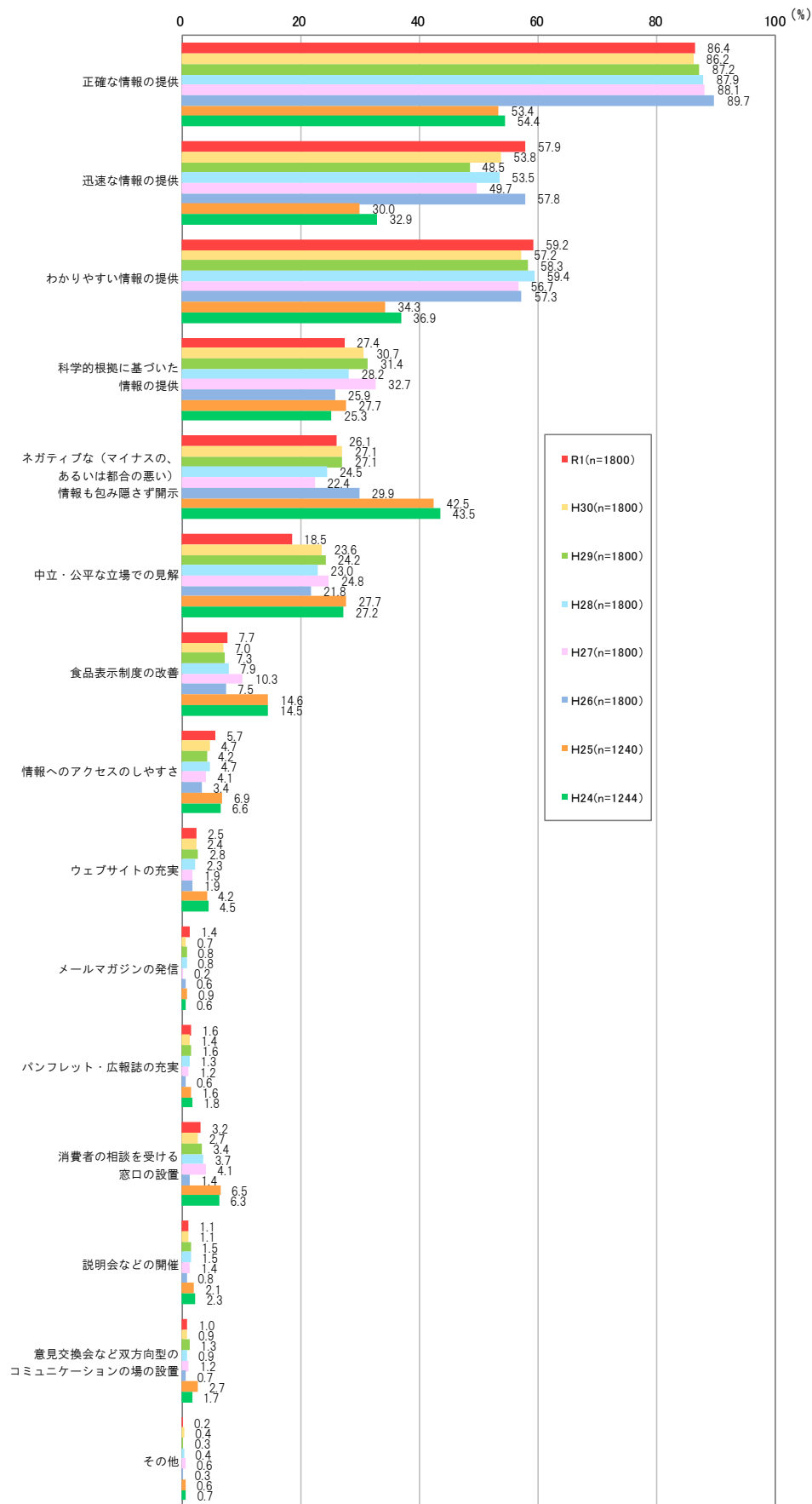
食肉の安全性に関する情報提供において、行政に期待することの上位3つを尋ねたところ、「正確な情報の提供」が86.4%、「わかりやすい情報の提供」が59.2%、「迅速な情報の提供」が57.9%の順で高い。



図表 180 情報提供に対する行政への期待

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「迅速な情報の提供」が増加している。



図表 181 情報提供に対する行政への期待（経年変化）

5. ジビエに関する意識調査

1) 「ジビエ」の定義の認知度 (Q41)

- 「ジビエ」の定義の認知度は、全体の 52.8%（「詳しく知っている」 4.4% + 「ある程度知っている」 22.3% + 「何となく知っている」 26.1%）
- 過年度調査と比較すると、「全く知らない」が減少。

【今年度調査】

「ジビエ」の定義の説明文を提示して聞いた認知度は、「詳しく知っている」が 4.4%、「ある程度知っている」が 22.3%、「何となく知っている」が 26.1%で、認知度計は全体の 52.8%。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 54.1%、京阪神圏が 51.4%と首都圏の方がやや高い。

性別に認知度計を見ると、男性が 54.0%、女性が 51.5%と男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、60代が 60.3%、70代以上が 58.0%と高くなっている。

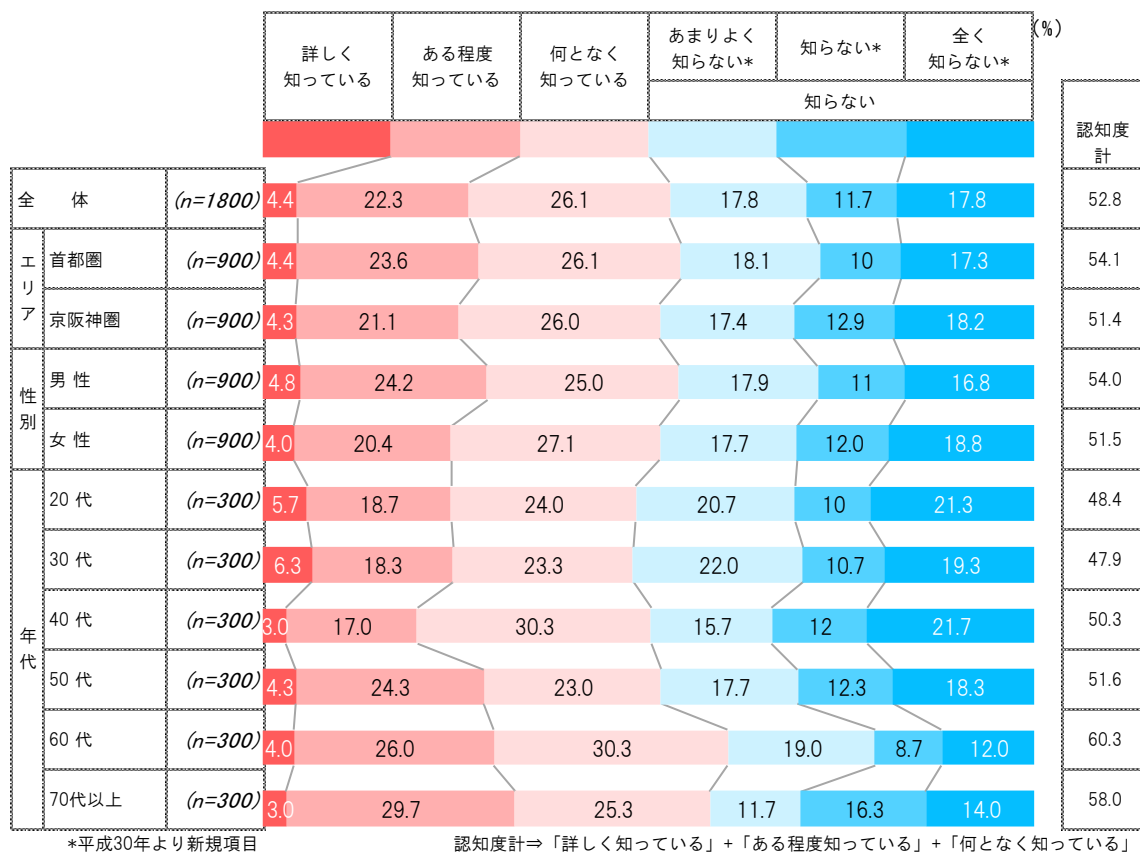
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、認知度計で見ると大きな違いは見られないが、「全く知らない」が昨年度 22.5%から今年度 17.8%と 4.7ポイント減少している。

ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉(フランス語)で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。

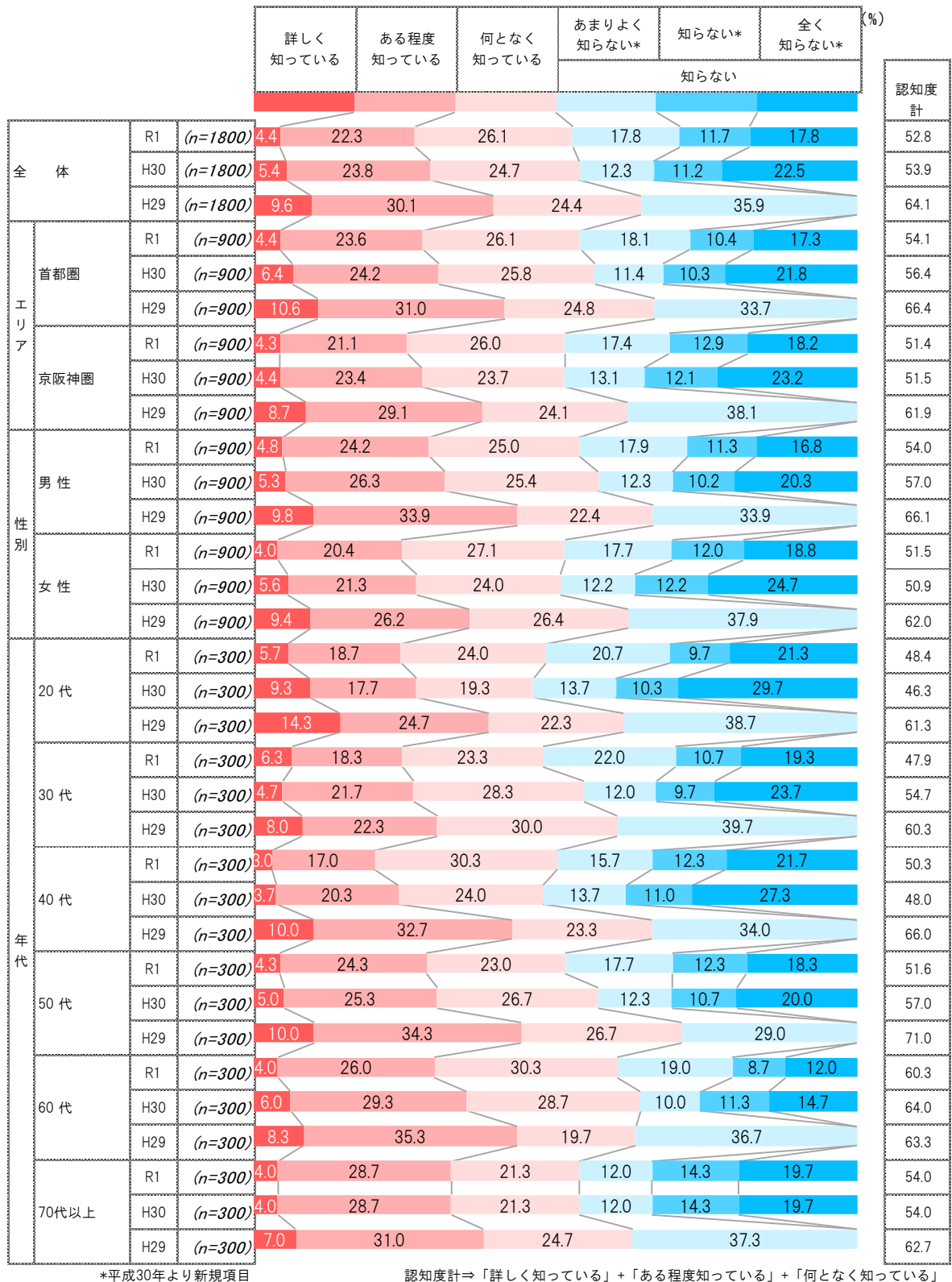
日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉(野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等)は全てジビエとして定義されます。

図表 182 提示説明文



※平成 29 年度は「知らない」で聞いたが、平成 30 年度以降は「あまりよく知らない」「知らない」「全く知らない」の三択で聞いたため、平成 29 年度のデータは参考値として図示するにとどめる。

図表 183 「ジビエ」の定義の認知度



図表 184 「ジビエ」の定義の認知度（経年変化）

2) 「ジビエ」の喫食頻度 (Q42)

- ▶ 「ジビエ」の喫食頻度は「食べたことがない計」が 57.8%だが、そのうち「食べたことがないが、今後食べてみたい」が 21.2%。「年に1日以上計」が 16.1%
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

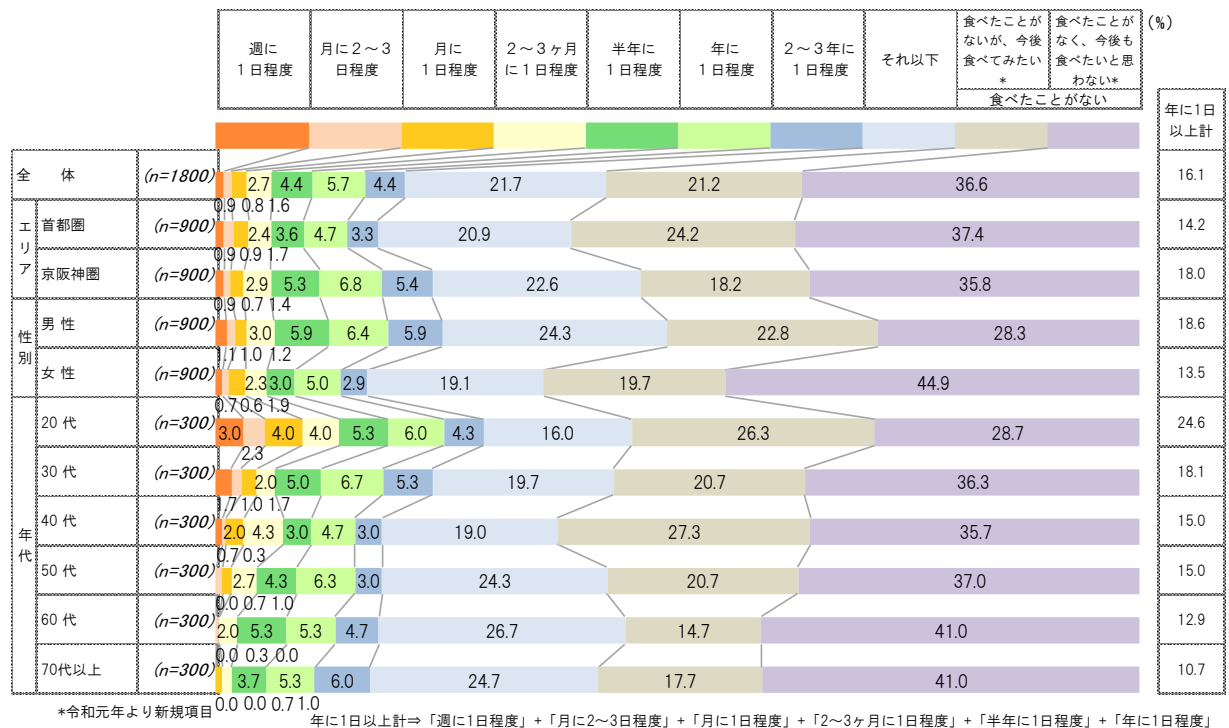
【今年度調査】

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の喫食頻度は、「食べたことがなく、今後も食べたいと思わない」が 36.6%、「食べたことがないが、今後食べてみたい」が 21.2%で、合わせて「食べたことがない計」が 57.8%を占める。「年に1日以上計」が 16.1%である。

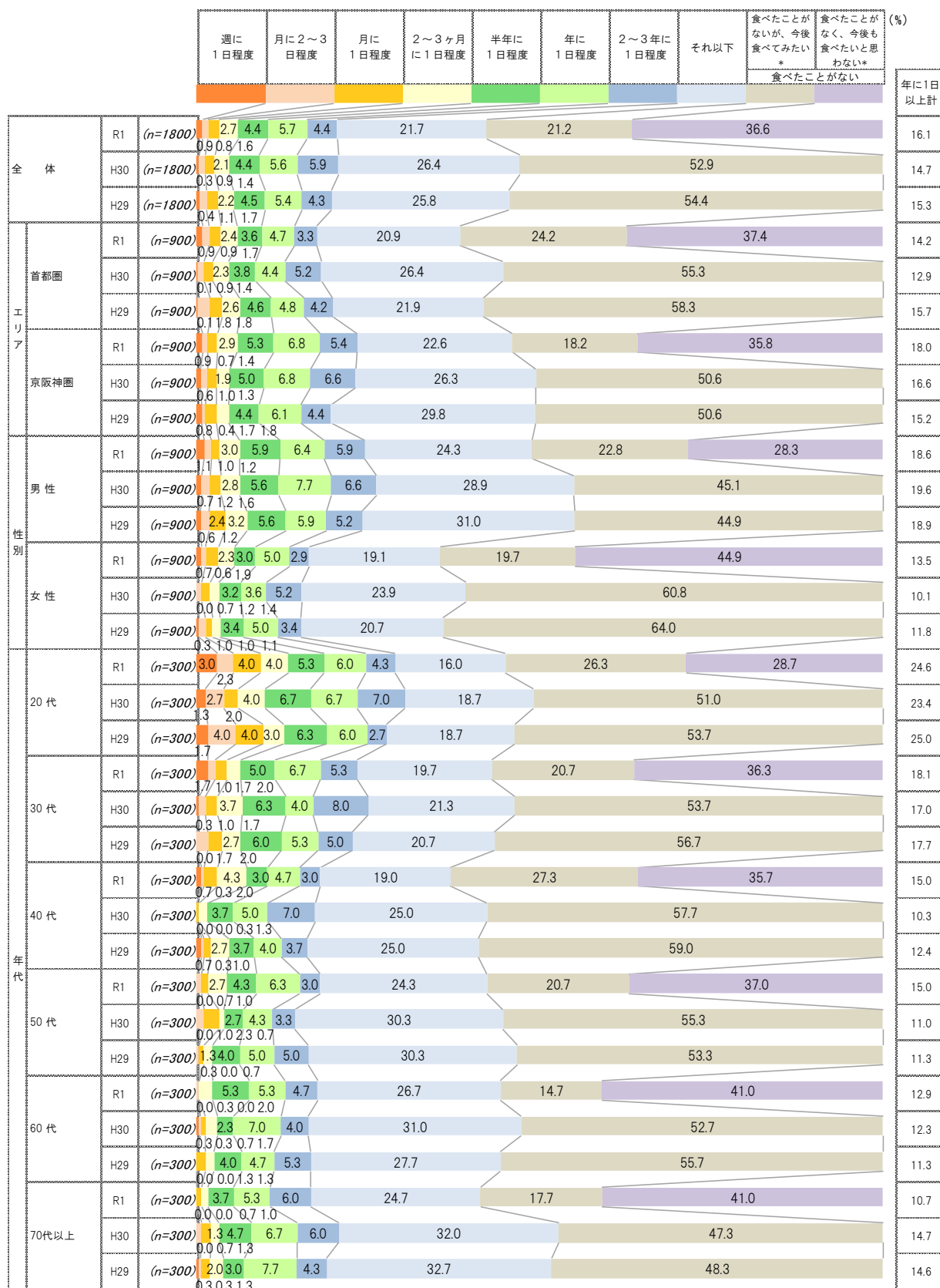
エリア別に見ると、「年に1日以上計」は、首都圏より京阪神圏の方が多い。
性別に見ると、「年に1日以上計」は女性より男性の方が多い。
年代別に見ると、「年に1日以上計」は、20代で 24.6%と多い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である。



図表 185 「ジビエ」の喫食頻度



*令和元年より新規項目

年に1日以上計⇒「週に1日程度」+「月に2~3日程度」+「月に1日程度」+「2~3ヶ月に1日程度」+「半年に1日程度」+「年に1日程度」

図表 186 「ジビエ」の喫食頻度（経年変化）

3) 「ジビエ」について知っている事柄と魅力を感じる事柄 (Q43)

- ▶ 「ジビエ」について認知している事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」といった自然や季節感や、「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が高い。「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は8.8%とあまり認知されていない。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄（複数回答）は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が28.4%で最も高く、次いで「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」が22.5%、「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が20.9%と高くなっている。

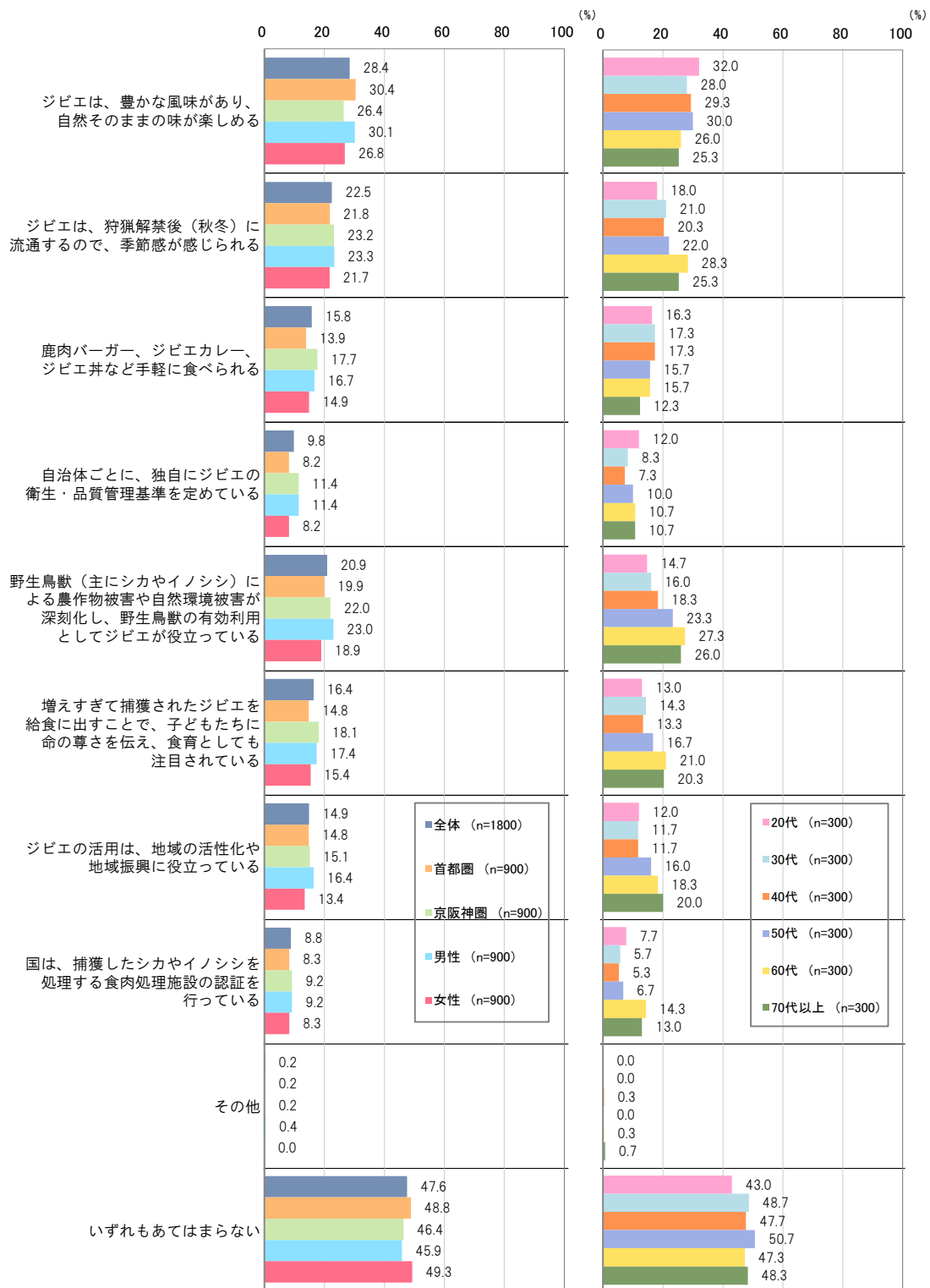
「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は8.8%とまだあまり認知されていない。

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について魅力を感じる事柄（複数回答）は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が19.3%で最も高く、「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が13.0%、「増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている」が11.2%と高くなっている。

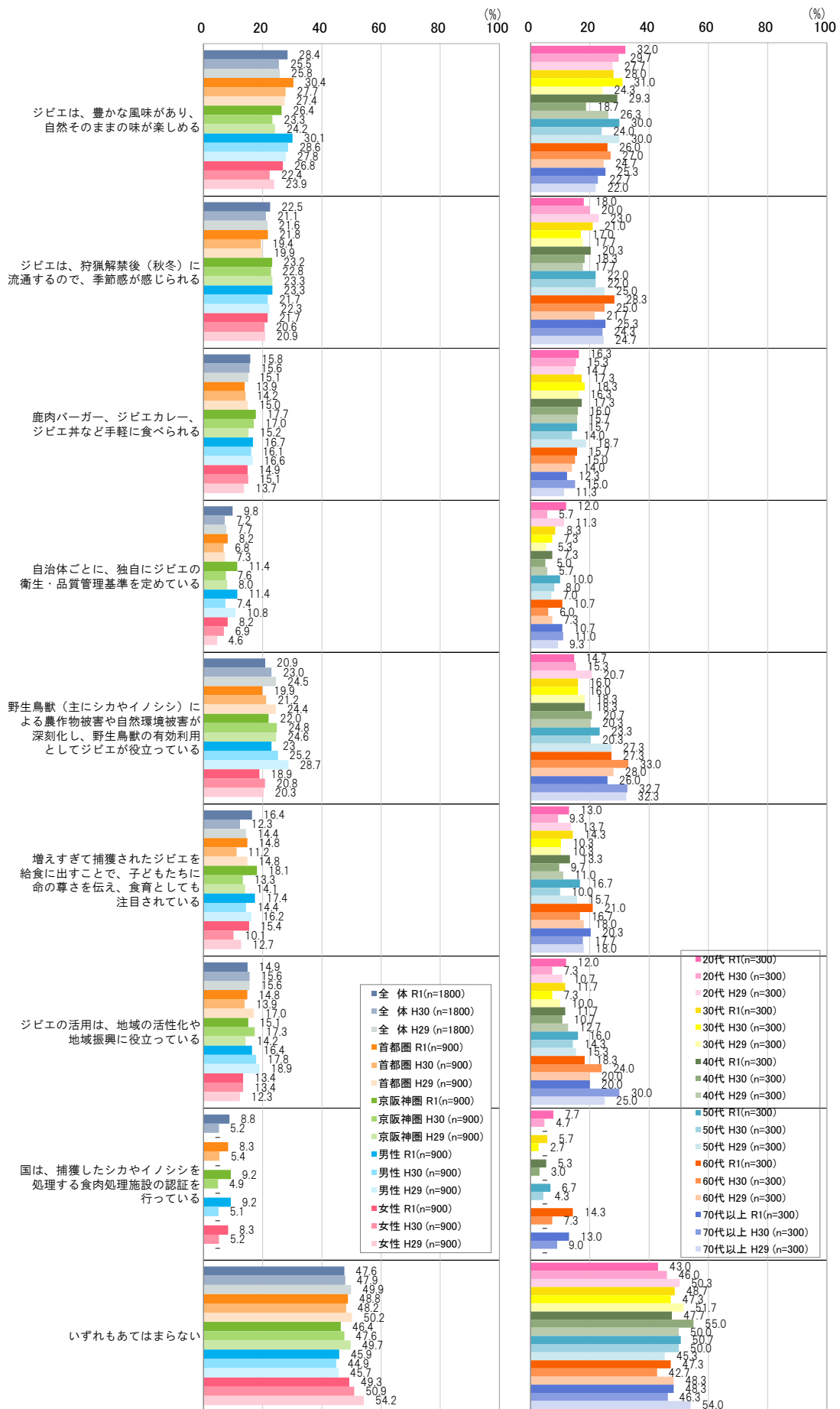
「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、認知度と同様、魅力度も5.6%と高くない。

【過年度調査との比較】

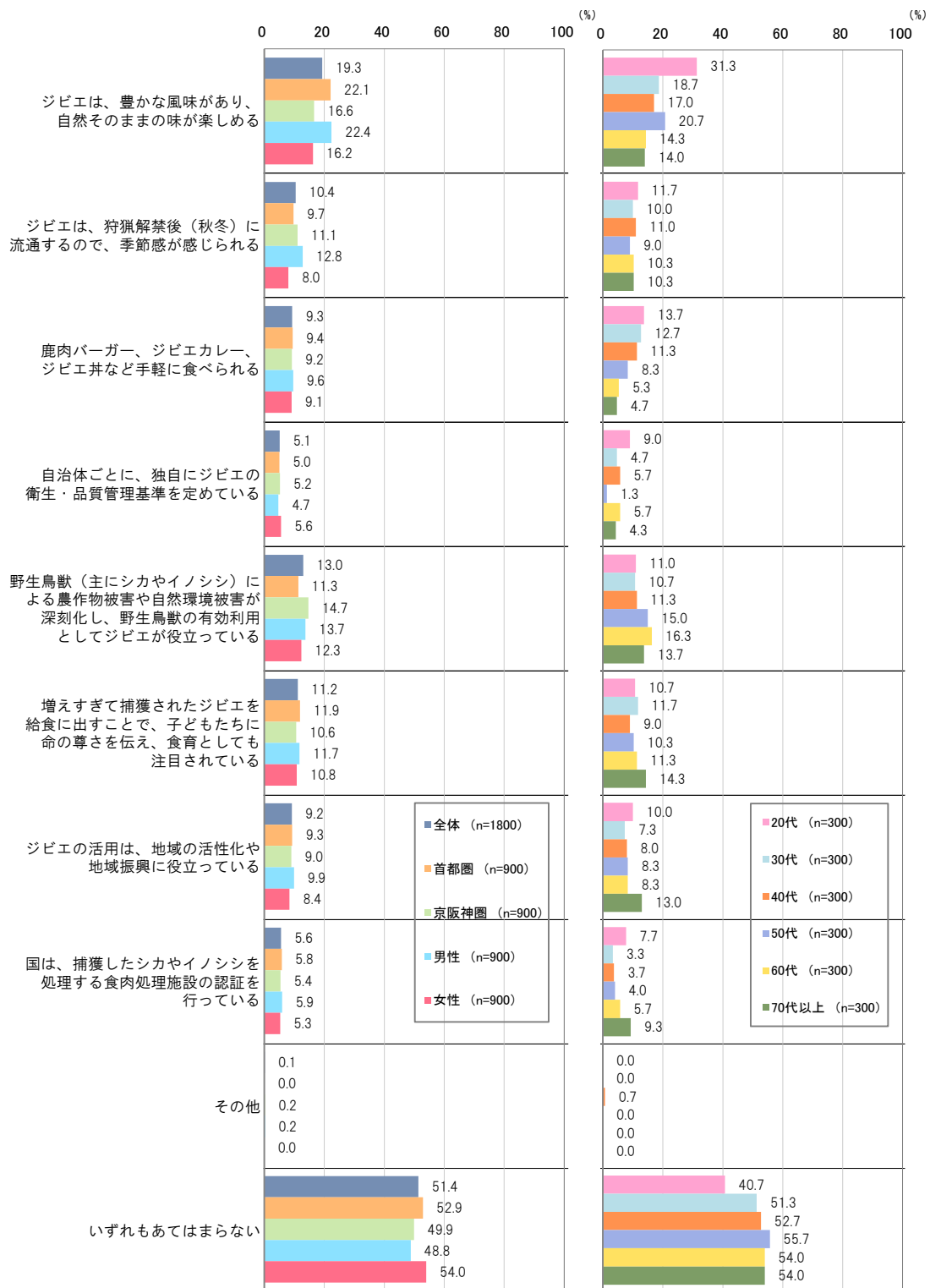
過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である、



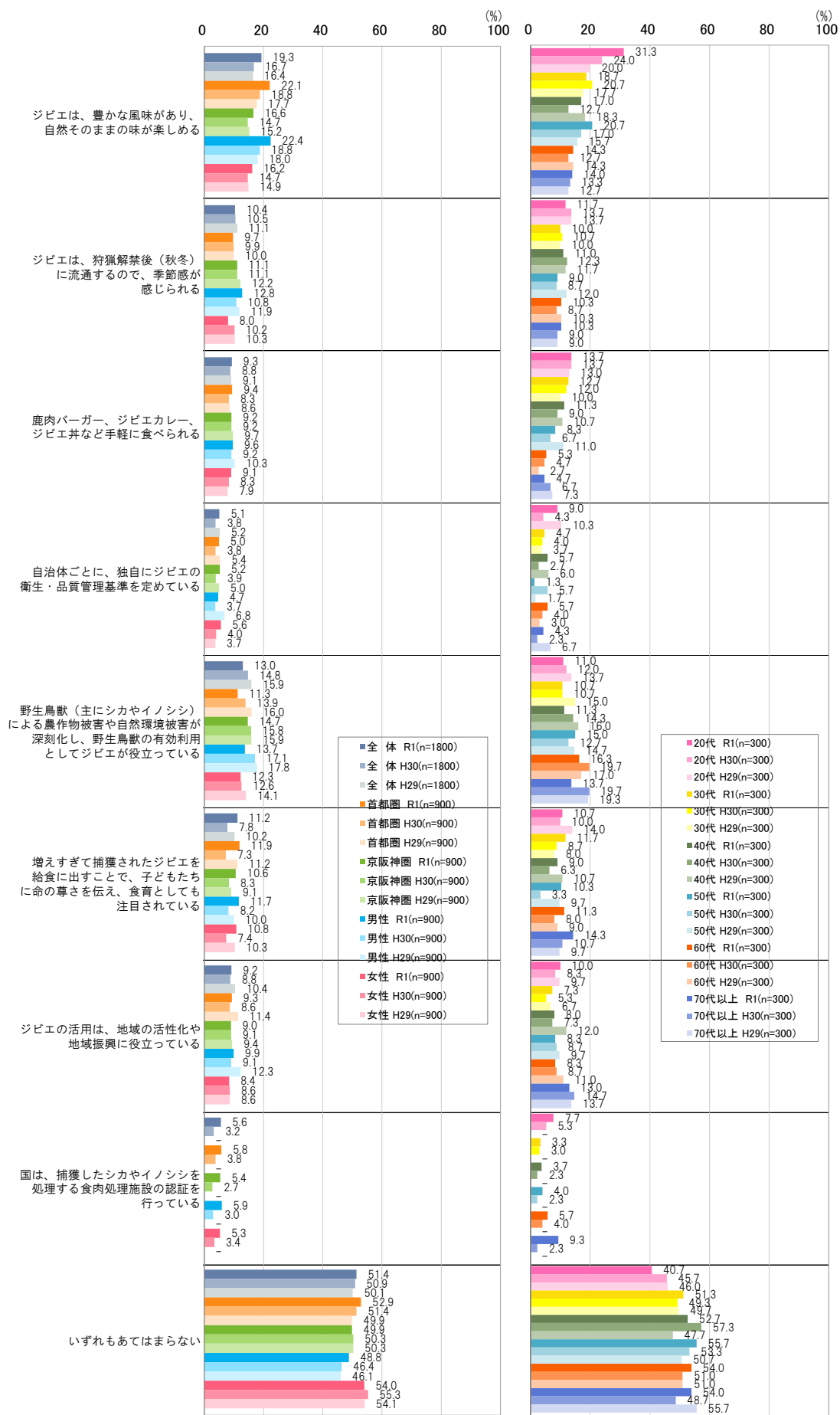
図表 187 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄



図表 188 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄（経年変化）



図表 189 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の魅力に感じる事柄



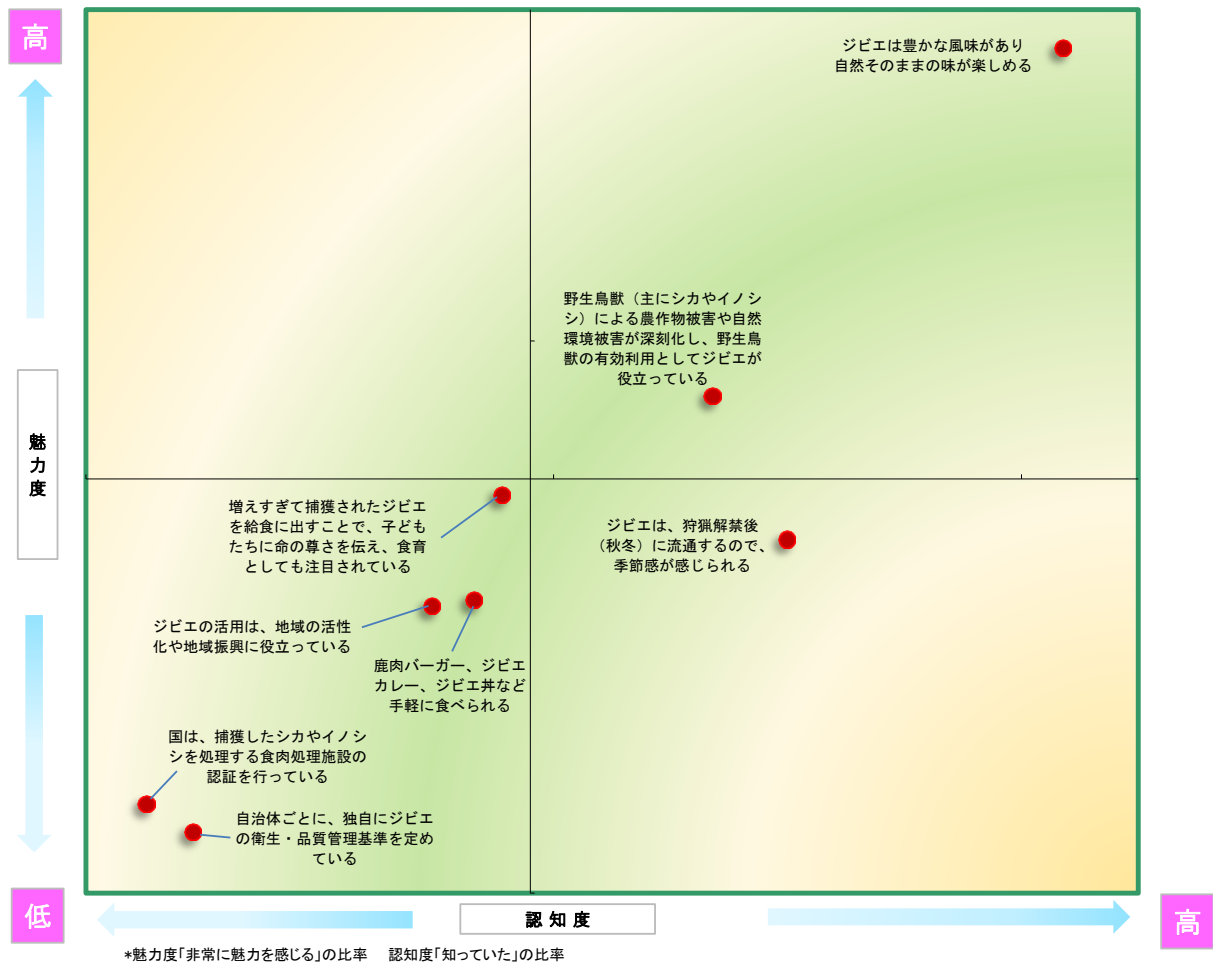
図表 190 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の魅力に感じる事柄（経年変化）

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄を横軸、魅力に感じる事柄を縦軸に、プロット図にまとめた。

認知度・魅力度ともに高い事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」である。

一方、認知度は高めだが魅力度が低い事柄は、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」である。

「自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている」「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、認知度・魅力度ともに低い事柄となっており、引き続き今後の課題である。



図表 191 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄×魅力に感じる事柄

4) 「ジビエ」の認証マークの認知度 (Q44)

- ▶ 「ジビエ」の認証マークを見たことがある計は、全体の 11.3% (「確かに見たことがある」 3.2% + 「見たことがあるような気がする」 8.1%)。「マークがあることは知っているが見たことはない」も含めた認知度は 21.2%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、認知度計は増加傾向。

【今年度調査】

「ジビエ (主にシカ肉・イノシシ肉)」の認証マークと説明文を提示して聞いた認知度は、「確かに見たことがある」が 3.2%、「見たことがあるような気がする」が 8.1%で、見たことがある計は全体の 11.3%となっている。「マークがあることは知っているが見たことはない」までを含めた認知度計は 21.2%である。

エリア別に見ても、認知度の大きな違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が 23.5%、女性が 18.7%と男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、20代は 33.7%と高く、若い年代の方が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、認知度計が増加傾向である。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用(食肉化・ジビエ)が考えられるようになりました。

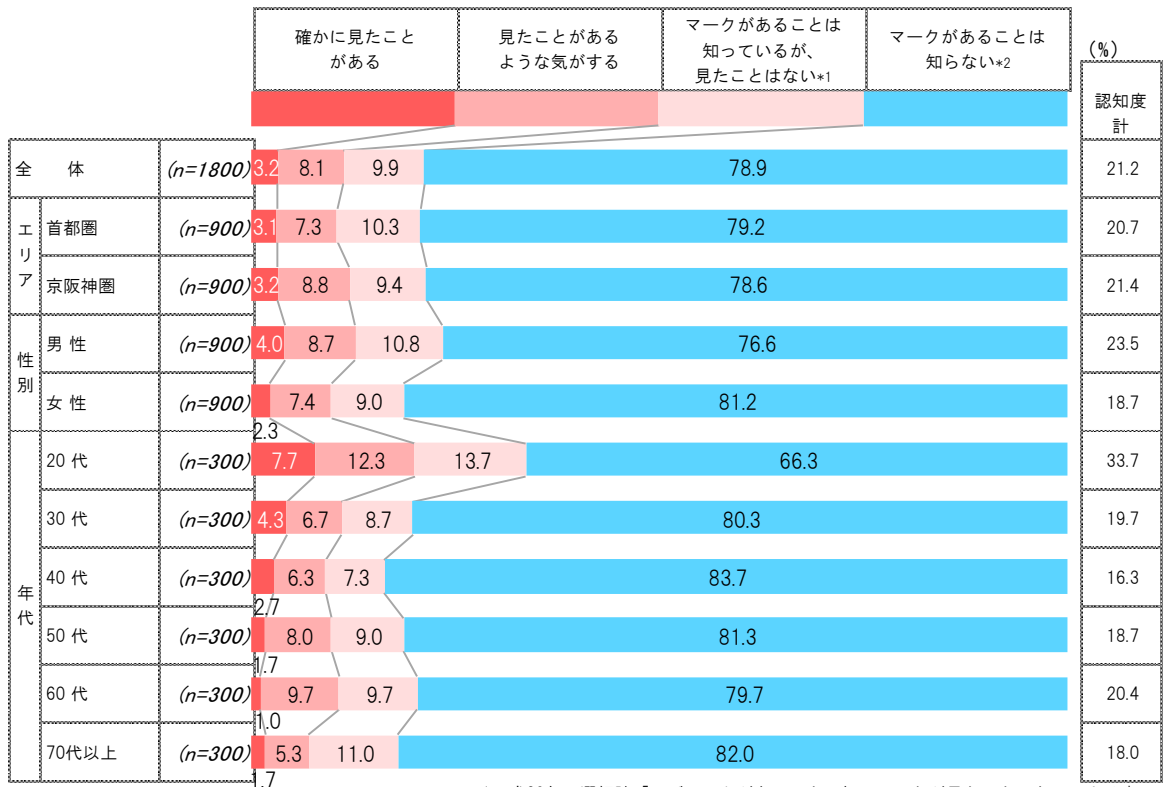
自治体ごとに、独自にジビエ(主にシカとイノシシ)の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成 30 年度より「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



図表 192 提示説明文及び認証マーク

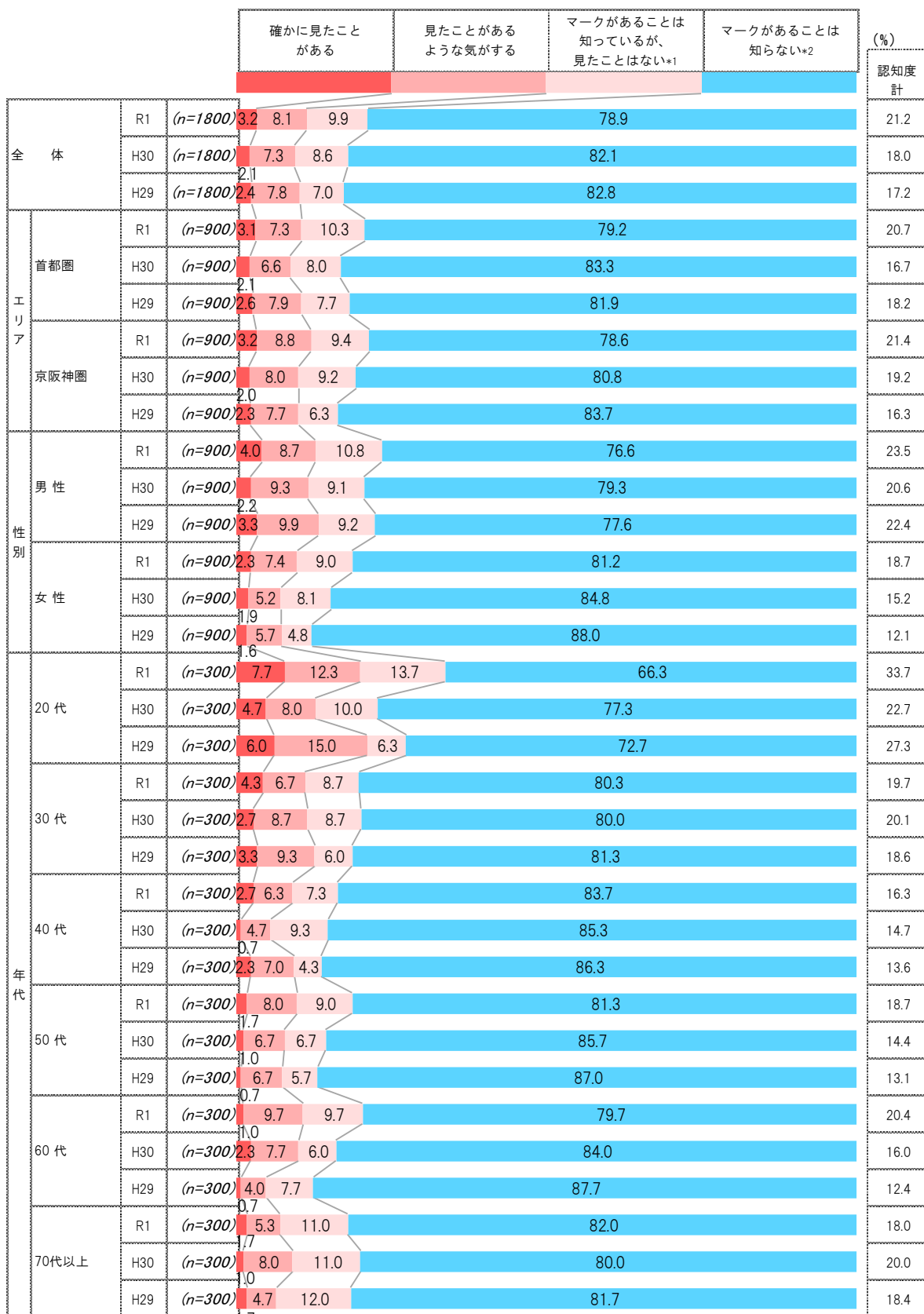


*1平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」より変更

*2平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知らない」より変更

認知度計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」

図表 193 「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」の認証マークの認知度



*1平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」より変更

*2平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知らない」より変更

認知度計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」

図表 194 「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」の認証マークの認知度（経年変化）

6. 食肉の第三者認証に関する意識調査

1) 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度(Q39)

- ▶ 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度は、全体の30.7%（「詳しく知っている」1.9%+「ある程度知っている」8.1%+「何となく知っている」20.7%）。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「何となく知っている」が増加し、「知らない」が減少傾向。

【今年度調査】

「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準について説明文とロゴマークを提示して聞いた認知度は、「詳しく知っている」は1.9%とほとんどおらず、「ある程度知っている」が8.1%、「何となく知っている」が20.7%で、認知度計は全体の30.7%。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が31.0%、京阪神圏が30.5%と大きな違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が32.9%、女性が28.5%と男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、20代が39.3%と高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「何となく知っている」が増加し、「知らない」が減少傾向にある。

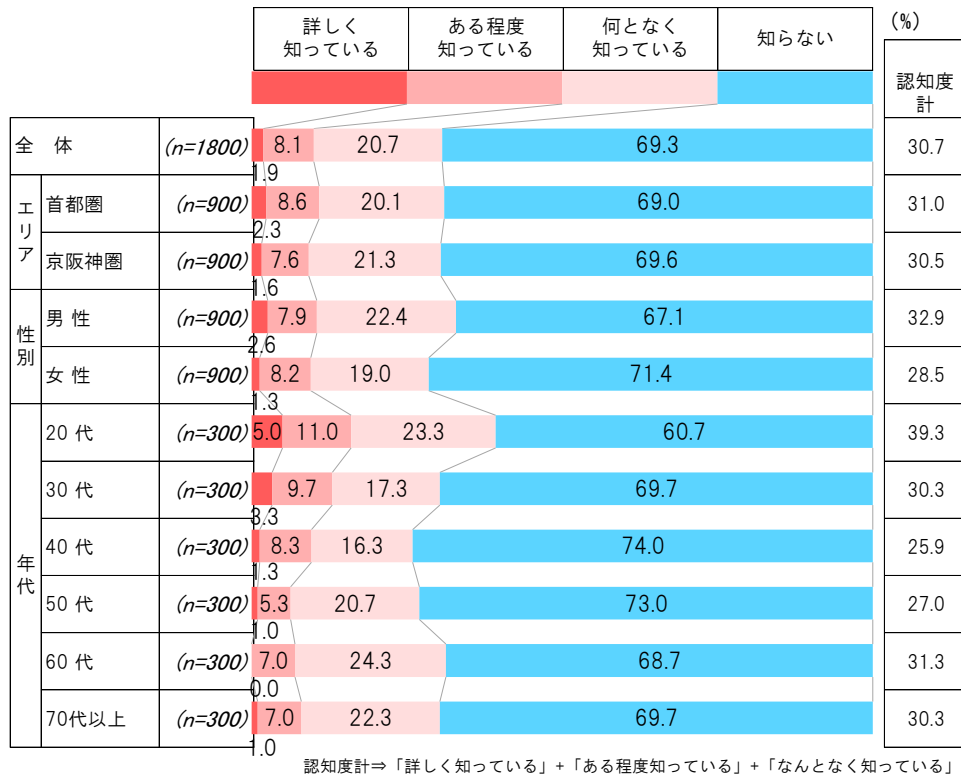
このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

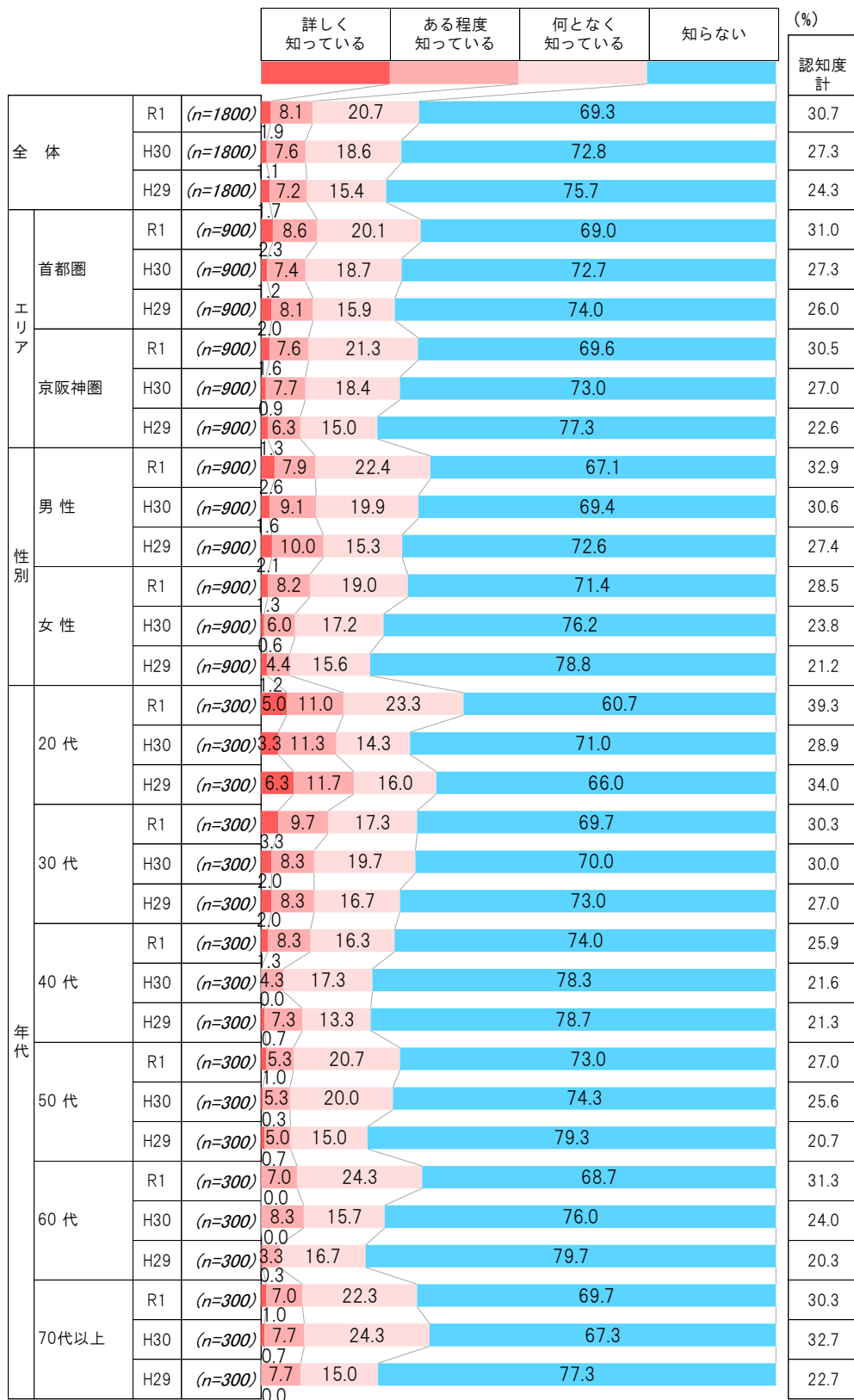
※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 195 提示説明文及びロゴマーク



図表 196 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度の認知度（経年変化）



認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「なんとなく知っている」

図表 197 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度の認知度

2) 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向 (Q40)

- ▶ 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」がついている商品の購入意向は、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が 43.9%。「安ければ購入したい・食べたい」も含めた購入意向計は全体の 69.2%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の説明文とロゴマークを提示して聞いた商品の購入意向は、「割高でも購入したい・食べたい」が 9.6%、「ロゴマークがついていない商品と同程度の価格なら購入したい・食べたい」が 34.3%で、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が 43.9%。

「安ければ購入したい・食べたい」25.3%も含めた購入意向計は全体の 69.2%で、「購入したくない・食べたくない」は 2.3%と少ない。

エリア別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、首都圏が 44.2%、京阪神圏が 43.6%と大きな違いは見られない。

性別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、男性が 43.1%、女性が 44.8%と大きな違いは見られない。

年代別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、70代が 53.6%、60代が 50.7%と年代が高い方が購入意向が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて大きな変化はない。

このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 198 提示説明文及びロゴマーク

	n	購入意向					購入意向計 (%)	
		割高でも 購入したい ・食べたい	ロゴマークがついていない商品と、 同程度の価格なら 購入したい・食べたい*	安ければ 購入したい ・食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない	「同程度 以上」 購入 意向計	購入 意向計
全 体	(n=1800)	9.6	34.3	25.3	2.3	28.4	43.9	69.2
エリア	首都圏 (n=900)	10.0	34.2	24.7	2.3	28.8	44.2	68.9
	京阪神圏 (n=900)	9.2	34.4	26.0	2.3	28.0	43.6	69.6
性別	男性 (n=900)	9.2	33.9	27.2	2.7	27.0	43.1	70.3
	女性 (n=900)	10.0	34.8	23.4	2.0	29.8	44.8	68.2
年代	20代 (n=300)	8.7	31.3	29.7	2.3	28.0	40.0	69.7
	30代 (n=300)	7.3	32.0	29.3	2.7	28.7	39.3	68.6
	40代 (n=300)	8.0	28.0	30.0	2.3	31.7	36.0	66.0
	50代 (n=300)	9.7	34.3	23.7	1.7	30.7	44.0	67.7
	60代 (n=300)	10.7	40.0	21.3	1.3	26.7	50.7	72.0
	70代以上 (n=300)	13.3	40.3	18.0	3.7	24.7	53.6	71.6

*平成29年の選択肢「ロゴマークマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」より変更
「同程度以上」 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 199 「JGAP畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向

			割高でも 購入したい ・食べたい	マークがついてい ない商品と、同程 度の価格なら購入 したい・食べたい*	安ければ 購入したい ・食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない	(%)		
								「同程度 以上」 購入 意向計	購入 意向計	
全 体	R1	(n=1800)	9.6	34.3	25.3	2.3	28.4	43.9	69.2	
	H30	(n=1800)	8.7	34.6	26.6	1.7	28.5	43.3	69.9	
	H29	(n=1800)	8.4	34.2	27.0	2.4	27.9	42.6	69.6	
エリア	首都圏	R1	(n=900)	10.0	34.2	24.7	2.3	28.8	44.2	68.9
		H30	(n=900)	8.9	35.6	26.4	1.7	27.4	44.5	70.9
		H29	(n=900)	8.9	36.1	26.2	2.2	26.6	45.0	71.2
	京阪神圏	R1	(n=900)	9.2	34.4	26.0	2.3	28.0	43.6	69.6
		H30	(n=900)	8.4	33.7	26.7	1.7	29.6	42.1	68.8
		H29	(n=900)	8.0	32.2	27.8	2.7	29.3	40.2	68.0
性別	男性	R1	(n=900)	9.2	33.9	27.2	2.7	27.0	43.1	70.3
		H30	(n=900)	8.2	35.6	27.6	1.4	27.2	43.8	71.4
		H29	(n=900)	6.8	35.1	27.8	2.8	27.6	41.9	69.7
	女性	R1	(n=900)	10.0	34.8	23.4	2.0	29.8	44.8	68.2
		H30	(n=900)	9.1	33.7	25.6	1.9	29.8	42.8	68.4
		H29	(n=900)	10.1	33.2	26.2	2.1	28.3	43.3	69.5
年代	20代	R1	(n=300)	8.7	31.3	29.7	2.3	28.0	40.0	69.7
		H30	(n=300)	8.3	29.0	33.3	1.7	27.7	37.3	70.6
		H29	(n=300)	10.0	34.3	31.0	2.3	22.3	44.3	75.3
	30代	R1	(n=300)	7.3	32.0	29.3	2.7	28.7	39.3	68.6
		H30	(n=300)	5.3	32.7	33.7	3.0	25.3	38.0	71.7
		H29	(n=300)	7.0	39.3	27.0	2.7	24.0	46.3	73.3
	40代	R1	(n=300)	8.0	28.0	30.0	2.3	31.7	36.0	66.0
		H30	(n=300)	3.3	30.0	26.3	2.0	38.3	33.3	59.6
		H29	(n=300)	6.7	28.3	33.0	3.0	29.0	35.0	68.0
	50代	R1	(n=300)	9.7	34.3	23.7	1.7	30.7	44.0	67.7
		H30	(n=300)	8.7	36.3	25.0	0.7	29.3	45.0	70.0
		H29	(n=300)	6.7	30.7	25.7	3.3	33.7	37.4	63.1
	60代	R1	(n=300)	10.7	40.0	21.3	1.3	26.7	50.7	72.0
		H30	(n=300)	13.3	38.0	19.3	1.7	27.7	51.3	70.6
		H29	(n=300)	9.0	35.7	22.7	2.0	30.7	44.7	67.4
	70代以上	R1	(n=300)	13.3	40.3	18.0	3.7	24.7	53.6	71.6
		H30	(n=300)	13.0	41.7	21.7	1.0	22.7	54.7	76.4
		H29	(n=300)	11.3	36.7	22.7	1.3	28.0	48.0	70.7

*平成29年の選択肢「ロゴマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」より変更
「同程度以上」 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 200 「JGAP畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向（経年変化）

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。
それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	30 1.7	49 2.7	239 13.3	487 27.1	353 19.6	234 13.0	295 16.4	113 6.3
地域	首都圏	900 100	11 1.2	17 1.9	99 11.0	209 23.2	180 20.0	123 13.7	195 21.7	66 7.3
	京阪神圏	900 100	19 2.1	32 3.6	140 15.6	278 30.9	173 19.2	111 12.3	100 11.1	47 5.2
年代	20代	300 100	18 6.0	17 5.7	33 11.0	67 22.3	50 16.7	38 12.7	55 18.3	22 7.3
	30代	300 100	6 2.0	5 1.7	33 11.0	57 19.0	65 21.7	55 18.3	54 18.0	25 8.3
	40代	300 100	2 0.7	5 1.7	33 11.0	62 20.7	74 24.7	42 14.0	65 21.7	17 5.7
	50代	300 100	1 0.3	6 2.0	31 10.3	91 30.3	63 21.0	29 9.7	58 19.3	21 7.0
	60代	300 100	1 0.3	6 2.0	48 16.0	108 36.0	55 18.3	39 13.0	32 10.7	11 3.7
	70代以上	300 100	2 0.7	10 3.3	61 20.3	102 34.0	46 15.3	31 10.3	31 10.3	17 5.7

【2. 牛肉料理】 中食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	21 1.2	23 1.3	71 3.9	207 11.5	218 12.1	262 14.6	551 30.6	447 24.8
地域	首都圏	900 100	7 0.8	12 1.3	27 3.0	89 9.9	111 12.3	132 14.7	302 33.6	220 24.4
	京阪神圏	900 100	14 1.6	11 1.2	44 4.9	118 13.1	107 11.9	130 14.4	249 27.7	227 25.2
年代	20代	300 100	13 4.3	12 4.0	18 6.0	45 15.0	55 18.3	39 13.0	69 23.0	49 16.3
	30代	300 100	6 2.0	5 1.7	14 4.7	33 11.0	36 12.0	42 14.0	95 31.7	69 23.0
	40代	300 100	1 0.3	3 1.0	10 3.3	30 10.0	44 14.7	50 16.7	109 36.3	53 17.7
	50代	300 100	0 0.0	0 0.0	7 2.3	37 12.3	30 10.0	40 13.3	111 37.0	75 25.0
	60代	300 100	0 0.0	2 0.7	12 4.0	33 11.0	34 11.3	45 15.0	89 29.7	85 28.3
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	10 3.3	29 9.7	19 6.3	46 15.3	78 26.0	116 38.7

【3. 牛肉料理】 外食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	19 1.1	17 0.9	60 3.3	159 8.8	216 12.0	369 20.5	699 38.8	261 14.5
地域	首都圏	900 100	6 0.7	7 0.8	31 3.4	73 8.1	108 12.0	169 18.8	361 40.1	145 16.1
	京阪神圏	900 100	13 1.4	10 1.1	29 3.2	86 9.6	108 12.0	200 22.2	338 37.6	116 12.9
年代	20代	300 100	11 3.7	12 4.0	21 7.0	37 12.3	53 17.7	51 17.0	91 30.3	24 8.0
	30代	300 100	6 2.0	4 1.3	12 4.0	23 7.7	41 13.7	71 23.7	102 34.0	41 13.7
	40代	300 100	1 0.3	1 0.3	10 3.3	22 7.3	37 12.3	71 23.7	120 40.0	38 12.7
	50代	300 100	0 0.0	0 0.0	8 2.7	29 9.7	28 9.3	55 18.3	137 45.7	43 14.3
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	3 1.0	26 8.7	34 11.3	56 18.7	130 43.3	51 17.0
	70代以上	300 100	1 0.3	0 0.0	6 2.0	22 7.3	23 7.7	65 21.7	119 39.7	64 21.3

【4. 豚肉料理】 内食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	31 1.7	111 6.2	636 35.3	494 27.4	220 12.2	120 6.7	113 6.3	75 4.2
地域	首都圏	900 100	15 1.7	50 5.6	316 35.1	229 25.4	113 12.6	64 7.1	72 8.0	41 4.6
	京阪神圏	900 100	16 1.8	61 6.8	320 35.6	265 29.4	107 11.9	56 6.2	41 4.6	34 3.8
年代	20代	300 100	12 4.0	23 7.7	82 27.3	79 26.3	43 14.3	22 7.3	26 8.7	13 4.3
	30代	300 100	7 2.3	25 8.3	107 35.7	69 23.0	43 14.3	15 5.0	23 7.7	11 3.7
	40代	300 100	5 1.7	16 5.3	104 34.7	77 25.7	38 12.7	35 11.7	18 6.0	7 2.3
	50代	300 100	2 0.7	14 4.7	105 35.0	101 33.7	33 11.0	14 4.7	17 5.7	14 4.7
	60代	300 100	4 1.3	15 5.0	120 40.0	88 29.3	27 9.0	21 7.0	14 4.7	11 3.7
	70代以上	300 100	1 0.3	18 6.0	118 39.3	80 26.7	36 12.0	13 4.3	15 5.0	19 6.3

【5. 豚肉料理】 中食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	18 1.0	31 1.7	118 6.6	267 14.8	268 14.9	251 13.9	448 24.9	399 22.2
地域	首都圏	900 100	9 1.0	17 1.9	61 6.8	132 14.7	144 16.0	122 13.6	232 25.8	183 20.3
	京阪神圏	900 100	9 1.0	14 1.6	57 6.3	135 15.0	124 13.8	129 14.3	216 24.0	216 24.0
年代	20代	300 100	11 3.7	12 4.0	25 8.3	56 18.7	67 22.3	32 10.7	52 17.3	45 15.0
	30代	300 100	5 1.7	9 3.0	25 8.3	43 14.3	38 12.7	46 15.3	81 27.0	53 17.7
	40代	300 100	1 0.3	4 1.3	19 6.3	48 16.0	55 18.3	51 17.0	81 27.0	41 13.7
	50代	300 100	0 0.0	0 0.0	22 7.3	45 15.0	49 16.3	32 10.7	84 28.0	68 22.7
	60代	300 100	1 0.3	3 1.0	13 4.3	39 13.0	32 10.7	52 17.3	79 26.3	81 27.0
	70代以上	300 100	0 0.0	3 1.0	14 4.7	36 12.0	27 9.0	38 12.7	71 23.7	111 37.0

【6. 豚肉料理】 外食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	16 0.9	23 1.3	68 3.8	171 9.5	194 10.8	375 20.8	658 36.6	295 16.4
地域	首都圏	900 100	7 0.8	11 1.2	33 3.7	89 9.9	107 11.9	186 20.7	319 35.4	148 16.4
	京阪神圏	900 100	9 1.0	12 1.3	35 3.9	82 9.1	87 9.7	189 21.0	339 37.7	147 16.3
年代	20代	300 100	10 3.3	12 4.0	21 7.0	45 15.0	45 15.0	57 19.0	85 28.3	25 8.3
	30代	300 100	4 1.3	8 2.7	16 5.3	29 9.7	27 9.0	76 25.3	104 34.7	36 12.0
	40代	300 100	2 0.7	1 0.3	14 4.7	30 10.0	41 13.7	63 21.0	120 40.0	29 9.7
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	34 11.3	33 11.0	65 21.7	109 36.3	53 17.7
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	9 3.0	20 6.7	24 8.0	59 19.7	120 40.0	68 22.7
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	13 4.3	24 8.0	55 18.3	120 40.0	84 28.0

【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	40 2.2	81 4.5	541 30.1	535 29.7	238 13.2	135 7.5	133 7.4	97 5.4
地域	首都圏		900 100	17 1.9	37 4.1	262 29.1	259 28.8	120 13.3	75 8.3	85 9.4	45 5.0
	京阪神圏		900 100	23 2.6	44 4.9	279 31.0	276 30.7	118 13.1	60 6.7	48 5.3	52 5.8
年代	20代		300 100	19 6.3	23 7.7	77 25.7	81 27.0	42 14.0	21 7.0	29 9.7	8 2.7
	30代		300 100	6 2.0	19 6.3	103 34.3	78 26.0	43 14.3	16 5.3	24 8.0	11 3.7
	40代		300 100	4 1.3	10 3.3	91 30.3	81 27.0	47 15.7	32 10.7	24 8.0	11 3.7
	50代		300 100	2 0.7	14 4.7	98 32.7	99 33.0	34 11.3	21 7.0	16 5.3	16 5.3
	60代		300 100	5 1.7	5 1.7	84 28.0	118 39.3	29 9.7	19 6.3	20 6.7	20 6.7
	70代以上		300 100	4 1.3	10 3.3	88 29.3	78 26.0	43 14.3	26 8.7	20 6.7	31 10.3

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	19 1.1	40 2.2	137 7.6	288 16.0	299 16.6	232 12.9	408 22.7	377 20.9
地域	首都圏		900 100	10 1.1	20 2.2	69 7.7	137 15.2	150 16.7	109 12.1	221 24.6	184 20.4
	京阪神圏		900 100	9 1.0	20 2.2	68 7.6	151 16.8	149 16.6	123 13.7	187 20.8	193 21.4
年代	20代		300 100	10 3.3	16 5.3	32 10.7	58 19.3	68 22.7	29 9.7	48 16.0	39 13.0
	30代		300 100	5 1.7	8 2.7	33 11.0	51 17.0	44 14.7	44 14.7	69 23.0	46 15.3
	40代		300 100	1 0.3	6 2.0	16 5.3	61 20.3	59 19.7	44 14.7	72 24.0	41 13.7
	50代		300 100	0 0.0	3 1.0	21 7.0	50 16.7	52 17.3	41 13.7	80 26.7	53 17.7
	60代		300 100	3 1.0	2 0.7	22 7.3	36 12.0	42 14.0	43 14.3	72 24.0	80 26.7
	70代以上		300 100	0 0.0	5 1.7	13 4.3	32 10.7	34 11.3	31 10.3	67 22.3	118 39.3

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	21 1.2	21 1.2	74 4.1	184 10.2	212 11.8	334 18.6	627 34.8	327 18.2
地域	首都圏		900 100	7 0.8	11 1.2	38 4.2	85 9.4	110 12.2	171 19.0	322 35.8	156 17.3
	京阪神圏		900 100	14 1.6	10 1.1	36 4.0	99 11.0	102 11.3	163 18.1	305 33.9	171 19.0
年代	20代		300 100	14 4.7	12 4.0	29 9.7	39 13.0	52 17.3	47 15.7	84 28.0	23 7.7
	30代		300 100	5 1.7	4 1.3	15 5.0	35 11.7	39 13.0	67 22.3	98 32.7	37 12.3
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	11 3.7	24 8.0	48 16.0	69 23.0	111 37.0	34 11.3
	50代		300 100	1 0.3	0 0.0	10 3.3	38 12.7	29 9.7	58 19.3	114 38.0	50 16.7
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	30 10.0	24 8.0	48 16.0	114 38.0	78 26.0
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	4 1.3	18 6.0	20 6.7	45 15.0	106 35.3	105 35.0

【10. 魚介料理】 内食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	43 2.4	129 7.2	536 29.8	464 25.8	250 13.9	139 7.7	153 8.5	86 4.8
地域	首都圏	900 100	20 2.2	63 7.0	268 29.8	226 25.1	116 12.9	70 7.8	93 10.3	44 4.9
	京阪神圏	900 100	23 2.6	66 7.3	268 29.8	238 26.4	134 14.9	69 7.7	60 6.7	42 4.7
年代	20代	300 100	13 4.3	18 6.0	55 18.3	78 26.0	46 15.3	32 10.7	37 12.3	21 7.0
	30代	300 100	5 1.7	14 4.7	73 24.3	74 24.7	53 17.7	29 9.7	34 11.3	18 6.0
	40代	300 100	6 2.0	14 4.7	74 24.7	79 26.3	61 20.3	27 9.0	27 9.0	12 4.0
	50代	300 100	2 0.7	22 7.3	99 33.0	78 26.0	41 13.7	19 6.3	25 8.3	14 4.7
	60代	300 100	7 2.3	26 8.7	108 36.0	86 28.7	24 8.0	24 8.0	20 6.7	5 1.7
	70代以上	300 100	10 3.3	35 11.7	127 42.3	69 23.0	25 8.3	8 2.7	10 3.3	16 5.3

【11. 魚介料理】 中食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	23 1.3	45 2.5	111 6.2	251 13.9	265 14.7	259 14.4	451 25.1	395 21.9
地域	首都圏	900 100	9 1.0	25 2.8	49 5.4	120 13.3	136 15.1	119 13.2	242 26.9	200 22.2
	京阪神圏	900 100	14 1.6	20 2.2	62 6.9	131 14.6	129 14.3	140 15.6	209 23.2	195 21.7
年代	20代	300 100	12 4.0	13 4.3	17 5.7	55 18.3	48 16.0	47 15.7	60 20.0	48 16.0
	30代	300 100	4 1.3	7 2.3	17 5.7	34 11.3	47 15.7	51 17.0	84 28.0	56 18.7
	40代	300 100	2 0.7	7 2.3	11 3.7	44 14.7	54 18.0	43 14.3	90 30.0	49 16.3
	50代	300 100	1 0.3	6 2.0	17 5.7	47 15.7	46 15.3	35 11.7	81 27.0	67 22.3
	60代	300 100	1 0.3	5 1.7	24 8.0	38 12.7	29 9.7	53 17.7	77 25.7	73 24.3
	70代以上	300 100	3 1.0	7 2.3	25 8.3	33 11.0	41 13.7	30 10.0	59 19.7	102 34.0

【12. 魚介料理】 外食

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体		1800 100	14 0.8	31 1.7	71 3.9	172 9.6	215 11.9	374 20.8	621 34.5	302 16.8
地域	首都圏	900 100	5 0.6	12 1.3	33 3.7	93 10.3	109 12.1	178 19.8	320 35.6	150 16.7
	京阪神圏	900 100	9 1.0	19 2.1	38 4.2	79 8.8	106 11.8	196 21.8	301 33.4	152 16.9
年代	20代	300 100	8 2.7	17 5.7	13 4.3	45 15.0	40 13.3	61 20.3	80 26.7	36 12.0
	30代	300 100	4 1.3	3 1.0	15 5.0	30 10.0	38 12.7	67 22.3	100 33.3	43 14.3
	40代	300 100	1 0.3	3 1.0	9 3.0	29 9.7	47 15.7	61 20.3	106 35.3	44 14.7
	50代	300 100	0 0.0	2 0.7	11 3.7	26 8.7	37 12.3	61 20.3	118 39.3	45 15.0
	60代	300 100	0 0.0	4 1.3	10 3.3	22 7.3	23 7.7	61 20.3	120 40.0	60 20.0
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	13 4.3	20 6.7	30 10.0	63 21.0	97 32.3	74 24.7

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1. 牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	1073 59.6	187 10.4	207 11.5	423 23.5	449 24.9	461 25.6	646 35.9	131 7.3	496 27.6	962 53.4	96 5.3	190 10.6	
地域	首都圏	900 100	522 58.0	111 12.3	100 11.1	204 22.7	203 22.6	213 23.7	294 32.7	63 7.0	223 24.8	451 50.1	42 4.7	99 11.0
	京阪神圏	900 100	551 61.2	76 8.4	107 11.9	219 24.3	246 27.3	248 27.6	352 39.1	68 7.6	273 30.3	511 56.8	54 6.0	91 10.1
年代	20代	300 100	167 55.7	57 19.0	49 16.3	66 22.0	74 24.7	69 23.0	93 31.0	40 13.3	78 26.0	129 43.0	26 8.7	29 9.7
	30代	300 100	153 51.0	30 10.0	29 9.7	88 29.3	56 18.7	64 21.3	80 26.7	39 13.0	73 24.3	161 53.7	11 3.7	27 9.0
	40代	300 100	155 51.7	23 7.7	33 11.0	64 21.3	54 18.0	67 22.3	99 33.0	22 7.3	67 22.3	154 51.3	15 5.0	41 13.7
	50代	300 100	173 57.7	27 9.0	20 6.7	57 19.0	55 18.3	78 26.0	99 33.0	9 3.0	72 24.0	144 48.0	14 4.7	44 14.7
	60代	300 100	202 67.3	28 9.3	32 10.7	75 25.0	90 30.0	91 30.3	136 45.3	13 4.3	98 32.7	182 60.7	9 3.0	27 9.0
	70代以上	300 100	223 74.3	22 7.3	44 14.7	73 24.3	120 40.0	92 30.7	139 46.3	8 2.7	108 36.0	192 64.0	21 7.0	22 7.3

【2. 牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	536 29.8	36 2.0	24 1.3	93 5.2	71 3.9	100 5.6	133 7.4	9 0.5	134 7.4	466 25.9	30 1.7	168 9.3	
地域	首都圏	900 100	289 32.1	24 2.7	11 1.2	47 5.2	34 3.8	49 5.4	59 6.6	6 0.7	59 6.6	217 24.1	15 1.7	90 10.0
	京阪神圏	900 100	247 27.4	12 1.3	13 1.4	46 5.1	37 4.1	51 5.7	74 8.2	3 0.3	75 8.3	249 27.7	15 1.7	78 8.7
年代	20代	300 100	94 31.3	18 6.0	6 2.0	18 6.0	15 5.0	16 5.3	19 6.3	4 1.3	18 6.0	58 19.3	8 2.7	26 8.7
	30代	300 100	83 27.7	6 2.0	6 2.0	28 9.3	5 1.7	18 6.0	21 7.0	4 1.3	25 8.3	78 26.0	4 1.3	22 7.3
	40代	300 100	81 27.0	4 1.3	6 2.0	14 4.7	7 2.3	15 5.0	27 9.0	0 0.0	20 6.7	83 27.7	5 1.7	38 12.7
	50代	300 100	79 26.3	2 0.7	2 0.7	14 4.7	9 3.0	17 5.7	20 6.7	1 0.3	22 7.3	85 28.3	9 3.0	40 13.3
	60代	300 100	94 31.3	4 1.3	3 1.0	11 3.7	12 4.0	20 6.7	21 7.0	0 0.0	32 10.7	79 26.3	1 0.3	23 7.7
	70代以上	300 100	105 35.0	2 0.7	1 0.3	8 2.7	23 7.7	14 4.7	25 8.3	0 0.0	17 5.7	83 27.7	3 1.0	19 6.3

【3. 豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	871 48.4	240 13.3	179 9.9	201 11.2	657 36.5	767 42.6	417 23.2	229 12.7	727 40.4	722 40.1	933 51.8	93 5.2	
地域	首都圏	900 100	462 51.3	88 9.8	87 9.7	99 11.0	315 35.0	395 43.9	210 23.3	101 11.2	350 38.9	372 41.3	447 49.7	49 5.4
	京阪神圏	900 100	409 45.4	152 16.9	92 10.2	102 11.3	342 38.0	372 41.3	207 23.0	128 14.2	377 41.9	350 38.9	486 54.0	44 4.9
年代	20代	300 100	121 40.3	45 15.0	33 11.0	45 15.0	80 26.7	123 41.0	65 21.7	43 14.3	104 34.7	105 35.0	119 39.7	19 6.3
	30代	300 100	120 40.0	31 10.3	27 9.0	20 6.7	86 28.7	124 41.3	49 16.3	49 16.3	111 37.0	109 36.3	149 49.7	13 4.3
	40代	300 100	131 43.7	33 11.0	23 7.7	31 10.3	93 31.0	116 38.7	52 17.3	43 14.3	103 34.3	128 42.7	151 50.3	15 5.0
	50代	300 100	130 43.3	36 12.0	19 6.3	25 8.3	96 32.0	114 38.0	63 21.0	31 10.3	124 41.3	112 37.3	168 56.0	18 6.0
	60代	300 100	181 60.3	44 14.7	30 10.0	36 12.0	146 48.7	140 46.7	92 30.7	34 11.3	128 42.7	138 46.0	167 55.7	15 5.0
	70代以上	300 100	188 62.7	51 17.0	47 15.7	44 14.7	156 52.0	150 50.0	96 32.0	29 9.7	157 52.3	130 43.3	179 59.7	13 4.3

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によ い	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	267 14.8	65 3.6	18 1.0	39 2.2	166 9.2	206 11.4	57 3.2	27 1.5	234 13.0	208 11.6	431 23.9	82 4.6	
地域	首都圏	900 100	159 17.7	25 2.8	9 1.0	21 2.3	76 8.4	108 12.0	31 3.4	11 1.2	109 12.1	109 12.1	197 21.9	45 5.0
	京阪神圏	900 100	108 12.0	40 4.4	9 1.0	18 2.0	90 10.0	98 10.9	26 2.9	16 1.8	125 13.9	99 11.0	234 26.0	37 4.1
年代	20代	300 100	55 18.3	17 5.7	3 1.0	12 4.0	18 6.0	44 14.7	12 4.0	3 1.0	37 12.3	29 9.7	54 18.0	16 5.3
	30代	300 100	44 14.7	10 3.3	6 2.0	6 2.0	24 8.0	44 14.7	8 2.7	14 4.7	33 11.0	28 9.3	72 24.0	11 3.7
	40代	300 100	43 14.3	6 2.0	4 1.3	10 3.3	30 10.0	42 14.0	7 2.3	4 1.3	32 10.7	41 13.7	67 22.3	14 4.7
	50代	300 100	37 12.3	12 4.0	1 0.3	3 1.0	26 8.7	24 8.0	5 1.7	1 0.3	43 14.3	41 13.7	90 30.0	17 5.7
	60代	300 100	39 13.0	8 2.7	0 0.0	5 1.7	32 10.7	26 8.7	13 4.3	3 1.0	43 14.3	36 12.0	81 27.0	14 4.7
	70代以上	300 100	49 16.3	12 4.0	4 1.3	3 1.0	36 12.0	26 8.7	12 4.0	2 0.7	46 15.3	33 11.0	67 22.3	10 3.3

【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によ い	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	874 48.6	870 48.3	176 9.8	116 6.4	643 35.7	671 37.3	369 20.5	293 16.3	653 36.3	400 22.2	1060 58.9	99 5.5	
地域	首都圏	900 100	444 49.3	425 47.2	88 9.8	51 5.7	308 34.2	326 36.2	176 19.6	152 16.9	303 33.7	191 21.2	513 57.0	52 5.8
	京阪神圏	900 100	430 47.8	445 49.4	88 9.8	65 7.2	335 37.2	345 38.3	193 21.4	141 15.7	350 38.9	209 23.2	547 60.8	47 5.2
年代	20代	300 100	146 48.7	134 44.7	36 12.0	37 12.3	86 28.7	102 34.0	61 20.3	59 19.7	86 28.7	74 24.7	135 45.0	16 5.3
	30代	300 100	156 52.0	133 44.3	25 8.3	23 7.7	74 24.7	107 35.7	53 17.7	54 18.0	112 37.3	55 18.3	166 55.3	9 3.0
	40代	300 100	138 46.0	113 37.7	24 8.0	16 5.3	92 30.7	100 33.3	58 19.3	58 19.3	89 29.7	75 25.0	161 53.7	16 5.3
	50代	300 100	131 43.7	130 43.3	18 6.0	6 2.0	87 29.0	112 37.3	56 18.7	37 12.3	112 37.3	61 20.3	198 66.0	17 5.7
	60代	300 100	153 51.0	171 57.0	28 9.3	15 5.0	137 45.7	119 39.7	73 24.3	48 16.0	120 40.0	64 21.3	196 65.3	21 7.0
	70代以上	300 100	150 50.0	189 63.0	45 15.0	19 6.3	167 55.7	131 43.7	68 22.7	37 12.3	134 44.7	71 23.7	204 68.0	20 6.7

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%														
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によ い	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	297 16.5	244 13.6	17 0.9	25 1.4	140 7.8	139 7.7	48 2.7	33 1.8	148 8.2	50 2.8	575 31.9	84 4.7	
地域	首都圏	900 100	173 19.2	122 13.6	8 0.9	13 1.4	75 8.3	68 7.6	22 2.4	16 1.8	72 8.0	24 2.7	262 29.1	45 5.0
	京阪神圏	900 100	124 13.8	122 13.6	9 1.0	12 1.3	65 7.2	71 7.9	26 2.9	17 1.9	76 8.4	26 2.9	313 34.8	39 4.3
年代	20代	300 100	71 23.7	48 16.0	6 2.0	11 3.7	14 4.7	18 6.0	8 2.7	10 3.3	20 6.7	10 3.3	68 22.7	16 5.3
	30代	300 100	57 19.0	32 10.7	6 2.0	8 2.7	11 3.7	31 10.3	6 2.0	6 2.0	29 9.7	4 1.3	103 34.3	7 2.3
	40代	300 100	52 17.3	34 11.3	1 0.3	4 1.3	20 6.7	26 8.7	9 3.0	10 3.3	21 7.0	10 3.3	98 32.7	15 5.0
	50代	300 100	44 14.7	38 12.7	0 0.0	1 0.3	22 7.3	21 7.0	9 3.0	1 0.3	23 7.7	13 4.3	113 37.7	15 5.0
	60代	300 100	36 12.0	47 15.7	1 0.3	1 0.3	30 10.0	22 7.3	7 2.3	4 1.3	29 9.7	6 2.0	100 33.3	17 5.7
	70代以上	300 100	37 12.3	45 15.0	3 1.0	0 0.0	43 14.3	21 7.0	9 3.0	2 0.7	26 8.7	7 2.3	93 31.0	14 4.7

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれのどれくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	32 1.8	34 1.9	171 9.5	488 27.1	391 21.7	313 17.4	290 16.1	81 4.5
地域	首都圏		900 100	16 1.8	14 1.6	68 7.6	208 23.1	181 20.1	185 20.6	175 19.4	53 5.9
	京阪神圏		900 100	16 1.8	20 2.2	103 11.4	280 31.1	210 23.3	128 14.2	115 12.8	28 3.1
年代	20代		300 100	19 6.3	19 6.3	31 10.3	67 22.3	58 19.3	44 14.7	42 14.0	20 6.7
	30代		300 100	9 3.0	4 1.3	19 6.3	66 22.0	57 19.0	73 24.3	56 18.7	16 5.3
	40代		300 100	2 0.7	5 1.7	28 9.3	61 20.3	71 23.7	56 18.7	63 21.0	14 4.7
	50代		300 100	0 0.0	1 0.3	26 8.7	90 30.0	53 17.7	51 17.0	69 23.0	10 3.3
	60代		300 100	1 0.3	2 0.7	29 9.7	104 34.7	79 26.3	41 13.7	34 11.3	10 3.3
	70代以上		300 100	1 0.3	3 1.0	38 12.7	100 33.3	73 24.3	48 16.0	26 8.7	11 3.7

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	31 1.7	54 3.0	447 24.8	670 37.2	330 18.3	138 7.7	106 5.9	24 1.3
地域	首都圏		900 100	15 1.7	26 2.9	219 24.3	323 35.9	165 18.3	74 8.2	66 7.3	12 1.3
	京阪神圏		900 100	16 1.8	28 3.1	228 25.3	347 38.6	165 18.3	64 7.1	40 4.4	12 1.3
年代	20代		300 100	15 5.0	24 8.0	63 21.0	96 32.0	49 16.3	28 9.3	19 6.3	6 2.0
	30代		300 100	8 2.7	13 4.3	72 24.0	104 34.7	65 21.7	17 5.7	19 6.3	2 0.7
	40代		300 100	1 0.3	5 1.7	74 24.7	109 36.3	63 21.0	23 7.7	23 7.7	2 0.7
	50代		300 100	2 0.7	5 1.7	74 24.7	124 41.3	46 15.3	22 7.3	20 6.7	7 2.3
	60代		300 100	3 1.0	3 1.0	83 27.7	127 42.3	37 12.3	27 9.0	16 5.3	4 1.3
	70代以上		300 100	2 0.7	4 1.3	81 27.0	110 36.7	70 23.3	21 7.0	9 3.0	3 1.0

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	31 1.7	46 2.6	370 20.6	680 37.8	361 20.1	155 8.6	114 6.3	43 2.4
地域	首都圏		900 100	13 1.4	19 2.1	175 19.4	332 36.9	186 20.7	90 10.0	64 7.1	21 2.3
	京阪神圏		900 100	18 2.0	27 3.0	195 21.7	348 38.7	175 19.4	65 7.2	50 5.6	22 2.4
年代	20代		300 100	17 5.7	16 5.3	60 20.0	95 31.7	62 20.7	27 9.0	18 6.0	5 1.7
	30代		300 100	9 3.0	12 4.0	65 21.7	114 38.0	59 19.7	29 9.7	11 3.7	1 0.3
	40代		300 100	1 0.3	7 2.3	70 23.3	97 32.3	72 24.0	21 7.0	27 9.0	5 1.7
	50代		300 100	1 0.3	3 1.0	55 18.3	132 44.0	55 18.3	26 8.7	21 7.0	7 2.3
	60代		300 100	3 1.0	3 1.0	57 19.0	130 43.3	48 16.0	29 9.7	18 6.0	12 4.0
	70代以上		300 100	0 0.0	5 1.7	63 21.0	112 37.3	65 21.7	23 7.7	19 6.3	13 4.3

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】

	度数 横%										
		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1719 100	158 9.2	680 39.6	1316 76.6	149 8.7	162 9.4	58 3.4	19 1.1	44 2.6	35 2.0
地域	首都圏	847 100	77 9.1	355 41.9	641 75.7	60 7.1	56 6.6	25 3.0	6 0.7	23 2.7	22 2.6
	京阪神圏	872 100	81 9.3	325 37.3	675 77.4	89 10.2	106 12.2	33 3.8	13 1.5	21 2.4	13 1.5
年代	20代	280 100	38 13.6	107 38.2	203 72.5	27 9.6	34 12.1	20 7.1	9 3.2	6 2.1	6 2.1
	30代	284 100	21 7.4	92 32.4	232 81.7	19 6.7	27 9.5	16 5.6	3 1.1	9 3.2	6 2.1
	40代	286 100	19 6.6	106 37.1	226 79.0	22 7.7	21 7.3	6 2.1	3 1.0	6 2.1	5 1.7
	50代	290 100	20 6.9	119 41.0	219 75.5	17 5.9	26 9.0	9 3.1	1 0.3	6 2.1	7 2.4
	60代	290 100	29 10.0	126 43.4	229 79.0	28 9.7	27 9.3	6 2.1	1 0.3	9 3.1	4 1.4
	70代以上	289 100	31 10.7	130 45.0	207 71.6	36 12.5	27 9.3	1 0.3	2 0.7	8 2.8	7 2.4

【2. 豚肉】

	度数 横%										
		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1776 100	92 5.2	706 39.8	1401 78.9	182 10.2	122 6.9	61 3.4	23 1.3	30 1.7	32 1.8
地域	首都圏	888 100	42 4.7	373 42.0	693 78.0	80 9.0	49 5.5	26 2.9	7 0.8	17 1.9	22 2.5
	京阪神圏	888 100	50 5.6	333 37.5	708 79.7	102 11.5	73 8.2	35 3.9	16 1.8	13 1.5	10 1.1
年代	20代	294 100	22 7.5	111 37.8	220 74.8	24 8.2	30 10.2	24 8.2	12 4.1	6 2.0	6 2.0
	30代	298 100	13 4.4	99 33.2	250 83.9	28 9.4	24 8.1	14 4.7	3 1.0	8 2.7	4 1.3
	40代	298 100	11 3.7	115 38.6	245 82.2	28 9.4	13 4.4	6 2.0	2 0.7	6 2.0	4 1.3
	50代	293 100	14 4.8	122 41.6	232 79.2	24 8.2	21 7.2	10 3.4	2 0.7	5 1.7	7 2.4
	60代	296 100	15 5.1	127 42.9	237 80.1	32 10.8	16 5.4	6 2.0	1 0.3	4 1.4	3 1.0
	70代以上	297 100	17 5.7	132 44.4	217 73.1	46 15.5	18 6.1	1 0.3	3 1.0	1 0.3	8 2.7

【3. 鶏肉】

	度数 横%										
		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1757 100	68 3.9	677 38.5	1378 78.4	171 9.7	98 5.6	62 3.5	22 1.3	27 1.5	35 2.0
地域	首都圏	879 100	33 3.8	354 40.3	679 77.2	71 8.1	47 5.3	29 3.3	7 0.8	14 1.6	20 2.3
	京阪神圏	878 100	35 4.0	323 36.8	699 79.6	100 11.4	51 5.8	33 3.8	15 1.7	13 1.5	15 1.7
年代	20代	295 100	17 5.8	108 36.6	214 72.5	27 9.2	18 6.1	20 6.8	11 3.7	6 2.0	7 2.4
	30代	299 100	8 2.7	97 32.4	250 83.6	28 9.4	23 7.7	13 4.3	3 1.0	7 2.3	6 2.0
	40代	295 100	11 3.7	109 36.9	244 82.7	23 7.8	13 4.4	7 2.4	2 0.7	7 2.4	4 1.4
	50代	293 100	12 4.1	118 40.3	230 78.5	21 7.2	19 6.5	12 4.1	1 0.3	4 1.4	7 2.4
	60代	288 100	12 4.2	121 42.0	227 78.8	28 9.7	10 3.5	6 2.1	0 0.0	2 0.7	2 0.7
	70代以上	287 100	8 2.8	124 43.2	213 74.2	44 15.3	15 5.2	4 1.4	5 1.7	1 0.3	9 3.1

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブラ ンド）等がしっか り表示されている こと	冷蔵品（チルド） であること	鮮度（色つや） がよいこと	量目（パック内の 肉重量）	その他	
全 体	1719 100	991 57.6	793 46.1	76 4.4	576 33.5	160 9.3	766 44.6	577 33.6	88 5.1	
地域	首都圏	847 100	502 59.3	338 39.9	36 4.3	284 33.5	76 9.0	362 42.7	271 32.0	41 4.8
	京阪神圏	872 100	489 56.1	455 52.2	40 4.6	292 33.5	84 9.6	404 46.3	306 35.1	47 5.4
年代	20代	280 100	170 60.7	110 39.3	20 7.1	81 28.9	31 11.1	99 35.4	82 29.3	15 5.4
	30代	284 100	174 61.3	126 44.4	12 4.2	60 21.1	30 10.6	118 41.5	100 35.2	11 3.9
	40代	286 100	188 65.7	128 44.8	14 4.9	75 26.2	20 7.0	127 44.4	78 27.3	11 3.8
	50代	290 100	157 54.1	122 42.1	9 3.1	92 31.7	19 6.6	126 43.4	82 28.3	24 8.3
	60代	290 100	165 56.9	134 46.2	12 4.1	132 45.5	28 9.7	147 50.7	117 40.3	14 4.8
	70代以上	289 100	137 47.4	173 59.9	9 3.1	136 47.1	32 11.1	149 51.6	118 40.8	13 4.5

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブラ ンド）等がしっか り表示されている こと	冷蔵品（チルド） であること	鮮度（色つや） がよいこと	量目（パック内の 肉重量）	その他	
全 体	1719 100	615 35.8	496 28.9	15 0.9	199 11.6	5 0.3	232 13.5	86 5.0	71 4.1	
地域	首都圏	847 100	326 38.5	198 23.4	9 1.1	110 13.0	4 0.5	119 14.0	46 5.4	35 4.1
	京阪神圏	872 100	289 33.1	298 34.2	6 0.7	89 10.2	1 0.1	113 13.0	40 4.6	36 4.1
年代	20代	280 100	115 41.1	71 25.4	5 1.8	29 10.4	2 0.7	28 10.0	17 6.1	13 4.6
	30代	284 100	116 40.8	77 27.1	3 1.1	17 6.0	1 0.4	44 15.5	17 6.0	9 3.2
	40代	286 100	125 43.7	73 25.5	3 1.0	22 7.7	1 0.3	43 15.0	11 3.8	8 2.8
	50代	290 100	102 35.2	77 26.6	0 0.0	32 11.0	0 0.0	45 15.5	11 3.8	23 7.9
	60代	290 100	84 29.0	88 30.3	1 0.3	58 20.0	0 0.0	36 12.4	13 4.5	10 3.4
	70代以上	289 100	73 25.3	110 38.1	3 1.0	41 14.2	1 0.3	36 12.5	17 5.9	8 2.8

【3. 豚肉】 あてはまるもの (いくつでも)

	度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっ かり表示されてい ること	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他
全 体		1776 100	1296 73.0	850 47.9	75 4.2	548 30.9	195 11.0	782 44.0	615 34.6	75 4.2
地域	首都圏	888 100	644 72.5	394 44.4	32 3.6	279 31.4	83 9.3	376 42.3	302 34.0	32 3.6
	京阪神圏	888 100	652 73.4	456 51.4	43 4.8	269 30.3	112 12.6	406 45.7	313 35.2	43 4.8
年代	20代	294 100	196 66.7	115 39.1	26 8.8	72 24.5	43 14.6	96 32.7	85 28.9	19 6.5
	30代	298 100	231 77.5	129 43.3	12 4.0	61 20.5	32 10.7	119 39.9	106 35.6	7 2.3
	40代	298 100	225 75.5	143 48.0	13 4.4	80 26.8	31 10.4	127 42.6	86 28.9	8 2.7
	50代	293 100	208 71.0	120 41.0	6 2.0	85 29.0	32 10.9	137 46.8	91 31.1	17 5.8
	60代	296 100	219 74.0	160 54.1	11 3.7	121 40.9	25 8.4	151 51.0	119 40.2	12 4.1
	70代以上	297 100	217 73.1	183 61.6	7 2.4	129 43.4	32 10.8	152 51.2	128 43.1	12 4.0

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

	度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっ かり表示されてい ること	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他
全 体		1776 100	748 42.1	493 27.8	16 0.9	158 8.9	9 0.5	215 12.1	82 4.6	55 3.1
地域	首都圏	888 100	386 43.5	226 25.5	7 0.8	85 9.6	7 0.8	107 12.0	46 5.2	24 2.7
	京阪神圏	888 100	362 40.8	267 30.1	9 1.0	73 8.2	2 0.2	108 12.2	36 4.1	31 3.5
年代	20代	294 100	131 44.6	69 23.5	6 2.0	22 7.5	5 1.7	28 9.5	17 5.8	16 5.4
	30代	298 100	156 52.3	74 24.8	2 0.7	16 5.4	0 0.0	33 11.1	13 4.4	4 1.3
	40代	298 100	132 44.3	79 26.5	6 2.0	22 7.4	2 0.7	39 13.1	12 4.0	6 2.0
	50代	293 100	129 44.0	70 23.9	1 0.3	26 8.9	2 0.7	39 13.3	10 3.4	16 5.5
	60代	296 100	103 34.8	89 30.1	0 0.0	41 13.9	0 0.0	44 14.9	12 4.1	7 2.4
	70代以上	297 100	97 32.7	112 37.7	1 0.3	31 10.4	0 0.0	32 10.8	18 6.1	6 2.0

【5. 鶏肉】 あてはまるもの (いくつでも)

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっ かり表示されてい ること	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他
全 体		1757 100	1315 74.8	908 51.7	54 3.1	534 30.4	192 10.9	766 43.6	572 32.6	72 4.1
地域	首都圏	879 100	658 74.9	422 48.0	20 2.3	273 31.1	75 8.5	389 44.3	278 31.6	29 3.3
	京阪神圏	878 100	657 74.8	486 55.4	34 3.9	261 29.7	117 13.3	377 42.9	294 33.5	43 4.9
年代	20代	295 100	209 70.8	125 42.4	23 7.8	68 23.1	42 14.2	107 36.3	82 27.8	16 5.4
	30代	299 100	232 77.6	143 47.8	10 3.3	62 20.7	33 11.0	125 41.8	101 33.8	6 2.0
	40代	295 100	231 78.3	145 49.2	7 2.4	81 27.5	29 9.8	120 40.7	80 27.1	7 2.4
	50代	293 100	212 72.4	143 48.8	4 1.4	81 27.6	27 9.2	133 45.4	83 28.3	16 5.5
	60代	288 100	213 74.0	166 57.6	6 2.1	119 41.3	29 10.1	138 47.9	101 35.1	14 4.9
	70代以上	287 100	218 76.0	186 64.8	4 1.4	123 42.9	32 11.1	143 49.8	125 43.6	13 4.5

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっ かり表示されてい ること	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他
全 体		1757 100	748 42.6	497 28.3	11 0.6	145 8.3	13 0.7	209 11.9	77 4.4	57 3.2
地域	首都圏	879 100	384 43.7	224 25.5	1 0.1	83 9.4	4 0.5	117 13.3	43 4.9	23 2.6
	京阪神圏	878 100	364 41.5	273 31.1	10 1.1	62 7.1	9 1.0	92 10.5	34 3.9	34 3.9
年代	20代	295 100	141 47.8	66 22.4	4 1.4	20 6.8	6 2.0	26 8.8	17 5.8	15 5.1
	30代	299 100	150 50.2	79 26.4	3 1.0	17 5.7	5 1.7	34 11.4	8 2.7	3 1.0
	40代	295 100	131 44.4	86 29.2	3 1.0	17 5.8	0 0.0	42 14.2	9 3.1	7 2.4
	50代	293 100	126 43.0	82 28.0	1 0.3	19 6.5	0 0.0	41 14.0	9 3.1	15 5.1
	60代	288 100	104 36.1	80 27.8	0 0.0	43 14.9	1 0.3	32 11.1	19 6.6	9 3.1
	70代以上	287 100	96 33.4	104 36.2	0 0.0	29 10.1	1 0.3	34 11.8	15 5.2	8 2.8

Q9 ここ1カ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1800 100	67 3.7	174 9.7	1251 69.5	128 7.1	78 4.3	85 4.7	17 0.9
地域	首都圏	900 100	32 3.6	88 9.8	634 70.4	58 6.4	39 4.3	38 4.2	11 1.2
	京阪神圏	900 100	35 3.9	86 9.6	617 68.6	70 7.8	39 4.3	47 5.2	6 0.7
年代	20代	300 100	34 11.3	36 12.0	171 57.0	20 6.7	17 5.7	18 6.0	4 1.3
	30代	300 100	13 4.3	46 15.3	193 64.3	20 6.7	9 3.0	17 5.7	2 0.7
	40代	300 100	10 3.3	22 7.3	217 72.3	14 4.7	15 5.0	19 6.3	3 1.0
	50代	300 100	2 0.7	18 6.0	222 74.0	29 9.7	12 4.0	13 4.3	4 1.3
	60代	300 100	6 2.0	29 9.7	225 75.0	18 6.0	9 3.0	12 4.0	1 0.3
	70代以上	300 100	2 0.7	23 7.7	223 74.3	27 9.0	16 5.3	6 2.0	3 1.0

【2. 牛肉】 国産和牛

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1719 100	30 1.7	116 6.7	1011 58.8	157 9.1	141 8.2	97 5.6	167 9.7
地域	首都圏	847 100	12 1.4	59 7.0	505 59.6	70 8.3	66 7.8	40 4.7	95 11.2
	京阪神圏	872 100	18 2.1	57 6.5	506 58.0	87 10.0	75 8.6	57 6.5	72 8.3
年代	20代	280 100	13 4.6	28 10.0	135 48.2	31 11.1	19 6.8	21 7.5	33 11.8
	30代	284 100	6 2.1	28 9.9	160 56.3	14 4.9	20 7.0	18 6.3	38 13.4
	40代	286 100	3 1.0	13 4.5	171 59.8	20 7.0	28 9.8	25 8.7	26 9.1
	50代	290 100	3 1.0	9 3.1	178 61.4	24 8.3	28 9.7	11 3.8	37 12.8
	60代	290 100	2 0.7	15 5.2	183 63.1	30 10.3	23 7.9	16 5.5	21 7.2
	70代以上	289 100	3 1.0	23 8.0	184 63.7	38 13.1	23 8.0	6 2.1	12 4.2

【3. 牛肉】 和牛以外の国産牛肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1719 100	25 1.5	97 5.6	1025 59.6	149 8.7	129 7.5	110 6.4	184 10.7
地域	首都圏	847 100	12 1.4	39 4.6	533 62.9	67 7.9	67 7.9	47 5.5	82 9.7
	京阪神圏	872 100	13 1.5	58 6.7	492 56.4	82 9.4	62 7.1	63 7.2	102 11.7
年代	20代	280 100	13 4.6	28 10.0	141 50.4	31 11.1	21 7.5	18 6.4	28 10.0
	30代	284 100	7 2.5	18 6.3	170 59.9	15 5.3	24 8.5	18 6.3	32 11.3
	40代	286 100	3 1.0	13 4.5	185 64.7	20 7.0	20 7.0	26 9.1	19 6.6
	50代	290 100	0 0.0	6 2.1	180 62.1	27 9.3	28 9.7	13 4.5	36 12.4
	60代	290 100	1 0.3	19 6.6	175 60.3	26 9.0	18 6.2	18 6.2	33 11.4
	70代以上	289 100	1 0.3	13 4.5	174 60.2	30 10.4	18 6.2	17 5.9	36 12.5

【4. 牛肉】 和牛かどうかわからない国産牛肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1719 100	24 1.4	71 4.1	904 52.6	118 6.9	112 6.5	143 8.3	347 20.2
地域	首都圏	847 100	12 1.4	29 3.4	470 55.5	65 7.7	54 6.4	57 6.7	160 18.9
	京阪神圏	872 100	12 1.4	42 4.8	434 49.8	53 6.1	58 6.7	86 9.9	187 21.4
年代	20代	280 100	13 4.6	27 9.6	137 48.9	19 6.8	16 5.7	25 8.9	43 15.4
	30代	284 100	7 2.5	14 4.9	157 55.3	15 5.3	17 6.0	23 8.1	51 18.0
	40代	286 100	3 1.0	12 4.2	171 59.8	17 5.9	13 4.5	32 11.2	38 13.3
	50代	290 100	0 0.0	5 1.7	151 52.1	19 6.6	27 9.3	19 6.6	69 23.8
	60代	290 100	1 0.3	7 2.4	145 50.0	22 7.6	21 7.2	25 8.6	69 23.8
	70代以上	289 100	0 0.0	6 2.1	143 49.5	26 9.0	18 6.2	19 6.6	77 26.6

【5. 牛肉】 輸入牛肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1719 100	35 2.0	144 8.4	862 50.1	126 7.3	133 7.7	101 5.9	318 18.5
地域	首都圏	847 100	19 2.2	72 8.5	460 54.3	67 7.9	61 7.2	42 5.0	126 14.9
	京阪神圏	872 100	16 1.8	72 8.3	402 46.1	59 6.8	72 8.3	59 6.8	192 22.0
年代	20代	280 100	15 5.4	30 10.7	131 46.8	27 9.6	19 6.8	22 7.9	36 12.9
	30代	284 100	8 2.8	21 7.4	156 54.9	25 8.8	17 6.0	20 7.0	37 13.0
	40代	286 100	5 1.7	23 8.0	160 55.9	13 4.5	18 6.3	20 7.0	47 16.4
	50代	290 100	1 0.3	22 7.6	161 55.5	12 4.1	30 10.3	14 4.8	50 17.2
	60代	290 100	5 1.7	29 10.0	134 46.2	22 7.6	23 7.9	15 5.2	62 21.4
	70代以上	289 100	1 0.3	19 6.6	120 41.5	27 9.3	26 9.0	10 3.5	86 29.8

【6. 豚肉】 国産豚肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1776 100	47 2.6	173 9.7	1246 70.2	104 5.9	67 3.8	101 5.7	38 2.1
地域	首都圏	888 100	30 3.4	82 9.2	621 69.9	54 6.1	36 4.1	49 5.5	16 1.8
	京阪神圏	888 100	17 1.9	91 10.2	625 70.4	50 5.6	31 3.5	52 5.9	22 2.5
年代	20代	294 100	18 6.1	40 13.6	167 56.8	22 7.5	20 6.8	21 7.1	6 2.0
	30代	298 100	11 3.7	36 12.1	192 64.4	23 7.7	8 2.7	22 7.4	6 2.0
	40代	298 100	9 3.0	31 10.4	209 70.1	14 4.7	13 4.4	20 6.7	2 0.7
	50代	293 100	3 1.0	15 5.1	226 77.1	15 5.1	9 3.1	17 5.8	8 2.7
	60代	296 100	4 1.4	24 8.1	224 75.7	12 4.1	7 2.4	15 5.1	10 3.4
	70代以上	297 100	2 0.7	27 9.1	228 76.8	18 6.1	10 3.4	6 2.0	6 2.0

【7. 豚肉】 輸入豚肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1776 100	27 1.5	122 6.9	920 51.8	115 6.5	85 4.8	109 6.1	398 22.4
地域	首都圏	888 100	16 1.8	62 7.0	497 56.0	56 6.3	40 4.5	54 6.1	163 18.4
	京阪神圏	888 100	11 1.2	60 6.8	423 47.6	59 6.6	45 5.1	55 6.2	235 26.5
年代	20代	294 100	15 5.1	31 10.5	149 50.7	31 10.5	15 5.1	17 5.8	36 12.2
	30代	298 100	6 2.0	25 8.4	165 55.4	23 7.7	11 3.7	20 6.7	48 16.1
	40代	298 100	3 1.0	22 7.4	174 58.4	10 3.4	17 5.7	21 7.0	51 17.1
	50代	293 100	1 0.3	11 3.8	178 60.8	11 3.8	14 4.8	17 5.8	61 20.8
	60代	296 100	2 0.7	21 7.1	140 47.3	18 6.1	13 4.4	20 6.8	82 27.7
	70代以上	297 100	0 0.0	12 4.0	114 38.4	22 7.4	15 5.1	14 4.7	120 40.4

【8. 鶏肉】 国産鶏肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1757 100	57 3.2	182 10.4	1236 70.3	91 5.2	58 3.3	101 5.7	32 1.8
地域	首都圏	879 100	31 3.5	86 9.8	633 72.0	40 4.6	25 2.8	53 6.0	11 1.3
	京阪神圏	878 100	26 3.0	96 10.9	603 68.7	51 5.8	33 3.8	48 5.5	21 2.4
年代	20代	295 100	21 7.1	50 16.9	161 54.6	20 6.8	15 5.1	21 7.1	7 2.4
	30代	299 100	17 5.7	39 13.0	190 63.5	23 7.7	6 2.0	19 6.4	5 1.7
	40代	295 100	7 2.4	22 7.5	218 73.9	10 3.4	13 4.4	21 7.1	4 1.4
	50代	293 100	6 2.0	18 6.1	227 77.5	13 4.4	6 2.0	17 5.8	6 2.0
	60代	288 100	3 1.0	26 9.0	221 76.7	8 2.8	7 2.4	18 6.3	5 1.7
	70代以上	287 100	3 1.0	27 9.4	219 76.3	17 5.9	11 3.8	5 1.7	5 1.7

【9. 鶏肉】 輸入鶏肉

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1757 100	30 1.7	100 5.7	843 48.0	109 6.2	90 5.1	102 5.8	483 27.5
地域	首都圏	879 100	16 1.8	52 5.9	468 53.2	48 5.5	41 4.7	51 5.8	203 23.1
	京阪神圏	878 100	14 1.6	48 5.5	375 42.7	61 6.9	49 5.6	51 5.8	280 31.9
年代	20代	295 100	17 5.8	39 13.2	142 48.1	24 8.1	19 6.4	18 6.1	36 12.2
	30代	299 100	7 2.3	20 6.7	151 50.5	20 6.7	13 4.3	18 6.0	70 23.4
	40代	295 100	4 1.4	15 5.1	168 56.9	13 4.4	11 3.7	20 6.8	64 21.7
	50代	293 100	0 0.0	8 2.7	160 54.6	18 6.1	12 4.1	14 4.8	81 27.6
	60代	288 100	2 0.7	12 4.2	116 40.3	18 6.3	18 6.3	20 6.9	102 35.4
	70代以上	287 100	0 0.0	6 2.1	106 36.9	16 5.6	17 5.9	12 4.2	130 45.3

Q10 ここ1カ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えたもの】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	267 14.8	378 21.0	417 23.2	306 17.0	277 15.4	341 18.9	309 17.2	181 10.1
地域	首都圏		900 100	123 13.7	154 17.1	210 23.3	155 17.2	131 14.6	160 17.8	144 16.0	81 9.0
	京阪神圏		900 100	144 16.0	224 24.9	207 23.0	151 16.8	146 16.2	181 20.1	165 18.3	100 11.1
年代	20代		300 100	89 29.7	75 25.0	83 27.7	54 18.0	61 20.3	87 29.0	64 21.3	61 20.3
	30代		300 100	65 21.7	69 23.0	68 22.7	52 17.3	46 15.3	69 23.0	62 20.7	41 13.7
	40代		300 100	49 16.3	58 19.3	58 19.3	27 9.0	36 12.0	48 16.0	44 14.7	21 7.0
	50代		300 100	24 8.0	48 16.0	55 18.3	41 13.7	32 10.7	31 10.3	33 11.0	20 6.7
	60代		300 100	24 8.0	57 19.0	64 21.3	47 15.7	36 12.0	45 15.0	40 13.3	19 6.3
	70代以上		300 100	16 5.3	71 23.7	89 29.7	85 28.3	66 22.0	61 20.3	66 22.0	19 6.3

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	286 15.9	250 13.9	191 10.6	168 9.3	104 5.8	218 12.1	800 44.4
地域	首都圏		900 100	136 15.1	110 12.2	78 8.7	75 8.3	38 4.2	99 11.0	435 48.3
	京阪神圏		900 100	150 16.7	140 15.6	113 12.6	93 10.3	66 7.3	119 13.2	365 40.6
年代	20代		300 100	65 21.7	49 16.3	46 15.3	40 13.3	33 11.0	47 15.7	96 32.0
	30代		300 100	46 15.3	59 19.7	38 12.7	26 8.7	28 9.3	57 19.0	122 40.7
	40代		300 100	33 11.0	28 9.3	37 12.3	24 8.0	16 5.3	40 13.3	151 50.3
	50代		300 100	35 11.7	29 9.7	28 9.3	20 6.7	8 2.7	19 6.3	155 51.7
	60代		300 100	49 16.3	36 12.0	18 6.0	25 8.3	9 3.0	23 7.7	153 51.0
	70代以上		300 100	58 19.3	49 16.3	24 8.0	33 11.0	10 3.3	32 10.7	123 41.0

【2. 減ったもの】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	296 16.4	223 12.4	119 6.6	201 11.2	197 10.9	114 6.3	167 9.3	209 11.6
地域	首都圏		900 100	127 14.1	118 13.1	50 5.6	90 10.0	92 10.2	44 4.9	75 8.3	94 10.4
	京阪神圏		900 100	169 18.8	105 11.7	69 7.7	111 12.3	105 11.7	70 7.8	92 10.2	115 12.8
年代	20代		300 100	30 10.0	45 15.0	32 10.7	50 16.7	39 13.0	27 9.0	37 12.3	27 9.0
	30代		300 100	34 11.3	48 16.0	23 7.7	32 10.7	38 12.7	16 5.3	21 7.0	29 9.7
	40代		300 100	35 11.7	36 12.0	15 5.0	45 15.0	24 8.0	21 7.0	21 7.0	31 10.3
	50代		300 100	46 15.3	40 13.3	17 5.7	25 8.3	35 11.7	20 6.7	28 9.3	29 9.7
	60代		300 100	67 22.3	18 6.0	18 6.0	27 9.0	33 11.0	11 3.7	34 11.3	39 13.0
	70代以上		300 100	84 28.0	36 12.0	14 4.7	22 7.3	28 9.3	19 6.3	26 8.7	54 18.0

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	139 7.7	232 12.9	439 24.4	327 18.2	429 23.8	324 18.0	782 43.4
地域	首都圏		900 100	52 5.8	114 12.7	200 22.2	148 16.4	203 22.6	154 17.1	424 47.1
	京阪神圏		900 100	87 9.7	118 13.1	239 26.6	179 19.9	226 25.1	170 18.9	358 39.8
年代	20代		300 100	32 10.7	55 18.3	73 24.3	58 19.3	71 23.7	51 17.0	111 37.0
	30代		300 100	26 8.7	35 11.7	66 22.0	66 22.0	65 21.7	44 14.7	130 43.3
	40代		300 100	22 7.3	32 10.7	56 18.7	49 16.3	67 22.3	34 11.3	147 49.0
	50代		300 100	17 5.7	32 10.7	59 19.7	46 15.3	59 19.7	49 16.3	146 48.7
	60代		300 100	20 6.7	37 12.3	86 28.7	46 15.3	86 28.7	68 22.7	127 42.3
	70代以上		300 100	22 7.3	41 13.7	99 33.0	62 20.7	81 27.0	78 26.0	121 40.3

Q11 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	341 18.9	588 32.7	393 21.8	378 21.0	50 2.8	16 0.9	34 1.9
地域	首都圏		900 100	153 17.0	260 28.9	215 23.9	218 24.2	24 2.7	11 1.2	19 2.1
	京阪神圏		900 100	188 20.9	328 36.4	178 19.8	160 17.8	26 2.9	5 0.6	15 1.7
年代	20代		300 100	65 21.7	83 27.7	65 21.7	67 22.3	12 4.0	2 0.7	6 2.0
	30代		300 100	60 20.0	81 27.0	75 25.0	63 21.0	10 3.3	5 1.7	6 2.0
	40代		300 100	52 17.3	81 27.0	84 28.0	66 22.0	9 3.0	4 1.3	4 1.3
	50代		300 100	63 21.0	99 33.0	46 15.3	76 25.3	7 2.3	2 0.7	7 2.3
	60代		300 100	52 17.3	113 37.7	60 20.0	62 20.7	6 2.0	3 1.0	4 1.3
	70代以上		300 100	49 16.3	131 43.7	63 21.0	44 14.7	6 2.0	0 0.0	7 2.3

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	150 8.3	443 24.6	477 26.5	538 29.9	92 5.1	41 2.3	59 3.3
地域	首都圏		900 100	78 8.7	205 22.8	245 27.2	292 32.4	38 4.2	18 2.0	24 2.7
	京阪神圏		900 100	72 8.0	238 26.4	232 25.8	246 27.3	54 6.0	23 2.6	35 3.9
年代	20代		300 100	44 14.7	68 22.7	82 27.3	79 26.3	14 4.7	4 1.3	9 3.0
	30代		300 100	30 10.0	75 25.0	78 26.0	81 27.0	15 5.0	7 2.3	14 4.7
	40代		300 100	28 9.3	74 24.7	74 24.7	98 32.7	15 5.0	3 1.0	8 2.7
	50代		300 100	25 8.3	76 25.3	70 23.3	96 32.0	16 5.3	9 3.0	8 2.7
	60代		300 100	12 4.0	76 25.3	86 28.7	96 32.0	19 6.3	5 1.7	6 2.0
	70代以上		300 100	11 3.7	74 24.7	87 29.0	88 29.3	13 4.3	13 4.3	14 4.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	80 4.4	213 11.8	356 19.8	608 33.8	240 13.3	118 6.6	185 10.3
地域	首都圏	900 100	42 4.7	119 13.2	196 21.8	318 35.3	107 11.9	45 5.0	73 8.1
	京阪神圏	900 100	38 4.2	94 10.4	160 17.8	290 32.2	133 14.8	73 8.1	112 12.4
年代	20代	300 100	25 8.3	43 14.3	73 24.3	96 32.0	31 10.3	9 3.0	23 7.7
	30代	300 100	21 7.0	37 12.3	60 20.0	111 37.0	34 11.3	12 4.0	25 8.3
	40代	300 100	13 4.3	44 14.7	63 21.0	99 33.0	41 13.7	14 4.7	26 8.7
	50代	300 100	13 4.3	35 11.7	59 19.7	108 36.0	37 12.3	23 7.7	25 8.3
	60代	300 100	4 1.3	37 12.3	53 17.7	96 32.0	47 15.7	28 9.3	35 11.7
	70代以上	300 100	4 1.3	17 5.7	48 16.0	98 32.7	50 16.7	32 10.7	51 17.0

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	95 5.3	232 12.9	420 23.3	629 34.9	195 10.8	92 5.1	137 7.6
地域	首都圏	900 100	51 5.7	127 14.1	224 24.9	328 36.4	84 9.3	35 3.9	51 5.7
	京阪神圏	900 100	44 4.9	105 11.7	196 21.8	301 33.4	111 12.3	57 6.3	86 9.6
年代	20代	300 100	30 10.0	41 13.7	76 25.3	98 32.7	22 7.3	13 4.3	20 6.7
	30代	300 100	24 8.0	37 12.3	74 24.7	113 37.7	20 6.7	12 4.0	20 6.7
	40代	300 100	17 5.7	48 16.0	73 24.3	98 32.7	37 12.3	10 3.3	17 5.7
	50代	300 100	11 3.7	38 12.7	62 20.7	115 38.3	36 12.0	19 6.3	19 6.3
	60代	300 100	11 3.7	43 14.3	72 24.0	100 33.3	39 13.0	13 4.3	22 7.3
	70代以上	300 100	2 0.7	25 8.3	63 21.0	105 35.0	41 13.7	25 8.3	39 13.0

Q12 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	22 1.2	26 1.4	134 7.4	292 16.2	250 13.9	321 17.8	507 28.2	248 13.8
地域	首都圏	900 100	10 1.1	13 1.4	57 6.3	112 12.4	112 12.4	164 18.2	284 31.6	148 16.4
	京阪神圏	900 100	12 1.3	13 1.4	77 8.6	180 20.0	138 15.3	157 17.4	223 24.8	100 11.1
年代	20代	300 100	12 4.0	14 4.7	25 8.3	41 13.7	37 12.3	32 10.7	85 28.3	54 18.0
	30代	300 100	6 2.0	7 2.3	22 7.3	33 11.0	31 10.3	49 16.3	96 32.0	56 18.7
	40代	300 100	0 0.0	3 1.0	21 7.0	39 13.0	31 10.3	60 20.0	106 35.3	40 13.3
	50代	300 100	2 0.7	0 0.0	16 5.3	43 14.3	42 14.0	60 20.0	94 31.3	43 14.3
	60代	300 100	1 0.3	0 0.0	21 7.0	66 22.0	47 15.7	54 18.0	83 27.7	28 9.3
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	29 9.7	70 23.3	62 20.7	66 22.0	43 14.3	27 9.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	22 1.2	22 1.2	88 4.9	246 13.7	308 17.1	336 18.7	498 27.7	280 15.6
地域	首都圏	900 100	9 1.0	10 1.1	40 4.4	108 12.0	140 15.6	156 17.3	285 31.7	152 16.9
	京阪神圏	900 100	13 1.4	12 1.3	48 5.3	138 15.3	168 18.7	180 20.0	213 23.7	128 14.2
年代	20代	300 100	13 4.3	11 3.7	30 10.0	44 14.7	44 14.7	41 13.7	72 24.0	45 15.0
	30代	300 100	7 2.3	5 1.7	14 4.7	34 11.3	47 15.7	45 15.0	93 31.0	55 18.3
	40代	300 100	0 0.0	3 1.0	13 4.3	35 11.7	42 14.0	75 25.0	91 30.3	41 13.7
	50代	300 100	1 0.3	2 0.7	7 2.3	31 10.3	51 17.0	64 21.3	101 33.7	43 14.3
	60代	300 100	1 0.3	0 0.0	11 3.7	52 17.3	59 19.7	55 18.3	79 26.3	43 14.3
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	13 4.3	50 16.7	65 21.7	56 18.7	62 20.7	53 17.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	21 1.2	22 1.2	60 3.3	163 9.1	254 14.1	265 14.7	449 24.9	566 31.4
地域	首都圏	900 100	10 1.1	7 0.8	34 3.8	81 9.0	132 14.7	132 14.7	250 27.8	254 28.2
	京阪神圏	900 100	11 1.2	15 1.7	26 2.9	82 9.1	122 13.6	133 14.8	199 22.1	312 34.7
年代	20代	300 100	12 4.0	13 4.3	22 7.3	31 10.3	52 17.3	34 11.3	68 22.7	68 22.7
	30代	300 100	6 2.0	5 1.7	9 3.0	31 10.3	46 15.3	42 14.0	80 26.7	81 27.0
	40代	300 100	1 0.3	1 0.3	7 2.3	32 10.7	37 12.3	58 19.3	78 26.0	86 28.7
	50代	300 100	1 0.3	1 0.3	7 2.3	28 9.3	43 14.3	46 15.3	88 29.3	86 28.7
	60代	300 100	0 0.0	2 0.7	8 2.7	22 7.3	36 12.0	51 17.0	64 21.3	117 39.0
	70代以上	300 100	1 0.3	0 0.0	7 2.3	19 6.3	40 13.3	34 11.3	71 23.7	128 42.7

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	17 0.9	24 1.3	61 3.4	169 9.4	263 14.6	315 17.5	466 25.9	485 26.9
地域	首都圏	900 100	10 1.1	6 0.7	34 3.8	91 10.1	129 14.3	168 18.7	249 27.7	213 23.7
	京阪神圏	900 100	7 0.8	18 2.0	27 3.0	78 8.7	134 14.9	147 16.3	217 24.1	272 30.2
年代	20代	300 100	9 3.0	16 5.3	21 7.0	32 10.7	45 15.0	45 15.0	70 23.3	62 20.7
	30代	300 100	7 2.3	5 1.7	10 3.3	33 11.0	46 15.3	57 19.0	71 23.7	71 23.7
	40代	300 100	0 0.0	0 0.0	11 3.7	30 10.0	34 11.3	66 22.0	84 28.0	75 25.0
	50代	300 100	1 0.3	1 0.3	3 1.0	22 7.3	46 15.3	48 16.0	98 32.7	81 27.0
	60代	300 100	0 0.0	2 0.7	8 2.7	26 8.7	49 16.3	55 18.3	75 25.0	85 28.3
	70代以上	300 100	0 0.0	0 0.0	8 2.7	26 8.7	43 14.3	44 14.7	68 22.7	111 37.0

Q13 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの価格で購入していますか。あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、「普段買っている価格（100gあたりの税込価格）」をお知らせください。

※購入価格を覚えていない牛肉については、0（ゼロ）を入力してください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	～50円	～100円	～150円	～200円	～250円	～300円	～350円	～400円
全 体			1552	1	32	34	81	36	137	30	94
			100	0.1	2.1	2.2	5.2	2.3	8.8	1.9	6.1
地域	首都圏		752	1	15	23	41	18	64	13	39
			100	0.1	2.0	3.1	5.5	2.4	8.5	1.7	5.2
	京阪神圏		800	0	17	11	40	18	73	17	55
			100	0.0	2.1	1.4	5.0	2.3	9.1	2.1	6.9
年代	20代		246	0	14	8	13	5	19	0	16
			100	0.0	5.7	3.3	5.3	2.0	7.7	0.0	6.5
	30代		244	1	4	9	15	9	27	3	13
			100	0.4	1.6	3.7	6.1	3.7	11.1	1.2	5.3
	40代		260	0	6	5	24	9	32	5	23
			100	0.0	2.3	1.9	9.2	3.5	12.3	1.9	8.8
	50代		257	0	3	8	8	7	22	6	19
			100	0.0	1.2	3.1	3.1	2.7	8.6	2.3	7.4
60代		272	0	0	2	15	4	18	12	9	
		100	0.0	0.0	0.7	5.5	1.5	6.6	4.4	3.3	
70代以上		273	0	5	2	6	2	19	4	14	
		100	0.0	1.8	0.7	2.2	0.7	7.0	1.5	5.1	

		度数 横%	全 体	～450円	～500円	～550円	～600円	～650円	～700円	～750円	～800円
全 体			1552	19	200	12	91	4	53	5	90
			100	1.2	12.9	0.8	5.9	0.3	3.4	0.3	5.8
地域	首都圏		752	9	90	6	33	2	22	1	32
			100	1.2	12.0	0.8	4.4	0.3	2.9	0.1	4.3
	京阪神圏		800	10	110	6	58	2	31	4	58
			100	1.3	13.8	0.8	7.3	0.3	3.9	0.5	7.3
年代	20代		246	1	28	0	6	0	9	0	7
			100	0.4	11.4	0.0	2.4	0.0	3.7	0.0	2.8
	30代		244	2	30	0	9	0	6	0	10
			100	0.8	12.3	0.0	3.7	0.0	2.5	0.0	4.1
	40代		260	2	28	2	4	1	5	0	7
			100	0.8	10.8	0.8	1.5	0.4	1.9	0.0	2.7
	50代		257	2	40	3	19	0	6	0	14
			100	0.8	15.6	1.2	7.4	0.0	2.3	0.0	5.4
60代		272	2	35	1	34	2	18	1	24	
		100	0.7	12.9	0.4	12.5	0.7	6.6	0.4	8.8	
70代以上		273	10	39	6	19	1	9	4	28	
		100	3.7	14.3	2.2	7.0	0.4	3.3	1.5	10.3	

		度数 横%	全 体	～850円	～900円	～950円	～1000円	それ以上	購入価格を 覚えていない	平均購入価格 (100gあたりの 税込価格) <円>
全 体			1552	4	24	0	88	53	464	-
			100	0.3	1.5	0.0	5.7	3.4	29.9	560.9
地域	首都圏		752	1	10	0	49	28	255	-
			100	0.1	1.3	0.0	6.5	3.7	33.9	556.4
	京阪神圏		800	3	14	0	39	25	209	-
			100	0.4	1.8	0.0	4.9	3.1	26.1	564.7
年代	20代		246	1	2	0	21	17	79	-
			100	0.4	0.8	0.0	8.5	6.9	32.1	634.4
	30代		244	1	3	0	10	2	90	-
			100	0.4	1.2	0.0	4.1	0.8	36.9	464.3
	40代		260	0	3	0	7	7	90	-
			100	0.0	1.2	0.0	2.7	2.7	34.6	463.2
	50代		257	0	4	0	16	4	76	-
			100	0.0	1.6	0.0	6.2	1.6	29.6	548.0
60代		272	1	8	0	12	9	65	-	
		100	0.4	2.9	0.0	4.4	3.3	23.9	590.7	
70代以上		273	1	4	0	22	14	64	-	
		100	0.4	1.5	0.0	8.1	5.1	23.4	634.5	

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	～50円	～100円	～150円	～200円	～250円	～300円	～350円	～400円
全 体			1520	2	50	80	145	58	205	39	126
			100	0.1	3.3	5.3	9.5	3.8	13.5	2.6	8.3
地域	首都圏		748	1	24	46	69	25	93	17	54
			100	0.1	3.2	6.1	9.2	3.3	12.4	2.3	7.2
	京阪神圏		772	1	26	34	76	33	112	22	72
			100	0.1	3.4	4.4	9.8	4.3	14.5	2.8	9.3
年代	20代		255	1	18	18	24	6	27	3	18
			100	0.4	7.1	7.1	9.4	2.4	10.6	1.2	7.1
	30代		245	1	6	17	29	11	32	7	11
			100	0.4	2.4	6.9	11.8	4.5	13.1	2.9	4.5
	40代		259	0	10	18	43	9	39	4	13
			100	0.0	3.9	6.9	16.6	3.5	15.1	1.5	5.0
	50代		257	0	7	13	23	9	39	6	25
			100	0.0	2.7	5.1	8.9	3.5	15.2	2.3	9.7
60代		257	0	3	7	16	11	36	8	28	
		100	0.0	1.2	2.7	6.2	4.3	14.0	3.1	10.9	
70代以上		247	0	6	7	10	12	32	11	31	
		100	0.0	2.4	2.8	4.0	4.9	13.0	4.5	12.6	

		度数 横%	全 体	～450円	～500円	～550円	～600円	～650円	～700円	～750円	～800円
全 体			1520	25	142	3	56	7	31	4	40
			100	1.6	9.3	0.2	3.7	0.5	2.0	0.3	2.6
地域	首都圏		748	11	64	1	26	2	15	1	18
			100	1.5	8.6	0.1	3.5	0.3	2.0	0.1	2.4
	京阪神圏		772	14	78	2	30	5	16	3	22
			100	1.8	10.1	0.3	3.9	0.6	2.1	0.4	2.8
年代	20代		255	2	17	2	3	1	8	3	8
			100	0.8	6.7	0.8	1.2	0.4	3.1	1.2	3.1
	30代		245	1	13	0	7	1	2	0	5
			100	0.4	5.3	0.0	2.9	0.4	0.8	0.0	2.0
	40代		259	0	10	0	6	3	3	0	7
			100	0.0	3.9	0.0	2.3	1.2	1.2	0.0	2.7
	50代		257	8	29	0	11	2	2	0	2
			100	3.1	11.3	0.0	4.3	0.8	0.8	0.0	0.8
60代		257	7	41	1	14	0	8	0	8	
		100	2.7	16.0	0.4	5.4	0.0	3.1	0.0	3.1	
70代以上		247	7	32	0	15	0	8	1	10	
		100	2.8	13.0	0.0	6.1	0.0	3.2	0.4	4.0	

		度数 横%	全 体	～850円	～900円	～950円	～1000円	それ以上	購入価格を 覚えていない	平均購入価格 (100gあたりの 税込価格) <円>
全 体			1520	0	6	0	22	18	461	-
			100	0.0	0.4	0.0	1.4	1.2	30.3	400.9
地域	首都圏		748	0	5	0	12	7	257	-
			100	0.0	0.7	0.0	1.6	0.9	34.4	394.6
	京阪神圏		772	0	1	0	10	11	204	-
			100	0.0	0.1	0.0	1.3	1.4	26.4	406.4
年代	20代		255	0	1	0	15	9	71	-
			100	0.0	0.4	0.0	5.9	3.5	27.8	478.7
	30代		245	0	1	0	0	2	99	-
			100	0.0	0.4	0.0	0.0	0.8	40.4	342.7
	40代		259	0	0	0	2	2	90	-
			100	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	34.7	330.0
	50代		257	0	1	0	2	4	74	-
			100	0.0	0.4	0.0	0.8	1.6	28.8	399.4
60代		257	0	2	0	0	1	66	-	
		100	0.0	0.8	0.0	0.0	0.4	25.7	414.5	
70代以上		247	0	1	0	3	0	61	-	
		100	0.0	0.4	0.0	1.2	0.0	24.7	421.4	

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	～50円	～100円	～150円	～200円	～250円	～300円	～350円	～400円
全 体			1234 100	3 0.2	97 7.9	127 10.3	221 17.9	57 4.6	141 11.4	25 2.0	62 5.0
地域	首都圏		646 100	1 0.2	54 8.4	78 12.1	109 16.9	26 4.0	66 10.2	14 2.2	25 3.9
	京阪神圏		588 100	2 0.3	43 7.3	49 8.3	112 19.0	31 5.3	75 12.8	11 1.9	37 6.3
年代	20代		232 100	2 0.9	25 10.8	20 8.6	29 12.5	6 2.6	26 11.2	0 0.0	8 3.4
	30代		219 100	1 0.5	21 9.6	28 12.8	45 20.5	7 3.2	16 7.3	2 0.9	8 3.7
	40代		214 100	0 0.0	23 10.7	28 13.1	45 21.0	12 5.6	12 5.6	2 0.9	5 2.3
	50代		214 100	0 0.0	14 6.5	20 9.3	42 19.6	14 6.5	28 13.1	5 2.3	14 6.5
	60代		183 100	0 0.0	6 3.3	19 10.4	33 18.0	11 6.0	32 17.5	6 3.3	15 8.2
	70代以上		172 100	0 0.0	8 4.7	12 7.0	27 15.7	7 4.1	27 15.7	10 5.8	12 7.0

		度数 横%	全 体	～450円	～500円	～550円	～600円	～650円	～700円	～750円	～800円
全 体			1234 100	6 0.5	46 3.7	1 0.1	16 1.3	1 0.1	6 0.5	1 0.1	6 0.5
地域	首都圏		646 100	3 0.5	25 3.9	0 0.0	8 1.2	1 0.2	3 0.5	1 0.2	1 0.2
	京阪神圏		588 100	3 0.5	21 3.6	1 0.2	8 1.4	0 0.0	3 0.5	0 0.0	5 0.9
年代	20代		232 100	1 0.4	17 7.3	0 0.0	4 1.7	0 0.0	3 1.3	1 0.4	3 1.3
	30代		219 100	0 0.0	6 2.7	0 0.0	4 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5
	40代		214 100	1 0.5	4 1.9	1 0.5	0 0.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	2 0.9
	50代		214 100	2 0.9	7 3.3	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代		183 100	0 0.0	2 1.1	0 0.0	2 1.1	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0
	70代以上		172 100	2 1.2	10 5.8	0 0.0	5 2.9	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0

		度数 横%	全 体	～850円	～900円	～950円	～1000円	それ以上	購入価格を 覚えていない	平均購入価格 (100gあたりの 税込価格) <円>
全 体			1234 100	0 0.0	2 0.2	0 0.0	10 0.8	10 0.8	396 32.1	- 281.4
地域	首都圏		646 100	0 0.0	1 0.2	0 0.0	8 1.2	4 0.6	218 33.7	- 273.9
	京阪神圏		588 100	0 0.0	1 0.2	0 0.0	2 0.3	6 1.0	178 30.3	- 289.2
年代	20代		232 100	0 0.0	1 0.4	0 0.0	8 3.4	7 3.0	71 30.6	- 382.4
	30代		219 100	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	2 0.9	77 35.2	- 251.5
	40代		214 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	76 35.5	- 230.9
	50代		214 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	66 30.8	- 252.0
	60代		183 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	56 30.6	- 260.1
	70代以上		172 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0	50 29.1	- 297.7

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	～50円	～100円	～150円	～200円	～250円	～300円	～350円	～400円
全 体			1315 100	2 0.2	102 7.8	142 10.8	215 16.3	75 5.7	150 11.4	29 2.2	60 4.6
地域	首都圏		687 100	1 0.1	59 8.6	85 12.4	105 15.3	38 5.5	66 9.6	11 1.6	23 3.3
	京阪神圏		628 100	1 0.2	43 6.8	57 9.1	110 17.5	37 5.9	84 13.4	18 2.9	37 5.9
年代	20代		238 100	1 0.4	24 10.1	22 9.2	27 11.3	8 3.4	25 10.5	0 0.0	9 3.8
	30代		229 100	0 0.0	24 10.5	31 13.5	38 16.6	11 4.8	18 7.9	2 0.9	6 2.6
	40代		225 100	1 0.4	23 10.2	34 15.1	40 17.8	11 4.9	14 6.2	5 2.2	4 1.8
	50代		219 100	0 0.0	16 7.3	22 10.0	42 19.2	14 6.4	28 12.8	4 1.8	11 5.0
	60代		215 100	0 0.0	6 2.8	20 9.3	40 18.6	16 7.4	33 15.3	6 2.8	21 9.8
	70代以上		189 100	0 0.0	9 4.8	13 6.9	28 14.8	15 7.9	32 16.9	12 6.3	9 4.8

		度数 横%	全 体	～450円	～500円	～550円	～600円	～650円	～700円	～750円	～800円
全 体			1315 100	9 0.7	54 4.1	2 0.2	15 1.1	0 0.0	7 0.5	1 0.1	8 0.6
地域	首都圏		687 100	7 1.0	26 3.8	0 0.0	6 0.9	0 0.0	5 0.7	1 0.1	3 0.4
	京阪神圏		628 100	2 0.3	28 4.5	2 0.3	9 1.4	0 0.0	2 0.3	0 0.0	5 0.8
年代	20代		238 100	3 1.3	14 5.9	0 0.0	4 1.7	0 0.0	6 2.5	1 0.4	4 1.7
	30代		229 100	0 0.0	9 3.9	2 0.9	3 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40代		225 100	0 0.0	6 2.7	0 0.0	2 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4
	50代		219 100	3 1.4	8 3.7	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5
	60代		215 100	1 0.5	6 2.8	0 0.0	3 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5
	70代以上		189 100	2 1.1	11 5.8	0 0.0	2 1.1	0 0.0	1 0.5	0 0.0	1 0.5

		度数 横%	全 体	～850円	～900円	～950円	～1000円	それ以上	購入価格を 覚えていない	平均購入価格 (100gあたりの 税込価格) <円>
全 体			1315 100	0 0.0	3 0.2	0 0.0	10 0.8	10 0.8	421 32.0	- 282.1
地域	首都圏		687 100	0 0.0	1 0.1	0 0.0	7 1.0	4 0.6	239 34.8	- 270.0
	京阪神圏		628 100	0 0.0	2 0.3	0 0.0	3 0.5	6 1.0	182 29.0	- 294.2
年代	20代		238 100	0 0.0	2 0.8	0 0.0	7 2.9	8 3.4	73 30.7	- 397.8
	30代		229 100	0 0.0	1 0.4	0 0.0	1 0.4	1 0.4	82 35.8	- 247.1
	40代		225 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	83 36.9	- 224.3
	50代		219 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	68 31.1	- 251.2
	60代		215 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	62 28.8	- 269.9
	70代以上		189 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	53 28.0	- 287.8

Q14 普段買い物をしているスーパー・生協・食肉専門店などで、昨年の今頃と比べ、下記の各牛肉の販売スペース（売り場面積）に変化がありますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	販売スペースが 増えた	販売スペースが、 やや増えた	変わらない	販売スペースが、 やや減った	販売スペースが、 減った	わからない
全 体			1800 100	32 1.8	76 4.2	1061 58.9	89 4.9	32 1.8	510 28.3
地域	首都圏		900 100	17 1.9	34 3.8	514 57.1	49 5.4	16 1.8	270 30.0
	京阪神圏		900 100	15 1.7	42 4.7	547 60.8	40 4.4	16 1.8	240 26.7
年代	20代		300 100	16 5.3	30 10.0	144 48.0	17 5.7	2 0.7	91 30.3
	30代		300 100	7 2.3	14 4.7	179 59.7	16 5.3	8 2.7	76 25.3
	40代		300 100	4 1.3	9 3.0	185 61.7	10 3.3	4 1.3	88 29.3
	50代		300 100	1 0.3	8 2.7	177 59.0	15 5.0	6 2.0	93 31.0
	60代		300 100	1 0.3	4 1.3	193 64.3	12 4.0	3 1.0	87 29.0
	70代以上		300 100	3 1.0	11 3.7	183 61.0	19 6.3	9 3.0	75 25.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない
全 体			1800 100	33 1.8	80 4.4	1049 58.3	69 3.8	29 1.6	540 30.0
地域	首都圏		900 100	15 1.7	35 3.9	512 56.9	41 4.6	13 1.4	284 31.6
	京阪神圏		900 100	18 2.0	45 5.0	537 59.7	28 3.1	16 1.8	256 28.4
年代	20代		300 100	20 6.7	21 7.0	150 50.0	12 4.0	7 2.3	90 30.0
	30代		300 100	9 3.0	14 4.7	178 59.3	9 3.0	8 2.7	82 27.3
	40代		300 100	2 0.7	12 4.0	183 61.0	9 3.0	3 1.0	91 30.3
	50代		300 100	1 0.3	8 2.7	177 59.0	14 4.7	4 1.3	96 32.0
	60代		300 100	0 0.0	9 3.0	188 62.7	7 2.3	2 0.7	94 31.3
	70代以上		300 100	1 0.3	16 5.3	173 57.7	18 6.0	5 1.7	87 29.0

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない
全 体			1800 100	46 2.6	175 9.7	917 50.9	72 4.0	28 1.6	562 31.2
地域	首都圏		900 100	15 1.7	83 9.2	479 53.2	28 3.1	13 1.4	282 31.3
	京阪神圏		900 100	31 3.4	92 10.2	438 48.7	44 4.9	15 1.7	280 31.1
年代	20代		300 100	18 6.0	29 9.7	142 47.3	14 4.7	6 2.0	91 30.3
	30代		300 100	9 3.0	30 10.0	160 53.3	11 3.7	5 1.7	85 28.3
	40代		300 100	3 1.0	22 7.3	169 56.3	8 2.7	7 2.3	91 30.3
	50代		300 100	4 1.3	25 8.3	159 53.0	10 3.3	2 0.7	100 33.3
	60代		300 100	5 1.7	28 9.3	148 49.3	13 4.3	3 1.0	103 34.3
	70代以上		300 100	7 2.3	41 13.7	139 46.3	16 5.3	5 1.7	92 30.7

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない
全 体			1800 100	42 2.3	159 8.8	923 51.3	89 4.9	30 1.7	557 30.9
地域	首都圏		900 100	18 2.0	69 7.7	486 54.0	38 4.2	17 1.9	272 30.2
	京阪神圏		900 100	24 2.7	90 10.0	437 48.6	51 5.7	13 1.4	285 31.7
年代	20代		300 100	18 6.0	27 9.0	141 47.0	17 5.7	7 2.3	90 30.0
	30代		300 100	9 3.0	23 7.7	166 55.3	11 3.7	8 2.7	83 27.7
	40代		300 100	4 1.3	15 5.0	172 57.3	13 4.3	3 1.0	93 31.0
	50代		300 100	3 1.0	22 7.3	154 51.3	14 4.7	4 1.3	103 34.3
	60代		300 100	4 1.3	32 10.7	149 49.7	12 4.0	5 1.7	98 32.7
	70代以上		300 100	4 1.3	40 13.3	141 47.0	22 7.3	3 1.0	90 30.0

Q16 下記の牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

	度数横%		食感 ／柔らかい	部位・栄養素 ／霜降り	／あぶら身が多い	／赤身が多い	／栄養価が高い	品質 ／新鮮	／安心	／安全
	全体									
(1) 国産和牛	1800 100	764 42.4	699 38.8	219 12.2	172 9.6	307 17.1	456 25.3	734 40.8	725 40.3	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	276 15.3	137 7.6	170 9.4	172 9.6	173 9.6	227 12.6	439 24.4	427 23.7	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	53 2.9	19 1.1	185 10.3	330 18.3	122 6.8	36 2.0	64 3.6	70 3.9	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	59 3.3	18 1.0	116 6.4	348 19.3	116 6.4	37 2.1	99 5.5	101 5.6	

	度数横%		品質 ／衛生的	／高品質	／産地や生産者 がわかる	／飼育環境がよ い	価格 ／高級品	／価格が手頃	／特売	味・風味 ／あぶらが美味 しい
	全体									
(1) 国産和牛	1800 100	423 23.5	691 38.4	540 30.0	405 22.5	910 50.6	36 2.0	62 3.4	426 23.7	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	238 13.2	230 12.8	272 15.1	178 9.9	171 9.5	294 16.3	220 12.2	155 8.6	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	48 2.7	44 2.4	69 3.8	36 2.0	29 1.6	801 44.5	457 25.4	55 3.1	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	53 2.9	46 2.6	72 4.0	71 3.9	27 1.5	805 44.7	441 24.5	48 2.7	

	度数横%		味・風味 ／赤身が美味し い	／おいしい	／肉々しい	／旨味がある	／香りがよい	健康・美容 ／スタミナ源	／筋肉や骨をつ くる	／健康によい
	全体									
(1) 国産和牛	1800 100	337 18.7	727 40.4	226 12.6	526 29.2	303 16.8	389 21.6	350 19.4	294 16.3	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	200 11.1	418 23.2	132 7.3	224 12.4	113 6.3	329 18.3	299 16.6	196 10.9	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	146 8.1	199 11.1	302 16.8	74 4.1	36 2.0	305 16.9	274 15.2	132 7.3	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	184 10.2	201 11.2	248 13.8	75 4.2	29 1.6	287 15.9	263 14.6	139 7.7	

	度数横%		健康・美容 ／美容によい	利便性 ／入手しやすい	／和食に合う	／中華に合う	／洋食に合う	情緒 ／信頼がおける	／贅沢感がある	／食べやすい・ 食べ疲れしない
	全体									
(1) 国産和牛	1800 100	169 9.4	162 9.0	405 22.5	94 5.2	260 14.4	528 29.3	659 36.6	345 19.2	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	109 6.1	299 16.6	233 12.9	149 8.3	218 12.1	280 15.6	147 8.2	216 12.0	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	71 3.9	433 24.1	77 4.3	108 6.0	310 17.2	51 2.8	35 1.9	98 5.4	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	81 4.5	424 23.6	70 3.9	110 6.1	293 16.3	63 3.5	33 1.8	118 6.6	

	度数横%		情緒 ／男性向き	／女性向き	／年配向き	／大人向き	／若者向き	／子ども向き	／少量で満足	該当なし／あて はまるイメージは ない
	全体									
(1) 国産和牛	1800 100	122 6.8	167 9.3	254 14.1	318 17.7	82 4.6	81 4.5	419 23.3	256 14.2	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	107 5.9	100 5.6	126 7.0	128 7.1	116 6.4	129 7.2	98 5.4	395 21.9	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	214 11.9	46 2.6	34 1.9	81 4.5	297 16.5	138 7.7	44 2.4	466 25.9	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	163 9.1	62 3.4	41 2.3	78 4.3	268 14.9	133 7.4	36 2.0	454 25.2	

Q17 あなたが下記の牛肉を家庭内で食べる場面について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 国産和牛】

	度数横%	全 体												
		全 体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全 体		1746 100	621 35.6	425 24.3	366 21.0	240 13.7	470 26.9	501 28.7	182 10.4	216 12.4	356 20.4	181 10.4	177 10.1	176 10.1
地域	首都圏	868 100	284 32.7	188 21.7	174 20.0	116 13.4	234 27.0	239 27.5	75 8.6	112 12.9	164 18.9	67 7.7	93 10.7	106 12.2
	京阪神圏	878 100	337 38.4	237 27.0	192 21.9	124 14.1	236 26.9	262 29.8	107 12.2	104 11.8	192 21.9	114 13.0	84 9.6	70 8.0
年代	20代	291 100	79 27.1	74 25.4	54 18.6	38 13.1	71 24.4	85 29.2	36 12.4	35 12.0	43 14.8	34 11.7	18 6.2	41 14.1
	30代	287 100	88 30.7	70 24.4	55 19.2	31 10.8	79 27.5	70 24.4	21 7.3	30 10.5	33 11.5	27 9.4	18 6.3	34 11.8
	40代	291 100	98 33.7	62 21.3	58 19.9	37 12.7	72 24.7	80 27.5	30 10.3	30 10.3	57 19.6	30 10.3	25 8.6	29 10.0
	50代	290 100	111 38.3	77 26.6	53 18.3	31 10.7	62 21.4	67 23.1	21 7.2	30 10.3	49 16.9	32 11.0	40 13.8	25 8.6
	60代	293 100	119 40.6	59 20.1	72 24.6	39 13.3	94 32.1	85 29.0	28 9.6	40 13.7	78 26.6	26 8.9	35 11.9	21 7.2
	70代以上	294 100	126 42.9	83 28.2	74 25.2	64 21.8	92 31.3	114 38.8	46 15.6	51 17.3	96 32.7	32 10.9	41 13.9	26 8.8

【2. 和牛以外の国産牛肉】

	度数横%	全 体												
		全 体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全 体		1746 100	873 50.0	313 17.9	220 12.6	194 11.1	184 10.5	198 11.3	101 5.8	116 6.6	142 8.1	268 15.3	200 11.5	234 13.4
地域	首都圏	868 100	398 45.9	137 15.8	91 10.5	92 10.6	92 10.6	103 11.9	37 4.3	57 6.6	63 7.3	116 13.4	108 12.4	122 14.1
	京阪神圏	878 100	475 54.1	176 20.0	129 14.7	102 11.6	92 10.5	95 10.8	64 7.3	59 6.7	79 9.0	152 17.3	92 10.5	112 12.8
年代	20代	291 100	116 39.9	59 20.3	44 15.1	50 17.2	45 15.5	47 16.2	23 7.9	28 9.6	21 7.2	49 16.8	21 7.2	47 16.2
	30代	287 100	117 40.8	59 20.6	41 14.3	33 11.5	32 11.1	37 12.9	19 6.6	19 6.6	19 6.6	31 10.8	21 7.3	42 14.6
	40代	291 100	136 46.7	48 16.5	39 13.4	30 10.3	38 13.1	38 13.1	14 4.8	20 6.9	27 9.3	53 18.2	31 10.7	35 12.0
	50代	290 100	154 53.1	51 17.6	26 9.0	22 7.6	29 10.0	19 6.6	11 3.8	14 4.8	18 6.2	39 13.4	38 13.1	33 11.4
	60代	293 100	179 61.1	46 15.7	26 8.9	19 6.5	17 5.8	28 9.6	16 5.5	15 5.1	22 7.5	39 13.3	39 13.3	34 11.6
	70代以上	294 100	171 58.2	50 17.0	44 15.0	40 13.6	23 7.8	29 9.9	18 6.1	20 6.8	35 11.9	57 19.4	50 17.0	43 14.6

【3. アメリカ産牛肉】

度数横%		全体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全体		1746 100	802 45.9	172 9.9	113 6.5	99 5.7	74 4.2	53 3.0	41 2.3	77 4.4	41 2.3	362 20.7	186 10.7	507 29.0
地域	首都圏	868 100	422 48.6	100 11.5	51 5.9	48 5.5	38 4.4	28 3.2	18 2.1	38 4.4	17 2.0	180 20.7	91 10.5	216 24.9
	京阪神圏	878 100	380 43.3	72 8.2	62 7.1	51 5.8	36 4.1	25 2.8	23 2.6	39 4.4	24 2.7	182 20.7	95 10.8	291 33.1
年代	20代	291 100	126 43.3	48 16.5	37 12.7	33 11.3	25 8.6	11 3.8	16 5.5	18 6.2	14 4.8	64 22.0	28 9.6	67 23.0
	30代	287 100	138 48.1	28 9.8	27 9.4	14 4.9	14 4.9	15 5.2	7 2.4	13 4.5	3 1.0	47 16.4	26 9.1	67 23.3
	40代	291 100	140 48.1	28 9.6	18 6.2	12 4.1	11 3.8	6 2.1	5 1.7	9 3.1	8 2.7	63 21.6	26 8.9	75 25.8
	50代	290 100	144 49.7	33 11.4	13 4.5	9 3.1	12 4.1	9 3.1	2 0.7	8 2.8	2 0.7	41 14.1	28 9.7	83 28.6
	60代	293 100	140 47.8	17 5.8	9 3.1	16 5.5	9 3.1	6 2.0	5 1.7	11 3.8	5 1.7	65 22.2	38 13.0	97 33.1
	70代以上	294 100	114 38.8	18 6.1	9 3.1	15 5.1	3 1.0	6 2.0	6 2.0	18 6.1	9 3.1	82 27.9	40 13.6	118 40.1

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全体		1746 100	854 48.9	177 10.1	110 6.3	95 5.4	74 4.2	55 3.2	52 3.0	86 4.9	37 2.1	364 20.8	195 11.2	443 25.4
地域	首都圏	868 100	448 51.6	101 11.6	52 6.0	45 5.2	42 4.8	31 3.6	27 3.1	50 5.8	16 1.8	178 20.5	97 11.2	189 21.8
	京阪神圏	878 100	406 46.2	76 8.7	58 6.6	50 5.7	32 3.6	24 2.7	25 2.8	36 4.1	21 2.4	186 21.2	98 11.2	254 28.9
年代	20代	291 100	118 40.5	42 14.4	30 10.3	31 10.7	26 8.9	12 4.1	17 5.8	21 7.2	5 1.7	62 21.3	25 8.6	61 21.0
	30代	287 100	151 52.6	32 11.1	29 10.1	14 4.9	13 4.5	17 5.9	11 3.8	17 5.9	5 1.7	51 17.8	24 8.4	55 19.2
	40代	291 100	141 48.5	29 10.0	15 5.2	16 5.5	8 2.7	10 3.4	6 2.1	14 4.8	8 2.7	62 21.3	21 7.2	70 24.1
	50代	290 100	149 51.4	33 11.4	14 4.8	11 3.8	15 5.2	6 2.1	3 1.0	6 2.1	3 1.0	42 14.5	33 11.4	79 27.2
	60代	293 100	164 56.0	18 6.1	13 4.4	10 3.4	6 2.0	6 2.0	5 1.7	10 3.4	6 2.0	66 22.5	44 15.0	76 25.9
	70代以上	294 100	131 44.6	23 7.8	9 3.1	13 4.4	6 2.0	4 1.4	10 3.4	18 6.1	10 3.4	81 27.6	48 16.3	102 34.7

Q18 あなたが下記の牛肉を家庭内で食べる料理について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1570 100	901 57.4	1014 64.6	717 45.7	258 16.4	238 15.2	156 9.9	177 11.3	206 13.1	502 32.0	173 11.0
地域	首都圏		762 100	398 52.2	464 60.9	342 44.9	105 13.8	93 12.2	66 8.7	79 10.4	86 11.3	225 29.5	81 10.6
	京阪神圏		808 100	503 62.3	550 68.1	375 46.4	153 18.9	145 17.9	90 11.1	98 12.1	120 14.9	277 34.3	92 11.4
年代	20代		250 100	149 59.6	138 55.2	93 37.2	37 14.8	41 16.4	29 11.6	28 11.2	31 12.4	50 20.0	19 7.6
	30代		253 100	152 60.1	150 59.3	101 39.9	36 14.2	36 14.2	17 6.7	28 11.1	27 10.7	59 23.3	27 10.7
	40代		262 100	152 58.0	141 53.8	118 45.0	42 16.0	40 15.3	24 9.2	24 9.2	30 11.5	75 28.6	26 9.9
	50代		265 100	158 59.6	165 62.3	116 43.8	36 13.6	38 14.3	24 9.1	23 8.7	37 14.0	92 34.7	39 14.7
	60代		272 100	151 55.5	210 77.2	135 49.6	51 18.8	42 15.4	34 12.5	36 13.2	44 16.2	116 42.6	34 12.5
	70代以上		268 100	139 51.9	210 78.4	154 57.5	56 20.9	41 15.3	28 10.4	38 14.2	37 13.8	110 41.0	28 10.4

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1512 100	775 51.3	645 42.7	439 29.0	603 39.9	548 36.2	398 26.3	400 26.5	478 31.6	419 27.7	295 19.5
地域	首都圏		746 100	372 49.9	319 42.8	230 30.8	244 32.7	220 29.5	175 23.5	168 22.5	200 26.8	195 26.1	123 16.5
	京阪神圏		766 100	403 52.6	326 42.6	209 27.3	359 46.9	328 42.8	223 29.1	232 30.3	278 36.3	224 29.2	172 22.5
年代	20代		244 100	133 54.5	107 43.9	76 31.1	65 26.6	72 29.5	46 18.9	52 21.3	59 24.2	57 23.4	28 11.5
	30代		245 100	131 53.5	106 43.3	75 30.6	73 29.8	62 25.3	39 15.9	54 22.0	63 25.7	55 22.4	36 14.7
	40代		256 100	135 52.7	101 39.5	77 30.1	92 35.9	88 34.4	58 22.7	56 21.9	71 27.7	71 27.7	43 16.8
	50代		257 100	128 49.8	96 37.4	73 28.4	98 38.1	85 33.1	64 24.9	53 20.6	79 30.7	80 31.1	62 24.1
	60代		259 100	131 50.6	115 44.4	69 26.6	126 48.6	121 46.7	91 35.1	85 32.8	99 38.2	78 30.1	58 22.4
	70代以上		251 100	117 46.6	120 47.8	69 27.5	149 59.4	120 47.8	100 39.8	100 39.8	107 42.6	78 31.1	68 27.1

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1239 100	553 44.6	231 18.6	497 40.1	362 29.2	480 38.7	342 27.6	284 22.9	391 31.6	148 11.9	229 18.5
地域	首都圏		652 100	304 46.6	132 20.2	266 40.8	163 25.0	234 35.9	161 24.7	144 22.1	186 28.5	83 12.7	103 15.8
	京阪神圏		587 100	249 42.4	99 16.9	231 39.4	199 33.9	246 41.9	181 30.8	140 23.9	205 34.9	65 11.1	126 21.5
年代	20代		224 100	104 46.4	58 25.9	92 41.1	61 27.2	74 33.0	55 24.6	50 22.3	62 27.7	35 15.6	33 14.7
	30代		220 100	85 38.6	46 20.9	90 40.9	66 30.0	72 32.7	48 21.8	54 24.5	65 29.5	27 12.3	38 17.3
	40代		216 100	101 46.8	39 18.1	75 34.7	50 23.1	75 34.7	45 20.8	47 21.8	58 26.9	21 9.7	35 16.2
	50代		207 100	92 44.4	30 14.5	90 43.5	62 30.0	82 39.6	58 28.0	42 20.3	68 32.9	32 15.5	35 16.9
	60代		196 100	93 47.4	25 12.8	81 41.3	58 29.6	89 45.4	71 36.2	43 21.9	73 37.2	11 5.6	42 21.4
	70代以上		176 100	78 44.3	33 18.8	69 39.2	65 36.9	88 50.0	65 36.9	48 27.3	65 36.9	22 12.5	46 26.1

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1303 100	564 43.3	226 17.3	515 39.5	389 29.9	502 38.5	357 27.4	294 22.6	423 32.5	154 11.8	245 18.8
地域	首都圏		679 100	308 45.4	131 19.3	277 40.8	175 25.8	229 33.7	168 24.7	152 22.4	197 29.0	87 12.8	112 16.5
	京阪神圏		624 100	256 41.0	95 15.2	238 38.1	214 34.3	273 43.8	189 30.3	142 22.8	226 36.2	67 10.7	133 21.3
年代	20代		230 100	94 40.9	52 22.6	85 37.0	64 27.8	68 29.6	54 23.5	55 23.9	59 25.7	36 15.7	32 13.9
	30代		232 100	94 40.5	45 19.4	93 40.1	72 31.0	80 34.5	54 23.3	56 24.1	72 31.0	27 11.6	35 15.1
	40代		221 100	104 47.1	37 16.7	86 38.9	60 27.1	80 36.2	44 19.9	41 18.6	57 25.8	21 9.5	29 13.1
	50代		211 100	88 41.7	31 14.7	86 40.8	63 29.9	75 35.5	48 22.7	39 18.5	75 35.5	29 13.7	43 20.4
	60代		217 100	103 47.5	27 12.4	95 43.8	63 29.0	108 49.8	87 40.1	53 24.4	89 41.0	22 10.1	51 23.5
	70代以上		192 100	81 42.2	34 17.7	70 36.5	67 34.9	91 47.4	70 36.5	50 26.0	71 37.0	19 9.9	55 28.6

Q19 あなたが下記の牛肉に関する情報を得るために用いている情報源を全てお選びください。

度数 横%	全 体	マスメディア	／その他のテレビ	／ラジオ番組・C	／新聞記事・広	／雑誌記事・広	アナログ媒体	／書籍	／カタログ・通信
		／テレビのニュー ス・報道番組	番組	M	告	告	／交通広告・屋 外広告		販売（ギフトカ タログ含む）
(1) 国産和牛	1800 100	232 12.9	135 7.5	74 4.1	121 6.7	62 3.4	31 1.7	35 1.9	94 5.2
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	203 11.3	112 6.2	62 3.4	120 6.7	56 3.1	32 1.8	28 1.6	57 3.2
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	221 12.3	118 6.6	62 3.4	116 6.4	50 2.8	24 1.3	35 1.9	38 2.1
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	210 11.7	113 6.3	63 3.5	111 6.2	54 3.0	17 0.9	27 1.5	33 1.8

度数 横%	全 体	行政・公的機	／学校や病院	／トレーサビ	／検査制度	インターネット	／インターネット	／グルメ情報サ	／料理・レシピ
		関・制度等	／行政 国・地	リ ティ ー 制 度		／インターネット・ アプリのニュー ス記事やコラム	通信販売（食 品宅配サービス 除く） ※Amazon、 楽天等	イト ※ぐるなび、 食べログ等	情報サイト ※クックパッド等
(1) 国産和牛	1800 100	44 2.4	18 1.0	49 2.7	40 2.2	65 3.6	66 3.7	102 5.7	101 5.6
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	41 2.3	22 1.2	38 2.1	32 1.8	63 3.5	59 3.3	86 4.8	107 5.9
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	31 1.7	20 1.1	28 1.6	39 2.2	63 3.5	42 2.3	59 3.3	105 5.8
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	30 1.7	17 0.9	31 1.7	28 1.6	56 3.1	41 2.3	63 3.5	89 4.9

度数 横%	全 体	インターネット	／銘柄牛、牛肉	／インターネット	／SNS	／ブログ	／その他インター	店舗、人からの	／食品宅配
		／食品メーカ ーのオフィシャル サイト	の産地、畜産農 家等のオフィシャル サイト	広告	※Facebook、 Twitter		ネットのサイト	話、実体験 ／生協などの協 同組合	サービス ※生協を除く
(1) 国産和牛	1800 100	58 3.2	82 4.6	53 2.9	42 2.3	36 2.0	35 1.9	77 4.3	47 2.6
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	52 2.9	49 2.7	54 3.0	42 2.3	32 1.8	26 1.4	89 4.9	43 2.4
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	43 2.4	29 1.6	50 2.8	38 2.1	29 1.6	31 1.7	55 3.1	31 1.7
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	38 2.1	32 1.8	44 2.4	33 1.8	17 0.9	24 1.3	53 2.9	25 1.4

度数 横%	全 体	店舗、人からの	／産地体験・産	／飲食店の店	／飲食店で実	／スーパーやデ	／精肉店の店	／自宅で購入し	／ギフト等の贈り
		話、実体験 ／実際に家畜が 育っている環境を みて	地交流会等のイ ベント	頭・店内やスタッ フの話	際に食して	パートの店頭・店 内やスタッフの話	頭・店内やスタッ フの話	たものを食して	物を食して
(1) 国産和牛	1800 100	33 1.8	37 2.1	97 5.4	155 8.6	256 14.2	157 8.7	281 15.6	96 5.3
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	32 1.8	38 2.1	83 4.6	132 7.3	245 13.6	136 7.6	277 15.4	46 2.6
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	21 1.2	27 1.5	69 3.8	107 5.9	211 11.7	95 5.3	204 11.3	18 1.0
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	19 1.1	19 1.1	63 3.5	105 5.8	207 11.5	80 4.4	207 11.5	15 0.8

度数 横%	全 体	店舗、人からの	特にな
		話、実体験 ／家族や友人・ 知人の話	い
(1) 国産和牛	1800 100	134 7.4	838 46.6
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	130 7.2	885 49.2
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	102 5.7	962 53.4
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	87 4.8	952 52.9

Q20 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ	4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	国産和牛肉へのこだわりはない
全 体		1800 100	82 4.6	38 2.1	140 7.8	237 13.2	39 2.2	157 8.7	347 19.3	344 19.1	416 23.1
地域	首都圏	900 100	28 3.1	17 1.9	60 6.7	103 11.4	22 2.4	75 8.3	171 19.0	183 20.3	241 26.8
	京阪神圏	900 100	54 6.0	21 2.3	80 8.9	134 14.9	17 1.9	82 9.1	176 19.6	161 17.9	175 19.4
年代	20代	300 100	11 3.7	9 3.0	20 6.7	36 12.0	7 2.3	24 8.0	46 15.3	55 18.3	92 30.7
	30代	300 100	10 3.3	3 1.0	19 6.3	40 13.3	3 1.0	16 5.3	68 22.7	68 22.7	73 24.3
	40代	300 100	7 2.3	2 0.7	17 5.7	27 9.0	5 1.7	23 7.7	70 23.3	71 23.7	78 26.0
	50代	300 100	16 5.3	6 2.0	26 8.7	38 12.7	7 2.3	26 8.7	53 17.7	52 17.3	76 25.3
	60代	300 100	20 6.7	10 3.3	26 8.7	40 13.3	10 3.3	29 9.7	67 22.3	45 15.0	53 17.7
	70代以上	300 100	18 6.0	8 2.7	32 10.7	56 18.7	7 2.3	39 13.0	43 14.3	53 17.7	44 14.7

Q21 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	国産へのこだわりはない
全 体		1800 100	147 8.2	158 8.8	45 2.5	60 3.3	117 6.5	293 16.3	192 10.7	355 19.7	433 24.1
地域	首都圏	900 100	60 6.7	68 7.6	20 2.2	25 2.8	56 6.2	135 15.0	91 10.1	195 21.7	250 27.8
	京阪神圏	900 100	87 9.7	90 10.0	25 2.8	35 3.9	61 6.8	158 17.6	101 11.2	160 17.8	183 20.3
年代	20代	300 100	15 5.0	28 9.3	13 4.3	12 4.0	15 5.0	37 12.3	28 9.3	65 21.7	87 29.0
	30代	300 100	21 7.0	25 8.3	5 1.7	9 3.0	11 3.7	54 18.0	31 10.3	71 23.7	73 24.3
	40代	300 100	16 5.3	18 6.0	6 2.0	6 2.0	18 6.0	40 13.3	37 12.3	78 26.0	81 27.0
	50代	300 100	26 8.7	24 8.0	6 2.0	8 2.7	20 6.7	53 17.7	30 10.0	53 17.7	80 26.7
	60代	300 100	30 10.0	32 10.7	8 2.7	14 4.7	21 7.0	54 18.0	34 11.3	44 14.7	63 21.0
	70代以上	300 100	39 13.0	31 10.3	7 2.3	11 3.7	32 10.7	55 18.3	32 10.7	44 14.7	49 16.3

Q22 牛肉について伺います。下記の原因地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	633 35.2	437 24.3	510 28.3	50 2.8	170 9.4
地域	首都圏	900 100	287 31.9	211 23.4	279 31.0	32 3.6	91 10.1
	京阪神圏	900 100	346 38.4	226 25.1	231 25.7	18 2.0	79 8.8
年代	20代	300 100	85 28.3	76 25.3	90 30.0	12 4.0	37 12.3
	30代	300 100	87 29.0	71 23.7	99 33.0	9 3.0	34 11.3
	40代	300 100	84 28.0	74 24.7	106 35.3	6 2.0	30 10.0
	50代	300 100	109 36.3	74 24.7	82 27.3	4 1.3	31 10.3
	60代	300 100	122 40.7	82 27.3	71 23.7	9 3.0	16 5.3
	70代以上	300 100	146 48.7	60 20.0	62 20.7	10 3.3	22 7.3

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	239 13.3	644 35.8	637 35.4	92 5.1	188 10.4
地域	首都圏	900 100	115 12.8	300 33.3	344 38.2	40 4.4	101 11.2
	京阪神圏	900 100	124 13.8	344 38.2	293 32.6	52 5.8	87 9.7
年代	20代	300 100	42 14.0	84 28.0	120 40.0	15 5.0	39 13.0
	30代	300 100	44 14.7	91 30.3	116 38.7	16 5.3	33 11.0
	40代	300 100	34 11.3	110 36.7	108 36.0	16 5.3	32 10.7
	50代	300 100	35 11.7	106 35.3	110 36.7	13 4.3	36 12.0
	60代	300 100	41 13.7	127 42.3	97 32.3	12 4.0	23 7.7
	70代以上	300 100	43 14.3	126 42.0	86 28.7	20 6.7	25 8.3

【3. アメリカ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	23 1.3	186 10.3	894 49.7	407 22.6	290 16.1
地域	首都圏	900 100	9 1.0	107 11.9	484 53.8	157 17.4	143 15.9
	京阪神圏	900 100	14 1.6	79 8.8	410 45.6	250 27.8	147 16.3
年代	20代	300 100	12 4.0	42 14.0	156 52.0	34 11.3	56 18.7
	30代	300 100	4 1.3	38 12.7	161 53.7	46 15.3	51 17.0
	40代	300 100	1 0.3	32 10.7	154 51.3	65 21.7	48 16.0
	50代	300 100	3 1.0	33 11.0	143 47.7	68 22.7	53 17.7
	60代	300 100	3 1.0	22 7.3	156 52.0	87 29.0	32 10.7
	70代以上	300 100	0 0.0	19 6.3	124 41.3	107 35.7	50 16.7

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	27 1.5	218 12.1	963 53.5	297 16.5	295 16.4
地域	首都圏	900 100	9 1.0	124 13.8	512 56.9	111 12.3	144 16.0
	京阪神圏	900 100	18 2.0	94 10.4	451 50.1	186 20.7	151 16.8
年代	20代	300 100	15 5.0	47 15.7	152 50.7	34 11.3	52 17.3
	30代	300 100	6 2.0	36 12.0	173 57.7	33 11.0	52 17.3
	40代	300 100	3 1.0	40 13.3	166 55.3	45 15.0	46 15.3
	50代	300 100	1 0.3	38 12.7	147 49.0	56 18.7	58 19.3
	60代	300 100	2 0.7	36 12.0	174 58.0	51 17.0	37 12.3
	70代以上	300 100	0 0.0	21 7.0	151 50.3	78 26.0	50 16.7

【5. カナダ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	22 1.2	175 9.7	804 44.7	365 20.3	434 24.1
地域	首都圏	900 100	8 0.9	102 11.3	451 50.1	136 15.1	203 22.6
	京阪神圏	900 100	14 1.6	73 8.1	353 39.2	229 25.4	231 25.7
年代	20代	300 100	12 4.0	40 13.3	135 45.0	43 14.3	70 23.3
	30代	300 100	7 2.3	30 10.0	152 50.7	43 14.3	68 22.7
	40代	300 100	2 0.7	29 9.7	137 45.7	63 21.0	69 23.0
	50代	300 100	1 0.3	34 11.3	118 39.3	63 21.0	84 28.0
	60代	300 100	0 0.0	26 8.7	147 49.0	67 22.3	60 20.0
	70代以上	300 100	0 0.0	16 5.3	115 38.3	86 28.7	83 27.7

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	24 1.3	174 9.7	809 44.9	357 19.8	436 24.2
地域	首都圏	900 100	10 1.1	103 11.4	452 50.2	134 14.9	201 22.3
	京阪神圏	900 100	14 1.6	71 7.9	357 39.7	223 24.8	235 26.1
年代	20代	300 100	13 4.3	33 11.0	139 46.3	46 15.3	69 23.0
	30代	300 100	5 1.7	32 10.7	144 48.0	49 16.3	70 23.3
	40代	300 100	4 1.3	30 10.0	138 46.0	60 20.0	68 22.7
	50代	300 100	1 0.3	32 10.7	118 39.3	63 21.0	86 28.7
	60代	300 100	1 0.3	28 9.3	154 51.3	58 19.3	59 19.7
	70代以上	300 100	0 0.0	19 6.3	116 38.7	81 27.0	84 28.0

【7. メキシコ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	24 1.3	92 5.1	479 26.6	625 34.7	580 32.2
地域	首都圏		900 100	11 1.2	46 5.1	281 31.2	273 30.3	289 32.1
	京阪神圏		900 100	13 1.4	46 5.1	198 22.0	352 39.1	291 32.3
年代	20代		300 100	15 5.0	26 8.7	99 33.0	81 27.0	79 26.3
	30代		300 100	5 1.7	17 5.7	87 29.0	95 31.7	96 32.0
	40代		300 100	2 0.7	13 4.3	80 26.7	111 37.0	94 31.3
	50代		300 100	2 0.7	17 5.7	72 24.0	99 33.0	110 36.7
	60代		300 100	0 0.0	11 3.7	84 28.0	116 38.7	89 29.7
	70代以上		300 100	0 0.0	8 2.7	57 19.0	123 41.0	112 37.3

【8. ウルグアイ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	17 0.9	95 5.3	469 26.1	630 35.0	589 32.7
地域	首都圏		900 100	7 0.8	48 5.3	283 31.4	268 29.8	294 32.7
	京阪神圏		900 100	10 1.1	47 5.2	186 20.7	362 40.2	295 32.8
年代	20代		300 100	9 3.0	31 10.3	102 34.0	82 27.3	76 25.3
	30代		300 100	4 1.3	16 5.3	87 29.0	97 32.3	96 32.0
	40代		300 100	2 0.7	13 4.3	77 25.7	111 37.0	97 32.3
	50代		300 100	1 0.3	17 5.7	70 23.3	102 34.0	110 36.7
	60代		300 100	1 0.3	11 3.7	79 26.3	115 38.3	94 31.3
	70代以上		300 100	0 0.0	7 2.3	54 18.0	123 41.0	116 38.7

【9. アルゼンチン産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	17 0.9	98 5.4	487 27.1	613 34.1	585 32.5
地域	首都圏		900 100	8 0.9	51 5.7	289 32.1	261 29.0	291 32.3
	京阪神圏		900 100	9 1.0	47 5.2	198 22.0	352 39.1	294 32.7
年代	20代		300 100	10 3.3	32 10.7	103 34.3	78 26.0	77 25.7
	30代		300 100	3 1.0	18 6.0	85 28.3	98 32.7	96 32.0
	40代		300 100	1 0.3	13 4.3	80 26.7	109 36.3	97 32.3
	50代		300 100	3 1.0	16 5.3	70 23.3	101 33.7	110 36.7
	60代		300 100	0 0.0	12 4.0	89 29.7	109 36.3	90 30.0
	70代以上		300 100	0 0.0	7 2.3	60 20.0	118 39.3	115 38.3

Q23 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	584 32.4	578 32.1	452 25.1	29 1.6	157 8.7
地域	首都圏	900 100	274 30.4	278 30.9	247 27.4	17 1.9	84 9.3
	京阪神圏	900 100	310 34.4	300 33.3	205 22.8	12 1.3	73 8.1
年代	20代	300 100	77 25.7	89 29.7	86 28.7	10 3.3	38 12.7
	30代	300 100	71 23.7	92 30.7	108 36.0	6 2.0	23 7.7
	40代	300 100	88 29.3	90 30.0	87 29.0	3 1.0	32 10.7
	50代	300 100	107 35.7	87 29.0	67 22.3	5 1.7	34 11.3
	60代	300 100	118 39.3	117 39.0	52 17.3	1 0.3	12 4.0
	70代以上	300 100	123 41.0	103 34.3	52 17.3	4 1.3	18 6.0

【2. アメリカ産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	33 1.8	272 15.1	765 42.5	425 23.6	305 16.9
地域	首都圏	900 100	18 2.0	139 15.4	415 46.1	177 19.7	151 16.8
	京阪神圏	900 100	15 1.7	133 14.8	350 38.9	248 27.6	154 17.1
年代	20代	300 100	15 5.0	60 20.0	127 42.3	37 12.3	61 20.3
	30代	300 100	8 2.7	56 18.7	149 49.7	51 17.0	36 12.0
	40代	300 100	3 1.0	39 13.0	130 43.3	69 23.0	59 19.7
	50代	300 100	4 1.3	49 16.3	119 39.7	69 23.0	59 19.7
	60代	300 100	0 0.0	43 14.3	131 43.7	86 28.7	40 13.3
	70代以上	300 100	3 1.0	25 8.3	109 36.3	113 37.7	50 16.7

【3. カナダ産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	24 1.3	237 13.2	769 42.7	401 22.3	369 20.5
地域	首都圏	900 100	13 1.4	121 13.4	426 47.3	160 17.8	180 20.0
	京阪神圏	900 100	11 1.2	116 12.9	343 38.1	241 26.8	189 21.0
年代	20代	300 100	13 4.3	48 16.0	134 44.7	42 14.0	63 21.0
	30代	300 100	6 2.0	47 15.7	143 47.7	52 17.3	52 17.3
	40代	300 100	2 0.7	35 11.7	122 40.7	75 25.0	66 22.0
	50代	300 100	2 0.7	42 14.0	122 40.7	67 22.3	67 22.3
	60代	300 100	0 0.0	40 13.3	138 46.0	72 24.0	50 16.7
	70代以上	300 100	1 0.3	25 8.3	110 36.7	93 31.0	71 23.7

【4. スペイン産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	192 10.7	643 35.7	478 26.6	471 26.2
地域	首都圏	900 100	10 1.1	109 12.1	362 40.2	197 21.9	222 24.7
	京阪神圏	900 100	6 0.7	83 9.2	281 31.2	281 31.2	249 27.7
年代	20代	300 100	7 2.3	47 15.7	123 41.0	50 16.7	73 24.3
	30代	300 100	3 1.0	38 12.7	117 39.0	70 23.3	72 24.0
	40代	300 100	2 0.7	25 8.3	110 36.7	89 29.7	74 24.7
	50代	300 100	1 0.3	35 11.7	101 33.7	77 25.7	86 28.7
	60代	300 100	3 1.0	26 8.7	108 36.0	88 29.3	75 25.0
	70代以上	300 100	0 0.0	21 7.0	84 28.0	104 34.7	91 30.3

【5. メキシコ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	126 7.0	524 29.1	599 33.3	534 29.7
地域	首都圏	900 100	10 1.1	67 7.4	301 33.4	260 28.9	262 29.1
	京阪神圏	900 100	7 0.8	59 6.6	223 24.8	339 37.7	272 30.2
年代	20代	300 100	10 3.3	38 12.7	115 38.3	63 21.0	74 24.7
	30代	300 100	4 1.3	27 9.0	99 33.0	92 30.7	78 26.0
	40代	300 100	1 0.3	13 4.3	84 28.0	107 35.7	95 31.7
	50代	300 100	1 0.3	21 7.0	84 28.0	93 31.0	101 33.7
	60代	300 100	0 0.0	18 6.0	80 26.7	118 39.3	84 28.0
	70代以上	300 100	1 0.3	9 3.0	62 20.7	126 42.0	102 34.0

【6. チリ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	112 6.2	494 27.4	626 34.8	551 30.6
地域	首都圏	900 100	11 1.2	59 6.6	291 32.3	273 30.3	266 29.6
	京阪神圏	900 100	6 0.7	53 5.9	203 22.6	353 39.2	285 31.7
年代	20代	300 100	10 3.3	34 11.3	107 35.7	73 24.3	76 25.3
	30代	300 100	5 1.7	19 6.3	97 32.3	102 34.0	77 25.7
	40代	300 100	1 0.3	11 3.7	80 26.7	112 37.3	96 32.0
	50代	300 100	1 0.3	23 7.7	73 24.3	95 31.7	108 36.0
	60代	300 100	0 0.0	18 6.0	75 25.0	119 39.7	88 29.3
	70代以上	300 100	0 0.0	7 2.3	62 20.7	125 41.7	106 35.3

【7. デンマーク産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	20 1.1	151 8.4	573 31.8	518 28.8	538 29.9
地域	首都圏		900 100	12 1.3	84 9.3	331 36.8	217 24.1	256 28.4
	京阪神圏		900 100	8 0.9	67 7.4	242 26.9	301 33.4	282 31.3
年代	20代		300 100	10 3.3	43 14.3	115 38.3	59 19.7	73 24.3
	30代		300 100	5 1.7	26 8.7	105 35.0	86 28.7	78 26.0
	40代		300 100	3 1.0	17 5.7	88 29.3	98 32.7	94 31.3
	50代		300 100	2 0.7	29 9.7	84 28.0	83 27.7	102 34.0
	60代		300 100	0 0.0	26 8.7	100 33.3	87 29.0	87 29.0
	70代以上		300 100	0 0.0	10 3.3	81 27.0	105 35.0	104 34.7

Q24 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いませんか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	630 35.0	531 29.5	441 24.5	37 2.1	161 8.9
地域	首都圏	900 100	299 33.2	266 29.6	235 26.1	19 2.1	81 9.0
	京阪神圏	900 100	331 36.8	265 29.4	206 22.9	18 2.0	80 8.9
年代	20代	300 100	79 26.3	89 29.7	90 30.0	6 2.0	36 12.0
	30代	300 100	84 28.0	88 29.3	98 32.7	6 2.0	24 8.0
	40代	300 100	99 33.0	85 28.3	83 27.7	4 1.3	29 9.7
	50代	300 100	119 39.7	75 25.0	67 22.3	5 1.7	34 11.3
	60代	300 100	113 37.7	109 36.3	53 17.7	8 2.7	17 5.7
	70代以上	300 100	136 45.3	85 28.3	50 16.7	8 2.7	21 7.0

【2. アメリカ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	20 1.1	202 11.2	663 36.8	560 31.1	355 19.7
地域	首都圏	900 100	13 1.4	113 12.6	359 39.9	237 26.3	178 19.8
	京阪神圏	900 100	7 0.8	89 9.9	304 33.8	323 35.9	177 19.7
年代	20代	300 100	10 3.3	57 19.0	116 38.7	57 19.0	60 20.0
	30代	300 100	4 1.3	33 11.0	128 42.7	84 28.0	51 17.0
	40代	300 100	4 1.3	25 8.3	109 36.3	92 30.7	70 23.3
	50代	300 100	1 0.3	36 12.0	109 36.3	94 31.3	60 20.0
	60代	300 100	0 0.0	31 10.3	116 38.7	105 35.0	48 16.0
	70代以上	300 100	1 0.3	20 6.7	85 28.3	128 42.7	66 22.0

【3. ブラジル産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	129 7.2	598 33.2	642 35.7	415 23.1
地域	首都圏	900 100	9 1.0	74 8.2	333 37.0	279 31.0	205 22.8
	京阪神圏	900 100	7 0.8	55 6.1	265 29.4	363 40.3	210 23.3
年代	20代	300 100	8 2.7	41 13.7	117 39.0	66 22.0	68 22.7
	30代	300 100	4 1.3	16 5.3	122 40.7	101 33.7	57 19.0
	40代	300 100	3 1.0	13 4.3	96 32.0	115 38.3	73 24.3
	50代	300 100	1 0.3	22 7.3	102 34.0	105 35.0	70 23.3
	60代	300 100	0 0.0	21 7.0	90 30.0	124 41.3	65 21.7
	70代以上	300 100	0 0.0	16 5.3	71 23.7	131 43.7	82 27.3

【4. タイ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	18	114	508	701	459
		100	1.0	6.3	28.2	38.9	25.5
地域	首都圏	900	9	66	298	307	220
		100	1.0	7.3	33.1	34.1	24.4
	京阪神圏	900	9	48	210	394	239
		100	1.0	5.3	23.3	43.8	26.6
年代	20代	300	11	34	103	76	76
		100	3.7	11.3	34.3	25.3	25.3
	30代	300	4	15	92	116	73
		100	1.3	5.0	30.7	38.7	24.3
	40代	300	2	14	87	116	81
		100	0.7	4.7	29.0	38.7	27.0
	50代	300	1	20	89	110	80
	100	0.3	6.7	29.7	36.7	26.7	
60代		300	0	15	76	140	69
		100	0.0	5.0	25.3	46.7	23.0
70代以上		300	0	16	61	143	80
		100	0.0	5.3	20.3	47.7	26.7

Q25 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	68 3.8	152 8.4	500 27.8	480 26.7	600 33.3
地域	首都圏		900 100	36 4.0	72 8.0	249 27.7	238 26.4	305 33.9
	京阪神圏		900 100	32 3.6	80 8.9	251 27.9	242 26.9	295 32.8
年代	20代		300 100	12 4.0	29 9.7	90 30.0	61 20.3	108 36.0
	30代		300 100	16 5.3	34 11.3	91 30.3	67 22.3	92 30.7
	40代		300 100	15 5.0	20 6.7	106 35.3	69 23.0	90 30.0
	50代		300 100	8 2.7	30 10.0	87 29.0	90 30.0	85 28.3
	60代		300 100	13 4.3	17 5.7	69 23.0	108 36.0	93 31.0
	70代以上		300 100	4 1.3	22 7.3	57 19.0	85 28.3	132 44.0

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	77 4.3	193 10.7	536 29.8	496 27.6	498 27.7
地域	首都圏		900 100	26 2.9	102 11.3	273 30.3	239 26.6	260 28.9
	京阪神圏		900 100	51 5.7	91 10.1	263 29.2	257 28.6	238 26.4
年代	20代		300 100	22 7.3	42 14.0	82 27.3	57 19.0	97 32.3
	30代		300 100	14 4.7	39 13.0	96 32.0	66 22.0	85 28.3
	40代		300 100	12 4.0	41 13.7	100 33.3	74 24.7	73 24.3
	50代		300 100	9 3.0	31 10.3	95 31.7	95 31.7	70 23.3
	60代		300 100	13 4.3	17 5.7	89 29.7	113 37.7	68 22.7
	70代以上		300 100	7 2.3	23 7.7	74 24.7	91 30.3	105 35.0

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	71 3.9	239 13.3	578 32.1	486 27.0	426 23.7
地域	首都圏		900 100	22 2.4	122 13.6	291 32.3	239 26.6	226 25.1
	京阪神圏		900 100	49 5.4	117 13.0	287 31.9	247 27.4	200 22.2
年代	20代		300 100	22 7.3	43 14.3	95 31.7	69 23.0	71 23.7
	30代		300 100	12 4.0	53 17.7	105 35.0	63 21.0	67 22.3
	40代		300 100	11 3.7	49 16.3	114 38.0	62 20.7	64 21.3
	50代		300 100	7 2.3	42 14.0	97 32.3	98 32.7	56 18.7
	60代		300 100	14 4.7	21 7.0	90 30.0	109 36.3	66 22.0
	70代以上		300 100	5 1.7	31 10.3	77 25.7	85 28.3	102 34.0

【4. 果物】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	60 3.3	232 12.9	580 32.2	498 27.7	430 23.9
地域	首都圏	900 100	20 2.2	112 12.4	302 33.6	240 26.7	226 25.1
	京阪神圏	900 100	40 4.4	120 13.3	278 30.9	258 28.7	204 22.7
年代	20代	300 100	14 4.7	48 16.0	99 33.0	58 19.3	81 27.0
	30代	300 100	13 4.3	56 18.7	95 31.7	67 22.3	69 23.0
	40代	300 100	10 3.3	46 15.3	119 39.7	64 21.3	61 20.3
	50代	300 100	7 2.3	38 12.7	102 34.0	94 31.3	59 19.7
	60代	300 100	12 4.0	23 7.7	88 29.3	114 38.0	63 21.0
	70代以上	300 100	4 1.3	21 7.0	77 25.7	101 33.7	97 32.3

【5. 魚介】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	101 5.6	330 18.3	589 32.7	429 23.8	351 19.5
地域	首都圏	900 100	44 4.9	172 19.1	285 31.7	221 24.6	178 19.8
	京阪神圏	900 100	57 6.3	158 17.6	304 33.8	208 23.1	173 19.2
年代	20代	300 100	24 8.0	72 24.0	90 30.0	55 18.3	59 19.7
	30代	300 100	20 6.7	77 25.7	92 30.7	54 18.0	57 19.0
	40代	300 100	21 7.0	62 20.7	105 35.0	55 18.3	57 19.0
	50代	300 100	10 3.3	46 15.3	118 39.3	76 25.3	50 16.7
	60代	300 100	19 6.3	39 13.0	103 34.3	87 29.0	52 17.3
	70代以上	300 100	7 2.3	34 11.3	81 27.0	102 34.0	76 25.3

【6. 牛肉】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	84 4.7	292 16.2	642 35.7	445 24.7	337 18.7
地域	首都圏	900 100	31 3.4	154 17.1	325 36.1	221 24.6	169 18.8
	京阪神圏	900 100	53 5.9	138 15.3	317 35.2	224 24.9	168 18.7
年代	20代	300 100	22 7.3	54 18.0	99 33.0	64 21.3	61 20.3
	30代	300 100	16 5.3	67 22.3	105 35.0	56 18.7	56 18.7
	40代	300 100	17 5.7	53 17.7	117 39.0	65 21.7	48 16.0
	50代	300 100	10 3.3	50 16.7	111 37.0	83 27.7	46 15.3
	60代	300 100	12 4.0	36 12.0	118 39.3	85 28.3	49 16.3
	70代以上	300 100	7 2.3	32 10.7	92 30.7	92 30.7	77 25.7

【7. 豚肉】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	77 4.3	296 16.4	653 36.3	445 24.7	329 18.3
地域	首都圏	900 100	27 3.0	158 17.6	315 35.0	231 25.7	169 18.8
	京阪神圏	900 100	50 5.6	138 15.3	338 37.6	214 23.8	160 17.8
年代	20代	300 100	21 7.0	61 20.3	103 34.3	57 19.0	58 19.3
	30代	300 100	15 5.0	59 19.7	114 38.0	56 18.7	56 18.7
	40代	300 100	15 5.0	54 18.0	116 38.7	66 22.0	49 16.3
	50代	300 100	8 2.7	45 15.0	115 38.3	87 29.0	45 15.0
	60代	300 100	12 4.0	42 14.0	112 37.3	84 28.0	50 16.7
	70代以上	300 100	6 2.0	35 11.7	93 31.0	95 31.7	71 23.7

【8. 鶏肉】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	75 4.2	312 17.3	645 35.8	440 24.4	328 18.2
地域	首都圏	900 100	27 3.0	159 17.7	320 35.6	225 25.0	169 18.8
	京阪神圏	900 100	48 5.3	153 17.0	325 36.1	215 23.9	159 17.7
年代	20代	300 100	19 6.3	63 21.0	100 33.3	62 20.7	56 18.7
	30代	300 100	16 5.3	60 20.0	111 37.0	57 19.0	56 18.7
	40代	300 100	15 5.0	55 18.3	118 39.3	63 21.0	49 16.3
	50代	300 100	8 2.7	53 17.7	113 37.7	81 27.0	45 15.0
	60代	300 100	13 4.3	42 14.0	116 38.7	80 26.7	49 16.3
	70代以上	300 100	4 1.3	39 13.0	87 29.0	97 32.3	73 24.3

【9. 卵】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	70 3.9	214 11.9	574 31.9	530 29.4	412 22.9
地域	首都圏	900 100	26 2.9	113 12.6	292 32.4	263 29.2	206 22.9
	京阪神圏	900 100	44 4.9	101 11.2	282 31.3	267 29.7	206 22.9
年代	20代	300 100	17 5.7	48 16.0	94 31.3	67 22.3	74 24.7
	30代	300 100	15 5.0	50 16.7	97 32.3	69 23.0	69 23.0
	40代	300 100	13 4.3	36 12.0	108 36.0	78 26.0	65 21.7
	50代	300 100	10 3.3	34 11.3	103 34.3	96 32.0	57 19.0
	60代	300 100	11 3.7	23 7.7	97 32.3	112 37.3	57 19.0
	70代以上	300 100	4 1.3	23 7.7	75 25.0	108 36.0	90 30.0

【10. 牛乳】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	75 4.2	188 10.4	589 32.7	504 28.0	444 24.7
地域	首都圏	900 100	34 3.8	101 11.2	291 32.3	245 27.2	229 25.4
	京阪神圏	900 100	41 4.6	87 9.7	298 33.1	259 28.8	215 23.9
年代	20代	300 100	22 7.3	42 14.0	104 34.7	56 18.7	76 25.3
	30代	300 100	13 4.3	38 12.7	101 33.7	71 23.7	77 25.7
	40代	300 100	14 4.7	31 10.3	106 35.3	77 25.7	72 24.0
	50代	300 100	9 3.0	34 11.3	100 33.3	100 33.3	57 19.0
	60代	300 100	14 4.7	18 6.0	102 34.0	101 33.7	65 21.7
	70代以上	300 100	3 1.0	25 8.3	76 25.3	99 33.0	97 32.3

【11. 食肉加工品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	135 7.5	360 20.0	646 35.9	347 19.3	312 17.3
地域	首都圏	900 100	48 5.3	174 19.3	327 36.3	186 20.7	165 18.3
	京阪神圏	900 100	87 9.7	186 20.7	319 35.4	161 17.9	147 16.3
年代	20代	300 100	26 8.7	59 19.7	108 36.0	48 16.0	59 19.7
	30代	300 100	26 8.7	63 21.0	100 33.3	54 18.0	57 19.0
	40代	300 100	26 8.7	73 24.3	107 35.7	43 14.3	51 17.0
	50代	300 100	21 7.0	65 21.7	115 38.3	59 19.7	40 13.3
	60代	300 100	21 7.0	52 17.3	111 37.0	74 24.7	42 14.0
	70代以上	300 100	15 5.0	48 16.0	105 35.0	69 23.0	63 21.0

【12. 乳製品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	68 3.8	205 11.4	648 36.0	477 26.5	402 22.3
地域	首都圏	900 100	29 3.2	98 10.9	323 35.9	240 26.7	210 23.3
	京阪神圏	900 100	39 4.3	107 11.9	325 36.1	237 26.3	192 21.3
年代	20代	300 100	17 5.7	39 13.0	106 35.3	63 21.0	75 25.0
	30代	300 100	12 4.0	45 15.0	107 35.7	61 20.3	75 25.0
	40代	300 100	12 4.0	33 11.0	126 42.0	66 22.0	63 21.0
	50代	300 100	11 3.7	28 9.3	116 38.7	93 31.0	52 17.3
	60代	300 100	12 4.0	24 8.0	111 37.0	101 33.7	52 17.3
	70代以上	300 100	4 1.3	36 12.0	82 27.3	93 31.0	85 28.3

【13. 冷凍食品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	102 5.7	265 14.7	672 37.3	394 21.9	367 20.4
地域	首都圏	900 100	43 4.8	123 13.7	338 37.6	204 22.7	192 21.3
	京阪神圏	900 100	59 6.6	142 15.8	334 37.1	190 21.1	175 19.4
年代	20代	300 100	24 8.0	39 13.0	103 34.3	52 17.3	82 27.3
	30代	300 100	16 5.3	48 16.0	111 37.0	58 19.3	67 22.3
	40代	300 100	22 7.3	54 18.0	114 38.0	53 17.7	57 19.0
	50代	300 100	15 5.0	51 17.0	122 40.7	68 22.7	44 14.7
	60代	300 100	16 5.3	34 11.3	117 39.0	84 28.0	49 16.3
	70代以上	300 100	9 3.0	39 13.0	105 35.0	79 26.3	68 22.7

【14. インスタント麺（カップ麺・袋麺等）】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	126 7.0	306 17.0	634 35.2	384 21.3	350 19.4
地域	首都圏	900 100	48 5.3	159 17.7	318 35.3	194 21.6	181 20.1
	京阪神圏	900 100	78 8.7	147 16.3	316 35.1	190 21.1	169 18.8
年代	20代	300 100	27 9.0	53 17.7	91 30.3	55 18.3	74 24.7
	30代	300 100	25 8.3	49 16.3	117 39.0	46 15.3	63 21.0
	40代	300 100	20 6.7	60 20.0	113 37.7	53 17.7	54 18.0
	50代	300 100	19 6.3	56 18.7	114 38.0	68 22.7	43 14.3
	60代	300 100	22 7.3	41 13.7	107 35.7	85 28.3	45 15.0
	70代以上	300 100	13 4.3	47 15.7	92 30.7	77 25.7	71 23.7

【15. 弁当・惣菜類】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	130 7.2	335 18.6	670 37.2	367 20.4	298 16.6
地域	首都圏	900 100	49 5.4	162 18.0	351 39.0	184 20.4	154 17.1
	京阪神圏	900 100	81 9.0	173 19.2	319 35.4	183 20.3	144 16.0
年代	20代	300 100	25 8.3	63 21.0	98 32.7	52 17.3	62 20.7
	30代	300 100	26 8.7	59 19.7	114 38.0	47 15.7	54 18.0
	40代	300 100	24 8.0	63 21.0	120 40.0	45 15.0	48 16.0
	50代	300 100	21 7.0	52 17.3	125 41.7	60 20.0	42 14.0
	60代	300 100	20 6.7	48 16.0	111 37.0	85 28.3	36 12.0
	70代以上	300 100	14 4.7	50 16.7	102 34.0	78 26.0	56 18.7

【16. ファストフード】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	173 9.6	376 20.9	652 36.2	323 17.9	276 15.3
地域	首都圏	900 100	73 8.1	190 21.1	332 36.9	163 18.1	142 15.8
	京阪神圏	900 100	100 11.1	186 20.7	320 35.6	160 17.8	134 14.9
年代	20代	300 100	29 9.7	60 20.0	97 32.3	50 16.7	64 21.3
	30代	300 100	32 10.7	72 24.0	109 36.3	42 14.0	45 15.0
	40代	300 100	29 9.7	71 23.7	115 38.3	39 13.0	46 15.3
	50代	300 100	26 8.7	68 22.7	113 37.7	55 18.3	38 12.7
	60代	300 100	33 11.0	50 16.7	114 38.0	69 23.0	34 11.3
	70代以上	300 100	24 8.0	55 18.3	104 34.7	68 22.7	49 16.3

【17. 菓子類】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	90 5.0	261 14.5	688 38.2	403 22.4	358 19.9
地域	首都圏	900 100	34 3.8	130 14.4	350 38.9	205 22.8	181 20.1
	京阪神圏	900 100	56 6.2	131 14.6	338 37.6	198 22.0	177 19.7
年代	20代	300 100	17 5.7	54 18.0	99 33.0	50 16.7	80 26.7
	30代	300 100	21 7.0	43 14.3	120 40.0	51 17.0	65 21.7
	40代	300 100	18 6.0	48 16.0	125 41.7	55 18.3	54 18.0
	50代	300 100	12 4.0	55 18.3	120 40.0	68 22.7	45 15.0
	60代	300 100	17 5.7	31 10.3	115 38.3	91 30.3	46 15.3
	70代以上	300 100	5 1.7	30 10.0	109 36.3	88 29.3	68 22.7

Q27 次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。
それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	266 14.8	630 35.0	523 29.1	243 13.5	138 7.7
地域	首都圏	900 100	129 14.3	311 34.6	267 29.7	121 13.4	72 8.0
	京阪神圏	900 100	137 15.2	319 35.4	256 28.4	122 13.6	66 7.3
年代	20代	300 100	32 10.7	83 27.7	97 32.3	42 14.0	46 15.3
	30代	300 100	37 12.3	93 31.0	92 30.7	43 14.3	35 11.7
	40代	300 100	43 14.3	90 30.0	94 31.3	48 16.0	25 8.3
	50代	300 100	30 10.0	122 40.7	97 32.3	36 12.0	15 5.0
	60代	300 100	51 17.0	124 41.3	78 26.0	42 14.0	5 1.7
	70代以上	300 100	73 24.3	118 39.3	65 21.7	32 10.7	12 4.0

【2. 食肉中の残留動物薬】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	278 15.4	628 34.9	534 29.7	226 12.6	134 7.4
地域	首都圏	900 100	135 15.0	306 34.0	277 30.8	113 12.6	69 7.7
	京阪神圏	900 100	143 15.9	322 35.8	257 28.6	113 12.6	65 7.2
年代	20代	300 100	34 11.3	87 29.0	92 30.7	43 14.3	44 14.7
	30代	300 100	33 11.0	94 31.3	102 34.0	38 12.7	33 11.0
	40代	300 100	43 14.3	96 32.0	93 31.0	43 14.3	25 8.3
	50代	300 100	35 11.7	117 39.0	98 32.7	35 11.7	15 5.0
	60代	300 100	55 18.3	119 39.7	81 27.0	40 13.3	5 1.7
	70代以上	300 100	78 26.0	115 38.3	68 22.7	27 9.0	12 4.0

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	335 18.6	578 32.1	551 30.6	204 11.3	132 7.3
地域	首都圏	900 100	157 17.4	268 29.8	298 33.1	103 11.4	74 8.2
	京阪神圏	900 100	178 19.8	310 34.4	253 28.1	101 11.2	58 6.4
年代	20代	300 100	41 13.7	64 21.3	111 37.0	42 14.0	42 14.0
	30代	300 100	45 15.0	98 32.7	91 30.3	35 11.7	31 10.3
	40代	300 100	47 15.7	98 32.7	94 31.3	34 11.3	27 9.0
	50代	300 100	48 16.0	98 32.7	108 36.0	32 10.7	14 4.7
	60代	300 100	67 22.3	109 36.3	81 27.0	38 12.7	5 1.7
	70代以上	300 100	87 29.0	111 37.0	66 22.0	23 7.7	13 4.3

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	299 16.6	577 32.1	567 31.5	211 11.7	146 8.1
地域	首都圏	900 100	142 15.8	279 31.0	296 32.9	107 11.9	76 8.4
	京阪神圏	900 100	157 17.4	298 33.1	271 30.1	104 11.6	70 7.8
年代	20代	300 100	42 14.0	77 25.7	91 30.3	44 14.7	46 15.3
	30代	300 100	35 11.7	94 31.3	104 34.7	33 11.0	34 11.3
	40代	300 100	45 15.0	85 28.3	103 34.3	37 12.3	30 10.0
	50代	300 100	45 15.0	94 31.3	109 36.3	37 12.3	15 5.0
	60代	300 100	56 18.7	114 38.0	90 30.0	32 10.7	8 2.7
	70代以上	300 100	76 25.3	113 37.7	70 23.3	28 9.3	13 4.3

【5. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	467 25.9	562 31.2	477 26.5	167 9.3	127 7.1
地域	首都圏	900 100	231 25.7	259 28.8	257 28.6	88 9.8	65 7.2
	京阪神圏	900 100	236 26.2	303 33.7	220 24.4	79 8.8	62 6.9
年代	20代	300 100	49 16.3	70 23.3	94 31.3	41 13.7	46 15.3
	30代	300 100	55 18.3	95 31.7	91 30.3	31 10.3	28 9.3
	40代	300 100	65 21.7	90 30.0	90 30.0	31 10.3	24 8.0
	50代	300 100	67 22.3	107 35.7	91 30.3	22 7.3	13 4.3
	60代	300 100	102 34.0	108 36.0	61 20.3	22 7.3	7 2.3
	70代以上	300 100	129 43.0	92 30.7	50 16.7	20 6.7	9 3.0

【6. 成形肉（インジェクション）】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	313 17.4	533 29.6	618 34.3	194 10.8	142 7.9
地域	首都圏	900 100	143 15.9	267 29.7	317 35.2	99 11.0	74 8.2
	京阪神圏	900 100	170 18.9	266 29.6	301 33.4	95 10.6	68 7.6
年代	20代	300 100	36 12.0	74 24.7	100 33.3	41 13.7	49 16.3
	30代	300 100	36 12.0	96 32.0	99 33.0	34 11.3	35 11.7
	40代	300 100	46 15.3	74 24.7	121 40.3	34 11.3	25 8.3
	50代	300 100	42 14.0	90 30.0	123 41.0	30 10.0	15 5.0
	60代	300 100	68 22.7	91 30.3	103 34.3	31 10.3	7 2.3
	70代以上	300 100	85 28.3	108 36.0	72 24.0	24 8.0	11 3.7

【7. 食肉の放射能汚染】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	377 20.9	587 32.6	541 30.1	171 9.5	124 6.9
地域	首都圏	900 100	178 19.8	292 32.4	278 30.9	89 9.9	63 7.0
	京阪神圏	900 100	199 22.1	295 32.8	263 29.2	82 9.1	61 6.8
年代	20代	300 100	51 17.0	81 27.0	89 29.7	36 12.0	43 14.3
	30代	300 100	47 15.7	98 32.7	100 33.3	26 8.7	29 9.7
	40代	300 100	61 20.3	78 26.0	105 35.0	32 10.7	24 8.0
	50代	300 100	48 16.0	107 35.7	104 34.7	27 9.0	14 4.7
	60代	300 100	68 22.7	112 37.3	89 29.7	27 9.0	4 1.3
	70代以上	300 100	102 34.0	111 37.0	54 18.0	23 7.7	10 3.3

【8. クローン家畜由来の食肉】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	377 20.9	573 31.8	546 30.3	169 9.4	135 7.5
地域	首都圏	900 100	177 19.7	281 31.2	292 32.4	79 8.8	71 7.9
	京阪神圏	900 100	200 22.2	292 32.4	254 28.2	90 10.0	64 7.1
年代	20代	300 100	44 14.7	68 22.7	102 34.0	39 13.0	47 15.7
	30代	300 100	44 14.7	86 28.7	105 35.0	32 10.7	33 11.0
	40代	300 100	47 15.7	97 32.3	100 33.3	31 10.3	25 8.3
	50代	300 100	55 18.3	105 35.0	102 34.0	24 8.0	14 4.7
	60代	300 100	76 25.3	116 38.7	77 25.7	27 9.0	4 1.3
	70代以上	300 100	111 37.0	101 33.7	60 20.0	16 5.3	12 4.0

【9. 牛・豚の口蹄疫】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	419 23.3	593 32.9	520 28.9	144 8.0	124 6.9
地域	首都圏	900 100	212 23.6	295 32.8	263 29.2	68 7.6	62 6.9
	京阪神圏	900 100	207 23.0	298 33.1	257 28.6	76 8.4	62 6.9
年代	20代	300 100	46 15.3	76 25.3	102 34.0	32 10.7	44 14.7
	30代	300 100	39 13.0	95 31.7	102 34.0	32 10.7	32 10.7
	40代	300 100	58 19.3	85 28.3	112 37.3	22 7.3	23 7.7
	50代	300 100	57 19.0	114 38.0	100 33.3	18 6.0	11 3.7
	60代	300 100	92 30.7	118 39.3	61 20.3	23 7.7	6 2.0
	70代以上	300 100	127 42.3	105 35.0	43 14.3	17 5.7	8 2.7

【10. CSF ※1】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	495 27.5	608 33.8	453 25.2	131 7.3	113 6.3
地域	首都圏	900 100	233 25.9	312 34.7	235 26.1	65 7.2	55 6.1
	京阪神圏	900 100	262 29.1	296 32.9	218 24.2	66 7.3	58 6.4
年代	20代	300 100	55 18.3	90 30.0	83 27.7	33 11.0	39 13.0
	30代	300 100	50 16.7	103 34.3	96 32.0	25 8.3	26 8.7
	40代	300 100	69 23.0	97 32.3	87 29.0	24 8.0	23 7.7
	50代	300 100	74 24.7	113 37.7	85 28.3	16 5.3	12 4.0
	60代	300 100	108 36.0	113 37.7	55 18.3	19 6.3	5 1.7
	70代以上	300 100	139 46.3	92 30.7	47 15.7	14 4.7	8 2.7

【11. ASF ※2】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	466 25.9	573 31.8	505 28.1	127 7.1	129 7.2
地域	首都圏	900 100	220 24.4	287 31.9	260 28.9	67 7.4	66 7.3
	京阪神圏	900 100	246 27.3	286 31.8	245 27.2	60 6.7	63 7.0
年代	20代	300 100	45 15.0	84 28.0	104 34.7	24 8.0	43 14.3
	30代	300 100	46 15.3	102 34.0	96 32.0	25 8.3	31 10.3
	40代	300 100	64 21.3	79 26.3	108 36.0	24 8.0	25 8.3
	50代	300 100	68 22.7	110 36.7	89 29.7	19 6.3	14 4.7
	60代	300 100	105 35.0	105 35.0	65 21.7	20 6.7	5 1.7
	70代以上	300 100	138 46.0	93 31.0	43 14.3	15 5.0	11 3.7

【12. 豚インフルエンザ】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	478 26.6	612 34.0	468 26.0	125 6.9	117 6.5
地域	首都圏	900 100	223 24.8	303 33.7	248 27.6	64 7.1	62 6.9
	京阪神圏	900 100	255 28.3	309 34.3	220 24.4	61 6.8	55 6.1
年代	20代	300 100	50 16.7	88 29.3	95 31.7	28 9.3	39 13.0
	30代	300 100	49 16.3	110 36.7	90 30.0	28 9.3	23 7.7
	40代	300 100	73 24.3	84 28.0	95 31.7	24 8.0	24 8.0
	50代	300 100	70 23.3	117 39.0	86 28.7	13 4.3	14 4.7
	60代	300 100	107 35.7	111 37.0	57 19.0	19 6.3	6 2.0
	70代以上	300 100	129 43.0	102 34.0	45 15.0	13 4.3	11 3.7

※1 CSF : Classical Swine Fever (直訳すれば古典的な豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、豚コレラの国際的な呼称です。

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

【13. 鳥インフルエンザ】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	511 28.4	638 35.4	429 23.8	112 6.2	110 6.1
地域	首都圏	900 100	253 28.1	307 34.1	228 25.3	56 6.2	56 6.2
	京阪神圏	900 100	258 28.7	331 36.8	201 22.3	56 6.2	54 6.0
年代	20代	300 100	49 16.3	95 31.7	98 32.7	20 6.7	38 12.7
	30代	300 100	56 18.7	111 37.0	86 28.7	24 8.0	23 7.7
	40代	300 100	76 25.3	102 34.0	77 25.7	24 8.0	21 7.0
	50代	300 100	74 24.7	126 42.0	76 25.3	11 3.7	13 4.3
	60代	300 100	114 38.0	112 37.3	48 16.0	20 6.7	6 2.0
	70代以上	300 100	142 47.3	92 30.7	44 14.7	13 4.3	9 3.0

【14. 食肉中の食中毒菌
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	550 30.6	600 33.3	430 23.9	118 6.6	102 5.7
地域	首都圏	900 100	273 30.3	297 33.0	223 24.8	58 6.4	49 5.4
	京阪神圏	900 100	277 30.8	303 33.7	207 23.0	60 6.7	53 5.9
年代	20代	300 100	63 21.0	85 28.3	90 30.0	26 8.7	36 12.0
	30代	300 100	68 22.7	109 36.3	77 25.7	25 8.3	21 7.0
	40代	300 100	78 26.0	94 31.3	86 28.7	22 7.3	20 6.7
	50代	300 100	78 26.0	119 39.7	77 25.7	16 5.3	10 3.3
	60代	300 100	115 38.3	109 36.3	52 17.3	17 5.7	7 2.3
	70代以上	300 100	148 49.3	84 28.0	48 16.0	12 4.0	8 2.7

【15. 食肉の生食】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	462 25.7	553 30.7	498 27.7	143 7.9	144 8.0
地域	首都圏	900 100	218 24.2	275 30.6	263 29.2	73 8.1	71 7.9
	京阪神圏	900 100	244 27.1	278 30.9	235 26.1	70 7.8	73 8.1
年代	20代	300 100	53 17.7	93 31.0	92 30.7	29 9.7	33 11.0
	30代	300 100	58 19.3	97 32.3	94 31.3	24 8.0	27 9.0
	40代	300 100	64 21.3	80 26.7	104 34.7	26 8.7	26 8.7
	50代	300 100	72 24.0	105 35.0	85 28.3	22 7.3	16 5.3
	60代	300 100	87 29.0	98 32.7	72 24.0	23 7.7	20 6.7
	70代以上	300 100	128 42.7	80 26.7	51 17.0	19 6.3	22 7.3

【16. 食肉の産地偽装】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	571 31.7	540 30.0	469 26.1	121 6.7	99 5.5
地域	首都圏	900 100	265 29.4	263 29.2	254 28.2	68 7.6	50 5.6
	京阪神圏	900 100	306 34.0	277 30.8	215 23.9	53 5.9	49 5.4
年代	20代	300 100	66 22.0	77 25.7	95 31.7	29 9.7	33 11.0
	30代	300 100	54 18.0	99 33.0	99 33.0	23 7.7	25 8.3
	40代	300 100	80 26.7	82 27.3	96 32.0	22 7.3	20 6.7
	50代	300 100	88 29.3	103 34.3	85 28.3	15 5.0	9 3.0
	60代	300 100	122 40.7	101 33.7	55 18.3	18 6.0	4 1.3
	70代以上	300 100	161 53.7	78 26.0	39 13.0	14 4.7	8 2.7

【17. 食肉の消費期限改ざん】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	566 31.4	577 32.1	443 24.6	116 6.4	98 5.4
地域	首都圏	900 100	274 30.4	265 29.4	244 27.1	66 7.3	51 5.7
	京阪神圏	900 100	292 32.4	312 34.7	199 22.1	50 5.6	47 5.2
年代	20代	300 100	61 20.3	92 30.7	90 30.0	23 7.7	34 11.3
	30代	300 100	55 18.3	103 34.3	95 31.7	24 8.0	23 7.7
	40代	300 100	79 26.3	88 29.3	92 30.7	20 6.7	21 7.0
	50代	300 100	92 30.7	107 35.7	75 25.0	16 5.3	10 3.3
	60代	300 100	119 39.7	108 36.0	51 17.0	18 6.0	4 1.3
	70代以上	300 100	160 53.3	79 26.3	40 13.3	15 5.0	6 2.0

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	520 28.9	574 31.9	469 26.1	127 7.1	110 6.1
地域	首都圏	900 100	250 27.8	281 31.2	249 27.7	64 7.1	56 6.2
	京阪神圏	900 100	270 30.0	293 32.6	220 24.4	63 7.0	54 6.0
年代	20代	300 100	51 17.0	94 31.3	92 30.7	27 9.0	36 12.0
	30代	300 100	60 20.0	93 31.0	99 33.0	23 7.7	25 8.3
	40代	300 100	73 24.3	90 30.0	95 31.7	20 6.7	22 7.3
	50代	300 100	69 23.0	114 38.0	85 28.3	19 6.3	13 4.3
	60代	300 100	114 38.0	99 33.0	58 19.3	24 8.0	5 1.7
	70代以上	300 100	153 51.0	84 28.0	40 13.3	14 4.7	9 3.0

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	524 29.1	578 32.1	473 26.3	119 6.6	106 5.9
地域	首都圏	900 100	246 27.3	286 31.8	254 28.2	61 6.8	53 5.9
	京阪神圏	900 100	278 30.9	292 32.4	219 24.3	58 6.4	53 5.9
年代	20代	300 100	48 16.0	89 29.7	104 34.7	23 7.7	36 12.0
	30代	300 100	68 22.7	88 29.3	97 32.3	23 7.7	24 8.0
	40代	300 100	75 25.0	91 30.3	93 31.0	19 6.3	22 7.3
	50代	300 100	77 25.7	108 36.0	85 28.3	18 6.0	12 4.0
	60代	300 100	115 38.3	109 36.3	50 16.7	21 7.0	5 1.7
	70代以上	300 100	141 47.0	93 31.0	44 14.7	15 5.0	7 2.3

Q28 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。
 あてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	これまで鶏肉や鶏卵 を食べた人に感染し た例はない	鳥インフルエンザウイ ルスに付着した鶏肉 や鶏卵を食べても人 に感染することはない	市場に出荷される鶏 肉、鶏卵には鳥イン フルエンザウイルスの付 着を防ぐ安全のため の措置がとられている	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	765 42.5	612 34.0	465 25.8	6 0.3	626 34.8
地域	首都圏	900 100	384 42.7	296 32.9	221 24.6	3 0.3	338 37.6
	京阪神圏	900 100	381 42.3	316 35.1	244 27.1	3 0.3	288 32.0
年代	20代	300 100	93 31.0	74 24.7	66 22.0	1 0.3	132 44.0
	30代	300 100	103 34.3	78 26.0	64 21.3	1 0.3	128 42.7
	40代	300 100	125 41.7	100 33.3	60 20.0	0 0.0	107 35.7
	50代	300 100	148 49.3	103 34.3	73 24.3	0 0.0	100 33.3
	60代	300 100	157 52.3	138 46.0	92 30.7	2 0.7	77 25.7
	70代以上	300 100	139 46.3	119 39.7	110 36.7	2 0.7	82 27.3

Q29 CSF※1について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全
てお選びください。

度数 横%		全 体	CSFは、豚やイ ノシシの病気であ り、人に感染する ことはない	CSFは、コレラ 菌を原因とする人 のコレラとは関係 ない	CSFは、防疫 措置が講じられて いるので感染豚の 肉が市場に出回 ることはない	仮にCSFに罹っ た豚の肉等を食べ ても人体に影響は ない	CSFのワクチン を接種した豚の肉 等を食べても人体 に影響はない	その他	知っているもの はない
全 体		1800 100	744 41.3	449 24.9	377 20.9	327 18.2	233 12.9	5 0.3	757 42.1
地域	首都圏	900 100	370 41.1	220 24.4	192 21.3	173 19.2	132 14.7	3 0.3	381 42.3
	京阪神圏	900 100	374 41.6	229 25.4	185 20.6	154 17.1	101 11.2	2 0.2	376 41.8
年代	20代	300 100	72 24.0	49 16.3	42 14.0	32 10.7	17 5.7	1 0.3	169 56.3
	30代	300 100	84 28.0	48 16.0	37 12.3	33 11.0	18 6.0	1 0.3	170 56.7
	40代	300 100	101 33.7	64 21.3	50 16.7	40 13.3	27 9.0	1 0.3	139 46.3
	50代	300 100	143 47.7	79 26.3	55 18.3	52 17.3	42 14.0	0 0.0	121 40.3
	60代	300 100	169 56.3	109 36.3	95 31.7	85 28.3	66 22.0	1 0.3	84 28.0
	70代以上	300 100	175 58.3	100 33.3	98 32.7	85 28.3	63 21.0	1 0.3	74 24.7

※1 CSF：Classical Swine Fever（直訳すれば古典的な豚の熱病となります）の頭文字をとった略称で、
 豚コレラの国際的な呼称です。

Q30 ASF^{※2}について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全
てお選びください。

度数 横%		全 体	ASFは、豚やイ ノシシの病気であ り、人に感染する ことはない	ASFは、コレラ 菌を原因とする人 のコレラとは関係 ない	ASFは、日本 ではこれまで発生 が確認されていな い	仮にASFに罹っ た豚の肉等を食べ ても人体に影響は ない	ASFは、CS Fとは全く別の病 気である	その他	知っているもの はない
全 体		1800 100	368 20.4	248 13.8	235 13.1	153 8.5	131 7.3	5 0.3	1214 67.4
地域	首都圏	900 100	187 20.8	124 13.8	120 13.3	73 8.1	67 7.4	2 0.2	613 68.1
	京阪神圏	900 100	181 20.1	124 13.8	115 12.8	80 8.9	64 7.1	3 0.3	601 66.8
年代	20代	300 100	45 15.0	35 11.7	34 11.3	27 9.0	13 4.3	1 0.3	206 68.7
	30代	300 100	47 15.7	31 10.3	32 10.7	13 4.3	11 3.7	1 0.3	220 73.3
	40代	300 100	54 18.0	38 12.7	28 9.3	30 10.0	12 4.0	0 0.0	208 69.3
	50代	300 100	67 22.3	37 12.3	32 10.7	16 5.3	17 5.7	2 0.7	209 69.7
	60代	300 100	75 25.0	54 18.0	54 18.0	33 11.0	37 12.3	1 0.3	187 62.3
	70代以上	300 100	80 26.7	53 17.7	55 18.3	34 11.3	41 13.7	0 0.0	184 61.3

※2 ASF : African Swine Fever (直訳すればアフリカの豚の熱病となります) の頭文字をとった略称で、
アフリカ豚コレラの国際的な呼称です。

Q31 あなたは、以下の産地の食肉の放射能汚染について、どのように感じますか。

【1. 岩手県産】

度数 横%		全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体		1800 100	577 32.1	468 26.0	548 30.4	127 7.1	80 4.4
地域	首都圏	900 100	304 33.8	238 26.4	270 30.0	53 5.9	35 3.9
	京阪神圏	900 100	273 30.3	230 25.6	278 30.9	74 8.2	45 5.0
年代	20代	300 100	102 34.0	67 22.3	87 29.0	23 7.7	21 7.0
	30代	300 100	91 30.3	73 24.3	101 33.7	18 6.0	17 5.7
	40代	300 100	83 27.7	72 24.0	109 36.3	21 7.0	15 5.0
	50代	300 100	95 31.7	72 24.0	106 35.3	19 6.3	8 2.7
	60代	300 100	103 34.3	98 32.7	67 22.3	21 7.0	11 3.7
	70代以上	300 100	103 34.3	86 28.7	78 26.0	25 8.3	8 2.7

【2. 宮城県産】

度数 横%		全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体		1800 100	572 31.8	459 25.5	538 29.9	138 7.7	93 5.2
地域	首都圏	900 100	304 33.8	232 25.8	262 29.1	64 7.1	38 4.2
	京阪神圏	900 100	268 29.8	227 25.2	276 30.7	74 8.2	55 6.1
年代	20代	300 100	105 35.0	64 21.3	86 28.7	23 7.7	22 7.3
	30代	300 100	92 30.7	74 24.7	91 30.3	20 6.7	23 7.7
	40代	300 100	81 27.0	66 22.0	111 37.0	25 8.3	17 5.7
	50代	300 100	93 31.0	73 24.3	103 34.3	20 6.7	11 3.7
	60代	300 100	100 33.3	97 32.3	71 23.7	20 6.7	12 4.0
	70代以上	300 100	101 33.7	85 28.3	76 25.3	30 10.0	8 2.7

【3. 栃木県産】

度数 横%		全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体		1800 100	588 32.7	470 26.1	561 31.2	105 5.8	76 4.2
地域	首都圏	900 100	309 34.3	233 25.9	277 30.8	45 5.0	36 4.0
	京阪神圏	900 100	279 31.0	237 26.3	284 31.6	60 6.7	40 4.4
年代	20代	300 100	103 34.3	71 23.7	94 31.3	18 6.0	14 4.7
	30代	300 100	95 31.7	78 26.0	98 32.7	13 4.3	16 5.3
	40代	300 100	86 28.7	72 24.0	108 36.0	18 6.0	16 5.3
	50代	300 100	95 31.7	72 24.0	108 36.0	17 5.7	8 2.7
	60代	300 100	102 34.0	95 31.7	72 24.0	18 6.0	13 4.3
	70代以上	300 100	107 35.7	82 27.3	81 27.0	21 7.0	9 3.0

【4. 福島県産】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	483 26.8	401 22.3	533 29.6	233 12.9	150 8.3
地域	首都圏		900 100	255 28.3	197 21.9	262 29.1	114 12.7	72 8.0
	京阪神圏		900 100	228 25.3	204 22.7	271 30.1	119 13.2	78 8.7
年代	20代		300 100	87 29.0	58 19.3	89 29.7	34 11.3	32 10.7
	30代		300 100	74 24.7	58 19.3	90 30.0	44 14.7	34 11.3
	40代		300 100	69 23.0	55 18.3	102 34.0	39 13.0	35 11.7
	50代		300 100	80 26.7	64 21.3	102 34.0	33 11.0	21 7.0
	60代		300 100	89 29.7	84 28.0	73 24.3	37 12.3	17 5.7
	70代以上		300 100	84 28.0	82 27.3	77 25.7	46 15.3	11 3.7

【5. 地元産】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	723 40.2	506 28.1	481 26.7	50 2.8	40 2.2
地域	首都圏		900 100	342 38.0	248 27.6	255 28.3	33 3.7	22 2.4
	京阪神圏		900 100	381 42.3	258 28.7	226 25.1	17 1.9	18 2.0
年代	20代		300 100	125 41.7	75 25.0	81 27.0	8 2.7	11 3.7
	30代		300 100	109 36.3	90 30.0	85 28.3	10 3.3	6 2.0
	40代		300 100	109 36.3	70 23.3	105 35.0	8 2.7	8 2.7
	50代		300 100	118 39.3	77 25.7	89 29.7	10 3.3	6 2.0
	60代		300 100	125 41.7	102 34.0	59 19.7	8 2.7	6 2.0
	70代以上		300 100	137 45.7	92 30.7	62 20.7	6 2.0	3 1.0

【6. それ以外の国内産地】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	624 34.7	498 27.7	582 32.3	59 3.3	37 2.1
地域	首都圏		900 100	319 35.4	242 26.9	288 32.0	31 3.4	20 2.2
	京阪神圏		900 100	305 33.9	256 28.4	294 32.7	28 3.1	17 1.9
年代	20代		300 100	111 37.0	65 21.7	100 33.3	12 4.0	12 4.0
	30代		300 100	97 32.3	81 27.0	103 34.3	11 3.7	8 2.7
	40代		300 100	93 31.0	76 25.3	118 39.3	8 2.7	5 1.7
	50代		300 100	102 34.0	80 26.7	104 34.7	11 3.7	3 1.0
	60代		300 100	110 36.7	95 31.7	81 27.0	9 3.0	5 1.7
	70代以上		300 100	111 37.0	101 33.7	76 25.3	8 2.7	4 1.3

Q32 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	わからない	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 100	210 11.7	694 38.6	697 38.7	139 7.7	60 3.3
地域	首都圏	900 100	105 11.7	332 36.9	356 39.6	72 8.0	35 3.9
	京阪神圏	900 100	105 11.7	362 40.2	341 37.9	67 7.4	25 2.8
年代	20代	300 100	38 12.7	116 38.7	110 36.7	22 7.3	14 4.7
	30代	300 100	24 8.0	106 35.3	131 43.7	23 7.7	16 5.3
	40代	300 100	35 11.7	102 34.0	135 45.0	21 7.0	7 2.3
	50代	300 100	28 9.3	97 32.3	140 46.7	25 8.3	10 3.3
	60代	300 100	38 12.7	133 44.3	99 33.0	22 7.3	8 2.7
	70代以上	300 100	47 15.7	140 46.7	82 27.3	26 8.7	5 1.7

Q33 食品の安全性に係る問題が発生した場合に、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

	度数 横%	全 体	テレビの	テレビの	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット	インターネット	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)	
			ニュース・ 報道番組	ワイドショー ・情報番組				上のニュース サイト	上のコミュニ ティサイト (SNS等)			
全 体		1800 100	1225 68.1	76 4.2	22 1.2	98 5.4	9 0.5	189 10.5	36 2.0	7 0.4	24 1.3	
地域		首都圏	900 100	616 68.4	32 3.6	10 1.1	49 5.4	3 0.3	102 11.3	19 2.1	4 0.4	11 1.2
		京阪神圏	900 100	609 67.7	44 4.9	12 1.3	49 5.4	6 0.7	87 9.7	17 1.9	3 0.3	13 1.4
年代		20代	300 100	188 62.7	23 7.7	2 0.7	9 3.0	3 1.0	32 10.7	11 3.7	3 1.0	4 1.3
		30代	300 100	195 65.0	15 5.0	5 1.7	7 2.3	1 0.3	34 11.3	14 4.7	1 0.3	3 1.0
		40代	300 100	181 60.3	16 5.3	5 1.7	16 5.3	2 0.7	45 15.0	5 1.7	2 0.7	3 1.0
		50代	300 100	222 74.0	6 2.0	2 0.7	16 5.3	1 0.3	36 12.0	2 0.7	0 0.0	1 0.3
		60代	300 100	224 74.7	11 3.7	3 1.0	14 4.7	1 0.3	23 7.7	4 1.3	0 0.0	8 2.7
		70代以上	300 100	215 71.7	5 1.7	5 1.7	36 12.0	1 0.3	19 6.3	0 0.0	1 0.3	5 1.7

	度数 横%	全 体	公的な	生産者・	スーパー・	生協などの	学校・病院	NPO・	家族・知人	その他	
			研究機関 (大学等)	食品会社	小売店	協同組合	消費者団体				
全 体		1800 100	24 1.3	4 0.2	27 1.5	11 0.6	3 0.2	6 0.3	38 2.1	1 0.1	
地域		首都圏	900 100	12 1.3	4 0.4	11 1.2	5 0.6	1 0.1	3 0.3	17 1.9	1 0.1
		京阪神圏	900 100	12 1.3	0 0.0	16 1.8	6 0.7	2 0.2	3 0.3	21 2.3	0 0.0
年代		20代	300 100	2 0.7	1 0.3	4 1.3	1 0.3	2 0.7	1 0.3	13 4.3	1 0.3
		30代	300 100	7 2.3	1 0.3	8 2.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0	8 2.7	0 0.0
		40代	300 100	7 2.3	2 0.7	6 2.0	4 1.3	0 0.0	1 0.3	5 1.7	0 0.0
		50代	300 100	2 0.7	0 0.0	4 1.3	3 1.0	0 0.0	1 0.3	4 1.3	0 0.0
		60代	300 100	4 1.3	0 0.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0	2 0.7	3 1.0	0 0.0
		70代以上	300 100	2 0.7	0 0.0	3 1.0	2 0.7	0 0.0	1 0.3	5 1.7	0 0.0

【2位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のプログ	行政 (国、地方 自治体)	
全 体	1800 100	225 12.5	661 36.7	46 2.6	287 15.9	26 1.4	267 14.8	71 3.9	25 1.4	49 2.7	
地域	首都圏	900 100	113 12.6	334 37.1	27 3.0	132 14.7	11 1.2	143 15.9	37 4.1	15 1.7	22 2.4
	京阪神圏	900 100	112 12.4	327 36.3	19 2.1	155 17.2	15 1.7	124 13.8	34 3.8	10 1.1	27 3.0
年代	20代	300 100	36 12.0	111 37.0	10 3.3	13 4.3	7 2.3	49 16.3	27 9.0	4 1.3	8 2.7
	30代	300 100	30 10.0	117 39.0	4 1.3	27 9.0	3 1.0	67 22.3	15 5.0	9 3.0	7 2.3
	40代	300 100	53 17.7	120 40.0	3 1.0	28 9.3	5 1.7	46 15.3	8 2.7	5 1.7	9 3.0
	50代	300 100	28 9.3	117 39.0	10 3.3	52 17.3	4 1.3	41 13.7	11 3.7	4 1.3	9 3.0
	60代	300 100	36 12.0	109 36.3	6 2.0	71 23.7	3 1.0	37 12.3	7 2.3	2 0.7	9 3.0
	70代以上	300 100	42 14.0	87 29.0	13 4.3	96 32.0	4 1.3	27 9.0	3 1.0	1 0.3	7 2.3

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	
全 体	1800 100	30 1.7	24 1.3	30 1.7	12 0.7	7 0.4	12 0.7	27 1.5	1 0.1	
地域	首都圏	900 100	13 1.4	10 1.1	16 1.8	6 0.7	3 0.3	8 0.9	10 1.1	0 0.0
	京阪神圏	900 100	17 1.9	14 1.6	14 1.6	6 0.7	4 0.4	4 0.4	17 1.9	1 0.1
年代	20代	300 100	4 1.3	9 3.0	5 1.7	3 1.0	4 1.3	3 1.0	7 2.3	0 0.0
	30代	300 100	5 1.7	3 1.0	3 1.0	2 0.7	1 0.3	4 1.3	2 0.7	1 0.3
	40代	300 100	6 2.0	5 1.7	6 2.0	2 0.7	0 0.0	1 0.3	3 1.0	0 0.0
	50代	300 100	7 2.3	2 0.7	8 2.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3	4 1.3	0 0.0
	60代	300 100	5 1.7	2 0.7	4 1.3	3 1.0	1 0.3	1 0.3	4 1.3	0 0.0
	70代以上	300 100	3 1.0	3 1.0	4 1.3	1 0.3	0 0.0	2 0.7	7 2.3	0 0.0

【3位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)	
全 体	1800 100	80 4.4	208 11.6	116 6.4	271 15.1	35 1.9	442 24.6	98 5.4	26 1.4	123 6.8	
地域	首都圏	900 100	30 3.3	99 11.0	57 6.3	126 14.0	25 2.8	219 24.3	58 6.4	17 1.9	72 8.0
	京阪神圏	900 100	50 5.6	109 12.1	59 6.6	145 16.1	10 1.1	223 24.8	40 4.4	9 1.0	51 5.7
年代	20代	300 100	15 5.0	32 10.7	19 6.3	32 10.7	5 1.7	72 24.0	34 11.3	2 0.7	15 5.0
	30代	300 100	23 7.7	34 11.3	17 5.7	33 11.0	13 4.3	77 25.7	23 7.7	8 2.7	15 5.0
	40代	300 100	13 4.3	34 11.3	19 6.3	49 16.3	5 1.7	79 26.3	21 7.0	8 2.7	11 3.7
	50代	300 100	8 2.7	33 11.0	23 7.7	47 15.7	8 2.7	80 26.7	9 3.0	2 0.7	25 8.3
	60代	300 100	7 2.3	32 10.7	16 5.3	56 18.7	3 1.0	77 25.7	7 2.3	5 1.7	24 8.0
	70代以上	300 100	14 4.7	43 14.3	22 7.3	54 18.0	1 0.3	57 19.0	4 1.3	1 0.3	33 11.0

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	
全 体	1800 100	48 2.7	37 2.1	135 7.5	27 1.5	23 1.3	28 1.6	99 5.5	4 0.2	
地域	首都圏	900 100	24 2.7	19 2.1	67 7.4	11 1.2	11 1.2	14 1.6	49 5.4	2 0.2
	京阪神圏	900 100	24 2.7	18 2.0	68 7.6	16 1.8	12 1.3	14 1.6	50 5.6	2 0.2
年代	20代	300 100	6 2.0	8 2.7	20 6.7	3 1.0	9 3.0	4 1.3	24 8.0	0 0.0
	30代	300 100	4 1.3	5 1.7	17 5.7	5 1.7	5 1.7	3 1.0	16 5.3	2 0.7
	40代	300 100	7 2.3	7 2.3	18 6.0	3 1.0	4 1.3	3 1.0	18 6.0	1 0.3
	50代	300 100	10 3.3	5 1.7	30 10.0	2 0.7	1 0.3	4 1.3	13 4.3	0 0.0
	60代	300 100	12 4.0	7 2.3	25 8.3	3 1.0	1 0.3	10 3.3	14 4.7	1 0.3
	70代以上	300 100	9 3.0	5 1.7	25 8.3	11 3.7	3 1.0	4 1.3	14 4.7	0 0.0

Q34 現在、あなたが安全性を含めた食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネッ ト上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)	
全 体	1800 100	1167 64.8	73 4.1	25 1.4	112 6.2	17 0.9	222 12.3	38 2.1	6 0.3	30 1.7	
地域	首都圏	900 100	585 65.0	33 3.7	18 2.0	55 6.1	10 1.1	117 13.0	16 1.8	2 0.2	15 1.7
	京阪神圏	900 100	582 64.7	40 4.4	7 0.8	57 6.3	7 0.8	105 11.7	22 2.4	4 0.4	15 1.7
年代	20代	300 100	179 59.7	17 5.7	5 1.7	11 3.7	4 1.3	41 13.7	13 4.3	5 1.7	5 1.7
	30代	300 100	186 62.0	14 4.7	2 0.7	7 2.3	4 1.3	47 15.7	13 4.3	0 0.0	5 1.7
	40代	300 100	179 59.7	13 4.3	5 1.7	16 5.3	1 0.3	53 17.7	7 2.3	0 0.0	5 1.7
	50代	300 100	205 68.3	9 3.0	5 1.7	16 5.3	4 1.3	39 13.0	0 0.0	1 0.3	2 0.7
	60代	300 100	213 71.0	12 4.0	5 1.7	16 5.3	2 0.7	26 8.7	4 1.3	0 0.0	8 2.7
	70代以上	300 100	205 68.3	8 2.7	3 1.0	46 15.3	2 0.7	16 5.3	1 0.3	0 0.0	5 1.7

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	
全 体	1800 100	16 0.9	6 0.3	27 1.5	15 0.8	4 0.2	5 0.3	35 1.9	2 0.1	
地域	首都圏	900 100	6 0.7	3 0.3	17 1.9	7 0.8	2 0.2	1 0.1	12 1.3	1 0.1
	京阪神圏	900 100	10 1.1	3 0.3	10 1.1	8 0.9	2 0.2	4 0.4	23 2.6	1 0.1
年代	20代	300 100	1 0.3	0 0.0	6 2.0	0 0.0	3 1.0	0 0.0	9 3.0	1 0.3
	30代	300 100	5 1.7	2 0.7	2 0.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3	9 3.0	1 0.3
	40代	300 100	4 1.3	2 0.7	7 2.3	4 1.3	0 0.0	0 0.0	4 1.3	0 0.0
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	6 2.0	3 1.0	0 0.0	1 0.3	5 1.7	0 0.0
	60代	300 100	2 0.7	0 0.0	3 1.0	3 1.0	0 0.0	3 1.0	3 1.0	0 0.0
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	3 1.0	4 1.3	0 0.0	0 0.0	5 1.7	0 0.0

【2位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のプログ	行政 (国、地方 自治体)	
	全 体	1800 100	249 13.8	661 36.7	51 2.8	272 15.1	15 0.8	271 15.1	89 4.9	14 0.8	35 1.9
地域	首都圏	900 100	117 13.0	334 37.1	28 3.1	123 13.7	6 0.7	148 16.4	48 5.3	11 1.2	19 2.1
	京阪神圏	900 100	132 14.7	327 36.3	23 2.6	149 16.6	9 1.0	123 13.7	41 4.6	3 0.3	16 1.8
年代	20代	300 100	27 9.0	120 40.0	10 3.3	14 4.7	8 2.7	50 16.7	29 9.7	2 0.7	8 2.7
	30代	300 100	40 13.3	120 40.0	3 1.0	25 8.3	3 1.0	51 17.0	27 9.0	4 1.3	4 1.3
	40代	300 100	51 17.0	119 39.7	8 2.7	29 9.7	1 0.3	45 15.0	15 5.0	1 0.3	3 1.0
	50代	300 100	40 13.3	109 36.3	7 2.3	54 18.0	2 0.7	50 16.7	11 3.7	3 1.0	3 1.0
	60代	300 100	39 13.0	104 34.7	8 2.7	65 21.7	0 0.0	43 14.3	6 2.0	4 1.3	8 2.7
	70代以上	300 100	52 17.3	89 29.7	15 5.0	85 28.3	1 0.3	32 10.7	1 0.3	0 0.0	9 3.0

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	
	全 体	1800 100	32 1.8	24 1.3	32 1.8	11 0.6	8 0.4	15 0.8	21 1.2	0 0.0
地域	首都圏	900 100	15 1.7	10 1.1	18 2.0	2 0.2	3 0.3	8 0.9	10 1.1	0 0.0
	京阪神圏	900 100	17 1.9	14 1.6	14 1.6	9 1.0	5 0.6	7 0.8	11 1.2	0 0.0
年代	20代	300 100	6 2.0	9 3.0	7 2.3	3 1.0	1 0.3	3 1.0	3 1.0	0 0.0
	30代	300 100	3 1.0	4 1.3	7 2.3	3 1.0	2 0.7	2 0.7	2 0.7	0 0.0
	40代	300 100	9 3.0	4 1.3	5 1.7	1 0.3	3 1.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0
	50代	300 100	5 1.7	2 0.7	4 1.3	2 0.7	0 0.0	2 0.7	6 2.0	0 0.0
	60代	300 100	7 2.3	3 1.0	8 2.7	1 0.3	1 0.3	0 0.0	3 1.0	0 0.0
	70代以上	300 100	2 0.7	2 0.7	1 0.3	1 0.3	1 0.3	4 1.3	5 1.7	0 0.0

【3位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のプログ	行政 (国、地方 自治体)	
全 体	1800 100	101 5.6	209 11.6	111 6.2	278 15.4	53 2.9	448 24.9	90 5.0	40 2.2	115 6.4	
地域	首都圏	900 100	54 6.0	99 11.0	54 6.0	128 14.2	33 3.7	228 25.3	53 5.9	22 2.4	57 6.3
	京阪神圏	900 100	47 5.2	110 12.2	57 6.3	150 16.7	20 2.2	220 24.4	37 4.1	18 2.0	58 6.4
年代	20代	300 100	29 9.7	24 8.0	20 6.7	31 10.3	16 5.3	76 25.3	31 10.3	6 2.0	11 3.7
	30代	300 100	11 3.7	34 11.3	19 6.3	34 11.3	13 4.3	91 30.3	22 7.3	14 4.7	9 3.0
	40代	300 100	20 6.7	34 11.3	18 6.0	45 15.0	8 2.7	75 25.0	15 5.0	10 3.3	18 6.0
	50代	300 100	12 4.0	39 13.0	23 7.7	44 14.7	9 3.0	74 24.7	14 4.7	3 1.0	22 7.3
	60代	300 100	11 3.7	31 10.3	18 6.0	58 19.3	4 1.3	75 25.0	2 0.7	6 2.0	25 8.3
	70代以上	300 100	18 6.0	47 15.7	13 4.3	66 22.0	3 1.0	57 19.0	6 2.0	1 0.3	30 10.0

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	
全 体	1800 100	46 2.6	44 2.4	99 5.5	27 1.5	9 0.5	20 1.1	103 5.7	7 0.4	
地域	首都圏	900 100	25 2.8	18 2.0	46 5.1	10 1.1	5 0.6	11 1.2	53 5.9	4 0.4
	京阪神圏	900 100	21 2.3	26 2.9	53 5.9	17 1.9	4 0.4	9 1.0	50 5.6	3 0.3
年代	20代	300 100	11 3.7	8 2.7	8 2.7	4 1.3	3 1.0	2 0.7	20 6.7	0 0.0
	30代	300 100	5 1.7	6 2.0	18 6.0	7 2.3	2 0.7	1 0.3	12 4.0	2 0.7
	40代	300 100	7 2.3	7 2.3	15 5.0	4 1.3	1 0.3	1 0.3	21 7.0	1 0.3
	50代	300 100	8 2.7	8 2.7	23 7.7	3 1.0	1 0.3	4 1.3	13 4.3	0 0.0
	60代	300 100	8 2.7	9 3.0	21 7.0	2 0.7	1 0.3	9 3.0	18 6.0	2 0.7
	70代以上	300 100	7 2.3	6 2.0	14 4.7	7 2.3	1 0.3	3 1.0	19 6.3	2 0.7

Q35 食肉の安全性に関する情報を得る場合、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)	
		全 体	1800 100	1007 55.9	60 3.3	24 1.3	163 9.1	13 0.7	145 8.1	42 2.3	5 0.3
地域	首都圏	900 100	496 55.1	34 3.8	14 1.6	85 9.4	5 0.6	72 8.0	23 2.6	3 0.3	40 4.4
	京阪神圏	900 100	511 56.8	26 2.9	10 1.1	78 8.7	8 0.9	73 8.1	19 2.1	2 0.2	51 5.7
年代	20代	300 100	159 53.0	20 6.7	6 2.0	19 6.3	3 1.0	27 9.0	12 4.0	2 0.7	13 4.3
	30代	300 100	180 60.0	6 2.0	3 1.0	13 4.3	3 1.0	30 10.0	13 4.3	0 0.0	10 3.3
	40代	300 100	166 55.3	11 3.7	4 1.3	18 6.0	3 1.0	29 9.7	8 2.7	1 0.3	17 5.7
	50代	300 100	176 58.7	7 2.3	3 1.0	27 9.0	1 0.3	24 8.0	6 2.0	0 0.0	15 5.0
	60代	300 100	176 58.7	10 3.3	4 1.3	28 9.3	1 0.3	21 7.0	2 0.7	2 0.7	15 5.0
	70代以上	300 100	150 50.0	6 2.0	4 1.3	58 19.3	2 0.7	14 4.7	1 0.3	0 0.0	21 7.0

度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はな い	
		全 体	1800 100	82 4.6	10 0.6	19 1.1	22 1.2	5 0.3	13 0.7	31 1.7	0 0.0
地域	首都圏	900 100	47 5.2	4 0.4	8 0.9	14 1.6	3 0.3	7 0.8	12 1.3	0 0.0	33 3.7
	京阪神圏	900 100	35 3.9	6 0.7	11 1.2	8 0.9	2 0.2	6 0.7	19 2.1	0 0.0	35 3.9
年代	20代	300 100	8 2.7	4 1.3	8 2.7	3 1.0	2 0.7	3 1.0	4 1.3	0 0.0	7 2.3
	30代	300 100	18 6.0	0 0.0	2 0.7	2 0.7	2 0.7	1 0.3	6 2.0	0 0.0	11 3.7
	40代	300 100	9 3.0	2 0.7	1 0.3	5 1.7	0 0.0	2 0.7	8 2.7	0 0.0	16 5.3
	50代	300 100	14 4.7	4 1.3	4 1.3	3 1.0	0 0.0	1 0.3	6 2.0	0 0.0	9 3.0
	60代	300 100	15 5.0	0 0.0	2 0.7	6 2.0	0 0.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0	12 4.0
	70代以上	300 100	18 6.0	0 0.0	2 0.7	3 1.0	1 0.3	2 0.7	5 1.7	0 0.0	13 4.3

【2位】

	度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のプログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	234 13.0	552 30.7	62 3.4	266 14.8	16 0.9	197 10.9	61 3.4	9 0.5	98 5.4
地域	首都圏	900 100	120 13.3	279 31.0	28 3.1	122 13.6	12 1.3	107 11.9	31 3.4	7 0.8	52 5.8
	京阪神圏	900 100	114 12.7	273 30.3	34 3.8	144 16.0	4 0.4	90 10.0	30 3.3	2 0.2	46 5.1
年代	20代	300 100	27 9.0	100 33.3	13 4.3	20 6.7	6 2.0	37 12.3	19 6.3	3 1.0	17 5.7
	30代	300 100	27 9.0	107 35.7	13 4.3	24 8.0	4 1.3	47 15.7	16 5.3	3 1.0	13 4.3
	40代	300 100	34 11.3	105 35.0	8 2.7	36 12.0	2 0.7	35 11.7	12 4.0	2 0.7	6 2.0
	50代	300 100	40 13.3	94 31.3	8 2.7	54 18.0	3 1.0	33 11.0	6 2.0	1 0.3	15 5.0
	60代	300 100	49 16.3	82 27.3	11 3.7	57 19.0	0 0.0	28 9.3	5 1.7	0 0.0	19 6.3
	70代以上	300 100	57 19.0	64 21.3	9 3.0	75 25.0	1 0.3	17 5.7	3 1.0	0 0.0	28 9.3

	度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はな い
全 体		1800 100	78 4.3	29 1.6	27 1.5	20 1.1	8 0.4	26 1.4	36 2.0	1 0.1	80 4.4
地域	首都圏	900 100	31 3.4	16 1.8	15 1.7	7 0.8	2 0.2	19 2.1	15 1.7	0 0.0	37 4.1
	京阪神圏	900 100	47 5.2	13 1.4	12 1.3	13 1.4	6 0.7	7 0.8	21 2.3	1 0.1	43 4.8
年代	20代	300 100	12 4.0	13 4.3	8 2.7	3 1.0	2 0.7	6 2.0	7 2.3	0 0.0	7 2.3
	30代	300 100	12 4.0	5 1.7	4 1.3	4 1.3	1 0.3	2 0.7	5 1.7	0 0.0	13 4.3
	40代	300 100	13 4.3	4 1.3	7 2.3	3 1.0	3 1.0	4 1.3	7 2.3	0 0.0	19 6.3
	50代	300 100	14 4.7	4 1.3	2 0.7	3 1.0	1 0.3	7 2.3	5 1.7	0 0.0	10 3.3
	60代	300 100	16 5.3	2 0.7	4 1.3	4 1.3	0 0.0	4 1.3	5 1.7	1 0.3	13 4.3
	70代以上	300 100	11 3.7	1 0.3	2 0.7	3 1.0	1 0.3	3 1.0	7 2.3	0 0.0	18 6.0

【3位】

	度数 横%	全体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニ ティサイト (SNS等)	個人のプログ	行政 (国、地方 自治体)
全体		1800 100	112 6.2	194 10.8	99 5.5	241 13.4	35 1.9	377 20.9	77 4.3	40 2.2	131 7.3
地域	首都圏	900 100	54 6.0	89 9.9	51 5.7	111 12.3	17 1.9	210 23.3	44 4.9	23 2.6	61 6.8
	京阪神圏	900 100	58 6.4	105 11.7	48 5.3	130 14.4	18 2.0	167 18.6	33 3.7	17 1.9	70 7.8
年代	20代	300 100	19 6.3	26 8.7	19 6.3	30 10.0	8 2.7	59 19.7	31 10.3	10 3.3	21 7.0
	30代	300 100	13 4.3	28 9.3	18 6.0	32 10.7	3 1.0	78 26.0	17 5.7	15 5.0	15 5.0
	40代	300 100	17 5.7	37 12.3	15 5.0	40 13.3	5 1.7	69 23.0	14 4.7	7 2.3	23 7.7
	50代	300 100	18 6.0	32 10.7	20 6.7	43 14.3	9 3.0	64 21.3	8 2.7	2 0.7	19 6.3
	60代	300 100	15 5.0	40 13.3	14 4.7	49 16.3	7 2.3	56 18.7	5 1.7	3 1.0	22 7.3
	70代以上	300 100	30 10.0	31 10.3	13 4.3	47 15.7	3 1.0	51 17.0	2 0.7	3 1.0	31 10.3

	度数 横%	全体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源は
全体		1800 100	80 4.4	53 2.9	79 4.4	27 1.5	23 1.3	48 2.7	77 4.3	3 0.2	104 5.8
地域	首都圏	900 100	37 4.1	23 2.6	45 5.0	10 1.1	13 1.4	21 2.3	35 3.9	2 0.2	54 6.0
	京阪神圏	900 100	43 4.8	30 3.3	34 3.8	17 1.9	10 1.1	27 3.0	42 4.7	1 0.1	50 5.6
年代	20代	300 100	14 4.7	9 3.0	13 4.3	3 1.0	8 2.7	5 1.7	16 5.3	0 0.0	9 3.0
	30代	300 100	8 2.7	14 4.7	14 4.7	6 2.0	5 1.7	2 0.7	12 4.0	0 0.0	20 6.7
	40代	300 100	15 5.0	9 3.0	10 3.3	0 0.0	2 0.7	4 1.3	10 3.3	1 0.3	22 7.3
	50代	300 100	12 4.0	9 3.0	19 6.3	5 1.7	2 0.7	7 2.3	16 5.3	0 0.0	15 5.0
	60代	300 100	20 6.7	5 1.7	11 3.7	6 2.0	4 1.3	13 4.3	11 3.7	1 0.3	18 6.0
	70代以上	300 100	11 3.7	7 2.3	12 4.0	7 2.3	2 0.7	17 5.7	12 4.0	1 0.3	20 6.7

Q36 あなたは、次の各機関や事業者などが行っている食肉の安全性を確保するために
行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなた
の考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	175 9.7	531 29.5	635 35.3	134 7.4	116 6.4	209 11.6
地域	首都圏	900 100	94 10.4	262 29.1	315 35.0	73 8.1	63 7.0	93 10.3
	京阪神圏	900 100	81 9.0	269 29.9	320 35.6	61 6.8	53 5.9	116 12.9
年代	20代	300 100	55 18.3	87 29.0	80 26.7	17 5.7	11 3.7	50 16.7
	30代	300 100	27 9.0	73 24.3	107 35.7	26 8.7	15 5.0	52 17.3
	40代	300 100	19 6.3	76 25.3	121 40.3	24 8.0	23 7.7	37 12.3
	50代	300 100	19 6.3	74 24.7	133 44.3	22 7.3	20 6.7	32 10.7
	60代	300 100	24 8.0	99 33.0	110 36.7	28 9.3	24 8.0	15 5.0
	70代以上	300 100	31 10.3	122 40.7	84 28.0	17 5.7	23 7.7	23 7.7

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	146 8.1	483 26.8	659 36.6	164 9.1	132 7.3	216 12.0
地域	首都圏	900 100	74 8.2	238 26.4	331 36.8	86 9.6	71 7.9	100 11.1
	京阪神圏	900 100	72 8.0	245 27.2	328 36.4	78 8.7	61 6.8	116 12.9
年代	20代	300 100	46 15.3	72 24.0	99 33.0	20 6.7	12 4.0	51 17.0
	30代	300 100	22 7.3	74 24.7	106 35.3	28 9.3	18 6.0	52 17.3
	40代	300 100	15 5.0	64 21.3	127 42.3	34 11.3	22 7.3	38 12.7
	50代	300 100	18 6.0	71 23.7	126 42.0	31 10.3	21 7.0	33 11.0
	60代	300 100	18 6.0	91 30.3	110 36.7	31 10.3	32 10.7	18 6.0
	70代以上	300 100	27 9.0	111 37.0	91 30.3	20 6.7	27 9.0	24 8.0

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	127 7.1	499 27.7	729 40.5	145 8.1	83 4.6	217 12.1
地域	首都圏	900 100	62 6.9	242 26.9	375 41.7	71 7.9	46 5.1	104 11.6
	京阪神圏	900 100	65 7.2	257 28.6	354 39.3	74 8.2	37 4.1	113 12.6
年代	20代	300 100	39 13.0	83 27.7	98 32.7	18 6.0	12 4.0	50 16.7
	30代	300 100	21 7.0	74 24.7	112 37.3	31 10.3	12 4.0	50 16.7
	40代	300 100	15 5.0	66 22.0	139 46.3	24 8.0	17 5.7	39 13.0
	50代	300 100	15 5.0	72 24.0	143 47.7	22 7.3	15 5.0	33 11.0
	60代	300 100	14 4.7	102 34.0	120 40.0	31 10.3	12 4.0	21 7.0
	70代以上	300 100	23 7.7	102 34.0	117 39.0	19 6.3	15 5.0	24 8.0

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	118 6.6	513 28.5	756 42.0	137 7.6	61 3.4	215 11.9
地域	首都圏	900 100	64 7.1	252 28.0	386 42.9	62 6.9	32 3.6	104 11.6
	京阪神圏	900 100	54 6.0	261 29.0	370 41.1	75 8.3	29 3.2	111 12.3
年代	20代	300 100	39 13.0	82 27.3	103 34.3	18 6.0	11 3.7	47 15.7
	30代	300 100	24 8.0	80 26.7	107 35.7	26 8.7	12 4.0	51 17.0
	40代	300 100	13 4.3	83 27.7	125 41.7	29 9.7	10 3.3	40 13.3
	50代	300 100	19 6.3	74 24.7	143 47.7	23 7.7	9 3.0	32 10.7
	60代	300 100	15 5.0	93 31.0	142 47.3	20 6.7	11 3.7	19 6.3
	70代以上	300 100	8 2.7	101 33.7	136 45.3	21 7.0	8 2.7	26 8.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	76 4.2	291 16.2	827 45.9	253 14.1	128 7.1	225 12.5
地域	首都圏	900 100	42 4.7	159 17.7	419 46.6	109 12.1	63 7.0	108 12.0
	京阪神圏	900 100	34 3.8	132 14.7	408 45.3	144 16.0	65 7.2	117 13.0
年代	20代	300 100	34 11.3	49 16.3	117 39.0	32 10.7	17 5.7	51 17.0
	30代	300 100	16 5.3	59 19.7	121 40.3	39 13.0	15 5.0	50 16.7
	40代	300 100	7 2.3	41 13.7	141 47.0	45 15.0	27 9.0	39 13.0
	50代	300 100	9 3.0	44 14.7	148 49.3	44 14.7	22 7.3	33 11.0
	60代	300 100	6 2.0	46 15.3	154 51.3	46 15.3	27 9.0	21 7.0
	70代以上	300 100	4 1.3	52 17.3	146 48.7	47 15.7	20 6.7	31 10.3

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	70 3.9	281 15.6	861 47.8	237 13.2	120 6.7	231 12.8
地域	首都圏	900 100	38 4.2	151 16.8	434 48.2	107 11.9	59 6.6	111 12.3
	京阪神圏	900 100	32 3.6	130 14.4	427 47.4	130 14.4	61 6.8	120 13.3
年代	20代	300 100	26 8.7	51 17.0	128 42.7	28 9.3	14 4.7	53 17.7
	30代	300 100	16 5.3	59 19.7	117 39.0	36 12.0	18 6.0	54 18.0
	40代	300 100	8 2.7	37 12.3	148 49.3	44 14.7	22 7.3	41 13.7
	50代	300 100	8 2.7	41 13.7	154 51.3	42 14.0	23 7.7	32 10.7
	60代	300 100	8 2.7	45 15.0	162 54.0	42 14.0	23 7.7	20 6.7
	70代以上	300 100	4 1.3	48 16.0	152 50.7	45 15.0	20 6.7	31 10.3

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	59 3.3	229 12.7	837 46.5	295 16.4	148 8.2	232 12.9
地域	首都圏	900 100	33 3.7	123 13.7	428 47.6	137 15.2	69 7.7	110 12.2
	京阪神圏	900 100	26 2.9	106 11.8	409 45.4	158 17.6	79 8.8	122 13.6
年代	20代	300 100	23 7.7	50 16.7	121 40.3	40 13.3	16 5.3	50 16.7
	30代	300 100	13 4.3	48 16.0	122 40.7	43 14.3	24 8.0	50 16.7
	40代	300 100	9 3.0	26 8.7	141 47.0	62 20.7	22 7.3	40 13.3
	50代	300 100	6 2.0	31 10.3	155 51.7	41 13.7	31 10.3	36 12.0
	60代	300 100	5 1.7	35 11.7	153 51.0	62 20.7	26 8.7	19 6.3
	70代以上	300 100	3 1.0	39 13.0	145 48.3	47 15.7	29 9.7	37 12.3

Q37 食肉の安全性に関する情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）をお選びください。

【1位】

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな（マイナスの、あるいは都合の悪い）情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	1296 72.0	145 8.1	97 5.4	73 4.1	97 5.4	37 2.1	20 1.1	10 0.6
地域	首都圏	900 100	654 72.7	72 8.0	42 4.7	45 5.0	51 5.7	12 1.3	9 1.0	5 0.6
	京阪神圏	900 100	642 71.3	73 8.1	55 6.1	28 3.1	46 5.1	25 2.8	11 1.2	5 0.6
年代	20代	300 100	189 63.0	26 8.7	20 6.7	18 6.0	22 7.3	7 2.3	4 1.3	3 1.0
	30代	300 100	212 70.7	24 8.0	16 5.3	10 3.3	22 7.3	6 2.0	4 1.3	3 1.0
	40代	300 100	230 76.7	16 5.3	16 5.3	12 4.0	15 5.0	6 2.0	2 0.7	0 0.0
	50代	300 100	233 77.7	16 5.3	14 4.7	10 3.3	17 5.7	3 1.0	3 1.0	1 0.3
	60代	300 100	230 76.7	22 7.3	14 4.7	9 3.0	11 3.7	6 2.0	4 1.3	1 0.3
	70代以上	300 100	202 67.3	41 13.7	17 5.7	14 4.7	10 3.3	9 3.0	3 1.0	2 0.7

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	5 0.3	2 0.1	8 0.4	2 0.1	1 0.1	6 0.3	1 0.1
地域	首都圏	900 100	1 0.1	1 0.1	4 0.4	0 0.0	1 0.1	2 0.2	1 0.1
	京阪神圏	900 100	4 0.4	1 0.1	4 0.4	2 0.2	0 0.0	4 0.4	0 0.0
年代	20代	300 100	2 0.7	1 0.3	5 1.7	0 0.0	0 0.0	3 1.0	0 0.0
	30代	300 100	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.7	0 0.0
	40代	300 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	300 100	1 0.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0
	60代	300 100	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3
	70代以上	300 100	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0

【2位】

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな (マイナスの、 あるいは都合 の悪い) 情報 も包み隠さず 開示	中立・公平 な立場での 見解	食品表示 制度の改善	情報への アクセスの しやすさ
全 体		1800 100	177 9.8	718 39.9	348 19.3	177 9.8	156 8.7	104 5.8	44 2.4	23 1.3
地域	首都圏	900 100	87 9.7	368 40.9	177 19.7	87 9.7	80 8.9	46 5.1	21 2.3	12 1.3
	京阪神圏	900 100	90 10.0	350 38.9	171 19.0	90 10.0	76 8.4	58 6.4	23 2.6	11 1.2
年代	20代	300 100	27 9.0	100 33.3	59 19.7	31 10.3	27 9.0	24 8.0	10 3.3	9 3.0
	30代	300 100	24 8.0	108 36.0	72 24.0	25 8.3	29 9.7	16 5.3	9 3.0	5 1.7
	40代	300 100	25 8.3	125 41.7	63 21.0	16 5.3	31 10.3	21 7.0	6 2.0	2 0.7
	50代	300 100	18 6.0	136 45.3	52 17.3	32 10.7	31 10.3	17 5.7	6 2.0	1 0.3
	60代	300 100	38 12.7	134 44.7	45 15.0	38 12.7	20 6.7	11 3.7	4 1.3	4 1.3
	70代以上	300 100	45 15.0	115 38.3	57 19.0	35 11.7	18 6.0	15 5.0	9 3.0	2 0.7

度数 横%		全 体	ウェブサイ トの充実	メール マガジンの 発信	パンフレ ット・広 報誌の 充実	消費者の 相談を受け る窓口の設 置	説明会な ど の開催	意見交換会 など双方向 型のコミュニ ケーションの 場の設置	その他
全 体		1800 100	14 0.8	7 0.4	10 0.6	15 0.8	6 0.3	1 0.1	0 0.0
地域	首都圏	900 100	5 0.6	4 0.4	5 0.6	5 0.6	3 0.3	0 0.0	0 0.0
	京阪神圏	900 100	9 1.0	3 0.3	5 0.6	10 1.1	3 0.3	1 0.1	0 0.0
年代	20代	300 100	2 0.7	2 0.7	3 1.0	4 1.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0
	30代	300 100	5 1.7	1 0.3	0 0.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0
	40代	300 100	4 1.3	2 0.7	3 1.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	300 100	3 1.0	0 0.0	2 0.7	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代	300 100	0 0.0	1 0.3	2 0.7	1 0.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	0 0.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0	0 0.0

【3位】

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな (マイナスの、 あるいは都合 の悪い) 情報 も包み隠さず 開示	中立・公平 な立場での 見解	食品表示 制度の改善	情報への アクセスの しやすさ
全 体		1800 100	82 4.6	180 10.0	621 34.5	244 13.6	217 12.1	192 10.7	75 4.2	69 3.8
地域	首都圏	900 100	40 4.4	91 10.1	311 34.6	132 14.7	89 9.9	107 11.9	39 4.3	33 3.7
	京阪神圏	900 100	42 4.7	89 9.9	310 34.4	112 12.4	128 14.2	85 9.4	36 4.0	36 4.0
年代	20代	300 100	6 2.0	33 11.0	92 30.7	31 10.3	48 16.0	24 8.0	10 3.3	27 9.0
	30代	300 100	15 5.0	24 8.0	98 32.7	44 14.7	40 13.3	34 11.3	12 4.0	10 3.3
	40代	300 100	12 4.0	27 9.0	118 39.3	43 14.3	34 11.3	22 7.3	9 3.0	15 5.0
	50代	300 100	23 7.7	31 10.3	111 37.0	34 11.3	23 7.7	38 12.7	19 6.3	6 2.0
	60代	300 100	7 2.3	33 11.0	111 37.0	38 12.7	41 13.7	40 13.3	11 3.7	7 2.3
	70代以上	300 100	19 6.3	32 10.7	91 30.3	54 18.0	31 10.3	34 11.3	14 4.7	4 1.3

度数 横%		全 体	ウェブサイ トの充実	メール マガジンの 発信	パンフレット ・広報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会など の開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケー ションの場の 設置	その他
全 体		1800 100	26 1.4	17 0.9	11 0.6	40 2.2	13 0.7	11 0.6	2 0.1
地域	首都圏	900 100	12 1.3	10 1.1	3 0.3	21 2.3	7 0.8	4 0.4	1 0.1
	京阪神圏	900 100	14 1.6	7 0.8	8 0.9	19 2.1	6 0.7	7 0.8	1 0.1
年代	20代	300 100	7 2.3	2 0.7	5 1.7	5 1.7	5 1.7	4 1.3	1 0.3
	30代	300 100	5 1.7	6 2.0	4 1.3	5 1.7	1 0.3	2 0.7	0 0.0
	40代	300 100	8 2.7	4 1.3	2 0.7	6 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	50代	300 100	2 0.7	1 0.3	0 0.0	8 2.7	2 0.7	2 0.7	0 0.0
	60代	300 100	3 1.0	2 0.7	0 0.0	3 1.0	3 1.0	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	0 0.0	13 4.3	2 0.7	2 0.7	1 0.3

Q39 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP 認証農場の畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。

あなたは、「JGAP家畜・畜産物」の認証を受けていることが、「東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされていること」をご存知ですか。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	知らない
全 体			1800 100	35 1.9	145 8.1	373 20.7	1247 69.3
地域	首都圏		900 100	21 2.3	77 8.6	181 20.1	621 69.0
	京阪神圏		900 100	14 1.6	68 7.6	192 21.3	626 69.6
年代	20代		300 100	15 5.0	33 11.0	70 23.3	182 60.7
	30代		300 100	10 3.3	29 9.7	52 17.3	209 69.7
	40代		300 100	4 1.3	25 8.3	49 16.3	222 74.0
	50代		300 100	3 1.0	16 5.3	62 20.7	219 73.0
	60代		300 100	0 0.0	21 7.0	73 24.3	206 68.7
	70代以上		300 100	3 1.0	21 7.0	67 22.3	209 69.7

Q40 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



あなたは、一般のお店やレストランで、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」がついている商品を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。

度数横%		全 体	割高でも 購入したい・ 食べたい	ロゴマークがついて いない商品と、同 程度の価格なら購 入したい・食べたい	安ければ 購入したい・ 食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない
全 体		1800 100	173 9.6	618 34.3	456 25.3	42 2.3	511 28.4
地域	首都圏	900 100	90 10.0	308 34.2	222 24.7	21 2.3	259 28.8
	京阪神圏	900 100	83 9.2	310 34.4	234 26.0	21 2.3	252 28.0
年代	20代	300 100	26 8.7	94 31.3	89 29.7	7 2.3	84 28.0
	30代	300 100	22 7.3	96 32.0	88 29.3	8 2.7	86 28.7
	40代	300 100	24 8.0	84 28.0	90 30.0	7 2.3	95 31.7
	50代	300 100	29 9.7	103 34.3	71 23.7	5 1.7	92 30.7
	60代	300 100	32 10.7	120 40.0	64 21.3	4 1.3	80 26.7
	70代以上	300 100	40 13.3	121 40.3	54 18.0	11 3.7	74 24.7

Q41 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉（フランス語）で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉（野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等）は全てジビエとして定義されます。

あなたは、このこと（ジビエについての上記の説明）をご存知ですか。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	79 4.4	402 22.3	469 26.1	320 17.8	210 11.7	320 17.8
地域	首都圏		900 100	40 4.4	212 23.6	235 26.1	163 18.1	94 10.4	156 17.3
	京阪神圏		900 100	39 4.3	190 21.1	234 26.0	157 17.4	116 12.9	164 18.2
年代	20代		300 100	17 5.7	56 18.7	72 24.0	62 20.7	29 9.7	64 21.3
	30代		300 100	19 6.3	55 18.3	70 23.3	66 22.0	32 10.7	58 19.3
	40代		300 100	9 3.0	51 17.0	91 30.3	47 15.7	37 12.3	65 21.7
	50代		300 100	13 4.3	73 24.3	69 23.0	53 17.7	37 12.3	55 18.3
	60代		300 100	12 4.0	78 26.0	91 30.3	57 19.0	26 8.7	36 12.0
	70代以上		300 100	9 3.0	89 29.7	76 25.3	35 11.7	49 16.3	42 14.0

Q42 あなたはジビエ（主にシカとイノシシ）を食べますか。あなたが、ジビエ（主にシカとイノシシ）を食べる頻度をお答えください。

度数 横%		全 体	週に 1日程度	月に 2~3日 程度	月に1日 程度	2~3ヶ月 に1日程度	半年に 1日程度	年に 1日程度	2~3年に 1日程度	それ以下	食べたことが ないが、今後食 べてみたい	食べたことが なく、今後も食 べたいと思わない
全 体		100	0.9	0.8	1.6	2.7	4.4	5.7	4.4	21.7	21.2	36.6
地域	首都圏	900	8	8	15	22	32	42	30	188	218	337
	100	0.9	0.9	1.7	2.4	3.6	4.7	3.3	20.9	24.2	37.4	
	京阪神圏	900	8	6	13	26	48	61	49	203	164	322
	100	0.9	0.7	1.4	2.9	5.3	6.8	5.4	22.6	18.2	35.8	
年代	20代	300	9	7	12	12	16	18	13	48	79	86
	100	3.0	2.3	4.0	4.0	5.3	6.0	4.3	16.0	26.3	28.7	
	30代	300	5	3	5	6	15	20	16	59	62	109
	100	1.7	1.0	1.7	2.0	5.0	6.7	5.3	19.7	20.7	36.3	
	40代	300	2	1	6	13	9	14	9	57	82	107
	100	0.7	0.3	2.0	4.3	3.0	4.7	3.0	19.0	27.3	35.7	
	50代	300	0	2	3	8	13	19	9	73	62	111
100	0.0	0.7	1.0	2.7	4.3	6.3	3.0	24.3	20.7	37.0		
60代	300	0	1	0	6	16	16	14	80	44	123	
100	0.0	0.3	0.0	2.0	5.3	5.3	4.7	26.7	14.7	41.0		
70代以上	300	0	0	2	3	11	16	18	74	53	123	
100	0.0	0.0	0.7	1.0	3.7	5.3	6.0	24.7	17.7	41.0		

Q43(1) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、知っている事柄が下記の中にあります。あてはまるものを全てお選びください。

		全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するの で、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている	その他	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	512 28.4	405 22.5	284 15.8	177 9.8	377 20.9	296 16.4	269 14.9	158 8.8	4 0.2	857 47.6
地域	首都圏	900 100	274 30.4	196 21.8	125 13.9	74 8.2	179 19.9	133 14.8	133 14.8	75 8.3	2 0.2	439 48.8
	京阪神圏	900 100	238 26.4	209 23.2	159 17.7	103 11.4	198 22.0	163 18.1	136 15.1	83 9.2	2 0.2	418 46.4
年代	20代	300 100	96 32.0	54 18.0	49 16.3	36 12.0	44 14.7	39 13.0	36 12.0	23 7.7	0 0.0	129 43.0
	30代	300 100	84 28.0	63 21.0	52 17.3	25 8.3	48 16.0	43 14.3	35 11.7	17 5.7	0 0.0	146 48.7
	40代	300 100	88 29.3	61 20.3	52 17.3	22 7.3	55 18.3	40 13.3	35 11.7	16 5.3	1 0.3	143 47.7
	50代	300 100	90 30.0	66 22.0	47 15.7	30 10.0	70 23.3	50 16.7	48 16.0	20 6.7	0 0.0	152 50.7
	60代	300 100	78 26.0	85 28.3	47 15.7	32 10.7	82 27.3	63 21.0	55 18.3	43 14.3	1 0.3	142 47.3
	70代以上	300 100	76 25.3	76 25.3	37 12.3	32 10.7	78 26.0	61 20.3	60 20.0	39 13.0	2 0.7	145 48.3

Q43(2) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、あなたが魅力を感じる事柄があります。あてはまるものを全てお選びください。

		全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するの で、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている	その他	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	348 19.3	187 10.4	168 9.3	92 5.1	234 13.0	202 11.2	165 9.2	101 5.6	2 0.1	925 51.4
地域	首都圏	900 100	199 22.1	87 9.7	85 9.4	45 5.0	102 11.3	107 11.9	84 9.3	52 5.8	0 0.0	476 52.9
	京阪神圏	900 100	149 16.6	100 11.1	83 9.2	47 5.2	132 14.7	95 10.6	81 9.0	49 5.4	2 0.2	449 49.9
年代	20代	300 100	94 31.3	35 11.7	41 13.7	27 9.0	33 11.0	32 10.7	30 10.0	23 7.7	0 0.0	122 40.7
	30代	300 100	56 18.7	30 10.0	38 12.7	14 4.7	32 10.7	35 11.7	22 7.3	10 3.3	0 0.0	154 51.3
	40代	300 100	51 17.0	33 11.0	34 11.3	17 5.7	34 11.3	27 9.0	24 8.0	11 3.7	2 0.7	158 52.7
	50代	300 100	62 20.7	27 9.0	25 8.3	4 1.3	45 15.0	31 10.3	25 8.3	12 4.0	0 0.0	167 55.7
	60代	300 100	43 14.3	31 10.3	16 5.3	17 5.7	49 16.3	34 11.3	25 8.3	17 5.7	0 0.0	162 54.0
	70代以上	300 100	42 14.0	31 10.3	14 4.7	13 4.3	41 13.7	43 14.3	39 13.0	28 9.3	0 0.0	162 54.0

Q44 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成30年度に「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



国産ジビエ
認証

あなたは、食用に適すると認証したジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）に与えられるこのような「マーク」を見たことがありますか。

	度数 横%					
		全 体	確かに見た ことがある	見たことがある ような気がする	「マーク」があることは 知っているが、 見たことはない	「マーク」があることは 知らない
全 体		1800 100	57 3.2	145 8.1	178 9.9	1420 78.9
地域	首都圏	900 100	28 3.1	66 7.3	93 10.3	713 79.2
	京阪神圏	900 100	29 3.2	79 8.8	85 9.4	707 78.6
年代	20代	300 100	23 7.7	37 12.3	41 13.7	199 66.3
	30代	300 100	13 4.3	20 6.7	26 8.7	241 80.3
	40代	300 100	8 2.7	19 6.3	22 7.3	251 83.7
	50代	300 100	5 1.7	24 8.0	27 9.0	244 81.3
	60代	300 100	3 1.0	29 9.7	29 9.7	239 79.7
	70代以上	300 100	5 1.7	16 5.3	33 11.0	246 82.0

Q45 本物の肉の味や食感を人工的に再現した代替肉（人工肉）や、ゲノム編集家畜由来の食肉についてお伺いします。

それぞれについて、あなたはどの程度ご存知ですか。最も近いものを1つだけお選びください。

【大豆など植物由来の代替肉（人工肉）】

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	71 3.9	314 17.4	540 30.0	303 16.8	190 10.6	382 21.2
地域	首都圏		900 100	40 4.4	174 19.3	277 30.8	147 16.3	85 9.4	177 19.7
	京阪神圏		900 100	31 3.4	140 15.6	263 29.2	156 17.3	105 11.7	205 22.8
年代	20代		300 100	25 8.3	52 17.3	67 22.3	58 19.3	21 7.0	77 25.7
	30代		300 100	15 5.0	45 15.0	84 28.0	61 20.3	29 9.7	66 22.0
	40代		300 100	10 3.3	36 12.0	84 28.0	41 13.7	35 11.7	94 31.3
	50代		300 100	6 2.0	57 19.0	84 28.0	57 19.0	33 11.0	63 21.0
	60代		300 100	8 2.7	70 23.3	117 39.0	45 15.0	24 8.0	36 12.0
	70代以上		300 100	7 2.3	54 18.0	104 34.7	41 13.7	48 16.0	46 15.3

【食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）】

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	46 2.6	136 7.6	304 16.9	387 21.5	365 20.3	562 31.2
地域	首都圏		900 100	23 2.6	88 9.8	168 18.7	179 19.9	164 18.2	278 30.9
	京阪神圏		900 100	23 2.6	48 5.3	136 15.1	208 23.1	201 22.3	284 31.6
年代	20代		300 100	22 7.3	31 10.3	57 19.0	60 20.0	30 10.0	100 33.3
	30代		300 100	11 3.7	18 6.0	42 14.0	81 27.0	58 19.3	90 30.0
	40代		300 100	5 1.7	20 6.7	44 14.7	60 20.0	57 19.0	114 38.0
	50代		300 100	3 1.0	17 5.7	52 17.3	72 24.0	61 20.3	95 31.7
	60代		300 100	4 1.3	32 10.7	57 19.0	66 22.0	62 20.7	79 26.3
	70代以上		300 100	1 0.3	18 6.0	52 17.3	48 16.0	97 32.3	84 28.0

【ゲノム編集家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	34 1.9	127 7.1	299 16.6	416 23.1	344 19.1	580 32.2
地域	首都圏		900 100	16 1.8	76 8.4	162 18.0	198 22.0	164 18.2	284 31.6
	京阪神圏		900 100	18 2.0	51 5.7	137 15.2	218 24.2	180 20.0	296 32.9
年代	20代		300 100	19 6.3	28 9.3	47 15.7	62 20.7	36 12.0	108 36.0
	30代		300 100	9 3.0	17 5.7	43 14.3	77 25.7	55 18.3	99 33.0
	40代		300 100	3 1.0	11 3.7	49 16.3	60 20.0	53 17.7	124 41.3
	50代		300 100	1 0.3	19 6.3	55 18.3	73 24.3	60 20.0	92 30.7
	60代		300 100	2 0.7	29 9.7	56 18.7	83 27.7	58 19.3	72 24.0
	70代以上		300 100	0 0.0	23 7.7	49 16.3	61 20.3	82 27.3	85 28.3

Q46 「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」についてお伺いします。

「大豆などの植物由来の原料を使って、食肉の風味と食感を再現した食品」（植物由来のソーセージ、ハンバーグ、ホットドッグ、バーガー、ナゲット、唐揚げなど）が、国内外で販売され、関心を集めるようになっていきます。

あなたは「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）を使った食品」を食べたことがありますか。

あなたが「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）を使った食品」を食べたことがある国や地域を全てお選びください。

		度数横%							
		全 体	日本国内	アメリカ合衆国	オーストラリア	ヨーロッパ	中国	東南アジア	中東
全 体		1800 100	474 26.3	95 5.3	47 2.6	0 0.0	11 0.6	1 0.1	0 0.0
地域	首都圏	900 100	229 25.4	42 4.7	15 1.7	0 0.0	3 0.3	1 0.1	0 0.0
	京阪神圏	900 100	245 27.2	53 5.9	32 3.6	0 0.0	8 0.9	0 0.0	0 0.0
年代	20代	300 100	99 33.0	32 10.7	21 7.0	0 0.0	5 1.7	0 0.0	0 0.0
	30代	300 100	84 28.0	24 8.0	9 3.0	0 0.0	4 1.3	0 0.0	0 0.0
	40代	300 100	75 25.0	16 5.3	8 2.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0
	50代	300 100	68 22.7	7 2.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代	300 100	79 26.3	11 3.7	4 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70代以上	300 100	69 23.0	5 1.7	3 1.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0

		度数横%				
		全 体	その他の国や地域	食べたことがあるが、どこの国や地域で食べたか覚えていない・忘れた	食べたことがない	食べたことがあるかどうかわからない
全 体		1800 100	0 0.0	43 2.4	693 38.5	553 30.7
地域	首都圏	900 100	0 0.0	26 2.9	364 40.4	264 29.3
	京阪神圏	900 100	0 0.0	17 1.9	329 36.6	289 32.1
年代	20代	300 100	0 0.0	9 3.0	84 28.0	94 31.3
	30代	300 100	0 0.0	10 3.3	104 34.7	92 30.7
	40代	300 100	0 0.0	8 2.7	122 40.7	91 30.3
	50代	300 100	0 0.0	5 1.7	125 41.7	99 33.0
	60代	300 100	0 0.0	8 2.7	124 41.3	86 28.7
	70代以上	300 100	0 0.0	3 1.0	134 44.7	91 30.3

Q47 「大豆など植物由来の代替肉（人工肉）」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数横%		全 体	「植物由来の代替肉」は、食肉に比べ、低カロリー・低糖質・低脂肪でヘルシーである	食肉とよく似た製品があるならば、食肉を食べる量を減らして、「植物由来の代替肉」を食べる量を増やしたい	「植物由来の代替肉」は、食肉とは異なる食品なので、両方を食べたい	動物性たんぱく質と植物性たんぱく質は、両方をバランスよく摂取したい	動物性たんぱく質よりも、植物性たんぱく質を積極的に摂取したい	「植物由来の代替肉」は、食肉の替わりにはならない	「植物由来の代替肉」は、今までにない全く新しい食品である	「植物由来の代替肉」は、世界人口の増加に伴い懸念される食料不足を解決する一助になる	大豆などの植物由来の原料を使って、人工的に食肉の風味と食感を再現した食品を食べたくない	よくわからない	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	608 33.8	228 12.7	209 11.6	302 16.8	109 6.1	126 7.0	143 7.9	131 7.3	110 6.1	564 31.3	250 13.9
地域	首都圏	900 100	300 33.3	111 12.3	108 12.0	149 16.6	60 6.7	63 7.0	75 8.3	71 7.9	49 5.4	284 31.6	127 14.1
	京阪神圏	900 100	308 34.2	117 13.0	101 11.2	153 17.0	49 5.4	63 7.0	68 7.6	60 6.7	61 6.8	280 31.1	123 13.7
年代	20代	300 100	90 30.0	38 12.7	43 14.3	50 16.7	28 9.3	22 7.3	40 13.3	24 8.0	14 4.7	67 22.3	64 21.3
	30代	300 100	97 32.3	31 10.3	36 12.0	54 18.0	13 4.3	21 7.0	22 7.3	18 6.0	15 5.0	74 24.7	63 21.0
	40代	300 100	92 30.7	43 14.3	24 8.0	42 14.0	15 5.0	20 6.7	20 6.7	21 7.0	19 6.3	113 37.7	38 12.7
	50代	300 100	97 32.3	34 11.3	28 9.3	39 13.0	17 5.7	16 5.3	17 5.7	16 5.3	19 6.3	104 34.7	41 13.7
	60代	300 100	122 40.7	34 11.3	38 12.7	63 21.0	16 5.3	27 9.0	23 7.7	20 6.7	20 6.7	95 31.7	26 8.7
	70代以上	300 100	110 36.7	48 16.0	40 13.3	54 18.0	20 6.7	20 6.7	21 7.0	32 10.7	23 7.7	111 37.0	18 6.0

Q48 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」についてお伺いします。

国内外の研究者やベンチャー企業が次世代の食肉生産を目指し、「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」の開発に乗り出しています。「生きた家畜や家禽から採取した細胞を人工培養」して、外観、食感、食味などが食肉とよく似た食品を、通常の食肉と同程度の価格で供給できるように開発が進められています。

「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉（人工肉）」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数 横%	全 体	「細胞培養による代替肉」は、家畜飼育に伴う環境負荷の節減などにつながり、地球環境の保全の観点からも生産を増加させていくべきである	「細胞培養による代替肉」が、通常の食肉と同じような価格で販売されるなら、購入してみたい	「細胞培養による代替肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい	「細胞培養による代替肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい	「細胞培養による代替肉」は、食肉の替わりにはならない	「細胞培養による代替肉」は、今までにない全く新しい食品である	「細胞培養による代替肉」は、世界人口の増加に伴い懸念される食料不足を解決する一助になる	「細胞培養による代替肉」は、人工的に畜産物を生産しており、不安なので食べたくない	よくわからない	いずれもあてはまらない	
		184 10.2	160 8.9	225 12.5	229 12.7	79 4.4	139 7.7	140 7.8	284 15.8	730 40.6	220 12.2	
全 体	1800	184	160	225	229	79	139	140	284	730	220	
	100	10.2	8.9	12.5	12.7	4.4	7.7	7.8	15.8	40.6	12.2	
地域	首都圏	900	82	76	107	106	37	79	76	142	369	116
	100	9.1	8.4	11.9	11.8	4.1	8.8	8.4	15.8	41.0	12.9	
	京阪神圏	900	102	84	118	123	42	60	64	142	361	104
	100	11.3	9.3	13.1	13.7	4.7	6.7	7.1	15.8	40.1	11.6	
年代	20代	300	51	42	50	41	19	34	28	32	88	57
	100	17.0	14.0	16.7	13.7	6.3	11.3	9.3	10.7	29.3	19.0	
	30代	300	29	28	32	39	17	22	26	39	113	50
	100	9.7	9.3	10.7	13.0	5.7	7.3	8.7	13.0	37.7	16.7	
	40代	300	25	25	33	41	7	22	24	52	123	34
	100	8.3	8.3	11.0	13.7	2.3	7.3	8.0	17.3	41.0	11.3	
	50代	300	29	19	25	32	9	21	16	45	131	43
100	9.7	6.3	8.3	10.7	3.0	7.0	5.3	15.0	43.7	14.3		
60代	300	23	27	46	45	12	18	18	60	126	21	
100	7.7	9.0	15.3	15.0	4.0	6.0	6.0	20.0	42.0	7.0		
70代以上	300	27	19	39	31	15	22	28	56	149	15	
100	9.0	6.3	13.0	10.3	5.0	7.3	9.3	18.7	49.7	5.0		

Q49 「ゲノム編集家畜由来の食肉」についてお伺いします。

現在の一般的な家畜育種（品質改良）法は、「有用な性質を持つ個体同士を交配・選抜して、さらに優れた品種を作り出す方法」です。

「ゲノム編集」とは、「生物の遺伝情報であるゲノムの中の狙った遺伝子配列だけをピンポイントで人為的に改変する技術」のことで。

この「ゲノム編集」によって、人間にとって望ましい性質を持った家畜を従来よりも短期間で効率よく作り出すことが可能となります。

その家畜から生産された食肉が、「ゲノム編集家畜由来の食肉」です。例えば、「筋肉量を抑える遺伝子を壊して産肉量を多くした家畜から生産された食肉」などが考えられます。

※ゲノム編集食品については、その表示のあり方が話題になっていますが、ゲノム編集家畜は未だ研究段階であり、その食肉は流通していません。

「ゲノム編集家畜由来の食肉」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数横%		全 体	栄養価に富む食肉を安価で購入できるなら、「ゲノム編集家畜由来の食肉」を食べたい	一般的な家畜の改良手法との違いは気にならないので、「ゲノム編集家畜由来の食肉」を食べたい	「ゲノム編集家畜由来の食肉」が、公的機関から安全性が保証されるなら、食べたい	「ゲノム編集家畜由来の食肉」の生産方法が公開され、安全性を納得できるなら、食べたい	「ゲノム編集家畜由来の食肉」は、従来の食肉の替わりにはならない	「ゲノム編集家畜由来の食肉」は、今までにない全く新しい食品である	「ゲノム編集家畜由来の食肉」は、世界人口の増加に伴い懸念される食料不足を解決する一助になる	遺伝子配列を人工的に変化した家畜から生産された食肉を食べたくない	よくわからない	いずれもあてはまらない
全 体	1800	155	90	223	200	80	96	116	416	697	191	
	100	8.6	5.0	12.4	11.1	4.4	5.3	6.4	23.1	38.7	10.6	
地域	首都圏	900	78	45	100	90	35	46	65	215	348	106
	100	8.7	5.0	11.1	10.0	3.9	5.1	7.2	23.9	38.7	11.8	
京阪神圏	900	77	45	123	110	45	50	51	201	349	85	
	100	8.6	5.0	13.7	12.2	5.0	5.6	5.7	22.3	38.8	9.4	
年代	20代	300	36	33	60	40	21	32	24	37	94	52
	100	12.0	11.0	20.0	13.3	7.0	10.7	8.0	12.3	31.3	17.3	
	30代	300	31	11	33	26	15	17	17	63	116	41
	100	10.3	3.7	11.0	8.7	5.0	5.7	5.7	21.0	38.7	13.7	
	40代	300	21	15	34	33	11	16	15	71	115	31
	100	7.0	5.0	11.3	11.0	3.7	5.3	5.0	23.7	38.3	10.3	
	50代	300	24	10	28	34	9	11	18	64	127	36
100	8.0	3.3	9.3	11.3	3.0	3.7	6.0	21.3	42.3	12.0		
60代	300	16	13	32	36	14	8	20	96	116	16	
100	5.3	4.3	10.7	12.0	4.7	2.7	6.7	32.0	38.7	5.3		
70代以上	300	27	8	36	31	10	12	22	85	129	15	
100	9.0	2.7	12.0	10.3	3.3	4.0	7.3	28.3	43.0	5.0		